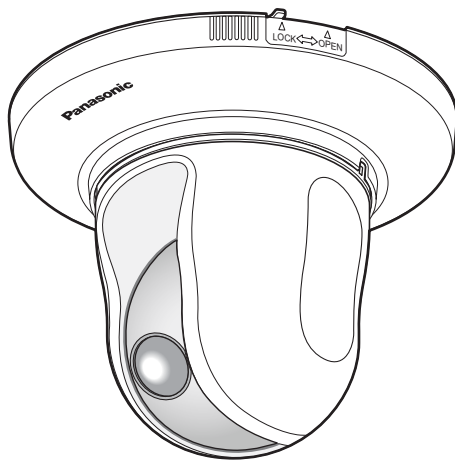
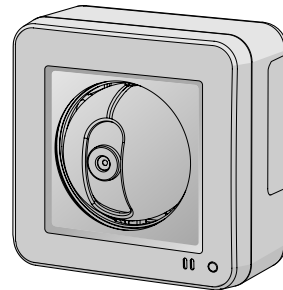
Panasonic®

取扱説明書　操作・設定編

ネットワークカメラ

品番　BB-SC384A
BB-SW170Aシリーズ
BB-ST160Aシリーズ

BB-SC384A　　BB-SW175A

本書では、品番の一部を省略している場合があります。

本書は、BB-SC384A、BB-SW170Aシリーズ（BB-SW175A、BB-SW174WA、BB-SW172A）、BB-ST160Aシリーズ（BB-ST165A、BB-ST162A）の取扱説明書です。

はじめに

取扱説明書について

本機の取扱説明書は以下の2部もしくは、3部構成になっています。

- 取扱説明書　操作・設定編（本書）：本機を動かすソフトウェアの操作や設定方法について記載されています。
- 取扱説明書　基本編：本機の設置のしかたやネットワーク機器との接続方法などについて記載されています。
- 「カメラを設定する」（チラシ）：ネットワークの設定のしかたについて記載されています。SW174W

本書で使用しているカメラの画面は、BB-SC384Aを代表として記載しています。お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。
本書では、品番を以下のように省略している場合があります。

品番	略称	品番	略称
BB-SC384A	SC384	BB-SW175A	SW175
BB-SW174WA	SW174W	BB-SW172A	SW172
BB-ST165A	ST165	BB-ST162A	ST162

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。
本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

記号	使用できる機種	記号	使用できる機種
SC384	BB-SC384A	SW175	BB-SW175A
SW174W	BB-SW174WA	SW172	BB-SW172A
ST165	BB-ST165A	ST162	BB-ST162A

商標および登録商標について

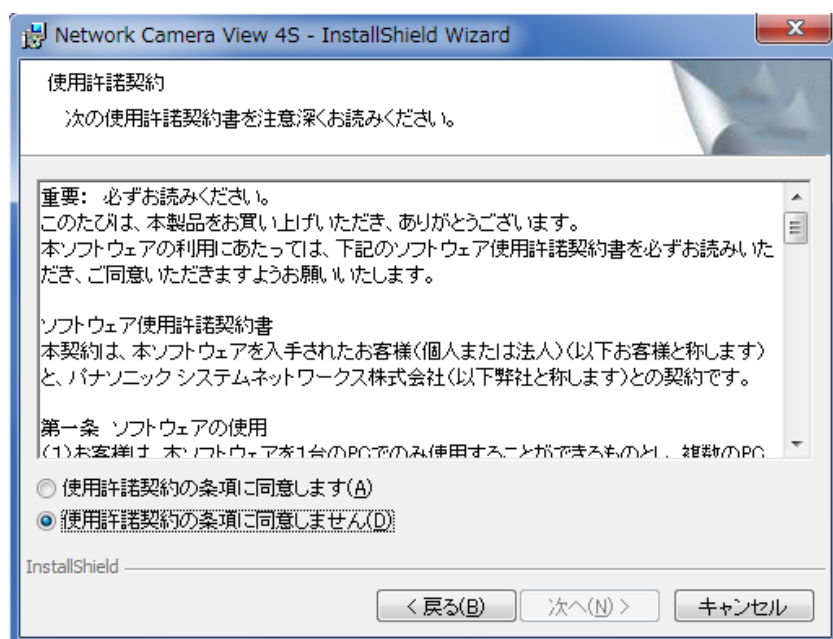
- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Internet Explorer、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- iPad、iPhone、iPod touch、QuickTimeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
- FirefoxはMozilla Foundationの登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社によるこれらのマークの使用は許可を受けています。
- SDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。
Microsoft® Windows® 8.1日本語版をWindows 8.1と表記しています。
Microsoft® Windows® 8日本語版をWindows 8と表記しています。
Microsoft® Windows® 7日本語版をWindows 7と表記しています。
Microsoft® Windows Vista® 日本語版をWindows Vistaと表記しています。
Microsoft® Windows® XP SP3日本語版をWindows XPと表記しています。
Windows® Internet Explorer® 11日本語版、Windows® Internet Explorer® 10日本語版、Windows® Internet Explorer® 9日本語版、Windows® Internet Explorer® 8日本語版、Windows® Internet Explorer® 7日本語版をInternet Explorerと表記しています。
SDHC／SDメモリーカードをSDカードまたはSDメモリーカードと表記しています。
Universal Plug and PlayをUPnP™またはUPnPと表記しています。
Microsoft® Windows®、Internet Explorer®の対応状況については、パナソニックのサポートウェブサイトを参照ください。
http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/

表示用プラグインソフトウェアについて

本機で画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」（ActiveX®）をインストールする必要があります。表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールするか、付属のCD-ROMのメニューで「表示用プラグインソフトウェア」の［インストール］ボタンをクリックして、画面の指示に従ってインストールしてください。

重要

- お買い上げ時は、「プラグインソフトウェアの自動インストール」を「許可する」に設定されています。ブラウザーの情報バーにメッセージが表示される場合は、271 ページをお読みください。
- PCからライブ画ページを表示し、[プラグインソフトウェア] ボタンをクリックすると、カメラ画像の表示に必要なActiveX のインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。JPEG形式（静止画）を表示する場合は、ActiveXをインストールする必要はありません。
- ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り換えるたびにインストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。
- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、「メンテナンス」ページの [バージョンアップ] タブで確認できます(→241 ページ)。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

もくじ

1 操作

1.1 PCから画像を見る

ここでは、PCからカメラの画像を見る方法を説明します。

1.1.1 1台のカメラの画像を見る

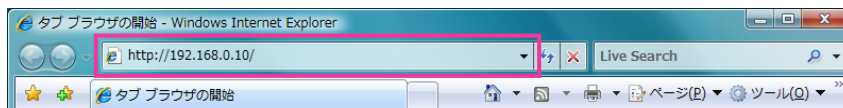
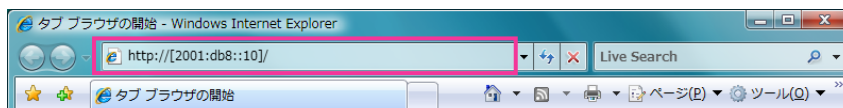
お知らせ

- SW175／SW174W／SW172／ST165／ST162は、MPEG-4に対応していません。

1 PCのウェブブラウザーを起動します。

2 IP簡単設定ソフトウェアで設定したIPアドレスを、ウェブブラウザーの［アドレス］ボックスに入力します。

IPv4アドレスの入力例：
http://IPv4アドレスで登録したURL
http://192.168.0.10/

IPv6アドレスの入力例：
http://[IPv6アドレスで登録したURL]
http://[2001:db8::10]/

〈IPv4アクセス例〉

〈IPv6アクセス例〉

重要

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://カメラのIPアドレス:ポート番号」を［アドレス］ボックスに入力してください。
  例：ポート番号が8080に設定されている場合：**http://192.168.0.11:8080**
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、ウェブブラウザー（メニューバーの［ツール］－［インターネットオプション］）からプロキシサーバーの設定を行ってください。

お知らせ

- ネットワークページ（→190 ページ）の［ネットワーク］タブの「HTTPS」の「接続方法」で「HTTPS」を設定している場合については「HTTPSでカメラにアクセスする」（→206 ページ）をお読みください。

3 ［Enter］キーを押します。
ライブ画ページが表示される前に認証ダイアログが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。初期設定のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。
ユーザー名：admin
パスワード：12345
→ ライブ画ページが表示されます。ライブ画ページについての詳細は、12 ページをお読みください。

重要

- セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。パスワードは定期的に変更することをお勧めします。
- 1台のPCで複数のH.264（またはMPEG-4）画像を表示しようとした場合、PCの性能により、画像が表示されない場合があります。
- 画像が表示されない場合は、ウェブブラウザーを互換表示に設定してください。設定方法については、以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。
http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html

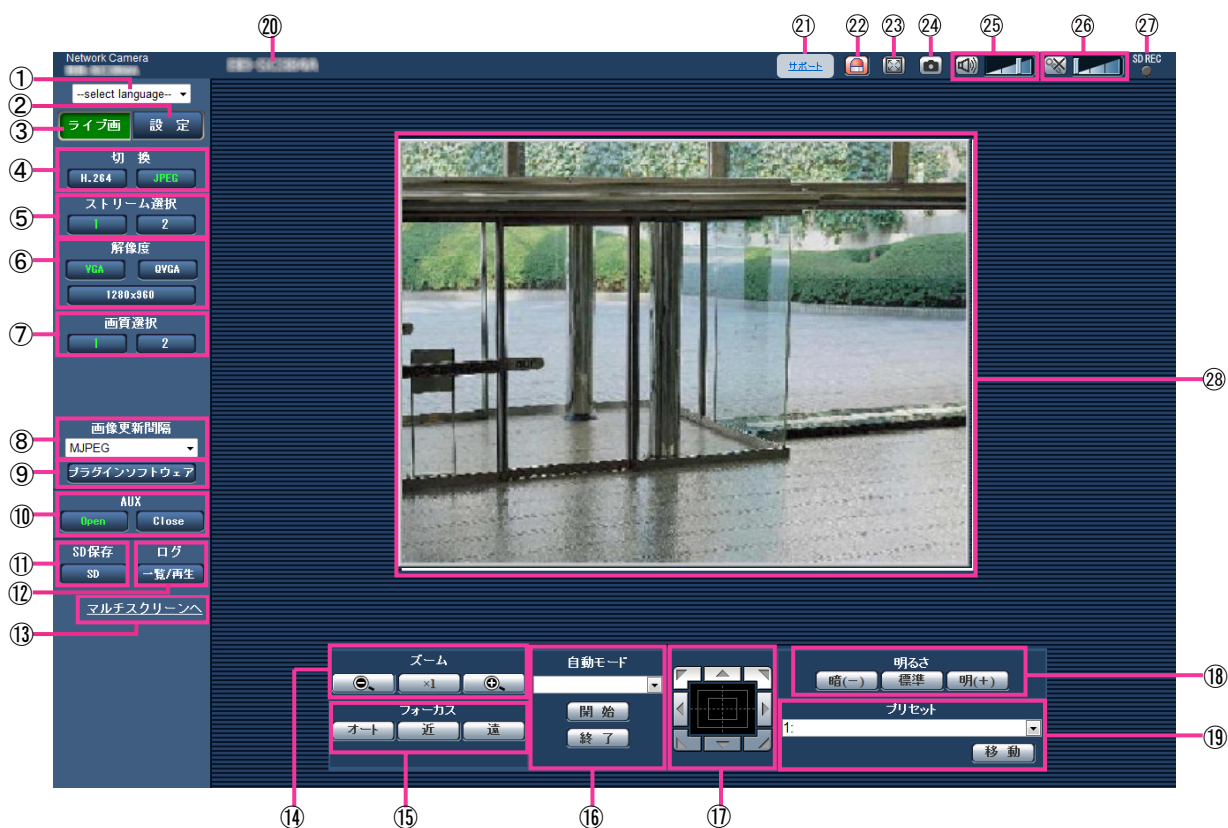
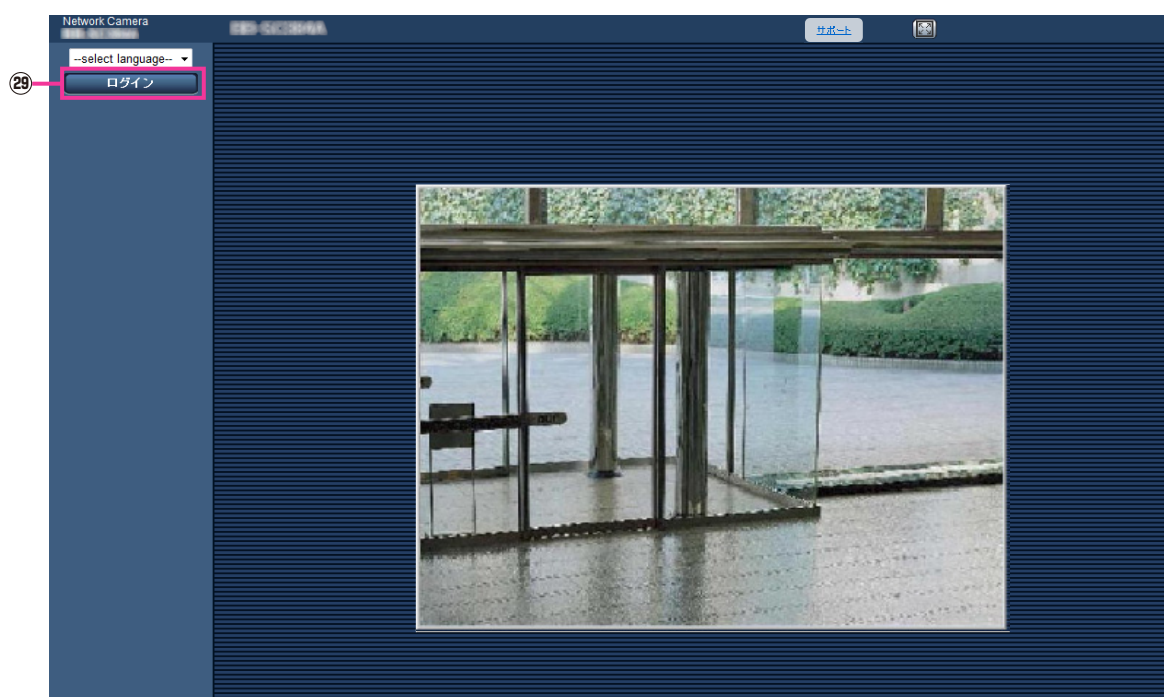
お知らせ

- 「動画配信形式」を「H.264」に設定していると、H.264画像が表示され、「MPEG-4」に設定しているとMPEG-4画像が表示されます。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264（またはMPEG-4）画像を受信しているユーザーとJPEG画像を受信しているユーザーとを合計した最大14人までです。ただし、「配信量制御（ビットレート）」、「1クライアントあたりのビットレート*」の設定によっては、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。アクセスできる最大ユーザー数14人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。「H.264」（または「MPEG-4」）の「配信方式」を「マルチキャスト」に設定したとき、H.264（またはMPEG-4）画像を受信している2人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。「静止画自動更新」で画像を受信しているユーザーはアクセス数にカウントされません。
- 「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）（→125 ページ、132 ページ）を「On」に設定すると、H.264（またはMPEG-4）画像が表示されます。「Off」に設定すると、JPEG画像が表示されます。「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）を「On」に設定した場合でも、JPEG画像の表示は可能です。

- ライブ画ページに最初に表示する画像は、「ライブ画初期表示ストリーム」で設定できます。(→123 ページ)
- JPEG画像の画像更新間隔はネットワークの環境、PCの性能、被写体、アクセス数により長くなることがあります。JPEG画像の画像更新速度は最大30 fpsです。

1.1.2 ライブ画ページについて

お知らせ

- SW175／SW174W／SW172／ST165／ST162は、MPEG-4に対応していません。
- ライブ画ページに表示するボタンや設定項目は、アクセスするユーザーのユーザー権限により変更できます。ユーザー権限の設定は、「ユーザー管理」の「ユーザー認証」で設定します。(→178 ページ)
- 画面はタブではなく別ウインドウで確認されることをお勧めします。画面が別のタブで開いたり、別ウインドウで開かない場合は、ブラウザーの設定で別ウインドウで開く設定を行ってください。

① [select language] プルダウンメニュー
画面に表示される言語を切り換えることができます。また、カメラにアクセスしたときに表示される最初の言語を「基本設定」の「言語選択」で設定することができます。(→94 ページ)

② [設定] ボタン*1
設定メニューを表示します。ボタンが緑色に変わり、設定メニューが表示されます。

③ [ライブ画] ボタン
ライブ画ページを表示します。ボタンが緑色に変わり、ライブ画ページが表示されます。

④ [切換] ボタン*2
- **[H.264] ボタン/ [MPEG-4] ボタン:**ボタン上の「H.264」(または「MPEG-4」)の文字が緑色に変わり、H.264画像(またはMPEG-4画像)が表示されます。設定メニューの「動画配信形式」で「H.264」または、「MPEG-4」を選択し、「H.264(1)」、「H.264(2)」(または「MPEG-4(1)」、「MPEG-4(2)」)の「H.264配信」(または「MPEG-4配信」)を「On」に設定すると、[H.264] ボタン(または [MPEG-4] ボタン)が表示されます。(→125 ページ、132 ページ)
- **[JPEG] ボタン:**ボタン上の「JPEG」の文字が緑色に変わり、JPEG画像が表示されます。

⑤ [ストリーム選択] ボタン
このボタンは、H.264画像(または、MPEG-4画像)が表示されているときのみ表示されます。
- **[1] ボタン:**ボタン上の「1」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が、H.264(1)(または、MPEG-4(1))で設定した内容(→125 ページ、132 ページ)に従って表示されます。
- **[2] ボタン:**ボタン上の「2」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が、H.264(2)(または、MPEG-4(2))で設定した内容(→125 ページ、132 ページ)に従って表示されます。

⑥ [解像度] ボタン
このボタンは、JPEG画像が表示されているときのみ表示されます。

[VGA]	「VGA」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がVGAサイズで表示されます。
[QVGA]	「QVGA」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がQVGAサイズで表示されます。
[640×360]	[640×360]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が640×360サイズで表示されます。
[320×180]	[320×180]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が320×180サイズで表示されます。

SC384 SW175 SW174W ST165：

[1280×960]	「1280×960」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が1280×960サイズで表示されます。
[1280×720]	[1280×720]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が1280×720サイズで表示されます。

SW172 ST162：

[800×600]	[800×600]の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が800×600サイズで表示されます。

お知らせ

SC384 SW175 SW174W ST165：

- [VGA]、[QVGA]、[1280×960]ボタンは、「アスペクト比」の設定が「4:3」に設定されているときのみ表示されます。
- [640×360]、[320×180]、[1280×720]ボタンは、「アスペクト比」の設定が「16:9」に設定されているときのみ表示されます。
- 解像度が「1280×960」または「1280×720」の場合、ウェブブラウザー画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小される場合があります。

SW172 ST162：

- [VGA]、[QVGA]、[800×600]ボタンは、「アスペクト比」の設定が「4:3」に設定されているときのみ表示されます。
- [640×360]、[320×180]ボタンは、「アスペクト比」の設定が「16:9」に設定されているときのみ表示されます。

⑦ [画質選択]ボタン

このボタンは、JPEG画像が表示されているときのみ表示されます。

- **[1]ボタン：**JPEGの画質設定の画質1で設定した内容（→122 ページ）に従って表示されます。
- **[2]ボタン：**JPEGの画質設定の画質2で設定した内容（→122 ページ）に従って表示されます。

⑧ [画像更新間隔]プルダウンメニュー

このプルダウンメニューは、JPEG画像が表示されているときのみ表示されます。JPEG画像の表示方法を選択します。

- **MJPEG：**プラグインソフトウェアを使用し、JPEG形式の画像を連続（MJPEG：Motion JPEG）して表示します。プラグインソフトウェアがインストールされていない場合は、表示されません。

- **3秒／5秒／10秒／30秒／60秒：**JPEG形式（静止画）の画像を指定した間隔で更新します。

お知らせ

- JPEG形式（静止画）の更新間隔は、お使いのネットワーク環境やPCによっては、指定した間隔で画像が更新されないことがあります。

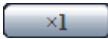
⑨ **［プラグインソフトウェア］ボタン**
表示用プラグインソフトウェアのインストールを開始します。
PCにプラグインソフトウェアがすでにインストールされている場合、または［基本］タブの「プラグインソフトウェアの自動インストール」を「許可しない」に設定している場合は、表示されません。
(→94 ページ)

⑩ **AUXボタン**
以下のボタンは、設定メニューで「アラーム」の「端子3」が「AUX出力」に設定されている場合のみ表示されます。(→161 ページ)

- **［Open］ボタン：**「Open」の文字が緑色に変わり、AUX端子がOpen状態になります。
- **［Close］ボタン：**「Close」の文字が緑色に変わり、AUX端子がClose状態になります。

お知らせ

- 「AUX」、「Open」、「Close」の名称は変更することができます。(→168 ページ)

⑪ **［SD保存］** SC384 SW175 SW172 ST165 ST162
［SD］ボタンは、設定メニューで「保存モード」を「手動保存」に設定している場合のみ表示されます。(→102 ページ)
ボタンをクリックすると、手動でSDメモリーカードに画像を保存できます。SDメモリーカードに手動で画像を保存する方法は39 ページをお読みください。

⑫ **［ログ］** *2 SC384 SW175 SW172 ST165 ST162
［一覧/再生］ボタンは、設定メニューで「ログ保存」を「On」に設定している場合のみ表示されます。(→116 ページ)ボタンをクリックすると、ログリストが表示され、SDメモリーカードに保存されている画像を再生できます。ログリストの詳細と画像の再生のしかたについては45 ページをお読みください。

⑬ **［マルチスクリーンへ］**
設定メニューでマルチスクリーン表示するカメラを設定すると、1画面で複数の画像を見ることができます。(→20 ページ)

⑭ **［ズーム］ボタン**

- ［⊖］：ズーム（倍率）を「広角」方向に調節します。
- ［×1］：ズーム（倍率）を1.0倍にします。
- ［⊕］：ズーム（倍率）を「望遠」方向に調節します。

⑮ **［フォーカス］ボタン** SC384

- ［オート］：自動的にフォーカス（焦点）を調節します。
- ［近］：フォーカス（焦点）を「近」方向に調節します。
- ［遠］：フォーカス（焦点）を「遠」方向に調節します。

お知らせ

- 以下のような被写体は、オートフォーカスでピントを合わせることができません。手動操作でピントを合わせてください。
  - 輝いたり、強い光が反射したりする被写体
  - 水滴や汚れのついたガラス越しにある被写体
  - 遠くの被写体と近くの被写体が混在する場合
  - 明暗差のない被写体（白い壁など）
  - ブラインドなど、横じまの被写体
  - 斜めの被写体
  - 暗い被写体

⑯ **自動モード**

プルダウンメニューから動作を選択し、［開始］ボタンをクリックすると選択した動作を開始します。［終了］ボタンをクリックすると動作が終了します。また、パン、チルト、ズーム、フォーカスの操作を行った場合や「セルフリターン」（→136 ページ）、「アラーム連動動作」（→162 ページ）で設定した動作が開始した場合も終了します。

- **オートパン** SC384：あらかじめ設定（→150 ページ）したパンのスタート位置とエンド位置の範囲を自動的に旋回します。
  ズーム、フォーカス操作を行っても、旋回動作は継続します（［ズーム］ボタンの［x1］ボタンをクリックすると旋回動作が停止します）。
- **プリセットシーケンス** SC384：あらかじめ登録（→147 ページ）してあるプリセットポジションを、プリセット番号の小さいほうから順番に移動します。
- **360度マップショット** SC384：水平方向に45゜の回転を8回行い（45゜×8＝360゜）、各位置の画像を8枚の画像で別ウインドウにサムネイル表示します。サムネイル表示をクリックすると、カメラの向きがその位置に移動し、ライブ画ページに画像が表示されます。
- **プリセットマップショット**：あらかじめ登録（→147 ページ）したプリセットポジション1～8を、順に8枚の画像で別ウインドウにサムネイル表示します。サムネイル表示をクリックすると、カメラの向きがその位置に移動し、ライブ画ページに画像が表示されます。

お知らせ

- サムネイル表示が終了してカメラの向きが元のポジションに戻るまで、ブラウザー操作をしないでください。
- カメラが移動中に360度マップショットを行うと、移動中の画像がサムネイル表示されることがあります。その場合は、再度、360度マップショットを行ってください。
- プリセットマップショット実行時に、プリセットポジション1～8で登録されていないポジションがある場合、そのポジションのサムネイルには1つ前のサムネイルと同じ画像が表示されます。
  また、登録されていないポジションのサムネイル表示をクリックしても、カメラの向きは移動しません。
- 360度マップショット、プリセットマップショット実行後に戻るポジションは、元のポジションから多少ずれる場合があります。
- 画像の再読み込みや画面が切り換わる操作（［ライブ画］、［マルチスクリーン］、［H.264］、［MPEG-4］、［JPEG］、［ストリーム選択］、［解像度］、［画質選択］、［設定］ボタンをクリックする操作）、ライブ画ページを閉じる操作を行った場合は、表示中のサムネイル画面が閉じられます。

再度、サムネイル表示をさせる場合は、360度マップショットまたはプリセットマップショットの操作をやり直してください。

SC384：

- 自動モードの動作中に、「セルフリターン時間」（→136 ページ）で設定した時間で、「セルフリターン」（→136 ページ）の内容が動作した場合、自動モードの動作は停止します。

⑰ **コントロールパッド／ボタン**

画像の水平位置・垂直位置の調節（パン・チルト）はパッドおよびボタンを左クリックして行います。パッドの外側をクリックするほど、カメラの動作速度が速くなります。

SC384：

また、マウスをドラッグして調節することもできます。ズームとフォーカスは右クリックで行います。パッドの上下方向で上半分をクリックするとズーム（倍率）が望遠に、下半分をクリックすると広角になります。左右方向で左半分をクリックするとフォーカス（焦点）が近く、右半分をクリックすると遠くなります。マウスホイール操作でもズームを調節できます。

SW175 SW174W SW172 ST165 ST162：

また、マウスをドラッグして調節することもできます。ズームは右クリックで行います。
パッドの上下方向で上半分をクリックするとズーム（倍率）が望遠に、下半分をクリックすると広角になります。マウスホイール操作でもズームを調節できます。

⑱ **［明るさ］ボタン**

0～255で調節できます。

- 暗(−)：画像が暗くなります。
- 標準：初期設定（64）の明るさに戻ります。
- 明(+)：画像が明るくなります。

⑲ **プリセット**

プルダウンメニューからプリセットポジションを選択し、［移動］ボタンをクリックすると、あらかじめ登録（→147 ページ）されたプリセットポジションにカメラの向きが移動します。番号の横の「H」はホームポジションを表しています。「ホームポジション」を選択すると、カメラの向きをホームポジションに移動できます（→136 ページ）。
「ポジション名称」が登録されている場合は、番号の横にポジション名称が表示されます。

⑳ **カメラタイトル**

［基本］タブの「カメラタイトル」で入力したカメラタイトルが表示されます。（→94 ページ）

㉑ **［サポート］ボタン**

［サポート］ボタンをクリックすると、以下のパナソニックのサポートウェブサイトが別ウィンドウで表示されます。パナソニックサポートウェブサイトでは、技術情報、FAQ(よくある質問)などが掲載されています。
http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/

㉒ **アラーム発生通知ボタン**

アラームが発生すると、点滅表示します。ボタンをクリックすると、アラーム出力端子がリセットされ、表示が消えます。（→41 ページ）

㉓ **全画面表示ボタン**

画像が全画面で表示されます。ライブ画ページに戻るには、PCのキーボードの［Esc］キーを押します。
表示される画面のアスペクト比は、モニターに合わせて調整されます。

㉔ **スナップショットボタン**
スナップショット（静止画1枚）を取得し、その画像が別ウインドウで表示されます。画像上で右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、「Save」を選択すると、PCに画像を保存できます。
また、「Print」を選択すると、プリンターに出力できます。

お知らせ

- 以下の設定が必要になることがあります。
Internet Explorerのメニューバーの［ツール］－［インターネットオプション］－［セキュリティ］タブにある［信頼済みサイト］を選択し、［サイト］をクリックします。表示される信頼済みウインドウの「Webサイト」にカメラのアドレスを登録してください。

㉕ **受話ボタン*2**
受話音声（PCで聞く）のOn／Offを切り換えます。このボタンは、設定メニューで「音声モード」を「受話」または「双方向（全二重）」「双方向（半二重）」に設定している場合にのみ表示されます。
（→155 ページ）
このボタンをクリックすると、ボタン表示が に切り換わり、本機からの音声がPCで聞こえなくなります。
音量カーソル を移動すると、受話音量を弱／中／強の3段階で調節できます。

㉖ **送話ボタン*2**
送話音声（PCから話す）のOn／Offを切り換えます。このボタンは、設定メニューで「音声モード」を「送話」または「双方向（全二重）」「双方向（半二重）」に設定している場合にのみ表示されます。
（→155 ページ）
送話中はボタンが点滅表示します。
このボタンをクリックすると、ボタン表示が に切り換わり、PCからの音声が本機で聞こえなくなります。
音量カーソル を移動すると、送話音量を弱／中／強の3段階で調節できます。

お知らせ

- 1人のユーザーが送話中の間、「双方向（半二重）」に設定している場合は、他のユーザーの受話は停止状態になり、受話ボタン、送話ボタンの操作ができなくなります。「双方向（全二重）」に設定している場合は、他のユーザーは、送話ボタンの操作ができなくなります。
- 1回の送話時間は、カメラページの［音声］タブで設定されている連続送話時間が最大です。設定した連続送話時間を過ぎると送話が停止します。再度送話を行う場合は、送話ボタンをクリックしてください。
- 本機を再起動すると、音量カーソルで変更した受話音量／送話音量は、カメラページの［音声］タブで設定されている受話音量／送話音量に戻ります。（→155 ページ）
- 画面上では、音量カーソルは細かい調節ができますが、実際には3段階のいずれかの音量に設定されます。

㉗ **SD保存状態表示** SC384 SW175 SW172 ST165 ST162
SDメモリーカードへの保存状態を表示します。
保存が開始されると、SD保存状態表示が赤点灯します。保存が停止すると、消灯します。
この表示は、設定メニューの「保存モード」が「手動保存」、「スケジュール保存」に設定されている場合に表示されます。（→99 ページ）

㉘ **メインエリア**

カメラの画像を表示します。画像上には、設定した時刻表示形式と日付表示位置に従って現在の日付時刻が表示されます。(→95 ページ)

また、設定した画面内文字（→96 ページ）や操作したときに明るさ（→96 ページ)、パン・チルト角度／倍率表示（→137 ページ)、プリセットのポジション名称（→149 ページ）を表示します。

表示する行数は、2行になります。

ライブ画ページのメインエリア内で画角の中心としたい位置をクリックすると、クリックした位置を中心とする位置にカメラの向きが移動します。

マウスのドラッグ操作で表示したい範囲を選択すると、選択したエリアを中心とする位置にカメラの向きが移動し、ズーム倍率が自動的に調節されます。

マウスホイール操作でも、ズームを調節できます。

お知らせ

- カメラの回転範囲を超える角度に移動するマウスのドラッグ操作を行った場合、カメラの動作可能位置までカメラの向きが移動したあと、ズーム倍率が自動的に調節されます。
- PCによっては、撮影シーンが大きく変わる際に、OSの描画処理（GDI）の制約により、ティアリング（画面の一部がずれて表示される現象）が発生することがあります。

SC384 :

- 18倍 よりも高いズーム倍率の画像を表示している場合、クリックした位置が画像の中心にならないことがあります。

SW175 SW174W SW172 ST165 ST162 :

- クリックした位置が画像の中心にならないことがあります。

㉙ **［ログイン］ボタン**

このボタンは、「ユーザー認証」を「On」かつ管理者以外でログインした場合、または、「ユーザー認証」を「Off」かつ「未登録ユーザー」を「使用する」に設定すると、表示されます。(→179 ページ)

また、「ユーザー認証」を「On」、または「ユーザー認証」を「Off」かつ「未登録ユーザー」を「使用する」に設定し、「ホスト認証」を「On」かつ「アクセスレベル」を「カメラ制御」または「ライブ画表示」に設定した場合、「カメラ制御」または「ライブ画表示」権限のホストからカメラのブラウザを開くと表示されます。(→182 ページ)

ログインに失敗した場合は、ブラウザーをすべて閉じて、再度ライブ画ページを表示しログインを行ってください。

---

*1 アクセスレベルが「1.管理者」に設定されているユーザーのみ操作できます。
*2 プラグインソフトウェアがインストールされていない場合は、表示されません。

1.1.3 複数台のカメラの画像を見る

複数台のカメラの画像を1つの画面（マルチスクリーン）で確認します。一度に4台、9台、16台（最大）までのカメラの画像を確認できます。マルチスクリーンを使用するには、マルチスクリーンで表示させるカメラの設定が必要です。4台を1グループとして、最大4グループ（合計16台）まで登録することができます。(→158 ページ)

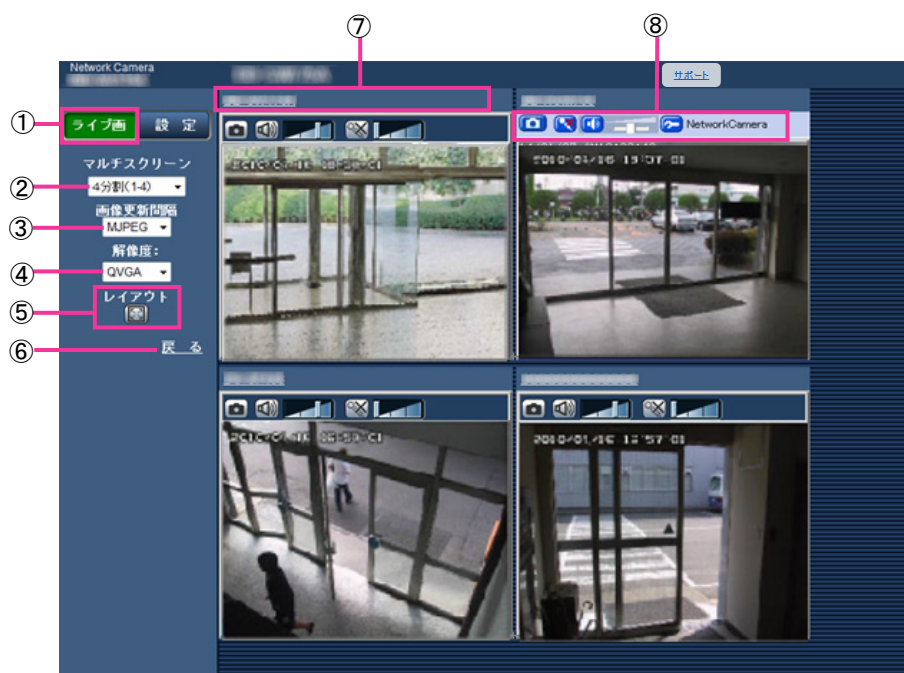
重要

- 画像の表示中に本機の電源を切った場合やネットワークケーブルを抜いた場合は、ライブ画ページからマルチスクリーンに移動することはできません。
- 4画面および9画面で動画を表示する際、他カメラの配信量が多いため動画や音声が途切れる場合があります。その際は、配信量が少なくなるよう、登録しているカメラの設定を変更する必要があります。
  配信量を少なくする設定例：
  – 動画の配信形式を「H.264」に設定する。
  – H.264の「配信モード」(→126 ページ）を「ベストエフォート配信」に設定する。
  – JPEGの「配信モード」(→122 ページ）の「静止画自動更新（画像更新間隔)」を長くする。
- マルチスクリーンで音声を有効にするためには、本機の音声を有効にする必要があります。
- 16画面で表示する際は、静止画更新しかできません。

お知らせ

- マルチスクリーンで表示される画像はJPEG画像、H.264（またはMPEG-4）画像です。他カメラが音声に対応している場合は、音声も出力されます。
- SW175／SW174W／SW172／ST165／ST162は、MPEG-4に対応していません。
- 複数台のカメラ画像を見るのに適したネットワークカメラ専用録画ビューアソフト「ビューア専用無料版」については、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照ください。
  http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html
- 認証機能がOnのカメラを登録した場合は、「認証ダイアログ」に登録したカメラの「管理者」のユーザー名、パスワードを入力してください。
  マルチスクリーン使用時の条件や制約事項は、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照ください。
  http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html

1 ライブ画ページで［マルチスクリーンへ］をクリックします。

→ カメラの画像が多画面（最大16画面）で表示されます。以下は4画面の場合です。

① ［ライブ画］ボタン
本機の1画面を表示します。

② ［マルチスクリーン］プルダウンメニュー
プルダウンメニューで選択することにより、ライブ画や４画面から9画面、16画面までのカメラの画像を多画面で表示します。

③ ［画像更新間隔］プルダウンメニュー
プルダウンメニューで選択することにより、動画（H.264（またはMPEG-4）／MJPEG）と静止画（JPEG）を切り換えます。
静止画（JPEG）の場合は、カメラ画像の更新間隔（3秒／5秒／10秒／30秒／60秒）を選択します。

④ ［解像度］プルダウンメニュー
プルダウンメニューで選択することにより、解像度を変更します。
［マルチスクリーン］プルダウンメニューで、「４分割」を選択した場合に、カメラの解像度を変更します。

- **アスペクト比4:3時：**
  QVGA（初期設定）とVGAの切り換え
- **アスペクト比16:9時：**
  320×180ドット（初期設定）と640×360ドットの切り換え

⑤ ［レイアウト］
全画面表示ボタンを押すと、カメラ画像を最大表示します。全画面表示で ［アイコン］（元に戻す）ボタンをクリックすると、元の表示サイズに戻ります。

⑥ ［戻る］
本機のライブ画を表示します。

⑦ カメラタイトル
カメラタイトルをクリックすると、対応するカメラのライブ画が、別ウインドウのライブ画ページに表示されます。

⑧ カメラ制御バー
スナップショットJPEG画像取得やPCの音声入出力音量（受話、送話）の調整ができます。

お知らせ

- ネットワーク環境やユーザーのアクセス数によっては、フレームレートが低下することがあります。

1.2 携帯電話・携帯端末から画像を見る

1.2.1 携帯電話から画像を見る

携帯電話からインターネットを経由して本機に接続し、本機の画像（JPEG形式のみ）を表示します。最新画像に更新したり、パン・チルト・ズームなどを操作したりできます。
［基本］タブの「言語選択」の設定によって、携帯電話画面に表示される言語は変わります。（→94 ページ）「言語選択」を「自動」に設定している場合は、英語で表示されます。

言語選択	携帯電話画面
日本語	日本語
中国語	中国語
日本語／中国語以外の設定	英語

重要

- 認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名とパスワードの初期設定は以下になります。
  ユーザー名：admin
  パスワード：12345
  セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。
  （→178 ページ）
- 携帯電話が文字コードUTF-8に対応していない場合、正常に表示することができません。

お知らせ

- 携帯電話から本機の画像を見るには、あらかじめインターネットに接続するためのネットワーク設定が必要です。（→190 ページ）
- 携帯電話の画面に表示する操作メニューは、アクセスするユーザーのユーザー権限と機能許可設定により変更できます。ユーザー権限と機能許可設定は、「ユーザー管理」の「ユーザー認証」で設定します。（→178 ページ）

1 携帯電話で「http://IPアドレス/mobile」*1 または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名/mobile」を入力し、決定ボタンを押します。

→ 本機の画像が表示されます。

① パン／チルト

カメラの向きを操作します。各番号のダイヤルキーを押すと、それぞれの方向にパン／チルトします。

② ズーム表示

ダイヤルキーの「＊」と「#」を押すことにより、カメラ画像のズーム操作ができます。

③ 手動更新／自動更新

ダイヤルキーの「5」、「手動更新」を押すと、カメラ画像が更新されます。

「自動更新」を押すと、カメラの画像が5秒ごとに自動的に更新されます。

再度、ダイヤルキーの「5」、「手動更新」を押すと、カメラ画像の更新は手動更新に戻ります。

重要

- カメラ画像を「自動更新」に設定すると、定期的に通信が発生します。お使いの携帯電話の契約プランを確認のうえ、ご利用ください。
- お使いの携帯電話によっては、「自動更新」を使用できない場合があります。

④ 解像度切換

ダイヤルキーの「0」を押すと、解像度を切り換えます。

- **アスペクト比4:3時：**
  320×240ドット（初期設定）と640×480ドットの切り換え
- **アスペクト比16:9時：**
  320×180ドット（初期設定）と640×360ドットの切り換え

お知らせ

- 「解像度切換」を行っても表示される解像度は変わりますが、携帯電話の機種によっては画像サイズが変わらないことがあります。

⑤ 画質切換
画質１／画質２（→122 ページ）を切り換えることができます。

⑥ ホームポジション
カメラの向きがホームポジションに移動します。（→136 ページ）ホームポジション設定時のみ表示されます。

⑦ プリセット
各画面のダイヤルキーを押すことで、プリセット登録されたカメラの向きでカメラ画像を表示します（5つ目以降のプリセットにはダイヤルキー用の番号は表示されず、プリセット名のみ表示されます）。
（→147 ページ）

⑧ AUX制御
AUX出力端子を制御します。
設定メニューで［端子3］が「AUX出力」に設定されている場合にのみ表示されます。（→161 ページ）

お知らせ

- HTTPポート番号が80から変更されている場合は、「http://IPアドレス:ポート番号/mobile」[*1]を入力して、本機のポート番号を指定してください。DDNS機能を使用している場合は、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/mobile」を入力してください。
- ネットワークページの［ネットワーク］タブの[HTTPS]－[接続方法]で[HTTPS]を設定している場合は、下記のように入力してください。
  「https://IPアドレス:ポート番号/mobile」または、「https://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/mobile」
- 認証ダイアログが表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。携帯電話によっては、画面が切り換わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
- 携帯電話からは、音声の受信／送信はできません。
- 携帯電話によっては、画像のサイズが大きい場合に画像の表示ができないことがあります。その場合は、「JPEG」の「画質設定」（→122 ページ）を低画質に近づけると表示されることがあります。
- お使いの携帯電話および契約プランによってはアクセスできない場合があります。
- 携帯電話の画面に表示する操作メニューは、アクセスするユーザーのユーザー権限と機能許可設定により表示されない場合があります。操作メニューを表示する場合は、ユーザー権限と「機能許可設定」の設定（「ユーザー管理」の「ユーザー認証」）が必要です。（→178 ページ）

[*1] IPアドレスは、インターネットからアクセスできるルーターのWAN側のグローバルIPアドレスです。

1.2.2 携帯端末から画像を見る

携帯端末から本機に接続し、本機の画像（MJPEG形式、JPEG形式）を表示します。自動で最新画像に更新されます。パン・チルト・ズームなどの操作を行うこともできます。
対応機種は、次のとおりです。（2014年3月現在）

– iPad、iPhone、iPod touch
– Android™ 端末

Android端末の場合、Firefox®ブラウザーではMJPEG形式の画像が表示され、標準ブラウザーでは、JPEG形式の画像が表示されます。
対応機種など詳細については、パナソニックのサポートウェブサイト
（http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html）を参照してください。
［基本］タブの「言語選択」の設定によって、携帯端末画面に表示される言語は変わります。（→94 ページ）

言語選択	携帯端末画面
日本語	日本語
中国語	中国語
日本語／中国語／自動以外の設定	英語

※「言語選択」が「自動」の場合はブラウザーで使用している言語が自動で選択されます。ただし、自動で選択される言語は、日本語／中国語／英語です。

重要

- 認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名とパスワードの初期設定は以下になります。
  ユーザー名：admin
  パスワード：12345
  セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。
  （→178 ページ）

お知らせ

- 携帯端末から本機の画像を見るには、あらかじめインターネットに接続するためのネットワーク設定が必要です。（→190 ページ）
- 携帯端末の画面に表示する操作ボタンは、アクセスするユーザーのユーザー権限と機能許可設定により変更できます。ユーザー権限と機能許可設定は、「ユーザー管理」の「ユーザー認証」で設定します。（→178 ページ）

1 携帯端末で「http://IPアドレス/cam」*1 または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名/cam」*2 を入力し、決定ボタンを押します。

→ 本機の画像が表示されます。

① ライブ画像エリア
カメラの画像を表示します。

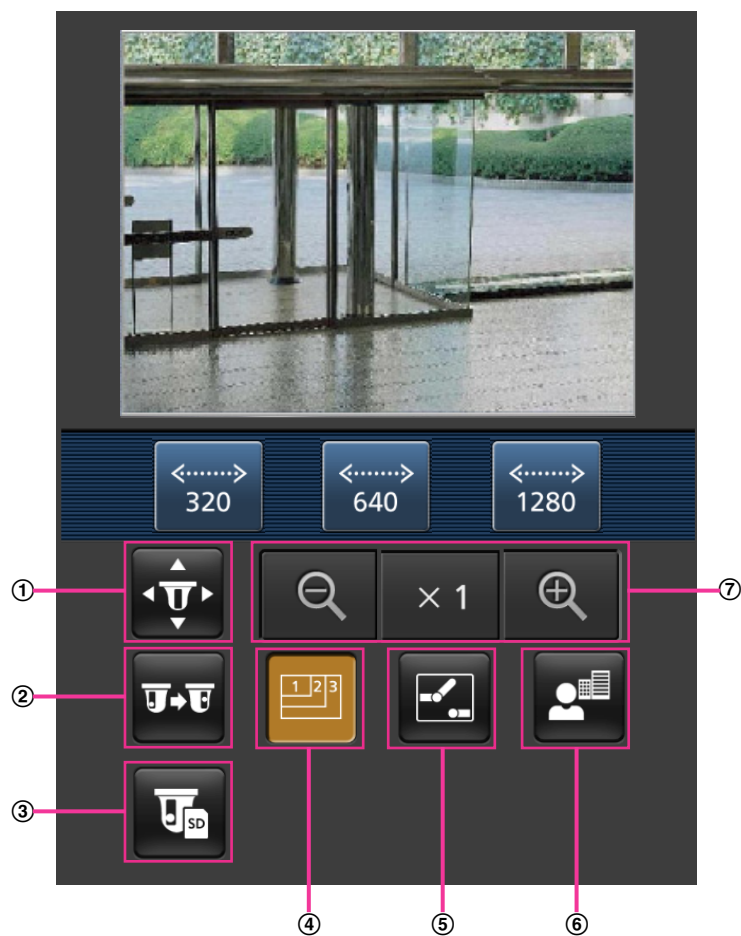
② 操作ボタンエリア
機能選択エリア④で選択したときに、その機能を操作するボタンを表示します。

③ ズーム操作エリア
ズーム操作のボタンを表示します。

④ 機能選択エリア
操作できる機能を表示し、選択すると、操作ボタンエリア②に操作ボタンが表示されます。

お知らせ

- 携帯端末の画面に表示する操作ボタンは、アクセスするユーザーのユーザー権限と機能許可設定により表示されない場合があります。操作ボタンを表示する場合は、ユーザー権限と機能許可の設定（「ユーザー管理」の「ユーザー認証」）が必要です。（→178 ページ）

2 操作したい機能のボタンをクリックします。

① パン／チルト

② プリセット

③ 録画データ再生 SC384 SW175 SW172 ST165 ST162

④ 解像度切換

⑤ AUX制御

⑥ フォーカス SC384

⑦ ズーム表示

以下に各機能を説明します。

① パン／チルト

ボタンを押すと、パン／チルトを操作するためのボタンが画面に表示されます。、、、

ボタンにより、それぞれの方向にパン／チルトします。

② プリセット

ボタンを押すと、プリセットポジションを選択するためのボタンが画面に表示されます。プリセット番号を表示されたボタンから選択することにより、プリセット登録されたカメラの向きでカメラ画像を表示します。

- プリセットポジションはポジション番号１～４のみ表示します。
- 登録されているプリセットポジションのみを表示し、登録されていないプリセットポジションは表示されません。

③ 録画データ再生 SC384 SW175 SW172 ST165 ST162

ボタンにより、SDメモリーカードに録画したH.264動画とJPEG画像を再生できます。詳細については、「1.9 携帯端末でSDメモリーカードの画像を再生する（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）」を参照ください。

お知らせ

- 動画（H.264）はMP4フォーマットでSDメモリカードに保存されます。
- SDメモリカードが挿入されていない場合、または[SDメモリーカード]を「使用しない」に設定されている場合、ボタンは表示されません。

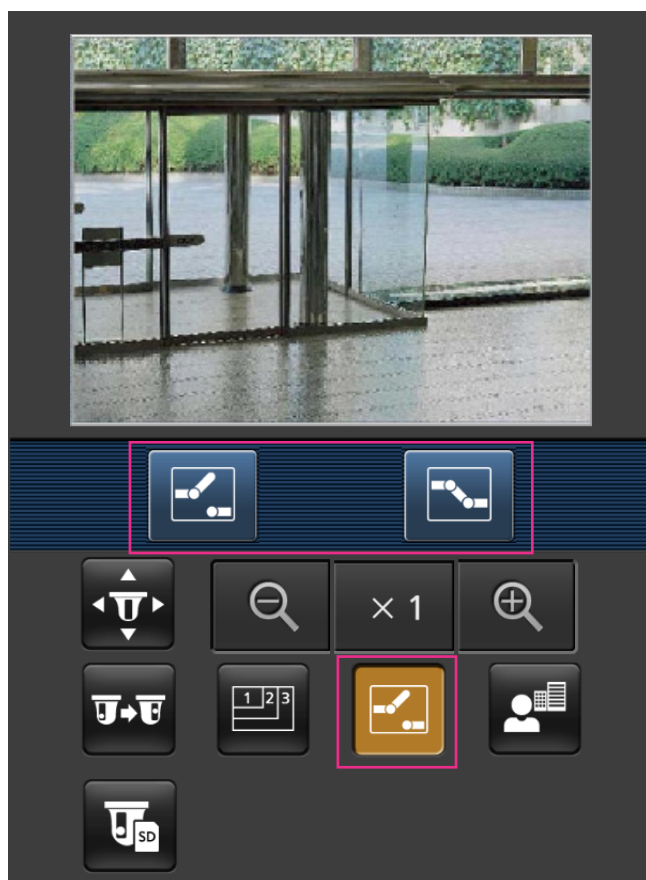
④ 解像度切換

ボタンを押すと、解像度を選択するためのボタンが画面に表示されます。

表示された解像度切換ボタンを選択することにより、解像度を切り換えます。

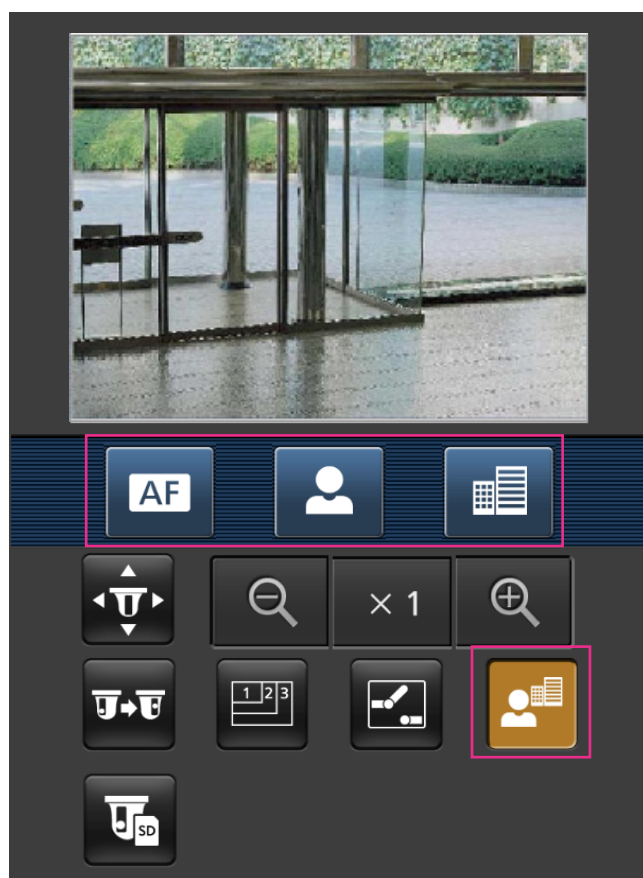
- **アスペクト比4:3時**
  SC384 SW175 SW174W ST165 :
  320×240ドット、640×480ドット（初回表示時）、1280×960ドットの切り換え
  SW172 ST162 :
  320×240ドット、640×480ドット（初回表示時）、800×600ドットの切り換え
- **アスペクト比16:9時**
  SC384 SW175 SW174W ST165 :
  320×180ドット、640×360ドット（初回表示時）、1280×720ドットの切り換え

SW172 ST162 :
320×180ドット、640×360ドット（初回表示時）の切り換え

⑤ AUX制御
ボタンを押すと、AUX出力を操作するためのボタンが画面に表示されます。
、 ボタンにより、AUX出力端子を制御できます。
設定メニューで［端子3］が「AUX出力」に設定されている場合にのみ表示されます。（→161 ページ）

⑥ フォーカス表示 SC384

ボタンを押すと、フォーカス操作をするためのボタンが画面に表示されます。

、 、 ボタンにより、カメラ画像のフォーカス操作ができます。

AF
× 1
1 2 3
SD

⑦ ズーム表示
[ズームアウト]、[×1]、[ズームイン] ボタンにより、カメラ画像のズーム操作ができます。

お知らせ

- 携帯端末に表示される画面サイズは、以下にアクセスすることで変更できます。
  - 画面サイズ　大（display large）：http://IPアドレス/cam/dl
  - 画面サイズ　中（display medium）：http://IPアドレス/cam/dm
  - 画面サイズ　小（display small）：http://IPアドレス/cam/ds
- 「解像度切換」を行っても表示される解像度は変わりますが、画像サイズは変わりません。
- HTTPポート番号が80から変更されている場合は、「http://IPアドレス:ポート番号/cam」[*1]を入力して、本機のポート番号を指定してください。DDNS機能を使用している場合は、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/cam」[*2]を入力してください。
- ネットワークページの［ネットワーク］タブの[HTTPS]－[接続方法]で[HTTPS]を設定している場合は、下記のように入力してください。
  「https://IPアドレス:ポート番号/cam」または、「https://DDNSサーバーに登録したホスト名:ポート番号/cam」
- 認証ダイアログが表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。携帯端末によっては、画面が切り換わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
- 携帯端末からは、音声の受信／送信はできません。
- 携帯端末によっては、画像のサイズが大きい場合に画像の表示ができないことがあります。その場合は、「JPEG」の「画質設定」（→122 ページ）を低画質に近づけると表示されることがあります。

- お使いの携帯端末および契約プランによってはアクセスできない場合があります。

---

*1 IPアドレスは、インターネットからアクセスできるルーターのWAN側のグローバルIPアドレスです。ただし、無線接続対応の携帯端末で、同じLAN内の本機にアクセスする場合は、ローカルIPアドレスです。
*2 インターネットを経由して、本機にアクセスする場合のみです。

1.3 Strada（カーナビ）からカメラ画像を見る（SW175／SW174W／SW172／ST165／ST162）

別売りのカーナビStradaからインターネットを経由して、車内から自宅の様子（静止画（JPEG形式）のみ）を確認できます。
最新画像に更新したり、パン・チルト・ズームなどを操作したりできます。
対応Strada機種：CN-HX1000D、CN-HW1000D、CN-L800SED、CN-L800STD、CN-L800FTD、CN-H510D、CN-H510WD（2013年12月現在）
最新の対応機種については、パナソニックのサポートウェブサイト
（http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html）を参照してください。

重要

- 認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名とパスワードの初期設定は以下になります。
  ユーザー名：admin
  パスワード：12345
  セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。
  （→178 ページ）

お知らせ

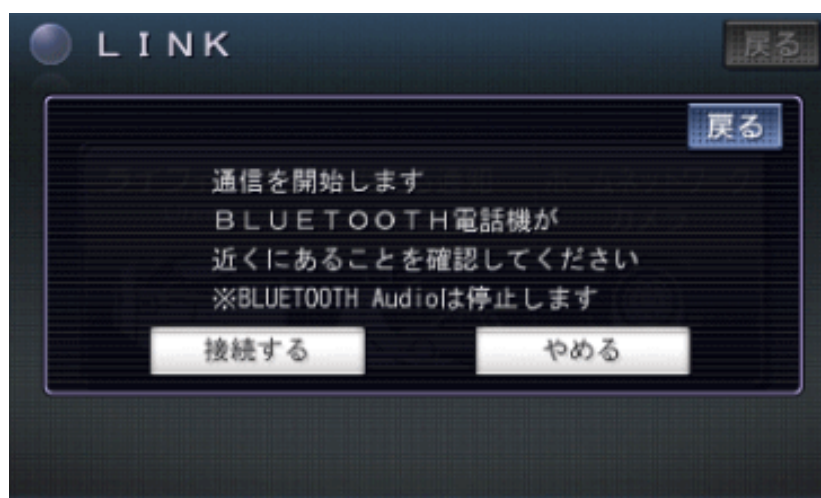
- Stradaでカメラを見るためには、Bluetooth対応の携帯電話が必要です。携帯電話をStradaに登録し、プロバイダーを設定、カメラのURLとポート番号をStradaに設定する必要があります。詳細はStradaの取扱説明書を参照してください。
- Stradaから本機の画像を見るには、あらかじめインターネットに接続するためのネットワーク設定が必要です。
- Stradaの画面に表示する操作ボタンは、アクセスするユーザーのユーザー権限により変更できます。ユーザー権限の設定は、「ユーザー管理」の「ユーザー認証」で設定します。（→178 ページ）

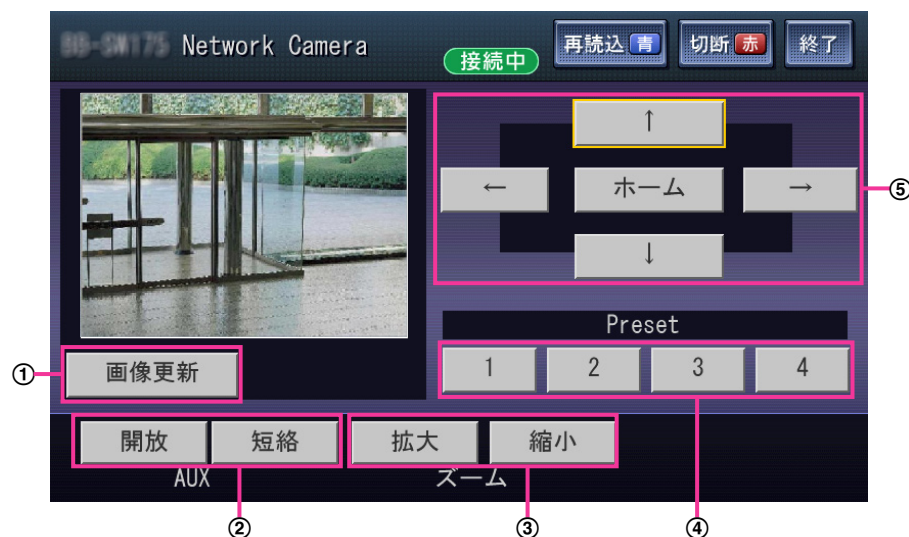
下記の手順は、CN-HX1000D、CN-HW1000Dで行った場合を記載しています。他の機種で手順が異なる場合は、Stradaの取扱説明書を参照してください。

1 ［MENU］ボタンを押します。

2 ツートップメニューから［LINK］を選択します。

3 リンク画面から［ホームネットワークカメラ］を選択します。

4 ［接続する］を選択します。

認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。

→ カメラ画像が表示されます。（ただし、動画は表示できません。）

① **画像更新**：画像を更新します。

② **AUX**：AUX出力端子を制御します。

– **［開放］ボタン**：AUX端子がOpen状態になります。

– **［短絡］ボタン**：AUX端子がClose状態になります。

設定メニューで［端子3］が「AUX出力」に設定されている場合にのみ表示されます。（→161 ページ）

③ **ズーム**：カメラ画像のズーム操作（拡大／縮小表示）ができます。拡大・縮小操作で動く量は、PCでの操作より大きくなります。

④ **Preset**：カメラのプリセットポジション1～4のみ表示されます。プリセット登録された位置にパン／チルトします。

⑤ **パン／チルト／ホームポジション**：［←］、［→］、［↑］、［↓］を押すことで、それぞれの方向にパン／チルトします。また、［ホーム］を押すことで、カメラの向きがホームポジションに移動します。ホームポジション設定時のみ表示されます。

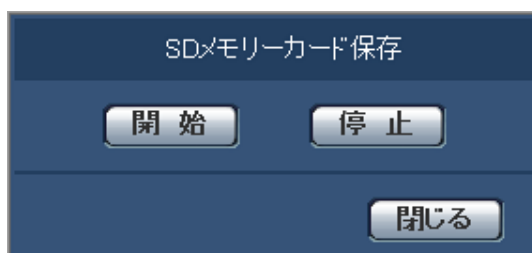
お知らせ

- 「アスペクト比」の設定により画像の解像度が以下のように変わります。（→121 ページ）
  「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合：320×240
  「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合：320×180
- ［認証方式］を「Digest」に設定している場合は、Stradaからカメラにはアクセスできません。（→178 ページ）
- ［接続方法］を「HTTPS」に設定している場合は、Stradaからカメラにはアクセスできません。（→205 ページ）
- Stradaの画面に表示する操作ボタンは、アクセスするユーザーのユーザー権限と機能許可設定により表示されない場合があります。操作ボタンを表示する場合は、ユーザー権限と機能許可の設定（「ユーザー管理」の「ユーザー認証」）が必要です。（→178 ページ）

1.4 手動でSDメモリーカードに画像を保存する（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

ライブ画ページの画像を手動でSDメモリーカードに保存します。
設定メニューの基本ページの［SDメモリーカード］タブをクリックし、「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ操作できます。（→102 ページ）
設定メニューの「録画圧縮方式」で、保存する対象を「JPEG」または「H.264」のどちらかに設定できます（→100 ページ）。「録画圧縮方式」で「JPEG」を選択している場合は静止画が保存され、「H.264」を選択している場合は動画が保存されます。
SDメモリーカード内の画像は、PCに保存して見ることができます。（→107 ページ）

1 ライブ画ページを表示します。（→9 ページ）

2 ［SD］ボタンをクリックします。
→ SDメモリーカード保存画面が別ウインドウで表示されます。

3 ［開始］ボタンをクリックし、SDメモリーカードへの保存を開始します。保存中はSD保存状態表示が赤点灯します。（→12 ページ）
保存間隔の設定は、基本ページの［SDメモリーカード］タブで行います。（→99 ページ）

4 SDメモリーカードへの画像の保存を停止するには［停止］ボタンをクリックします。
→ SD保存状態表示が消灯します。

5 ［閉じる］ボタンをクリックし、画面を閉じます。

お知らせ

- Bドライブに保存された画像データは、基本ページの［SDメモリーカード］タブで、「画像取得」を実行し、ユーザー認証画面からログインすることで取得できます。（→107 ページ）
  画像データの保存先は、Bドライブの固定のディレクトリーになります。「Bドライブのディレクトリー構造について」（→274 ページ）をお読みください。
- ［停止］ボタンをクリックしたあと、すぐに［開始］ボタンをクリックすると、画像の保存が開始されないことがあります。そのときは、再度、［開始］ボタンをクリックしてください。

1.5 アラーム発生時の動作について

本機は以下のアラームが発生すると、設定に従いアラーム動作（アラーム発生にともなうカメラ動作）を行います。

1.5.1 アラームの種類について

- **端子アラーム:** 外部I/O端子1～3にセンサーなどのアラーム機器を接続すると、接続したアラーム機器が動作したとき、アラーム動作を行います。
- **動作検知アラーム:** 設定した動作検知エリアの画像に変化（動き）が検出されると、アラーム動作を行います。
  ※動作検知：VMD（Video Motion Detector）＝動き検出、モーションディテクター機能
- **コマンドアラーム:** ネットワークを経由して接続機器からの独自アラーム通知を受信すると、アラーム動作を行います。

1.5.2 アラーム発生時の動作について

ライブ画ページにアラーム発生通知ボタンを表示する

アラームが発生すると、「ライブ画」ページにアラーム発生通知ボタンが表示されます。（→12 ページ）

重要

- 「状態通知間隔」（→94 ページ）を「定期（30s）」に設定した場合、アラーム発生通知ボタンは30秒ごとに更新されます。このため、アラーム発生後、ライブ画ページにボタンが表示されるまで、最大30秒の遅れが発生する場合があります。

アラーム出力端子に接続された機器にアラームを通知する

アラームが発生すると、アラーム端子から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。信号出力の設定は、アラームページの［アラーム］タブで行います。（→161 ページ、168 ページ）

SDメモリーカードに画像を保存する （SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

アラームが発生すると、SDメモリーカードに画像（JPEG／H.264）が保存されます。SDメモリーカードに画像を保存する設定は、基本ページの［SDメモリーカード］タブ（→99 ページ）、アラームページの［アラーム］タブ（→164 ページ）で行います。

画像を自動的にサーバーへ送信する

アラームが発生すると、あらかじめ指定したサーバーへ画像が送信されます。サーバーへ画像を送信する設定は、アラームページの［アラーム］タブ（→164 ページ）、サーバーページの［FTP］タブ（→186 ページ）で行います。

重要

- SDメモリーカードを使用する場合、［SDメモリーカード］タブの「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。「アラーム発生時」または「手動保存」に設定すると、アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信することができません。

Eメールでアラーム発生を通知する

アラームが発生すると、アラームの発生を知らせるメール（アラーム発生通知）を、あらかじめ登録してあるメールアドレスに送信します。アラームメールの送信先は4件まで登録することができます。また、アラームメール送信時に静止画像を1枚添付して送信することもできます。アラームメールの設定は、アラームページの［通知］タブ（→173 ページ）、サーバーページの［メール］タブ（→185 ページ）で行います。

指定したIPアドレスにアラームが発生したことを通知する（独自アラーム通知）

この機能は、弊社製機器（ネットワークディスクレコーダーなど）を使用する場合に有効な機能です。「独自アラーム通知」を「On」に設定すると、本機がアラーム状態であることを通知することができます。独自アラームの設定は、アラームページの［通知］タブで行います。（→174 ページ）

1.6 FTPサーバーに画像を送信する

FTPサーバーに接続し画像を送信します。以下の設定を行うと、アラーム発生時や指定した時間間隔ごとに、撮影した画像をFTPサーバーへ送信できます。

重要

- FTPサーバーに画像を送信する場合、FTPサーバーにログインできるユーザーを制限するため、FTPサーバーにユーザー名とパスワードを設定してください。

SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 :

- FTPサーバーに画像を送信する場合、基本ページの［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカード」を「使用しない」、または、［録画圧縮方式］が「JPEG」の場合は「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。（→100 ページ）

1.6.1 アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信）

アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信します。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、あらかじめ設定が必要です。

FTPサーバーの設定は、サーバーページの［FTP］タブで行います。（→186 ページ）

アラーム画像送信を行うかどうか、送信画像に関する設定は、アラームページの［アラーム］タブで行います。（→164 ページ）

お知らせ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、設定した枚数を送信できないことがあります。

SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 :

- アラーム画像送信の場合、FTPサーバーへの送信に失敗した画像はSDメモリーカードには保存されません。ただし、FTP定期送信に失敗した画像は保存されます。

1.6.2 指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信）

時間間隔を指定して定期的に画像を送信します。画像を送信するには、あらかじめ設定が必要です。

送信先のFTPサーバーの設定は、サーバーページの［FTP］タブで行います。（→186 ページ）

FTP定期送信を行うかどうか、送信画像とスケジュールの設定は、ネットワークページの［FTP定期］タブで行います。（→222 ページ）

お知らせ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できないことがあります。
- アラーム画像送信と定期送信を同時に設定すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、定期送信で設定した間隔で画像が送信されないことがあります。

1.6.3 定期送信に失敗した画像をSDメモリーカードへ保存する（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

定期送信に失敗した画像を、SDメモリーカードに自動的に保存できます。SDメモリーカード内の画像の保存方法は、基本ページの［SDメモリーカード］タブで設定します。（→99 ページ）

弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使用する場合は、「定期送信」を「Off」（→223 ページ）、SDメモリーカードの「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」（→102 ページ）に設定してください。

重要

- SDメモリーカード内に記録された内容は、故障や障害発生時、原因にかかわらず保証いたしかねます。

お知らせ

- ログリストから「FTP定期送信エラー時」の画像を参照する場合は、「ログ保存」を「On」にしておく必要があります。（→116 ページ）

1.7 ログリストを表示する（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

各種ログの履歴を一覧で表示します。
SDメモリーカードの「録画圧縮方式」により表示形式は異なります。

1.7.1 SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「JPEG」に設定されている場合

以下の履歴を一覧で表示します。

- **アラームログ:** アラーム発生日時、アラームの要因を確認できます。
- **手動/スケジュール保存ログ:** 手動またはスケジュール設定でSDメモリーカードへ画像を保存したときのログを確認できます。
- **FTP定期送信エラーログ:** FTP定期送信に失敗したときのログを確認できます。

基本ページの［ログ］タブ（→116 ページ）で「ログ保存」が「On」に設定されている場合にのみ、ログリストを表示できます。

1 ライブ画ページを表示します。（→9 ページ）

2 ［一覧/再生］ボタンをクリックします。
→ ログリスト表示画面が別ウインドウで表示されます。

① リスト件数

重要

- ログリスト表示画面に複数のユーザーが同時にアクセスすることはできません。

お知らせ

- 「SDメモリーカード」が「使用しない」に設定されている場合、「手動/スケジュール保存ログ」と「FTP定期送信エラーログ」は表示されません。

3 「ログ表示」から表示したいログリストをクリックします。
→ 選択したログリストが表示されます。

お知らせ

- SDメモリーカードに画像が保存されている場合、時間をクリックすると画像を表示できます。(→99 ページ)

ログリスト表示画面について

- **リスト件数**
リストアップされたログの総件数と現在先頭に表示されているログの番号を表示します。

お知らせ

- 表示したいログの番号を入力してキーボードの［Enter］キーを押します。指定した番号のログが画面の1番上に表示されます。

- **［先頭］ボタン**
先頭のログを表示します。
- **［前ページ］ボタン**
前のページのログリストを表示します。

お知らせ

- ［前ページ］ボタンにマウスのポインターを合わせてボタンを長押しすると、件数がカウントダウンされます。ボタンを放すと、ボタンを放したときの番号のログが画面の1番目に表示されます。

- **［次ページ］ボタン**
次のページのログリストを表示します。

お知らせ

- ［次ページ］ボタンにマウスのポインターを合わせてボタンを長押しすると、件数がカウントアップされます。ボタンを放すと、ボタンを放したときの番号のログが画面の1番目に表示されます。

- **［最後］ボタン**
最後のログを表示します。
- **［時間］**
ログが記録された日時を表示します。

お知らせ

- 「時刻表示形式」(→94 ページ)を「Off」に設定した場合、アラームの発生日時が24時間形式で表示されます。
- ログが記録されるタイミングは以下になります。
  - **アラームログ:** アラーム発生の日時がログとして記録されます。
  - **手動/スケジュール保存ログ:** 手動またはスケジュール設定でSDメモリーカードへ保存を開始した日時がログとして記録されます。連続して保存する場合は、1時間ごとの正時(12時、1時、2時など)にログが記録されます。ただし、被写体および設定によっては、ログが記録される間隔は1時間を超える場合があります。
  - **FTP定期送信エラーログ:** 1時間ごとにログが記録されます。

- **［要因］**
アラームが発生した要因を表示します。アラームログリストの場合のみ表示されます。
  - **TRM1:** 端子1へのアラーム入力によるアラーム
  - **TRM2:** 端子2へのアラーム入力によるアラーム

- **TRM3:** 端子3へのアラーム入力によるアラーム
- **VMD:** 動作検知アラームによるアラーム
- **COM:** コマンドアラームによるアラーム

- **[SDメモリーカード]**
SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。
表示内容は、[SDメモリーカード] タブの「容量表示」と同じです。(→106 ページ)
- **[削除] ボタン**
表示中のログリストを削除します。
SDメモリーカードを使用している場合、ログリストに関連付けされている画像も削除されます。

重要

- SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、削除完了までに数時間がかかることがあります。(例えば、2GBを削除の場合、約2時間かかることがあります。)その場合はフォーマットしてください。ただし、フォーマットを行うと、すべての画像が削除されます。
(→106 ページ)
- 削除中はログのみが保存され、画像を新しく保存することはできません。
- 削除が完了するまで本機の電源を切らないでください。
途中で本機の電源が切れた場合は、SDメモリーカードに画像が残ったままになることがあります。この場合、削除操作を行ったログリストの画面で、再度 [削除] ボタンをクリックしてください。

- **[ダウンロード] ボタン**
表示されているログリストの総件数分を1つのファイルとしてPCにダウンロードできます。
- **[閉じる] ボタン**
ログリスト表示画面を閉じます。

1.7.2 SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264(1)」または「H.264(2)」に設定されている場合

以下の履歴を一覧で表示します。

- **アラームログ:** アラーム発生日時、録画記録期間、アラームの要因を確認できます。
- **手動/スケジュール保存ログ:** 手動またはスケジュール設定でSDメモリーカードへ動画を保存したときのログ、録画記録期間を確認できます。

重要

- SDメモリーカードに録画した動画の再生機能を使用する場合は、SDHCメモリーカードを使用してください。SDメモリーカードを使用した場合、被写体および設定によっては、再生時の画像が滑らかに表示されないことがあります。
- 動画録画中は、ブラウザー操作、NTPなどによる時刻変更に制限があります。
  – 時刻を進める操作の場合は、録画を継続した状態で時刻が変更されます。
  – 5秒未満の時刻を戻す操作の場合は、時刻が変更されません。
  – 5秒以上の時刻を戻す操作の場合は、時刻が変更されます。ただし、録画をいったん停止し、その後録画を再開します。
- 以下の設定を変更すると、録画およびライブ画がいったん停止します。
  – SDメモリーカード

- 録画圧縮方式
- 保存モード
- H.264動画録画設定
- アスペクト比
- H.264(1)、H.264(2)設定

1 ライブ画ページを表示します。

2 ［一覧/再生］ボタンをクリックします。

→ ログリスト表示画面が別ウインドウで表示されます。

重要

- ログリスト表示画面に複数のユーザーが同時にアクセスすることはできません。

① 記録期間

SDメモリーカードに保存された録画の期間を表示します。

② ログ表示

ログリストに表示するログの種類を選択します。

- **全て**：すべてのログを表示します。
- **選択**：選択された種類のログのみを表示します。
  - **アラームログ**：アラームが発生した際のログを表示します。
  - **手動/スケジュール保存ログ**：手動保存、スケジュール保存のログを表示します。
- **初期設定**：全て

③ 期間

ログリストに表示するログの期間を設定します。

- **開始**：ログに表示する期間の開始時点を設定します。
  - **最初**：SDメモリーカードに保存された最初のログから表示します。

- **今日**：今日のログを表示します。
- **昨日**：昨日のログを表示します。
- **最新7日間**：6日前から今日までのログを表示します。
- **最新30日間**：29日前から今日までのログを表示します。
- **日時指定**：日時指定ボックスに入力された日時のログから表示します。

- **終了**：「開始」で「最初」、「日時指定」が設定された場合に、ログに表示する期間の終了時点を設定します。
  - **最後**：SDメモリーカードに保存された最後のログまで表示します。
  - **日時指定**：日時指定ボックスに入力された日時のログまで表示します。

④ [検索] ボタン

「ログ表示」、「期間」で指定された条件でログを検索します。検索した結果がログリストに表示されます。

⑤ ログリスト

ログの検索結果が表示されます。「時間」、「記録時間」をクリックすると録画データを再生できます。

- **[先頭] ボタン**：先頭のログを表示します。
- **[前ページ] ボタン**：前のページのログリストを表示します。
- **[次ページ] ボタン**：次のページのログリストを表示します。
- **[最後] ボタン**：最後のログを表示します。
- **[時間]**：ログが記録された日時を表示します。

お知らせ

- 「時刻表示形式」を「Off」に設定した場合、アラームの発生日時が24時間形式で表示されます。
- ログが記録されるタイミングは以下になります。
  - **アラームログ**：「保存モード」が「アラーム発生時」に設定されている場合、アラーム発生の日時と記録時間がログとして記録されます。
  - **手動/スケジュール保存ログ**：手動またはスケジュール設定でSDメモリーカードへ保存を開始した日時がログとして記録されます。連続して保存する場合は、1時間ごとの正時（12時、1時、2時など）にログが記録されます。ただし、被写体および設定によっては、ログが記録される間隔は1時間を超える場合があります。

- **[記録時間]**：SDメモリーカードへデータを保存した時間を表示します。
- **[要因]**：ログが発生した要因を表示します。
  - **ALM**：アラームによるログ
  - **MN/SC**：手動保存、スケジュール保存によるログ
- **[SDメモリーカード]**：SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。
- **[削除] ボタン**：表示中のログリストを削除します。ログリストに関連付けされている画像も削除されます。

重要

- SDメモリーカードに保存されている録画データが多い場合、削除完了までに数時間かかることがあります。（例えば、2GBを削除の場合、約2時間かかることがあります。）そ

の場合はフォーマットしてください。ただし、フォーマットを行うと、すべての画像が削除されます。
- 削除中にアラームによる保存、手動保存、スケジュール保存はできません。
- 削除が完了するまで本機の電源を切らないでください。
途中で本機の電源が切れた場合は、SDメモリーカードにデータが残ったままになることがあります。この場合、削除操作を行ったログリストの画面で、再度［削除］ボタンをクリックしてください。

- **［ダウンロード］ボタン**：表示されているログリストの総件数分をPCにダウンロードできます。
- **［閉じる］ボタン**：ログリスト表示画面を閉じます。

1.8 PCでSDメモリーカードの画像を再生する（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

ログリスト表示画面で時間をクリックすると、ライブ画ページが再生ページに切り換わります。
クリックした日時の画像がSDメモリーカードに保存されている場合、選択した日時の先頭の画像が表示されます。
SDメモリーカードの「録画圧縮方式」により表示形式は異なります。

重要

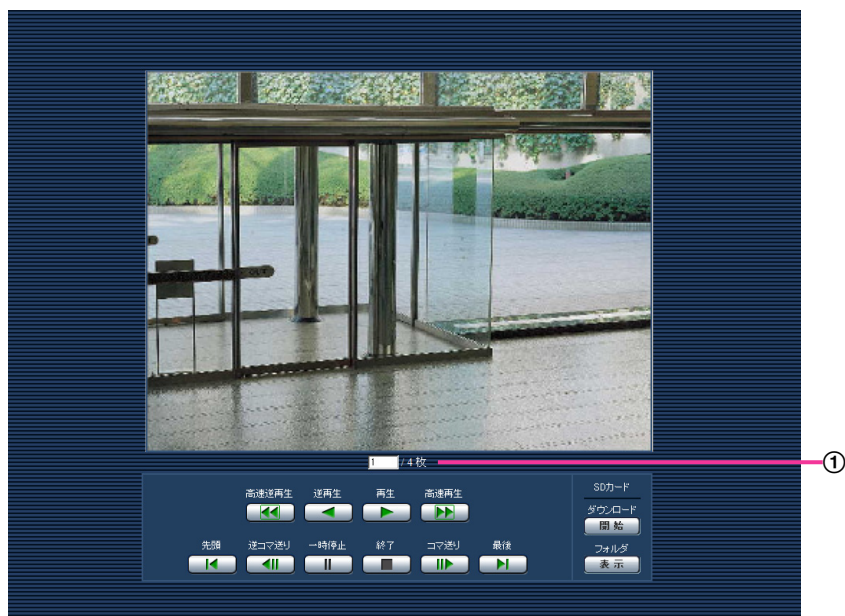
- 画像の再生中やダウンロード中は、画像更新間隔が長くなることがあります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、再生ページに画像が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が「QVGA」および「1280×960」の場合でも、再生ページではVGAサイズで表示されます。

SC384 SW175 SW174W ST165：

- アスペクト比が「16:9」の場合、SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が「320×180」および「1280×720」の場合でも再生ページは「640×360」で表示されます。
アスペクト比が「4:3」の場合、SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が「320×240」、「640×480」および「1280×960」の場合でも再生ページは「800×600」で表示されます。

SW172 ST162：

- アスペクト比が「16:9」の場合、SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が「320×180」の場合でも再生ページは「640×360」で表示されます。
アスペクト比が「4:3」の場合、SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が「320×240」、「640×480」の場合でも再生ページは「800×600」で表示されます。
そのため、再生ページでは粗く見える場合があります。
- ［FTP定期］タブの「送信間隔」が1分以下に設定されている場合、FTP定期送信エラーのログリストからの画像再生時は、SDメモリーカードに保存された画像が順番どおりに再生されないことがあります。
- SDメモリーカードの画像を再生する場合は、ネットワークページ－［ネットワーク］タブの「配信量制御（ビットレート）」を「制限なし」に設定してください。

1.8.1 SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「JPEG」に設定されている場合

① 画像枚数
クリックした時間に保存された画像の総枚数と表示中の画像の番号が表示されます。

お知らせ

- 表示したい画像の番号を入力してキーボードの［Enter］キーを押します。指定した番号の画像が画面に表示されます。

- **［高速逆再生］ボタン**
ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。
高速逆再生中に［再生］ボタン、［逆再生］ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。
- **［逆再生］ボタン**
前の画像へ順番に再生します。
- **［再生］ボタン**
画像を順番に再生します。
- **［高速再生］ボタン**
ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。
高速再生中に［再生］ボタン、［逆再生］ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。
- **［先頭］ボタン**
先頭の画像を表示します。
- **［逆コマ送り］ボタン**
再生中にボタンをクリックすると、前の画像を表示したあと、一時停止します。
一時停止中にクリックすると、ボタンをクリックするたびに前の画像が表示されます。

お知らせ

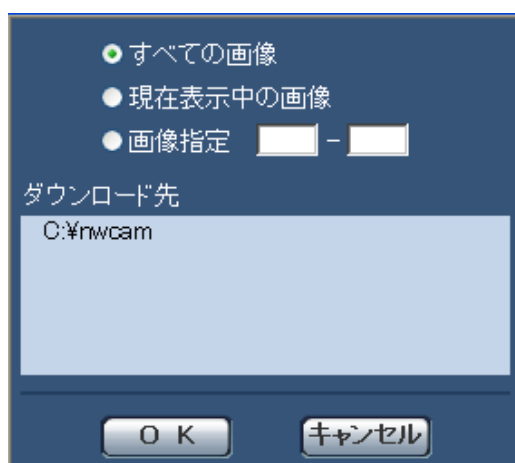
- ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントダウンされます。
ボタンを放すと、画像番号のカウントダウンが止まり、ボタンを放したときの番号の画像が表示されます。

- **［一時停止］ボタン**
  再生中にクリックすると、再生が一時停止します。
  一時停止中にクリックすると再生が再開します。
- **［終了］ボタン**
  再生を終了し、ライブ画ページに戻ります。
- **［コマ送り］ボタン**
  再生中にボタンをクリックすると、次の画像を表示したあと、一時停止します。
  一時停止中にクリックすると、ボタンをクリックするたびに次の画像が表示されます。

  お知らせ

  - ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントアップされます。
    ボタンを放すと、画像番号のカウントアップが止まり、ボタンを放したときの番号の画像が表示されます。
- **［最後］ボタン**
  最後の画像を表示します。

SDカード

- **［開始］ボタン**
  選択した画像がPCにダウンロードされます。
  PCの保存先ディレクトリーを、あらかじめ設定してください。（→116 ページ）
  ［開始］ボタンをクリックすると、以下のような画面が表示されます。
  ダウンロードする画像の対象を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

  - **すべての画像:** 選択した時間の画像をすべてダウンロードします。
  - **現在表示中の画像:** 表示中の画像のみをダウンロードします。
  - **画像指定:** 画像の範囲を指定してダウンロードします。

お知らせ

- ダウンロード中に［キャンセル］ボタンをクリックすると、ダウンロードが中止されます。
  ［キャンセル］ボタンをクリックする前にダウンロードした画像は、PCに保存されます。
- ダウンロード中は、再生ページの操作ボタンが効かなくなります。

- **［表示］ボタン**
  ユーザー認証後、SDメモリーカード内の画像を保存したフォルダーが表示されます。（→107 ページ）

1.8.2 SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264(1)」または「H.264(2)」に設定されている場合

重要

- ご使用のネットワーク環境によっては、動画のダウンロードに失敗する場合があります。

- **［一時停止］ボタン**
  再生中にクリックすると、再生が一時停止します。一時停止中にクリックすると再生が再開します。
- **［再生］ボタン**
  録画データを再生します。
- **［高速再生］ボタン**
  ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。
  高速再生中に［再生］ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。

  お知らせ

  - SDメモリーカードの「H.264 動画録画」－「ビットレート」の設定により、高速再生の最大速度が異なります。
- **［5秒戻り］ボタン**
  ボタンをクリックするたびに、5秒前に戻り録画データを再生します。
- **［5秒送り］ボタン**
  ボタンをクリックするたびに、5秒後に進み録画データを再生します。
- **［終了］ボタン**
  再生を終了し、ライブ画ページに戻ります。
- **［時間］**
  ログが記録された日時を表示します。

- **［記録時間］**
  SDメモリーカードへデータを保存した時間を表示します。
- **［要因］**
  ログが発生した要因を表示します。
  – ALM：アラームによるログ
  – MN/SC：手動保存、スケジュール保存によるログ

SDカード

- **［開始］ボタン**
  選択中の録画データがPCにダウンロードされます。
  PCの保存先ディレクトリーを、あらかじめ設定してください。（→116 ページ）
  ［開始］ボタンをクリックすると、ダウンロード画面が表示されます。ダウンロード画面で［OK］ボタンをクリックします。

お知らせ

- ダウンロード中に［キャンセル］ボタンをクリックすると、ダウンロードが中止されます。
  ［キャンセル］ボタンをクリックする前にダウンロードした動画データは、PCに保存されます。
- 動画データは、約2 MB単位のファイルに保存されるため、1ファイルのサイズを超える容量のデータの場合は、複数のファイルがダウンロードされます。
- PCに保存した動画は、QuickTime PlayerやWindows Media® Player[*1] などを使用して再生することができます。ただし、これらのソフトウェアの動作について、弊社は一切の保証をいたしません。
- SDメモリーカードの状態や、QuickTime Player、Windows Media Playerの状態によっては、動画を再生できない場合があります。
- ダウンロード中は、再生ページの操作ボタンが効かなくなります。

[*1] 対応OSは、Windows 8.1、Windows 8、Windows7のみです。

1.9 携帯端末でSDメモリーカードの画像を再生する（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

携帯端末から本機に接続し、SDメモリーカードに録画したMP4画像とJPEG画像を再生できます。
対応機種は、次のとおりです。（2014年3月現在）

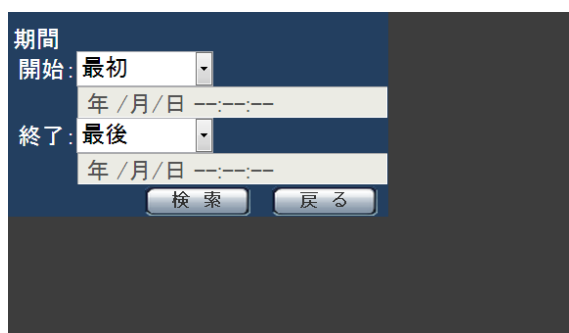
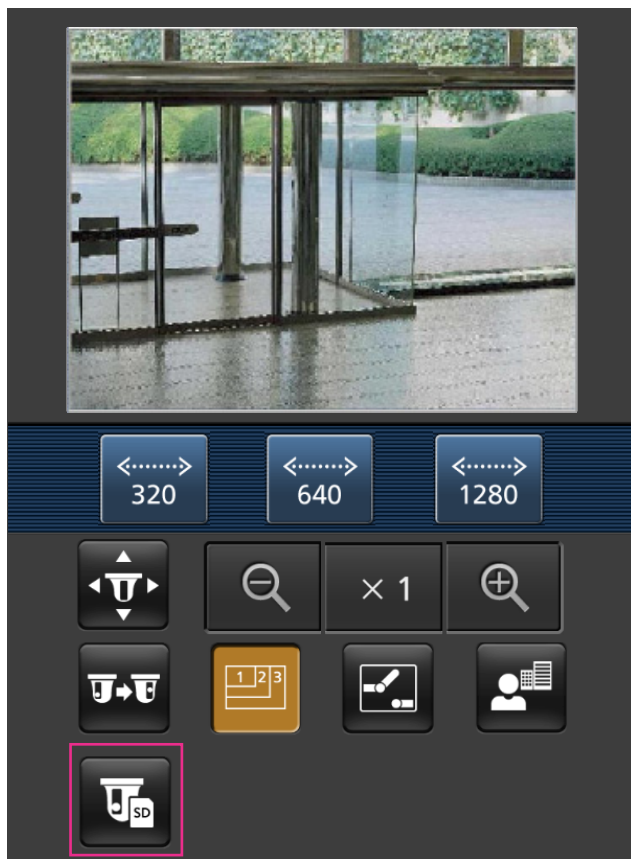
– iPad、iPhone、iPod touch
– Android 端末

対応機種など詳細については、パナソニックのサポートウェブサイト
（http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html）を参照してください。

お知らせ

- 携帯端末の機種によって画面は異なります。
- SDメモリーカードの画像再生は、同時に1ユーザーのみ使用可能です。

1.9.1 H.264動画（MP4ファイル）を再生する

基本ページの［SDメモリーカード］タブの「録画圧縮方式」で「H.264」を選択している場合に、MP4画像を参照できます。

1 携帯端末で「http://IPアドレス/cam」[*1] または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名/cam」[*2] を入力し、決定ボタンを押します。
→ 本機の画像が表示されます。

2 ボタンを押します。
MP4ファイル検索画面が表示されます。

3 MP4ファイル検索画面で「開始」と「終了」をプルダウンメニューから選択して、［検索］ボタンを押します。

- **［開始］：**検索する期間の開始時点を以下から選択します。
  最初 ／ 今日 ／ 昨日 ／ 最新7日間 ／ 最新30日 ／ 日時指定
- **［終了］：**検索する期間の終了時点を以下から選択します。
  最後 ／ 日時指定
- **［検 索］ボタン：**MP4ファイルを「開始」、「終了」に設定された条件で検索を実行します。
- **［戻 る］ボタン：**ライブ画面に戻ります。

「開始」または「終了」で「日時指定」を選択した場合、以下の設定画面が表示されます。
年・月・日・時・分を設定して、［設定］ボタンを押します。

4 検索した結果の最初のMP4録画ファイルを表示します。
検索期間のうち日時が古いファイルから100件分リストに表示します。

① 検索したファイルのプルダウンリストから再生ファイルを選択します。

② スライドバーで見たい画像を選択できます。

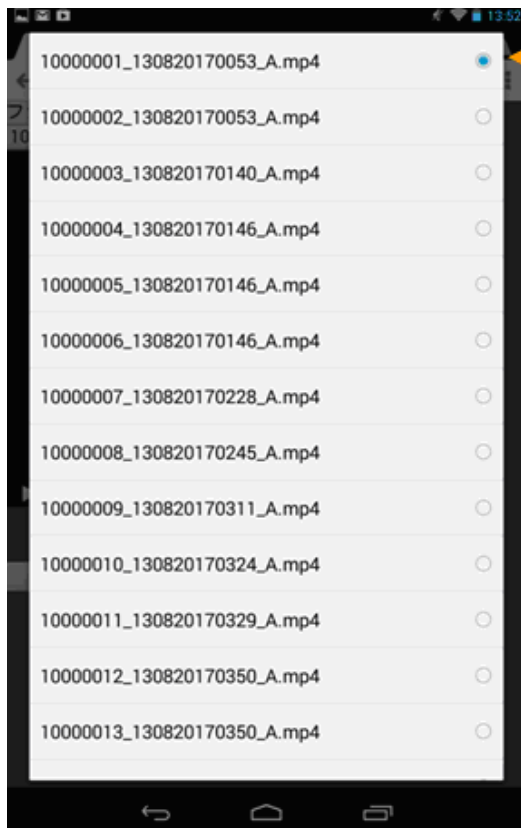
③ 前のファイルを選択できます。

④ 次のファイルを選択できます。

⑤ 検索リストの内容を日時が古い100件のファイルに更新します。

⑥ 検索リストの内容を日時が新しい100件のファイルに更新します。

⑦ MP4ファイル検索画面に戻ります。

5 検索したファイルのプルダウンリストから再生したいファイルを選択します。

6 ▶ボタンで再生します。

---

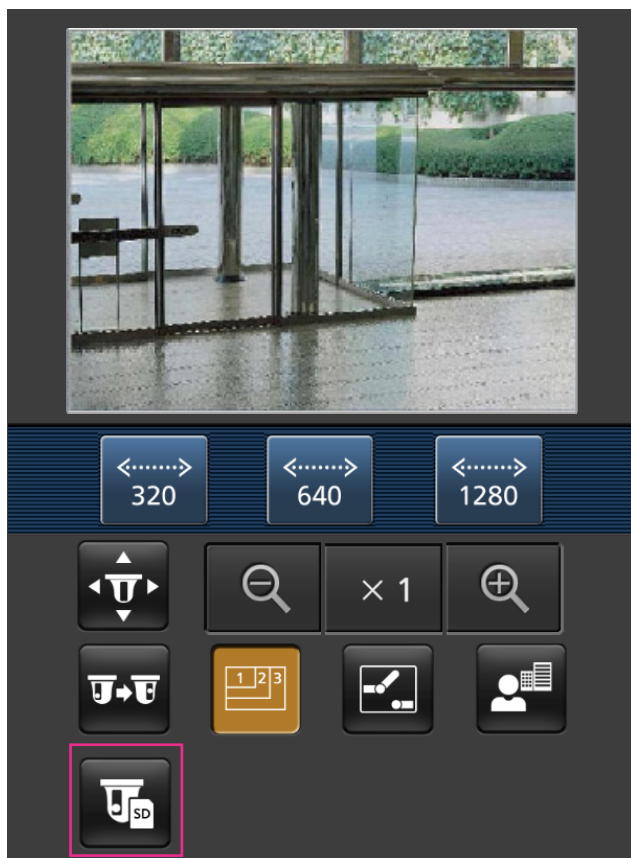
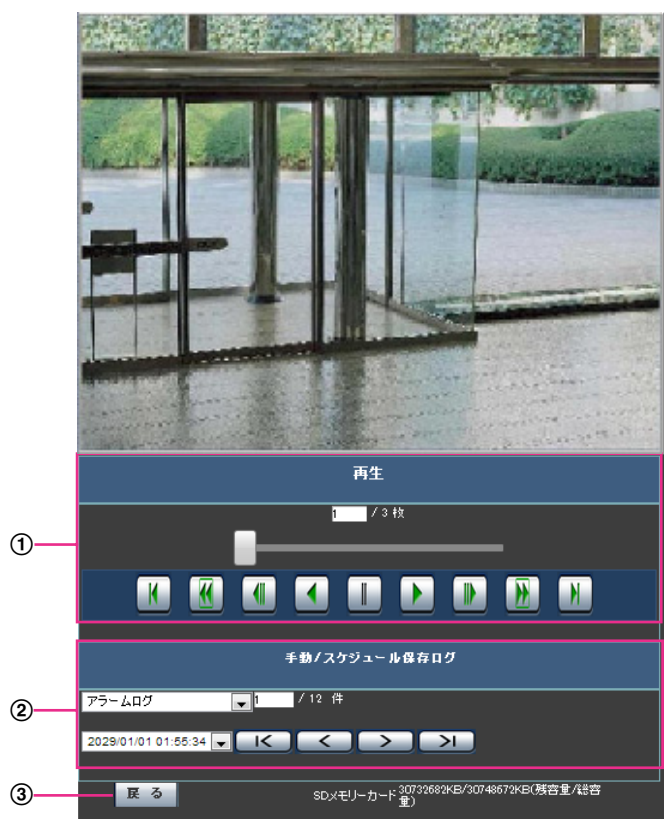
*1 IPアドレスは、インターネットからアクセスできるルーターのWAN側のグローバルIPアドレスです。ただし、無線接続対応の携帯端末で、同じLAN内の本機にアクセスする場合は、ローカルIPアドレスです。

*2 インターネットを経由して、本機にアクセスする場合のみです。

1.9.2 JPEG画像を再生する

基本ページの［SDメモリーカード］タブの「録画圧縮方式」で「JPEG」を選択している場合に、JPEG画像を参照できます。

1 携帯端末で「http://IPアドレス/cam」[*1] または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名/cam」[*2] を入力し、決定ボタンを押します。

→ 本機の画像が表示されます。

2 ボタンを押します。
JPEG画像再生画面が表示されます。

① JPEGログ画像操作パネル
表示するJPEG画像を選択します。

② JPEGログファイル選択パネル
再生するログファイルを選択します。

③ ［戻る］ボタン
ライブ画面に戻ります。

3 JPEGログファイル選択パネルから表示するログの種類とファイルを選択します。

① ログ選択パネル
押すとJPEGログファイル選択パネルを隠すことができます。

② ログ選択リスト
ログの種類を選択します。アラームログ、手動／スケジュール保存ログ、FTP定期送信エラーログから選択します。

③ ログ件数
表示しているログの番号と全件数を表示します。

④ ログ日時と種別
最大30件のログの年月日時分と種別を表示します。

⑤ 先頭ボタン
先頭のログを表示します。

⑥ 前ページボタン
前のページのログを表示します。

⑦ 次ページボタン
次のページのログを表示します。

⑧ 最後ボタン
最後のページを表示します。

4 JPEGログ画像操作パネルで、画像を再生します。

① 再生操作パネル
押すとJPEGログ画像操作パネルを隠すことができます。

② 画像枚数
保存された画像の総枚数と表示中の画像の番号が表示されます。

③ 画像選択スライダーバー
つまみで画像を選択できます。

④ 先頭ボタン
先頭の画像を表示します。

⑤ 高速逆再生ボタン
ボタンを押すたびに、再生する速度が切り換わります。
高速逆再生中に再生ボタン（⑨）、逆再生ボタン（⑦）を押すと、通常の再生速度に戻ります。

⑥ 逆コマ送りボタン
再生中にボタンを押すと、前の画像を表示したあと、一時停止します。
一時停止中に押すと、ボタンを押すたびに前の画像が表示されます。
ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントダウンされます。ボタンを放すと、画像番号のカウントダウンが止まり、ボタンを放したときの番号の画像が表示されます。

⑦ 逆再生ボタン
前の画像へ順番に再生します。

⑧ 一時停止ボタン
再生中に押すと、再生が一時停止します。一時停止中に押すと再生が再開します。

⑨ 再生ボタン
画像を順番に再生します。

⑩ コマ送りボタン
再生中にボタンを押すと、次の画像を表示したあと、一時停止します。
一時停止中に押すと、ボタンを押すたびに次の画像が表示されます。
ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントアップされます。ボタンを放すと、画像番号のカウントアップが止まり、ボタンを放したときの番号の画像が表示されます。

⑪ 高速再生ボタン
ボタンを押すたびに、再生する速度が切り換わります。
高速再生中に再生ボタン（⑨）、逆再生ボタン（⑦）を押すと、通常の再生速度に戻ります。

⑫ 最後ボタン
最後の画像を表示します。

---

*1 IPアドレスは、インターネットからアクセスできるルーターのWAN側のグローバルIPアドレスです。ただし、無線接続対応の携帯端末で、同じLAN内の本機にアクセスする場合は、ローカルIPアドレスです。
*2 インターネットを経由して、本機にアクセスする場合のみです。

2 設定

2.1 ネットワークセキュリティについて

2.1.1 本機に装備されているセキュリティ機能

本機には、以下のセキュリティ機能が装備されています。

① ユーザー認証／ホスト認証によるアクセスの制限
ユーザー認証／ホスト認証の設定を「On」にすると、カメラにアクセスするユーザーを制限することができます。(→178 ページ、181 ページ)

② HTTPポートの変更によるアクセスの制限
HTTPポート番号を変更することで、ポートスキャニングなどの不正アクセスを防止できます。
(→193 ページ)

③ HTTPS機能によるアクセスの暗号化
HTTPS機能を使用することで、カメラへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。(→198 ページ)

重要

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証でアクセス制限する、HTTPS機能でアクセスを暗号化するなどの対策を実施してください。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのブラウザーを閉じてください。
- 管理者のパスワードはセキュリティ強化のため、定期的に変更してください。

お知らせ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

2.2 PCから設定メニューを表示する

カメラの設定は設定メニューで行います。

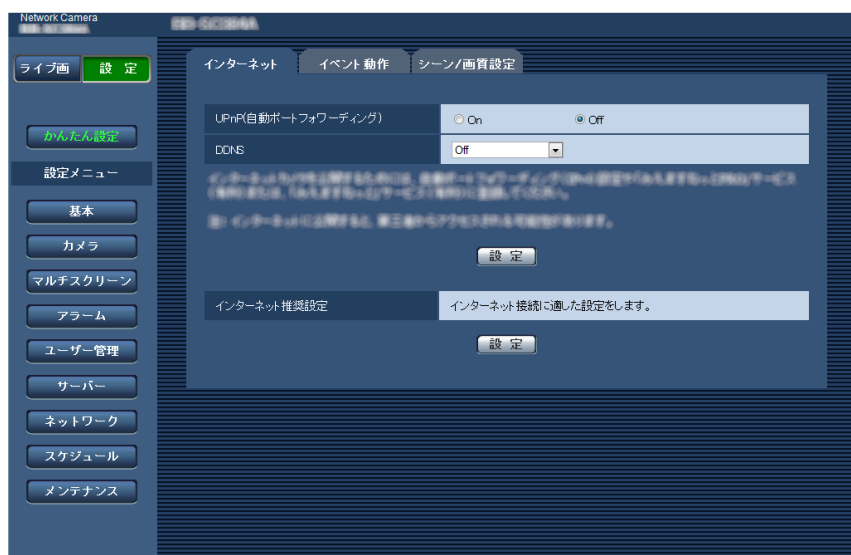
重要

- 設定メニューはアクセスレベルが「1.管理者」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、178 ページをお読みください。

2.2.1 表示のしかた

1 ライブ画ページを表示します。(→9 ページ)

2 ライブ画ページの［設定］ボタンをクリックします。

→ 設定メニューが表示されます。
本メニューについての詳細は、70 ページをお読みください。

2.2.2 操作のしかた

① メニューボタン

② 設定ページ

1 画面左側のメニューボタンをクリックして、設定ページを表示します。
ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。

2 設定ページの各項目を入力します。

3 入力が終了したら、[設定] ボタンをクリックして入力内容を確定します。

重要

- [設定]、[登録]、[実行] ボタンがページ内に複数ある場合は、項目ごとに [設定]、[登録]、[実行] ボタンをクリックしてください。

＜例＞

A欄の項目の設定が終了したら、A欄の下の［設定］ボタン（A-1）をクリックします。
A欄の下の［設定］ボタン（A-1）をクリックしないと、設定内容が確定されません。
上記と同様にB欄の項目の設定が終了したら、B欄の下の［設定］ボタン（B-1）をクリックします。

2.2.3 設定メニューの画面について

お知らせ

- SW175／SW174W／SW172／ST165／ST162は、MPEG-4に対応していません。

① **［設定］ボタン**
設定メニューを表示します。

② **［ライブ画］ボタン**
ライブ画ページを表示します。

③ **［かんたん設定］ボタン**
かんたん設定ページを表示します。かんたん設定ページでは、インターネット公開の設定、アラーム設定やアラーム連動動作などのイベント動作、設置場所に応じた画質の設定や調整などを設定します。（→72 ページ）

④ **［基本］ボタン**
基本ページを表示します。基本ページでは、日時やカメラタイトルなどの基本設定やSDメモリーカードに関する情報を設定します。（→94 ページ）

⑤ **［カメラ］ボタン**
カメラページを表示します。カメラページでは、JPEG／H.264（またはMPEG-4）画像の画質・解像度・動作などカメラに関する設定を行います。（→121 ページ）

⑥ **［マルチスクリーン］ボタン**
マルチスクリーンページを表示します。マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンで表示するカメラを登録します。（→158 ページ）

⑦ **［アラーム］ボタン**
アラームページを表示します。アラームページでは、アラーム発生時のアラーム動作や動作検知エリアの設定、アラーム通知に関する設定を行います。（→161 ページ）

⑧ **［ユーザー管理］ボタン**
ユーザー管理ページを表示します。ユーザー管理ページでは、本機にアクセスするユーザーやPCを制限する認証登録を行います。（→178 ページ）

⑨ **［サーバー］ボタン**
サーバーページを表示します。サーバーページでは、本機がアクセスするメールサーバーとFTPサーバー、NTPサーバーに関する設定を行います。（→185 ページ）

⑩ **［ネットワーク］ボタン**
ネットワークページを表示します。ネットワークページでは、本機のネットワークに関する設定やDDNS（Dynamic DNS）、SNMP（Simple Network Management Protocol）、FTP（File Transfer Protocol）定期送信に関する設定を行います。（→190 ページ）

⑪ **［無線］ボタン** SW174W
無線ページを表示します。無線ページでは、ご使用の無線ルーターなどに本機を無線接続して使用する場合に、無線ネットワークの設定を行います。（→227 ページ）

⑫ **［スケジュール］ボタン**
スケジュールページが表示されます。スケジュールページでは、アラーム入力許可や動作検知許可などを行うスケジュールを設定します。（→238 ページ）

⑬ **［メンテナンス］ボタン**
メンテナンスページを表示します。メンテナンスページでは、システムログの確認やソフトウェアバージョンアップ、ステータスの確認、本機の設定内容の初期化などを行うことができます。（→240 ページ）

⑭ **カメラタイトル**
現在設定しているカメラタイトルを表示します。

⑮ **設定ページ**
各設定メニューのページを表示します。メニューによっては、複数のタブで構成されているページもあります。

2.3 かんたん設定を使用する［かんたん設定］

かんたん設定ページでは、簡単な操作で以下を設定します。

– カメラの画像をインターネットに公開する

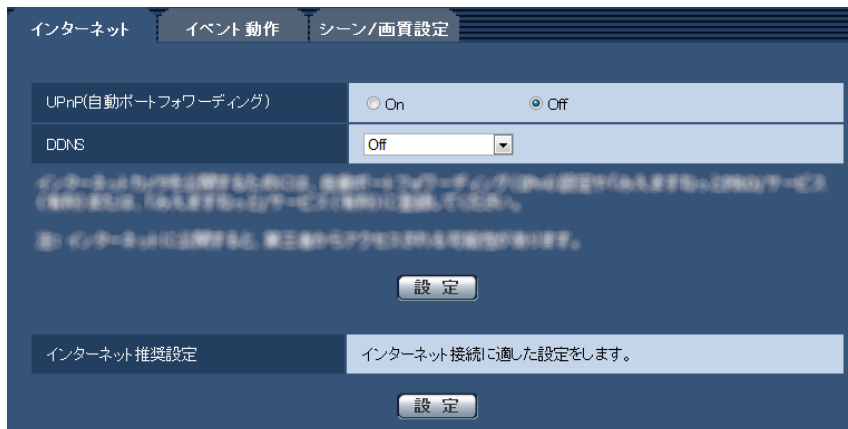
– アラーム／スケジュールによるSDメモリーカードへの録画など、イベント動作を設定する

– 設置場所に応じた画質の設定、調整をする

かんたん設定ページは、［インターネット］タブ、［イベント動作］タブ、［シーン/画質設定］タブで構成されています。

2.3.1 インターネット公開を設定する［インターネット］

かんたん設定ページの［インターネット］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：67 ページ、68 ページ）

ここでは、カメラの画像をパソコン、携帯端末や携帯電話から見るためにインターネットにカメラを公開するポートフォワーディングおよびDDNSサービス（みえますねっとPROやみえますねっと）を設定します。

［UPnP(自動ポートフォワーディング)］

ルーターのポートフォワーディング機能を使用するかどうかをOn／Offで設定します。
自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっていなければなりません。

初期設定：Off

お知らせ

- 自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、PCやレコーダーなどに登録されているカメラのポート番号を変更する必要があります。
- UPnPの機能は、カメラをIPv4ネットワークに接続する場合に使用できます。IPv6には対応していません。
- 自動ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認するには、メンテナンスページの［ステータス］タブをクリックし、［UPnP］のステータスが［有効］になっていることを確認します。（→243 ページ）
  ［有効］が表示されていない場合は、故障かな!?の「インターネットからカメラにアクセスできない」をお読みください。（→256 ページ）

［DDNS］

DDNSサービスを利用することによって、インターネット経由でカメラ画像を見ることができます。

DDNSサービスは、動的（ダイナミック）に変化するグローバルアドレスとドメイン名を対応づけるサービスです。弊社がお勧めするDDNSサービスとクラウドサービスの「みえますねっとPRO」サービス、または、DDNSサービスの「みえますねっと」サービス（有料。IPv6に対応していますが、IPv4／IPv6両方の接続環境が必要です。）を設定できます。
Off：DDNSを使用しません。
みえますねっとPRO：「みえますねっとPRO」サービスを使用します。設定手順については、「2.3.1.1　「みえますねっとPRO」サービスを使用する」を参照してください。
みえますねっと：「みえますねっと」サービスを使用します。設定手順については、「2.3.1.2　「みえますねっと」サービスを使用する」を参照してください。
初期設定：Off

お知らせ

- 「みえますねっとPRO」サービス（有料）の詳細については、「みえますねっとPRO」のウェブサイト（http://panasonic.biz/miemasu/pro/）を参照してください。
- 「みえますねっと」サービス（有料）の詳細については、「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://panasonic.jp/com/miemasu/mnet/）を参照してください。
- 「みえますねっとPRO」サービス、または、「みえますねっと」サービスが正しく動作しているかは、メンテナンスページー［ステータス］タブの「みえますねっとPRO」または「みえますねっと」を参照してください。

[インターネット推奨設定]
カメラをインターネットに公開するために、推奨する設定を行います。
［設定］ボタンをクリックすると、下記の設定項目の設定が変更されることが、ダイアログボックスに表示されます。確認したあとに［OK］ボタンをクリックしてください。

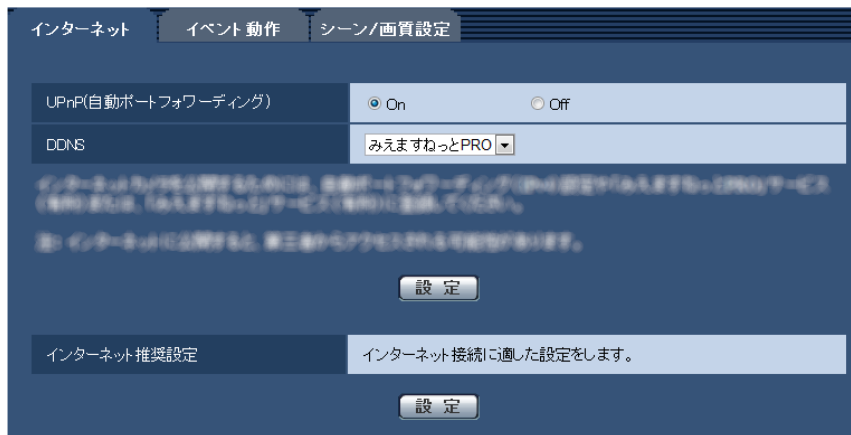
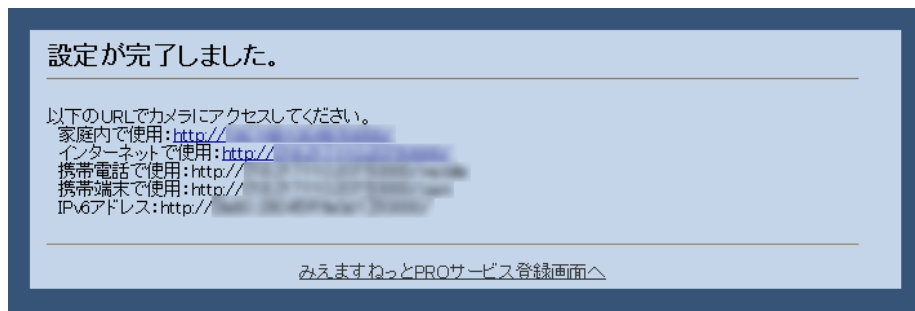
– カメラページの［JPEG/H.264］タブ（または［JPEG/MPEG-4］タブ）
  JPEG
  ［解像度］：VGA／640×360
  H.264(1)・H.264(2)／MPEG-4(1)・MPEG-4(2)
  ［インターネットモード(over HTTP)］：On
  ［配信モード］：ベストエフォート配信
  ［1クライアントあたりのビットレート *］：最大1024 kbps、最小128 kbps
  H.264(1)／MPEG-4(1)
  ［解像度］：VGA／640×360
  H.264(2)／MPEG-4(2)
  ［解像度］：QVGA／320×180
– ネットワークページの［ネットワーク］タブ
  IPv6/v4共通
  ［RTPパケット 最大送信サイズ］：制限あり（1280 byte）
  ［HTTPの最大セグメントサイズ］： 制限あり（1280 byte）

お知らせ

- SW175／SW174W／SW172／ST165／ST162は、MPEG-4に対応していません。

2.3.1.1　「みえますねっとPRO」サービスを使用する

1 かんたん設定ページの［インターネット］タブをクリックします。

2 「UPnP（自動ポートフォワーディング）」で「On」、「DDNS」で「みえますねっとPRO」を選択して、［設定］をクリックします。

3 「設定が完了しました。」の画面が表示されたら、［みえますねっとPROサービス登録画面へ］をクリックします。

→「みえますねっとPRO」サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。

4 画面に従って「みえますねっとPRO」サービスの登録を行います。

→ 詳細は、「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト（http://www.miepro.net/）を参照してください。

5 「みえますねっとPRO」サービスの登録が完了したら、「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト（http://www.miepro.net/）の「モニタリング」にサムネイル表示されるカメラをクリックします。

→ カメラのライブ画面が表示されます。

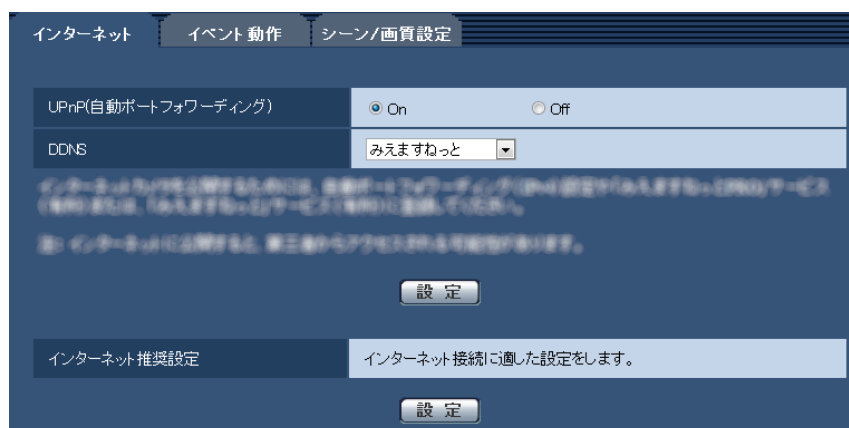
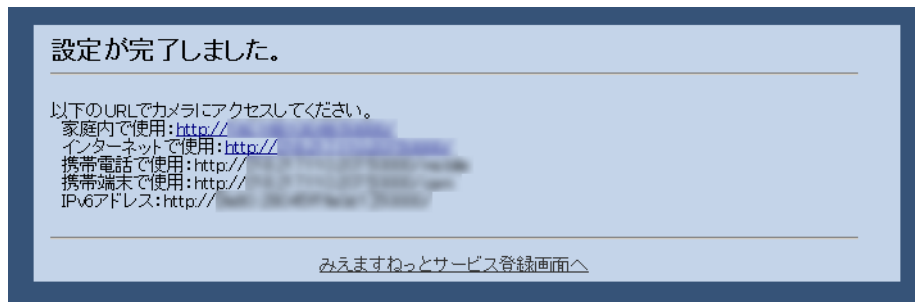
お知らせ

- 画像が正しく表示されない場合には、「インターネット推奨設定」の［設定］ボタンをクリックし、推奨設定を実行してください。
- 「みえますねっとPRO」にログインIDを登録済みの場合：
  トップページでログインID（登録時のEメールアドレス）およびパスワードを入力してください。
- カメラのIPアドレスやポート番号を固定し、レコーダーや録画ビューアソフトなどと組み合わせて使用するときは、以下のどちらかの方法で機器を登録してください。
  – カメラの「みえますねっとPRO登録へのリンク」をクリックしてカメラを登録する
  – 「みえますねっとPRO」サービスの機器登録アプリケーションのIPアドレスやポート番号の設定で「手動で設定する」を選択して登録する

- 「みえますねっとPRO」にログインIDを登録していない場合：
  トップページで「新規会員登録はこちら」をクリックして、ログインIDを作成する必要があります。
- 「みえますねっとPRO」サービスへの登録が完了している場合は、登録したカメラのURLがカメラのメンテナンスページー［ステータス］タブの「カメラURL」に表示されています。このアドレスがインターネット経由でカメラにアクセスするときに使うアドレスです。このURLを忘れないようにブラウザー機能の「お気に入り」に登録することをお勧めします。
- 「カメラURL」は、「みえますねっとPRO」サービスに登録したあとに使用できるようになります。（登録されたカメラのURLが有効になるまで、最大で30分くらいかかる場合があります。）
  ただし、ルーターによっては、カメラと同じネットワーク（LAN）に接続されているPCからは、このURLでアクセスできません。
- 「みえますねっとPRO登録へのリンク」が表示されない場合は、「みえますねっとPRO」サービスへの登録が完了していてPCがインターネットに接続されていることを確認して、ブラウザーの更新ボタンをクリックしてください。
- メンテナンスページー［ステータス］タブにある「みえますねっとPRO」の「ステータス」に「ユーザ登録済」と表示されたときは、「みえますねっとPRO」サービス登録後にカメラを再起動してください。
  再起動後、メンテナンスページー［ステータス］タブにある「みえますねっとPRO」 の「カメラURL」に登録したURLが表示されていることを確認してください。
- 「みえますねっとPRO」サービスには、ダイナミックDNSサービス以外のサービスがあります。詳細は「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイトを参照してください。

2.3.1.2 「みえますねっと」サービスを使用する

1 かんたん設定ページの［インターネット］タブをクリックします。

2 「UPnP（自動ポートフォワーディング）」で「On」、「DDNS」で「みえますねっと」を選択して、［設定］をクリックします。

3 「設定が完了しました。」の画面が表示されたら、［みえますねっとサービス登録画面へ］をクリックします。

→「みえますねっと」サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。

4 画面に従って「みえますねっと」サービスの登録を行います。

→ 詳細は、「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://panasonic.jp/com/miemasu/mnet/）を参照してください。

5 「みえますねっと」サービスの登録画面に「サービスの開始」画面が表示されたら、登録画面を閉じてください。

登録時に設定したカメラURLを使ってカメラにアクセスできます。ただし、カメラと同じネットワーク（LAN）に接続されているPCからは、このURLではアクセスできません。

お知らせ

- 「みえますねっと」サービスへの登録が完了すると、メンテナンスページ－［ステータス］タブの「カメラURL」に登録されたURLが表示されます。（登録されたカメラのURLが有効になるまで、最大で30分くらいかかる場合があります。）
- 「みえますねっと」サービスをあとで解除する場合は、「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://www.miemasu.net/）にアクセスして解約してください。
- みえますねっと設定画面または［ステータス］タブの「みえますねっと」の「カメラURL」に、「期限切れです」と表示されたときは、「みえますねっと」サービス登録後にカメラを再起動してください。再起動後、メンテナンスページ－［ステータス］タブの［みえますねっと］の「カメラURL」に、登録したURLが表示されていることを確認してください。
- ネットワークページ－［ＤＤＮＳ］タブの［「みえますねっと」サービスへのリンク］の横に表示されているURLにアクセスして、「みえますねっと」サービスへの登録情報を確認できます。URLが表示されない場合は、PCがインターネットに接続されていることを確認して、［設定］ボタンをクリックしてください。

2.3.2 イベント動作を設定する［イベント動作］

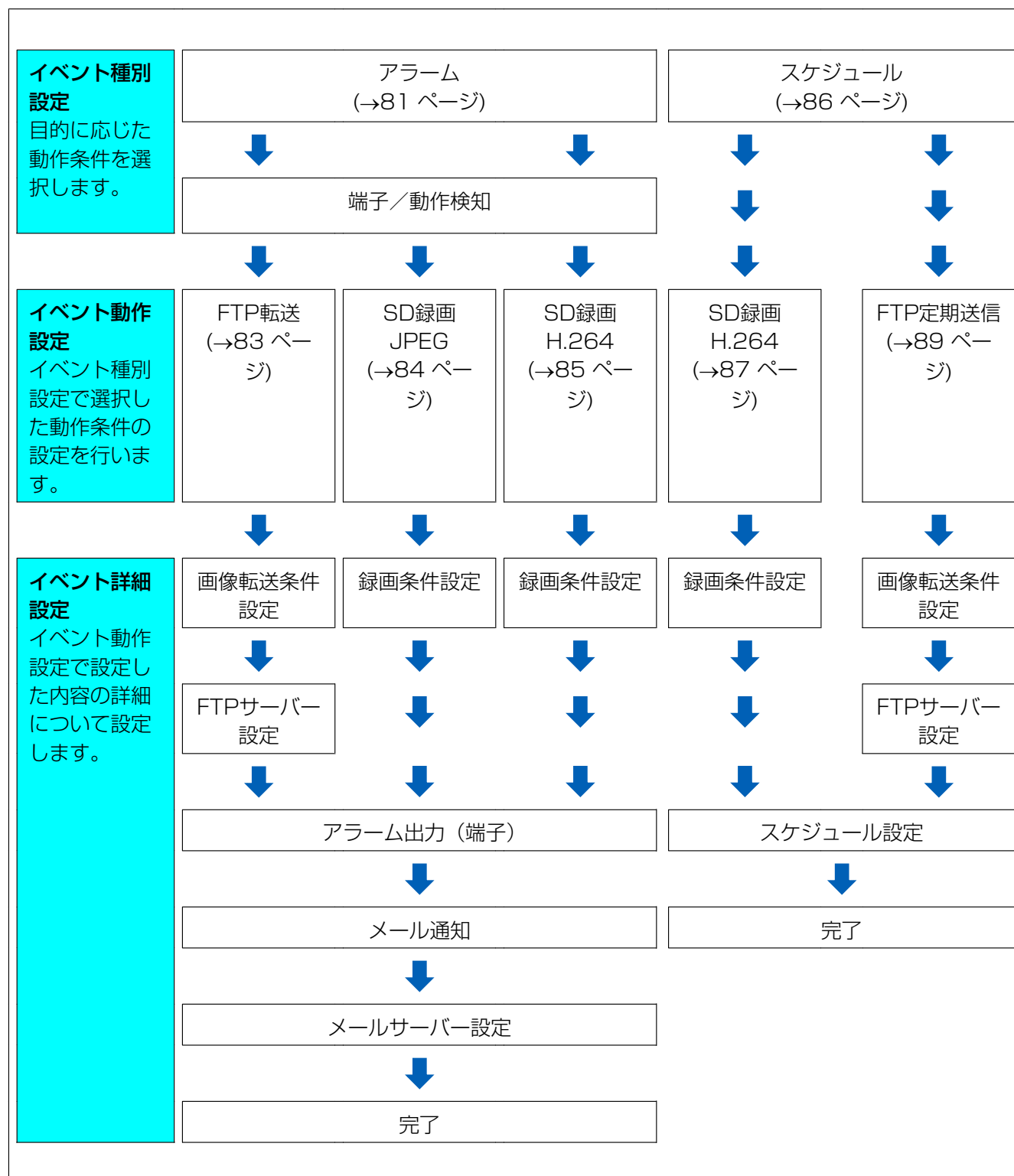
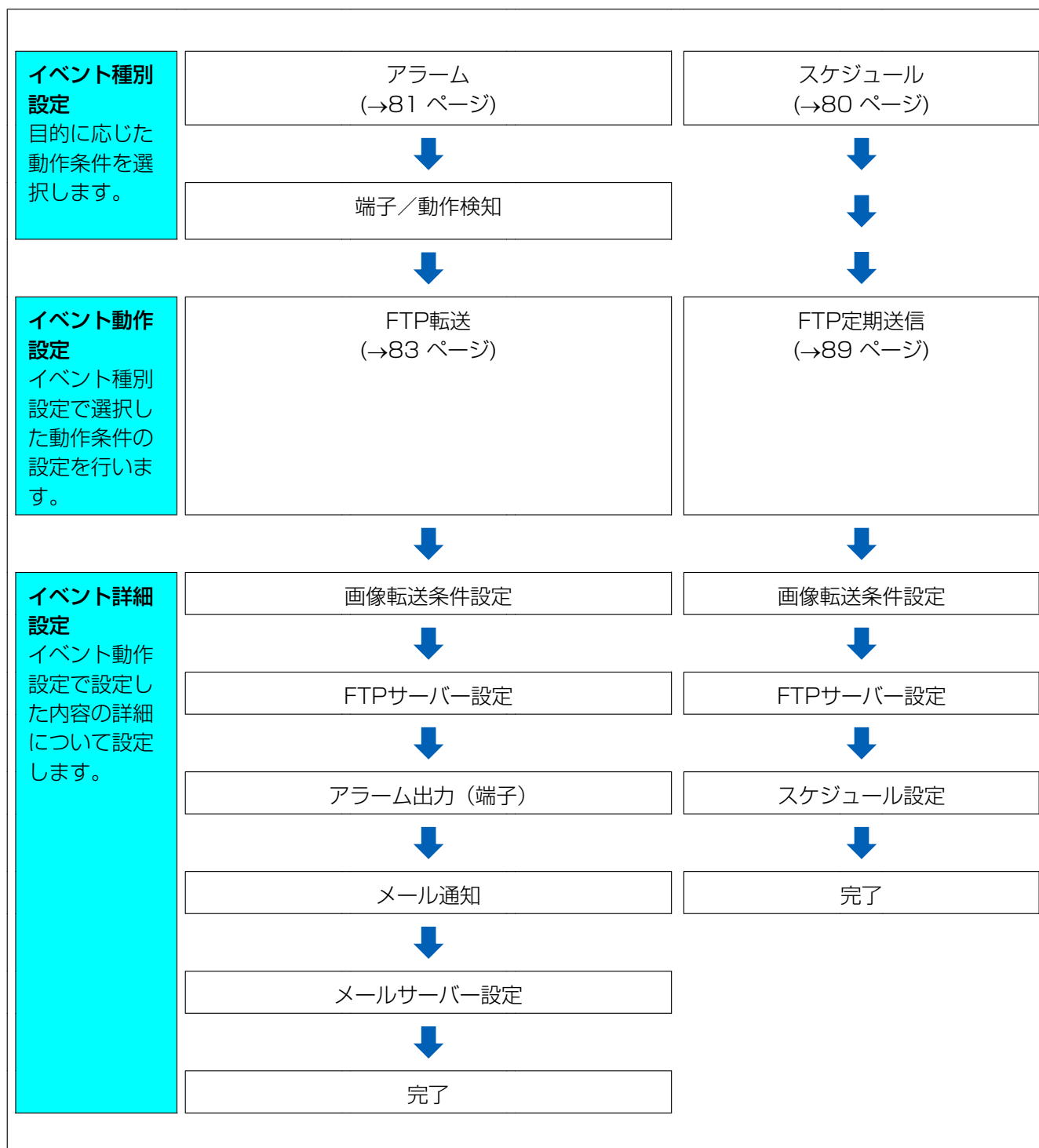
かんたん設定ページの［イベント動作］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：67 ページ、68 ページ）

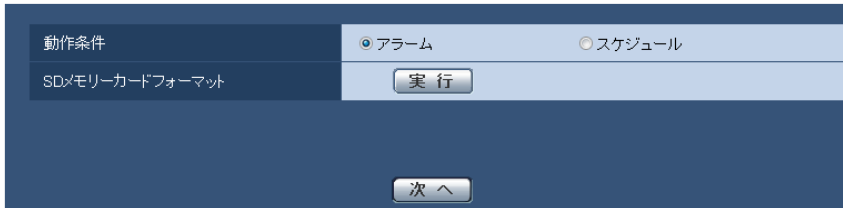
ここでは、現在の設定されている内容を表示します。

イベント動作では、SDスケジュール録画／FTP定期送信／アラーム検知時のイベント動作を設定できます。
各設定画面で設定が完了したら、［次へ］ボタンをクリックして進んでください。
設定の流れは、次のようになります。

お知らせ

- ［次へ］ボタンをクリックすると、画面内の設定項目が保存されます。

イベント動作設定の流れ（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

イベント動作設定の流れ（SW174Wのみ）

2.3.2.1 アラーム／スケジュールを設定する（イベント種別設定画面）

ここでは、イベントの種別を選択します。

[動作条件]

アラーム：アラーム検知時の設定をするときに選択します。
スケジュール：「SD録画（H.264）」「FTP定期送信」をするときに選択します。

[SDメモリーカードフォーマット] SC384 SW175 SW172 ST165 ST162

SDメモリーカードをフォーマットする場合は、［実行］ボタンをクリックします。
［実行］ボタンをクリックすると、「フォーマット」確認画面が表示されます。
［OK］ボタンを押すとフォーマットが開始されます。
「フォーマット」完了画面が表示されたら、ボタンを押します。

重要

- フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存されていたデータはすべて消去されます。
- フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。

[次へ］ボタン

「アラーム」を選択し、［次へ］ボタンをクリックすると、アラーム設定画面が表示されます。（→81 ページ）
「スケジュール」を選択し、［次へ］ボタンをクリックすると、スケジュール種別設定画面が表示されます。（→86 ページ）

2.3.2.2 アラーム：端子および動作検知を設定する（アラーム設定画面）

ここでは、アラームを検出したときの動作について設定します。

アラーム

- **[端子1]**
  端子1の動作設定を行います。
  Off：使用しません。
  アラーム入力：端子アラーム入力を受け付けます。
  – **短絡**：端子状態がOnに変化するとアラーム検出を行います。
  – **開放**：端子状態がOffに変化するとアラーム検出を行います。
  初期設定：Off
- **[端子2]**
  端子2の動作設定を行います。
  Off：使用しません。
  アラーム入力：端子アラーム入力を受け付けます。
  – **短絡**：端子状態がOnに変化するとアラーム検出を行います。
  – **開放**：端子状態がOffに変化するとアラーム検出を行います。
  アラーム出力：「アラーム出力端子」（→168 ページ）で設定した内容に従ってアラーム出力を行います。
  初期設定：Off
- **[端子3]**
  端子3の動作設定を行います。
  Off：使用しません。
  アラーム入力：端子アラーム入力を受け付けます。
  – **短絡**：端子状態がOnに変化するとアラーム検出を行います。
  – **開放**：端子状態がOffに変化するとアラーム検出を行います。
  AUX出力：AUX出力を行います。ライブ画ページに［AUX］ボタンを表示します。
  初期設定：Off
- **[動作検知アラーム]**

On：動作検知エリアが設定されていない場合、プリセットポジション以外の全領域を設定します。プリセットポジションごとに動作検知エリアを設定する場合は、アラームページの［動作検知エリア］タブで設定します。(→169 ページ)
Off：動作検知状態をすべて無効にします。
初期設定：Off

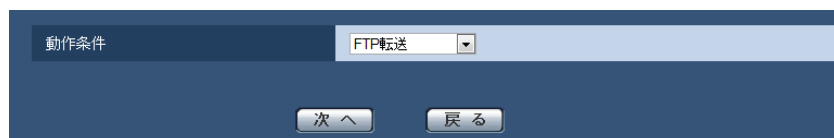
- **［アラーム無検知時間］**
  アラームを検知したあとに、検知動作を行わない時間を設定します。例えば、アラームによって携帯電話にメール通知をする設定の場合、この設定によってメールを送信しすぎないようにすることができます。
  5s／10s／30s／1min／3min／5min／10min
  初期設定：5s

  お知らせ
  - アラームの種類ごとにアラーム無検知時間が管理されます。例えば、端子アラーム1のアラーム無検知時間中であっても、動作検知アラームは検知されます。

アラーム連動動作

- **［端子アラーム1］**
  端子アラーム1を検出したときに連動する動作を以下から選択します。
  Off：端子アラーム1を検出しても、連動動作を行いません。
  1 ～64：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム1を検出したときに、そのポジションに移動します。
  初期設定：Off
- **［端子アラーム2］**
  端子アラーム2を検出したときに連動する動作を以下から選択します。
  Off：端子アラーム2を検出しても、連動動作を行いません。
  1 ～64：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム2を検出したときに、そのポジションに移動します。
  初期設定：Off
- **［端子アラーム3］**
  端子アラーム3を検出したときに連動する動作を以下から選択します。
  Off：端子アラーム3を検出しても、連動動作を行いません。
  1 ～64：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム3を検出したときに、そのポジションに移動します。
  初期設定：Off
- **［動作検知アラーム］**
  モーションディテクターによるアラームを検出したときに連動する動作を以下から選択します。
  Off：モーションディテクターによるアラームを検出しても、連動動作を行いません。
  1 ～64：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、モーションディテクターによるアラームを検出したときに、そのポジションに移動します。
  初期設定：Off
- **［次へ］ボタン**
  ［次へ］ボタンをクリックすると、アラーム種別設定画面が表示されます。(→83 ページ)
- **［戻る］ボタン**
  ［戻る］ボタンをクリックすると、イベント種別設定画面が表示されます。(→80 ページ)

2.3.2.3 アラーム：FTP転送またはSD録画を設定する（アラーム種別設定画面）

ここでは、アラーム種別を「FTP転送」「SD録画（JPEG）」「SD録画（H.264）」から選択します。

「FTP転送」：アラームが発生したときに、画像をFTP転送します。
「SD録画（JPEG）」：アラームが発生したときに、JPEGの録画圧縮方式でSDメモリーカードに録画します。
「SD録画（H.264）」：アラームが発生したときに、H.264の録画圧縮方式でSDメモリーカードに録画します。

お知らせ

- 「FTP転送」「SD録画（JPEG）」「SD録画（H.264）」のいずれか１つのみの動作になります。例えば、「FTP転送」を選択したときは、「SD録画（JPEG）」「SD録画（H.264）」は無効になります。
- 「FTP転送」と「FTP定期送信」は、両方同時に動作させることができます。
- 「SD録画（H.264）」、「SD録画（JPEG）」を選択すると、「FTP転送」と「FTP定期送信」の設定は解除されます。

[次へ］ボタン

「FTP転送」を選択し、[次へ］ボタンをクリックすると、FTP転送設定画面が表示されます。（→83 ページ）
「SD録画（JPEG）」を選択し、[次へ］ボタンをクリックすると、JPEG録画設定画面が表示されます。（→84 ページ）
「SD録画（H.264）」を選択し、[次へ］ボタンをクリックすると、H.264動画録画設定画面が表示されます。（→85 ページ）

[戻る］ボタン

[戻る］ボタンをクリックすると、アラーム設定画面が表示されます。（→81 ページ）

2.3.2.4 アラーム：画像転送または録画条件の詳細を設定する

① FTP転送を設定する（FTP転送設定画面）

ここでは、アラーム検知時のFTP転送を設定します。

- アラーム画像に関する設定を行う場合：

上記画面の設定方法は、2.7.3 アラーム画像に関する設定を行う［アラーム］を参照してください。

- FTPサーバーに関する設定を行う場合：

上記画面の設定方法は、2.9.2 FTPサーバーを設定する［FTP］を参照してください。

② SD録画（JPEG）を設定する（JPEG録画設定画面）（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

ここでは、アラーム検知時のSD録画（JPEG）を設定します。

- SDメモリーカードのJPEG録画に関する設定を行う場合：

上記画面の設定方法は、2.4.2 SDメモリーカードを設定する［SDメモリーカード］（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）のJPEG録画を参照してください。

③ SD録画（H.264）を設定する（H.264動画録画設定画面）（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

ここでは、アラーム検知時のSD録画（H.264）を設定します。

- SDメモリーカードのH.264録画に関する設定を行う場合：

上記画面の設定方法は、2.4.2 SDメモリーカードを設定する［SDメモリーカード］（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）のH.264動画録画を参照してください。

2.3.2.5 アラーム：出力端子を設定する

ここでは、アラーム出力を設定します。

- アラーム出力端子に関する設定を行う場合：

上記画面の設定方法は、2.7.5 アラーム出力端子に関する設定を行う［アラーム］を参照してください。

2.3.2.6 アラーム：メール通知およびメールサーバーを設定する

ここでは、メール通知とメールサーバーを設定します。

- メール通知に関する設定を行う場合：

上記画面の設定方法は、2.7.8 メール通知に関する設定を行う［通知］を参照してください。

- メールサーバーに関する設定を行う場合：

上記画面の設定方法は、2.9.1 メールサーバーを設定する［メール］を参照してください。

2.3.2.7 スケジュール：SD録画またはFTP定期送信を設定する（スケジュール種別設定画面）（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

ここでは、スケジュール種別を「SD録画（H.264）」「FTP定期送信」から選択します。

「SD録画（H.264）」：スケジュール設定した時間に、H.264の録画圧縮方式でSDメモリーカードに録画します。

「FTP定期送信」：スケジュール設定した時間に、FTPサーバーへ画像を送信します。

[次へ] ボタン

「SD録画（H.264)」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、H.264動画録画設定画面が表示されます。(→87 ページ)
「FTP定期送信」を選択し、[次へ] ボタンをクリックすると、FTP定期送信設定画面が表示されます。
(→89 ページ)

[戻る] ボタン

[戻る] ボタンをクリックすると、イベント種別設定画面が表示されます。(→80 ページ)

お知らせ

- 「FTP転送」と「FTP定期送信」は、両方同時に動作させることができます。
- SD録画（H.264）を選択すると、「FTP転送」と「FTP定期送信」の設定は解除されます。

2.3.2.8 スケジュール：SD録画（H.264）を設定する（H.264動画録画設定画面）（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

ここでは、スケジュールによるSD録画（H.264）を設定します。

[上書き]

SDメモリーカードの空き容量が少なくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。

- **上書きあり:** SDメモリーカードの空き容量が少なくなった場合、古い画像から上書きして繰り返し保存します。
- **上書きなし:** SDメモリーカードの空き容量がなくなった場合、SDメモリーカードへの保存を停止します。

初期設定：上書きなし

[解像度]

H.264画像の解像度を以下から選択します。

- **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
  SC384 SW175 ST165 :
  QVGA ／ VGA ／1280×960
  SW172 ST162 :
  QVGA ／ VGA ／ 800×600
- **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
  SC384 SW175 ST165 :
  320×180 ／ 640×360 ／1280×720
  SW172 ST162 :
  320×180 ／ 640×360

初期設定：VGA

[フレームレート *]

録画するH.264のフレームレートを以下から設定します。
1fps／3fps／5fps *／7.5fps *／10fps *／12fps *／15fps *／20fps *／30fps *
初期設定：30fps *

お知らせ

- 「次へ」ボタンをクリックすると、[モード]は「フレームレート指定」に設定されます。(→105 ページ)

ビットレートは、選択した解像度とフレームレートに応じて以下のように設定されます。
単位：kbps

解像度	フレームレート（fps）							
	1	3	5	7.5	10	15	20	30
QVGA	128	256	256	256	384	384	512	512
320×180	128	256	256	256	384	384	512	512
VGA	256	384	384	512	512	512	768	768
640×360	256	384	384	512	512	512	768	768
800×600	512	768	768	768	1024	1024	1024	1536
1280×720	768	1024	1024	1024	1536	1536	1536	2048
1280×960	768	1024	1024	1024	1536	1536	1536	2048

[次へ]ボタン

[次へ]ボタンをクリックすると、SDメモリーカードへの録画スケジュールを設定する画面が表示されます。(→89 ページ)

[戻る]ボタン

[戻る]ボタンをクリックすると、H.264動画録画設定画面が表示されます。(→87 ページ)

• スケジュールの設定を行う場合：

上記画面の設定方法は、2.12 スケジュールの設定を行う［スケジュール］を参照してください。

お知らせ

• 「動作モード」で「SD録画」を未選択の場合は、録画を行いません。

2.3.2.9 スケジュール：FTP定期送信を設定する（FTP定期送信設定画面）

ここでは、FTP定期送信を設定します。

• FTP定期送信に関する設定を行う場合：

上記画面の設定方法は、2.10.6 FTP定期送信を設定する［FTP定期］を参照してください。

- FTPサーバーに関する設定を行う場合：

上記画面の設定方法は、2.9.2 FTPサーバーを設定する［FTP］を参照してください。

- FTP定期送信スケジュールに関する設定を行う場合：

上記画面の設定方法は、2.10.7 FTP定期送信スケジュールの設定を行う［FTP定期］を参照してください。

2.3.3 設置場所に応じた画質を設定する［シーン／画質設定］

かんたん設定ページの［シーン／画質設定］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：67 ページ、68 ページ）

ここでは、「シーン選択」と「画質調整」の2つの方法で画質の設定、調整をします。

重要

- 設置環境、被写体によっては、最適な画質設定ができない場合があります。詳細な調整は、カメラページー［画質／ポジション］タブの画質調整画面で行ってください。（→139 ページ）

［設定方法］

画質の設定方法を以下から選択します。
シーン選択：設置場所のシーンを選択することで適切な画質を設定します。
画質調整：現在の画像の状態から調整内容を選択して画質を調整します。
初期設定：シーン選択

お知らせ

- 設定の順序によっては、先に設定した画質設定効果が、後から設定した内容で変更される場合があります。設定後の画像、動作を確認のうえ、使用してください。

「シーン選択」を選択した場合

［シーン選択］

カメラの設置場所に近い環境を選択することで、適切な画質を設定します。

シーン選択	設定内容
標準 カラーナイトビューモード：Off	標準的な画質に設定する。
標準 カラーナイトビューモード：On	標準的な画質に設定する。 カラーナイトビューモードをOnに設定する。 カラーナイトビューモードをOnにすると、薄暗い場所ではカメラ画像を明るくする。
屋内（オフィス：蛍光灯・LED照明）	照明の影響によりカメラ画像にノイズが入る場合に、電源周波数の設定を行い、ノイズを改善する。
屋内（窓際、エントランス）	カメラ画像に暗い部分と明るい部分がある場合に、明暗を自動的に調整し、暗い部分と明るい部分を見えやすくする。
屋内（倉庫：水銀灯照明）	水銀灯やナトリウム灯など特殊な照明を使用している環境で、自然な色合いに調整する。 屋内設置の場合は、電源周波数の設定を行い、ノイズを改善する。
屋外（駐車場、屋外商店街）	
屋外（道路、自動車の夜間撮影）	暗い環境での画像のぶれやヘッドライトの影響による白飛びを緩和する。

カラーナイトビューモードについて

- 撮影環境が暗くなったときは、シャッタースピードが遅くなり、カメラ画像を明るくして被写体を確認しやすくします。
- カラーナイトビューモードをOnにしている場合は、以下の現象が発生することがあります。
  - フレームレートが低下する
  - オートフォーカスやホワイトバランス（自動）の動作が遅くなる
  - 動きのある被写体を見るときやパン／チルト／ズーム操作をするときに画像がぶれる
  - 暗い被写体を映しているときに、画面全体に白点、または色のついた光の点が生じる

[電源周波数]

「シーン選択」で「屋内（オフィス：蛍光灯・LED照明）」または「屋内（倉庫：水銀灯照明）」を選択した場合、カメラを設置した地域の電源周波数を50Hz地域／60Hz地域で設定します。（東日本：50Hz地域、西日本：60Hz地域）
初期設定：50Hz地域

「画質調整」を選択した場合

[画質調整]

現在の画像の状態から、調整したい内容を選択して画質を調整します。

画質調整	調整内容
明るさ	画像を明るくする。
	画像の明るさを抑える。
夜間映像	暗いときは白黒で表示する。
	暗いときもカラーで表示する（白黒を使用しない）。

画質調整	調整内容
色あい	色を濃くする。
	色を薄くする。
	自然な色合いにする（画像が赤色）。
	自然な色合いにする（画像が緑色）。
輪郭補正	画像の輪郭をシャープにする。
	画像の輪郭をソフトにする。
コントラスト	暗いところのコントラストを上げる。
	白飛びしたところを見えるようにする。
	逆光で見えないところを見えるようにする。
	全体的にコントラストを上げる。
ノイズ	暗いところのノイズを抑える。
	明るいところのノイズを抑える。

［元に戻す］ボタン

［元に戻す］ボタンをクリックすると、［設定］ボタンをクリックする直前の設定に戻すことができます。他の画面に移行すると、［元に戻す］ボタンによって設定を戻すことはできません。

［画質設定初期化］

［実行］ボタンをクリックすると、画質設定を初期設定に戻します。

2.4 本機の基本設定を行う［基本］

基本ページでは、カメラタイトルや日時設定、SDメモリーカード、ログに関する設定を行います。
基本ページは、［基本］タブ、［SDメモリーカード］タブ[*1]、［ログ］タブ[*1]で構成されています。

---

*1 SC384 SW175 SW172 ST165 ST162

2.4.1 基本設定を行う［基本］

基本ページの［基本］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：67 ページ、68 ページ)
ここでは、カメラタイトルおよび日時などの設定を行います。

[カメラタイトル]
本機の名称を入力します。入力後、[設定] ボタンをクリックすると、入力した名称がカメラタイトルに表示されます。
入力可能文字数: 0～20文字
入力不可文字: 半角記号「"」「&」
初期設定: 品番が表示されます。

[日時]
現在の日付時刻を入力します。「時刻表示形式」で「12 h」を選択した場合は、「AM」または「PM」を選択します。
設定可能範囲：2010/01/01 00:00:00～2035/12/31 23:59:59

重要
- 環境温度や使用時間などの条件によって、設定した日付・時刻に誤差が生じる場合があります。システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合、NTPサーバーを使用してください。(→187 ページ)

[時刻表示形式]
時刻の表示方法を24 h／12 h／Offから選択します。「日時」は、この設定にあわせて入力してください。日付時刻を表示しない場合は、「Off」に設定してください。
初期設定：24 h

[日付表示形式]
日付の表示形式を選択します。「日時」を「2014年4月1日　13時10分00秒」に設定した場合、それぞれの表示形式は次のようになります。
- **DD/MM/YYYY:** 01/04/2014 13:10:00
- **MM/DD/YYYY:** 04/01/2014 13:10:00
- **DD/Mmm/YYYY:** 01/Apr/2014 13:10:00
- **YYYY/MM/DD:** 2014/04/01 13:10:00
- **Mmm/DD/YYYY:** Apr/01/2014 13:10:00

初期設定：YYYY/MM/DD

[NTP]
[NTP設定へ] をクリックすると、サーバーページの [NTP] タブが表示されます。(→187 ページ)

[タイムゾーン]
使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。
初期設定：(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京

[サマータイム]
サマータイムを使用するかどうかをIn／Out／Autoで設定します。サマータイムを使用する地域で設定します。
- **In:** 時刻をサマータイムにします。時刻表示に「*」が表示されます。
- **Out:** サマータイムを解除します。
- **Auto:** 開始日時、終了日時設定（月、週、曜日、時刻）に従って、サマータイム時刻に切り換えます。

初期設定: Out

[開始日時] [終了日時]

[サマータイム] 設定で「Auto」を選択したとき、サマータイムの開始日時、終了日時を月、週、曜日、時刻で設定します。

[画面内文字表示]

画像上に文字列を表示するかどうかをOn／Offで設定します。
「On」に設定すると、「画面内文字（A～Z、0～9、カナ）」で入力した文字列が、「表示位置」で選択した位置に表示されます。
初期設定: Off

お知らせ

- プリセット移動を行うと、画面内文字が消去されて、プリセットのポジション名称が表示されます。

[画面内文字（A～Z、0～9、カナ）]

画像内で表示する文字列を入力します。
入力可能文字数: 0～20文字
入力可能文字: 0～9（半角）、A～Z（半角、大文字）、全角カナ、半角記号「!」「"」「#」「$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「,」「-」「.」「/」「:」「;」「=」「?」
初期設定: なし（空白）

お知らせ

- カナ文字の濁点および半濁点は、単独で1文字として扱われます。

[表示位置]

ライブ画ページの画像内で、日時と画像内に表示される文字列を表示する位置を選択します。

- **左上**：画面内の左上に表示します。
- **左下**：画面内の左下に表示します。
- **右上**：画面内の右上に表示します。
- **右下**：画面内の右下に表示します。

初期設定：左上

[明るさ状態表示]

明るさ調整時にライブ画ページの画像内に明るさ状態を表示するかどうかをOn／Offで設定します。
初期設定：On

[ランプ表示]

以下のランプの点灯／消灯方法を選択します。

- リンクランプ SC384
- アクセスランプ SC384
- 状態表示ランプ

点灯（常時）：すべてのランプが状態に応じて点灯します。
点灯（アクセス時）：画像閲覧時に状態表示ランプのみが点灯します。
消灯：すべてのランプを消灯します。

- WIRELESSボタン（WPSランプ） SW174W

点灯（常時）：WPS運用状態に応じて点灯します。
点灯（アクセス時）：WPS起動中は点灯し、通常時は消灯します。
消灯：WPS起動中は点灯し、通常時は消灯します。

初期設定：点灯（常時）

お知らせ

- **リンクランプ（橙色）**：通信機器と通信可能になると点灯します。
- **アクセスランプ（緑色）**：ネットワークにアクセスしているときに点灯します。
- **状態表示ランプ（赤色／橙色／緑色）**：以下のように状態に応じて点灯します。

運用状態		ランプ状態
電源投入時	ネットワーク未接続時	橙点滅→橙点灯
	ネットワーク接続時	橙点滅→緑点滅→緑点灯
待機時および通信中（ケーブル未接続）		橙点灯
待機時および通信中（ケーブル接続済み）		緑点灯
バージョンアップ中		橙点滅
初期化動作中		橙点滅→消灯
UPnPによるポートフォワーディングエラー		橙点滅 （2秒間隔（1秒点灯／1秒消灯））
本製品に異常発生		赤点滅
SDメモリカードに書き込みできない*1		赤点灯

- **WIRELESSボタン（赤色／橙色／緑色）** SW174W：以下のように状態に応じて点灯します。

運用状態	ランプ状態
WPS未設定	消灯
WPS起動中	橙点滅
WPS成功（WPS定義済み）	緑点灯
WPS失敗	赤点滅約10秒→消灯

SW175 SW172 ST165 ST162：

- FUNCTIONボタンの点灯／消灯は、ランプ表示の設定に影響されません。FUNCTIONボタンの詳細は、取扱説明書 基本編を参照ください。

［状態通知間隔］

本機の状態を通知する間隔を以下から選択します。
本機の状態に変化があったときは、ライブ画ページに、アラーム発生通知ボタン、［AUX］ボタン、［SD保存状態表示］*1を表示して、知らせます。

- **定期（30s）**：30秒ごとに状態を更新し、通知します。
- **リアルタイム:** 状態に変化があった場合に通知します。

初期設定：定期（30s）

お知らせ

- ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。

- 複数のカメラで同じ「状態通知受信ポート番号」を使用している場合、「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定していても、状態通知はリアルタイムに通知されません。その場合は、「状態通知受信ポート番号」を変更してください。

[状態通知受信ポート番号]
「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定している場合のみ、状態を通知する通知先の受信ポート番号を入力します。
設定可能ポート番号：1～65535
初期設定：31004
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670

[プラグインソフトウェアの自動インストール]
表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールするかどうかを設定します。
- **許可する:** 表示用プラグインソフトウェアを本機からPCへインストールできます。
- **許可しない:** 表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールできません。

初期設定：許可する

重要
- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされていないPCでは、H.264（またはMPEG-4）、MJPEGの表示や音声の受話／送話、ログ表示、全画面表示を行えません。
- プラグインソフトウェアのインストール回数は、メニュー画面のメンテナンスページの［バージョンアップ］タブで確認できます。

[言語選択]
カメラにアクセスしたときに表示される最初の言語を以下から選択します。
自動／英語／日本語／イタリア語／フランス語／ドイツ語／スペイン語／中国語／ロシア語／ポルトガル語
自動：ブラウザーで使用している言語が自動で選択されます。本機でその言語に対応していない場合は、英語が選択されます。
初期設定：日本語
ライブ画面でも表示言語を切り換えることができます。（→12 ページ）

お知らせ
- 「自動」に設定している場合、携帯電話画面は、英語で表示されます。「日本語」に設定している場合は日本語で表示されます。

[モニター出力]
調整用モニター出力端子（MONITOR OUT）からモニターに出力する映像フォーマットを設定します。
NTSC／PAL
初期設定：NTSC

お知らせ
- モニター出力は、設置時やサービス時にビデオ受像機で画角などを確認することを目的としたものです。録画および監視目的には使用できません。

[ライブ画ページ配色]
ライブ画ページの配色を以下から選択します。

ネイビー／アクア／グレー
初期設定：ネイビー

---

*1 SC384 SW175 SW172 ST165 ST162

2.4.2 SDメモリーカードを設定する［SDメモリーカード］（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

基本ページの［SDメモリーカード］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：67 ページ、68 ページ）

ここでは、SDメモリーカードに関する設定を行います。

基本 | SDメモリーカード | ログ

SDメモリーカード	◉使用する　○使用しない

設 定

録画圧縮方式	JPEG

設 定

JPEG/H264共通	
SDメモリーカード残容量通知	50%
保存モード	FTP定期送信エラー時
上書き	○上書きあり　◉上書きなし

設 定

JPEG録画	
ファイル名	img_
保存間隔・枚数(プレアラーム)	保存間隔 1fps　保存枚数 Off
保存間隔・枚数(ポストアラーム)	保存間隔 1fps　保存枚数 100枚
解像度	VGA

設 定

H264 動画録画	
解像度	QVGA
モード	フレームレート指定
フレームレート*	30fps *
制御期間(可変ビットレート時)	24h
ビットレート	1024kbps
画質	標準
リフレッシュ間隔	1s

設 定

SDメモリーカード情報	
容量表示	30732288KB/30748672KB(残容量/総容量)
フォーマット	実 行

SDメモリーカード画像取得	
画像取得	実 行

SDメモリーカード

[SDメモリーカード]

SDメモリーカードを使用するかどうかを、使用する／使用しないで設定します。

初期設定：使用する

重要

- SDメモリーカードを使用しない場合は、「使用しない」に設定してください。
- 本機からSDメモリーカードを取り外すときは、必ず「使用しない」に設定してから、SDメモリーカードを取り外してください。「使用する」に設定している場合にSDメモリーカードを取り外すと、データが壊れるおそれがあります。
- 「使用する」に設定している場合にSDメモリーカードを取り付けると、「保存モード」の設定に従い、データの保存を行います。
- SDメモリーカードを取り付けたあとは、「使用する」に設定してください。
- SDメモリーカードに保存された画像を再生またはダウンロードする場合は、[ログ] タブ(→116 ページ) で「ログ保存」を「On」に設定してください。
- 画像更新間隔が短いと、通知や録画のタイミング・間隔がずれることがあります。また、複数のユーザーが画像を受信する場合、通知や録画が設定どおりに行われないことがあります。その場合は、画像更新間隔を長くしてください。
- SDメモリーカードの書き換え回数には限度があります。書き換え頻度が高いと、寿命が短くなることがあります。
- SDメモリーカードの寿命は、SDメモリーカードに保存する画像ファイルの数とログ書き込みの数の影響を受けます。「録画圧縮方式」で「H.264(1)」または「H.264(2)」を選択することにより、SDメモリーカードに保存するファイル数を減らすことができます。
- SDメモリーカードの書き込み回数が増えて、書き込み速度が低下した場合は、新しいSDメモリーカードへの交換をお勧めします。

SW175 SW172 ST165 ST162 :

- 本機からSDメモリーカードを取り外すときは、FUNCTIONボタンを押して、緑点灯が消灯することを確認してから、SDメモリーカードを取り外してください。
- SDメモリーカードの取り付け・取り外しについては、取扱説明書 基本編を参照ください。

[録画圧縮方式]

SDメモリーカードに保存する映像データの種類をJPEG／H.264から選択します。

- **JPEG:** 静止画を保存します。
- **H.264(1):** 動画をMP4フォーマットで保存します。音声は保存されません。カメラページの [JPEG/H.264] タブの「H.264(1)」の設定に従いデータを保存します。
- **H.264(2):** 動画をMP4フォーマットで保存します。音声は保存されません。カメラページの [JPEG/H.264] タブの「H.264(2)」の設定に従いデータを保存します。

初期設定：JPEG

ライブ画と同じデータを保存する場合、ライブ画と「録画圧縮方式」を同じ設定にすることをお勧めします。ライブ画と別のデータを保存する場合（画質や解像度を落としてデータ容量を節約するような場合）は、「録画圧縮方式」でライブ画と別の画像データを選択し、動画データ保存用の設定をしてください。

重要

- SDメモリーカードに録画した動画の再生機能を使用する場合は、SDHCメモリーカードを使用してください。SDメモリーカードを使用した場合、被写体および設定によっては、再生時の画像が滑らかに表示されないことがあります。

お知らせ

- 「H.264(1)」を選択すると、カメラページの [JPEG/H.264] タブの「H.264(1)」設定が、「H.264(1) & 動画録画」設定に切り換わります。

また、「H.264(2)」を選択すると、カメラページの［JPEG/H.264］タブの「H.264(2)」設定が、「H.264(2) & 動画録画」設定に切り換わります。

- カメラページの［JPEG/H.264］タブの「動画配信形式」を「H.264」から「MPEG-4」に変更すると、録画圧縮方式の設定も連動して「JPEG」に切り換わります。
- 弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリーカード録画機能を使用する場合は、「録画圧縮方式」を「JPEG」に設定してください。
- 設定を「JPEG」と「H.264(1)」または「H.264(2)」で切り換えた場合は、SDメモリーカードをフォーマットしてください（→106 ページ）。
- 「JPEG」の場合と「H.264(1)」または「H.264(2)」の場合では、ファイルの保存形式が異なるため、SDメモリーカードの残容量表示が異なります。
- 「録画圧縮方式」を「H.264(1)」または「H.264(2)」に設定変更した場合、「H.264動画録画」の「解像度」、「フレームレート」、「制御期間(可変ビットレート時)」、「ビットレート」、「画質」、「リフレッシュ間隔」の設定は、「H.264(1)」または「H.264(2)」で設定されていた値が最初に設定されます。
- 「録画圧縮方式」を「H.264(1)」、「H.264(2)」に設定変更した場合、次の機能の設定値が補正されることがあります。
  - 「リフレッシュ間隔」が「2 s」、「3 s」、「4 s」、「5 s」に設定されていた場合、「1 s」に設定されます。
  - 「1クライアントあたりのビットレート *」が「3072kbps *」、「4096kbps *」、「8192kbps *」、「制限なし *」に設定されていた場合、「2048kbps *」に設定されます。
  - 「配信モード」を「ベストエフォート」に設定できません。
- 「録画圧縮方式」を「H.264(1)」または「H.264(2)」に設定変更した場合、「ログ保存」（基本ページの［ログ］タブ→116 ページ）の設定も連動して切り換わります。
- 「録画圧縮方式」が「H.264(1)」または「H.264(2)」の場合、アラーム画像の保存は、［アラーム］－［アラーム］タブの「プレアラーム」「ポストアラーム時間」の設定に従って動作します。
- 「録画圧縮方式」が「H.264(1)」または「H.264(2)」の場合、保存するファイルの名称は自動で付与されます。
- 「録画圧縮方式」が「H.264(1)」または「H.264(2)」の場合、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。
- 「録画圧縮方式」を「H.264(1)」、または、「H.264(2)」に設定すると、「メール通知」の画像添付（JPEG）は「Off」になります。

JPEG/H.264共通

[SDメモリーカード残容量通知]

メール通知機能や独自アラーム通知機能を使用してSDメモリーカードの残容量を通知する場合に、空き容量が何%になった場合に通知を開始するかを以下から選択します。
50%／20%／10%／5%／2%
初期設定：50%

お知らせ

- SDメモリーカード残容量通知は、設定した値以下の残容量値ごとに通知されます。
  例えば、「50 %」に設定した場合、残容量が50 %、20 %、10 %、5 %、2 %になったときにそれぞれ通知します。通知するタイミングは多少ずれる場合があります。

[保存モード]
SDメモリーカードへ画像を保存する方法を以下から選択します。
- **FTP定期送信エラー時:** FTPサーバーへの定期送信が失敗したときに画像を保存します。(JPEGのみ有効)
- **アラーム発生時:** アラームが発生したときに画像を保存します。
- **手動保存:** 画像を手動で保存します。
- **スケジュール保存:** スケジュール設定（→238 ページ）に従って、画像を保存します。(H.264のみ有効)

初期設定：FTP定期送信エラー時

お知らせ
- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「FTP定期送信エラー時」は設定できません。
- FTP定期送信機能を使用する場合、およびアラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信する場合は、「FTP定期送信エラー時」に設定してください。
- 「録画圧縮方式」が「JPEG」の場合、「スケジュール保存」は設定できません。

[上書き]
SDメモリーカードの空き容量が少なくなったときに、画像を上書きして保存するかどうかを設定します。
「保存モード」で「手動保存」または「スケジュール保存」が選択されている場合のみ設定できます。
- **上書きあり:** SDメモリーカードの空き容量が少なくなった場合、古い画像から上書きして繰り返し保存します。
- **上書きなし:** SDメモリーカードの空き容量がなくなった場合、SDメモリーカードへの保存を停止します。

初期設定：上書きなし

お知らせ
- 「保存モード」設定によって、上書きの設定が以下のようになります。
  - **FTP定期送信エラー時:** 上書きされません。
  - **アラーム発生時:** 上書きして保存されます。
  - **手動保存時、スケジュール保存時:** 「上書き」で上書きあり／上書きなしを設定できます。

JPEG録画

SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「JPEG」に設定されている場合のみ設定できます。

[ファイル名]
SDメモリーカードへ画像を保存するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときのファイル名は、以下のようになります。
ファイル名: 入力したファイル名＋日時（年月日時分秒）＋連続番号
入力可能文字数：1～8文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「*」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「¥」「¦」

お知らせ
- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、保存するファイルの名称は自動で付与されます。
- 「保存モード」が「FTP定期送信エラー時」に設定されている場合は、ネットワークページの［FTP定期］タブで設定されているファイル名で保存されます。

[保存間隔・枚数(プレアラーム)] ー [保存間隔]

「保存モード」を「アラーム発生時」に設定している場合に、SDメモリーカードへ画像を保存するときのプレアラーム画像の間隔を以下から選択します。
0.1fps／0.2fps／0.33fps／0.5fps／1fps
初期設定：1fps

[保存間隔・枚数(プレアラーム)] ー [保存枚数]

アラームが発生したときに、SDメモリーカードへ保存するプレアラーム画像の枚数を以下から選択します。
Off／1 枚／2 枚／3 枚／4 枚／5 枚／6 枚*／7 枚*／8 枚*／9 枚*／10 枚*／20 枚*／30 枚*／40 枚*／50 枚*
初期設定：Off

お知らせ

- 「*」付きの枚数を設定すると、解像度や画質により指定した枚数を送信できないことがあります。(→165 ページ)

[保存間隔・枚数(ポストアラーム)] ー [保存間隔]

「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合に、SDメモリーカードへ画像を保存するときの間隔を以下から選択します。
0.1fps／0.2fps／0.33fps／0.5fps／1fps
初期設定：1fps

[保存間隔・枚数(ポストアラーム)] ー [保存枚数]

アラームが発生したときに、SDメモリーカードへ保存するアラーム画像の枚数を以下から選択します。
10 枚／20 枚／30 枚／50 枚／100 枚／200 枚／300枚／500 枚／1000 枚／1500 枚／2000 枚／3000 枚
初期設定：100枚

お知らせ

- 「録画圧縮方式」が「H.264(1)」または「H.264(2)」の場合、「プレアラーム」、「ポストアラーム時間」は、[アラーム] タブの「H.264動画録画」で設定されます。
- 「保存枚数」は「保存モード」が「アラーム発生時」に設定されている場合のみ設定できます。

[解像度]

「保存モード」を「手動保存」に設定し、かつ、「録画圧縮方式」が「JPEG」の場合に、SDメモリーカードへ保存する画像の解像度を以下から選択します。

- **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
  SC384 SW175 ST165 :
  QVGA ／ VGA ／ 1280×960
  SW172 ST162 :
  QVGA ／ VGA ／ 800×600
- **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
  SC384 SW175 ST165 :
  320×180／640×360／1280×720
  SW172 ST162 :
  320×180／640×360

初期設定：VGA

お知らせ

- 「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合、ネットワークページの［FTP定期］タブで設定した解像度で保存されます。
- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「解像度」は、［SDメモリーカード］タブの「H.264動画録画」の「解像度」で設定されます。
- 「保存モード」を「アラーム発生時」に設定している場合、アラームページの［アラーム］タブで設定した解像度で保存されます。

H.264動画録画

SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264(1)」または「H.264(2)」に設定されている場合のみ設定できます。
「録画圧縮方式」を「H.264(1)」に設定した場合、カメラページー［JPEG/H.264］タブの「H.264(1)」の設定と連動して「解像度」、「モード」、「フレームレート*」、「ビットレート」、「画質」、「リフレッシュ間隔」が表示されます。「録画圧縮方式」を「H.264(2)」に設定した場合、カメラページー［JPEG/H.264］タブの「H.264(2)」の設定と連動します。

[解像度]

H.264画像の解像度を以下から選択します。

- **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
  SC384 SW175 ST165 :
  QVGA ／ VGA ／1280×960
  SW172 ST162 :
  QVGA ／ VGA ／ 800×600
- **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
  SC384 SW175 ST165 :
  320×180 ／ 640×360 ／ 1280×720
  SW172 ST162 :
  320×180 ／ 640×360

初期設定：QVGA

[モード]

録画するH.264を固定ビットレート／フレームレート指定のどちらかに設定します。

- **固定ビットレート:** H.264画像を「ビットレート」で設定したビットレートで録画します。
- **フレームレート指定:** H.264画像を「フレームレート *」で設定したフレームレートで録画します。
- **アドバンスド可変ビットレート：**H.264画像を「フレームレート *」で設定したフレームレートで録画します。このとき、「制御期間(可変ビットレート時)」で設定した期間での配信量の平均が、「ビットレート」で設定したビットレートになるように録画します。

初期設定：フレームレート指定

[フレームレート *]

録画するH.264のフレームレートを以下から設定します。
1fps／3fps／5fps *／7.5fps *／10fps *／12fps *／15fps *／20fps *／30fps *
初期設定：30fps *

お知らせ

- 「フレームレート *」は、「モード」で「フレームレート指定」を選択したときのみ設定できます。

- 「フレームレート *」は、「ビットレート」に制限されます。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

[制御期間(可変ビットレート時)]

録画するH.264のビットレートを制御する期間を以下から選択します。選択した期間でのビットレートの平均が、「ビットレート」で設定したビットレートになるように録画します。
1h／6h／24h／1week
初期設定：24h

お知らせ

- 「モード」で「アドバンスド可変ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

[ビットレート]

録画するH.264のビットレートを以下から選択します。
64kbps／128kbps／256kbps／384kbps／512kbps／768kbps／1024kbps／1536kbps／2048kbps
初期設定：1024kbps

[画質]

録画するH.264の画質を以下から選択します。
動き優先／標準／画質優先
初期設定：標準

お知らせ

- 「モード」で「固定ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

[リフレッシュ間隔]

録画するH.264をリフレッシュする間隔（Iフレーム間隔：0.2～1秒）を以下から選択します。
0.2s ／0.25s ／ 0.33s ／ 0.5s ／ 1s
初期設定：1s

SDメモリーカード情報

[容量表示]

SDメモリーカードの残容量と総容量が表示されます。
SDメモリーカードの状態によって、次のように表示される場合があります。

表示内容	説明
--------KB/--------KB	SDメモリーカードを挿入していない。その他、読み取りエラーにより残容量を取得できない。
********KB/********KB	SDメモリーカードがフォーマットされていない、またはロックされている。

お知らせ

- 「上書き」が「上書きなし」に設定されているときに、SDメモリーカードの残容量が「0 KB」になると、SDメモリーカードに画像が保存されません。通知機能を使用すると、SDメモリーカードの空き容量がなくなったときに、設定したメールアドレスや独自アラーム通知先に通知することができます。(→173 ページ、174 ページ)

[フォーマット]

SDメモリーカードをフォーマットする場合は、[実行] ボタンをクリックします。

重要

- フォーマットを実行する前に、基本ページの「SDメモリーカード」を「使用する」(→99 ページ)、ネットワークページの「定期送信」を「Off」(→223 ページ) に設定してください。
- SDメモリーカードは、必ず [SDメモリーカード] タブでフォーマットしてから使用してください。[SDメモリーカード] タブ以外でフォーマットした場合、以下の機能が正常に動作しないことがあります。
  – FTP定期送信に失敗した画像の保存／取得
  – アラーム発生時の画像の保存／取得
  – 手動保存時の画像の保存／取得
  – スケジュール機能による画像の保存／取得
  – アラームログ、手動／スケジュール保存ログ、FTP定期送信エラーログ、システムログの保存／取得
  – 弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使った画像の保存／取得
  – SDメモリーカード内の画像の再生／ダウンロード
- フォーマットを実行したときに、他のユーザーが操作中の場合、その操作が中断されます。
- フォーマット中は、SDメモリーカードに書き込みできません。
- フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存されていたデータはすべて消去されます。
- フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。
- 「録画圧縮方式」の設定を変更した場合、SDメモリーカードをフォーマットすることをお勧めします。
- フォーマット後は、SDメモリーカード内に、動作するために必要な初期ディレクトリーが作成されるため、残容量は総容量よりも少なく表示されます。
- 推奨SDメモリーカード
  パナソニック株式会社製（別売り）
  SDHCメモリーカード: 4 GB、8 GB、16 GB、32 GB
  SDメモリーカード: 2 GB（miniSDカード、microSDカードは除く）
- SDメモリーカードはお買い上げ時の状態が、SD規格準拠でフォーマットされているものを使用してください。

SDメモリーカード画像取得

[画像取得]

SDメモリーカードから画像を取得します。[実行] ボタンをクリックします。画像の取得のしかたについて詳しくは107 ページをお読みください。

2.4.3 SDメモリーカード内の画像をPCに保存する [SDメモリーカード画像取得] (SC384／SW175／SW172／ST165／ST162)

基本ページの [SDメモリーカード] タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：67 ページ、68 ページ)

ここでは、SDメモリーカードに保存した画像をPCに保存する方法を説明します。あらかじめ、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。
(→190 ページ)

重要

- 他のユーザーがSDメモリーカードから画像を取得しているときは、操作できないことがあります。しばらくしてから画像取得を実行してください。
- インターネット経由で画像取得を行う場合、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、画像取得の操作ができないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 「画像取得」の［実行］ボタンをクリックします。

→ ユーザー認証画面が表示されます。

2 本機の管理者のユーザー名とパスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックします。

→ SDメモリーカード内の画像が保存されているフォルダーが表示されます。

お知らせ

- 画像を取得するために本機のFTPサーバーにログインすると、SDメモリーカードをBドライブに割り当てます。
「保存モード」の設定に応じて、それぞれのディレクトリーに画像が保存されています。
それぞれのディレクトリーに移動して画像を取得してください。
ディレクトリー構造について詳しくは、274 ページをお読みください。

SDメモリーカードへの保存可能枚数（目安）：JPEG保存時

重要

- 下記の表の保存枚数は、目安であり実際に保存できる枚数を保証するものではありません。保存できる枚数は、被写体により変わります。

解像度：1280×960 SC384 SW175 ST165

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	64 000	80 000	96 000	112 000	128 000
16GB	32 000	40 000	48 000	56 000	64 000
8GB	16 000	20 000	24 000	28 000	32 000
4GB	8 000	10 000	12 000	14 000	16 000
2GB	4 000	5 000	6 000	7 000	8 000
1GB	2 000	2 500	3 000	3 500	4 000
512MB	1 000	1 250	1 500	1 750	2 000
256MB	500	625	750	875	1 000

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	160 000	224 000	256 000	288 000	320 000
16GB	80 000	112 000	128 000	144 000	160 000
8GB	40 000	56 000	64 000	72 000	80 000
4GB	20 000	28 000	32 000	36 000	40 000
2GB	10 000	14 000	16 000	18 000	20 000
1GB	5 000	7 000	8 000	9 000	10 000
512MB	2 500	3 500	4 000	4 500	5 000
256MB	1 250	1 750	2 000	2 250	2 500

解像度：1280×720 SC384 SW175 ST165

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	76 800	102 400	128 000	140 800	166 400
16GB	38 400	51 200	64 000	70 400	83 200
8GB	19 200	25 600	32 000	35 200	41 600
4GB	9 600	12 800	16 000	17 600	20 800
2GB	4 800	6 400	8 000	8 800	10 400
1GB	2 400	3 200	4 000	4 400	5 200
512MB	1 200	1 600	2 000	2 200	2 600
256MB	600	800	1 000	1 100	1 300

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	230 400	294 400	358 400	384 000	409 600
16GB	115 200	147 200	179 200	192 000	204 800
8GB	57 600	73 600	89 600	96 000	102 400
4GB	28 800	36 800	44 800	48 000	51 200
2GB	14 400	18 400	22 400	24 000	25 600
1GB	7 200	9 200	11 200	12 000	12 800
512MB	3 600	4 600	5 600	6 000	6 400
256MB	1 800	2 300	2 800	3 000	3 200

解像度：800×600 SW172 ST162

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	102 400	160 000	192 000	243 200	281 600
16GB	51 200	80 000	96 000	121 600	140 800
8GB	25 600	40 000	48 000	60 800	70 400
4GB	12 800	20 000	24 000	30 400	35 200
2GB	6 400	10 000	12 000	15 200	17 600
1GB	3 200	5 000	6 000	7 600	8 800
512MB	1 600	2 500	3 000	3 800	4 400
256MB	800	1 250	1 500	1 900	2 200

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	320 000	384 000	422 400	460 800	480 000
16GB	160 000	192 000	211 200	230 400	240 000
8GB	80 000	96 000	105 600	115 200	120 000
4GB	40 000	48 000	52 800	57 600	60 000
2GB	20 000	24 000	26 400	28 800	30 000
1GB	10 000	12 000	13 200	14 400	15 000
512MB	5 000	6 000	6 600	7 200	7 500
256MB	2 500	3 000	3 300	3 600	3 750

解像度：VGA

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	160 000	224 000	256 000	288 000	320 000
16GB	80 000	112 000	128 000	144 000	160 000
8GB	40 000	56 000	64 000	72 000	80 000
4GB	20 000	28 000	32 000	36 000	40 000
2GB	10 000	14 000	16 000	18 000	20 000
1GB	5 000	7 000	8 000	9 000	10 000
512MB	2 500	3 500	4 000	4 500	5 000
256MB	1 250	1 750	2 000	2 250	2 500

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	352 000	416 000	448 000	480 000	512 000
16GB	176 000	208 000	224 000	240 000	256 000
8GB	88 000	104 000	112 000	120 000	128 000
4GB	44 000	52 000	56 000	60 000	64 000
2GB	22 000	26 000	28 000	30 000	32 000
1GB	11 000	13 000	14 000	15 000	16 000
512MB	5 500	6 500	7 000	7 500	8 000
256MB	2 750	3 250	3 500	3 750	4 000

解像度：640×360

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	192 000	281 600	332 800	358 400	409 600
16GB	96 000	140 800	166 400	179 200	204 800
8GB	48 000	70 400	83 200	89 600	102 400
4GB	24 000	35 200	41 600	44 800	51 200
2GB	12 000	17 600	20 800	22 400	25 600
1GB	6 000	8 800	10 400	11 200	12 800
512MB	3 000	4 400	5 200	5 600	6 400
256MB	1 500	2 200	2 600	2 800	3 200

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	499 200	537 600	627 200	640 000	652 800
16GB	249 600	268 800	313 600	320 000	326 400
8GB	124 800	134 400	156 800	160 000	163 200
4GB	62 400	67 200	78 400	80 000	81 600
2GB	31 200	33 600	39 200	40 000	40 800
1GB	15 600	16 800	19 600	20 000	20 400
512MB	7 800	8 400	9 800	10 000	10 200
256MB	3 900	4 200	4 900	5 000	5 100

解像度：QVGA

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	384 000	416 000	432 000	448 000	480 000
16GB	192 000	208 000	216 000	224 000	240 000
8GB	96 000	104 000	108 000	112 000	120 000
4GB	48 000	52 000	54 000	56 000	60 000
2GB	24 000	26 000	27 000	28 000	30 000
1GB	12 000	13 000	13 500	14 000	15 000
512MB	6 000	6 500	6 750	7 000	7 500
256MB	3 000	3 250	3 375	3 500	3 750

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	512 000	576 000	608 000	640 000	672 000
16GB	256 000	288 000	304 000	320 000	336 000
8GB	128 000	144 000	152 000	160 000	168 000
4GB	64 000	72 000	76 000	80 000	84 000
2GB	32 000	36 000	38 000	40 000	42 000
1GB	16 000	18 000	19 000	20 000	21 000
512MB	8 000	9 000	9 500	10 000	10 500
256MB	4 000	4 500	4 750	5 000	5 250

解像度：320×180

単位：枚

SDメモリーカードの容量	画質				
	0 最高画質	1 高画質	2	3	4
32GB	460 800	524 800	563 200	576 000	614 400
16GB	230 400	262 400	281 600	288 000	307 200
8GB	115 200	131 200	140 800	144 000	153 600
4GB	57 600	65 600	70 400	72 000	76 800
2GB	28 800	32 800	35 200	36 000	38 400
1GB	14 400	16 400	17 600	18 000	19 200
512MB	7 200	8 200	8 800	9 000	9 600
256MB	3 600	4 100	4 400	4 500	4 800

SDメモリーカードの容量	画質				
	5 標準	6	7	8	9 低画質
32GB	729 600	755 200	793 600	844 800	857 600
16GB	364 800	377 600	396 800	422 400	428 800
8GB	182 400	188 800	198 400	211 200	214 400
4GB	91 200	94 400	99 200	105 600	107 200
2GB	45 600	47 200	49 600	52 800	53 600
1GB	22 800	23 600	24 800	26 400	26 800
512MB	11 400	11 800	12 400	13 200	13 400
256MB	5 700	5 900	6 200	6 600	6 700

2.4.4 ログリストを設定する［ログ］ （SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

基本ページの［ログ］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、ログリストに関する設定を行います。

アラーム

アラームログリストに関する設定を行います。

[ログ保存]
アラームログを保存するかどうかをOn／Offで設定します。
On：アラームログが保存されます。
Off：アラームログが保存されません。
初期設定：On

お知らせ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「保存モード」の設定により、「ログ保存」の「On」、「Off」が設定されます。
- 「録画圧縮方式」が「H.264」かつ、「保存モード」が「アラーム発生時」に設定されているときは、アラームログのみが保存されます。

[画像ダウンロード先のディレクトリー名]
ログに関連付けした画像をダウンロードするPCのディレクトリー名を入力します。
例えば、Cドライブのalarmディレクトリーを指定する場合は、「C:¥alarm」と入力します。
入力可能文字数: 3～128文字
入力可能文字: 半角英数字、半角記号「¥」「:」「/」「_」

手動／スケジュール保存

手動／スケジュール保存ログリストに関する設定を行います。
On／Offを選択し、アラームと同様にダウンロード先フォルダーを指定します。

お知らせ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「保存モード」の設定により、「ログ保存」の「On」、「Off」が設定されます。

- スケジュール保存は「録画圧縮方式」が「H.264」の場合のみ使用することができます。

FTP定期送信エラー

FTP送信エラーログリストに関する設定を行います。
On／Offを選択し、アラームと同様にダウンロード先フォルダーを指定します。

重要

- ネットワークページの［FTP定期］タブで「ファイル名」を「ファイル名を固定」に設定していると、FTP定期送信エラーログに関連した画像が保存されません。保存するためには、「ファイル名」を「ファイル名＋日時」に設定してください。（→222 ページ）

お知らせ

- 「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、「FTP定期送信エラー」は設定できません。

2.4.4.1 アラームのログと画像の保存関係について

［ログ］タブ	［SDメモリーカード］タブ		アラームのログと画像
アラーム：ログ保存	**SDメモリーカード**	**保存モード**	
On	使用する	アラーム発生時	**ログ**：最大5000件まで保存されます。5000件を超えると、古いログから上書きされます。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量が少なくなると、古い画像から上書きされます。
		上記以外	**ログ**：最大5000件まで保存されます。5000件を超えると、古いログから上書きされます。 **画像**：保存されません。
	使用しない	-	**ログ**：最大1000件まで保存されます。1000件を超えると、古いログから上書きされます。電源を切るとログは消去されます。 **画像**：保存されません。
Off	使用する	アラーム発生時	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量が少なくなると、古い画像から上書きされます。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（→107 ページ）してから表示してください。
		上記以外	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
	使用しない	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。

2.4.4.2 手動／スケジュール保存のログと画像の保存関係について

[ログ] タブ	[SDメモリーカード] タブ			手動／スケジュール保存のログと画像
手動／スケジュール：ログ保存	**SDメモリーカード**	**保存モード**	**上書き**	
On	使用する	手動保存またはスケジュール保存	上書きあり	**ログ**： 最大5000件まで保存されます。5000件を超えると、古いログから上書きされます。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量が少なくなると、古い画像から上書きされます。
			上書きなし	**ログ**：最大5000件まで保存されます。5000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは5000件まで保存されます。 **画像**： 保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5000件に到達すると、画像は保存されなくなります。
		上記以外	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
	使用しない	-	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
Off	使用する	手動保存またはスケジュール保存	上書きあり	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量が少なくなると、古い画像から上書きされます。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（→107 ページ）してから表示してください。
			上書きなし	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（→107 ページ）してから表示してください。
		上記以外	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
	使用しない	-	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。

2.4.4.3 FTP定期送信エラーのログと画像の保存関係について

[ログ] タブ	[SDメモリーカード] タブ		FTP定期送信エラーのログと画像
FTP定期送信エラー：ログ保存	**SDメモリーカード**	**保存モード**	
On	使用する	FTP定期送信エラー時	**ログ**：最大5000件まで保存されます。5000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは5000件まで保存されます。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。
		上記以外	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
	使用しない	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
Off	使用する	FTP定期送信エラー時	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（→107 ページ）してから表示してください。
		上記以外	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。
	使用しない	-	**ログ**：保存されません。 **画像**：保存されません。

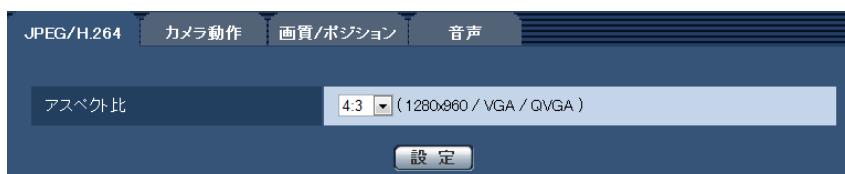
2.5 画像・音声に関する設定を行う［カメラ］

お知らせ

- SW175／SW174W／SW172／ST165／ST162は、MPEG-4に対応していません。

カメラページでは、JPEG画像、H.264画像、MPEG-4画像の設定や、画質、音声に関する設定を行います。
カメラページは、［JPEG/H.264］タブ（または［JPEG/MPEG-4］タブ）、［カメラ動作］タブ、［画質/ポジション］タブ、［音声］タブで構成されています。

2.5.1 アスペクト比を設定する［JPEG/H.264］

カメラページの［JPEG/H.264］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：67 ページ、68 ページ）

- **［アスペクト比］**
  アスペクト比を設定します。
  4:3 ／16:9
  初期設定：4:3

  お知らせ

  - 「16:9」設定時、MPEG-4配信はできません。
  - 「アスペクト比」を「16:9」に設定すると、「動画配信形式」は自動的に「H.264」の設定となります。
  - 画質調整機能は、「アスペクト比」を「16:9」に設定していても、アスペクト比4:3の画角を対象に動作します。逆光補正（BLC）機能のマスクエリアを設定する場合は、「アスペクト比」を「4:3」の撮像モードに切り換えて設定することをお勧めします。

2.5.2 JPEG画像を設定する［JPEG/H.264］（または［JPEG/MPEG-4]）

カメラページの［JPEG/H.264］タブ（または［JPEG/MPEG-4］タブ）をクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：67 ページ、68 ページ）

JPEG

ここでは、「画像更新間隔(動画時)」、「解像度」、「画質選択」を設定します。H.264画像（またはMPEG-4画像）に関する設定については123 ページ、130 ページをお読みください。

ライブ画(初期表示)

ここでは、ライブ画に表示されるJPEG画像を設定します。

[配信モード]

ライブ画ページでJPEG画像を表示するとき、最初に表示する表示方法を以下から選択します。「静止画自動更新」を選択すると、JPEG形式（静止画）の画像を指定した間隔で更新します。「MJPEG」を選択すると、プラグインソフトウェアを使用し、JPEG形式の画像を連続（MJPEG：Motion JPEG）して表示します。
MJPEG／静止画自動更新：3秒／静止画自動更新：5秒／静止画自動更新：10秒／静止画自動更新：30秒／静止画自動更新：60秒
初期設定：MJPEG

お知らせ

- 「MJPEG」を選択した場合でも、プラグインソフトウェアがインストールされていない場合は、「静止画自動更新：3秒」で画像を表示します。

[画像更新間隔(動画時)]

JPEG画像を更新する間隔を以下から選択します。
0.1fps ／ 0.2fps ／ 0.33fps ／ 0.5fps ／1fps ／ 2fps ／ 3fps ／ 5fps ／ 6fps * ／10fps * ／12fps * ／ 15fps * ／ 30fps *
初期設定：30fps *

お知らせ

- 「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）を「On」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新間隔が長くなることがあります。

- ネットワークの環境や解像度、画質、同時アクセス数などによっては、設定した値よりも画像更新間隔が長くなることがあります。
- 設定した画像更新間隔で配信されない場合は、解像度や画質を下げることで設定した値に近づけることができます。

[解像度]
ライブ画ページでJPEG画像を表示する際、最初に表示する画像の解像度を以下から選択します。

- **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
  SC384 SW175 SW174W ST165 :
  QVGA ／ VGA ／ 1280×960
  SW172 ST162 :
  QVGA ／ VGA ／ 800×600
- **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
  SC384 SW175 SW174W ST165 :
  320×180／640×360／1280×720
  SW172 ST162 :
  320×180／640×360

初期設定：VGA

[画質選択]
ライブ画ページでJPEG画像を表示する際、最初に表示する画像の画質を画質 1、画質 2から設定します。
初期設定：画質 1

[画質設定]
それぞれの解像度におけるJPEG画像の画質を２種類設定します。
0 最高画質／1 高画質／2／3／4／5 標準／6／7／8／9 低画質
初期設定：

– 画質1の場合：5 標準
– 画質2の場合：8

FTP定期送信、メール添付、SDメモリー録画[*1]のJPEG画像は画質１の設定になります。

---

*1 SC384 SW175 SW172 ST165 ST162

2.5.3 H.264画像に関する設定を行う［JPEG/H.264］

カメラページの［JPEG/H.264］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作のしかた：67 ページ、68 ページ)
［JPEG/H.264］タブは「動画配信形式」を「H.264」に設定すると表示されます。

ここでは、H.264画像の「1クライアントあたりのビットレート*」、「解像度」、「画質」などを設定します。MPEG-4画像に関する設定については130 ページを、JPEG画像に関する設定については122 ページをお読みください。

[動画配信形式]

動画の配信形式をH.264に設定してください。
H.264：動画の配信形式をH.264に設定します。以降の設定項目がH.264画像の配信設定になります。また、タブの名称が［JPEG/H.264］タブになります。
MPEG-4：動画の配信形式をMPEG-4に設定します。以降の設定項目がMPEG-4画像の配信設定になります。(→130 ページ)また、タブの名称が［JPEG/MPEG-4］タブになります。
初期設定：H.264

H.264（1）・H.264（2）

基本ページの「SDメモリーカード」タブで、「録画圧縮方式」を「H.264(1)」、「H.264(2)」に設定すると、表示が「H.264(1)&動画録画」、「H.264(2)&動画録画」になります。

[H.264配信]

H.264画像を配信するかどうかをOn／Offで設定します。
On：H.264画像を配信します。
Off：H.264画像を配信しません。
初期設定：On

お知らせ

- 「H.264(1)」または、「H.264(2)」の「H.264配信」を「On」に設定した場合は、ライブ画ページでH.264画像とJPEG画像の両方を表示することができます。
- 「H.264(1)」および「H.264(2)」の「H.264配信」をともに「On」に設定した場合は、その他接続機器を用いてそれぞれの設定でH.264画像を閲覧できます。
- 「H.264(1)」または「H.264(2)」の「H.264配信」を「On」に設定した場合は、JPEG画像の画像更新間隔が長くなることがあります。

[インターネットモード（over HTTP)]

H.264画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでH.264画像を配信することができます。
On：HTTPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。HTTPポート番号の設定については193 ページをお読みください。
Off：UDPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。
初期設定：On

お知らせ

- 「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト（ポート番号設定：オート)」に制限されます。
- 「On」に設定すると、H.264画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、H.264画像が表示されない場合があります。
- 「On」に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。

[解像度]

H.264画像の解像度を以下から選択します。

- **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
  SC384 SW175 SW174W ST165 ：
  H.264(1)：QVGA ／ VGA ／ 1280×960
  H.264(2)：QVGA ／ VGA

SW172 ST162 :
H.264(1)：QVGA ／ VGA ／ 800×600
H.264(2)：QVGA ／ VGA／ 800×600

- **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
  SC384 SW175 SW174W ST165 :
  H.264(1)：320×180／640×360／1280×720
  H.264(2)：320×180／640×360
  SW172 ST162 :
  H.264(1)：320×180／640×360
  H.264(2)：320×180／640×360

初期設定：

– **H.264(1)：**VGA

– **H.264(2)：**QVGA

[配信モード]

H.264画像の配信モードを以下から設定します。

- **固定ビットレート：**H.264画像を「1クライアントあたりのビットレート *」で設定したビットレートで配信します。
- **フレームレート指定：**H.264画像を「フレームレート *」で設定したフレームレートで配信します。
- **ベストエフォート配信：**ネットワークの帯域に応じて、H.264画像を「1クライアントあたりのビットレート *」で設定した最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。
- **アドバンスド可変ビットレート：**H.264画像を「フレームレート *」で設定したフレームレートで配信します。このとき、「制御期間(可変ビットレート時)」で設定した期間での配信量の平均が、「1クライアントあたりのビットレート *」で設定したビットレートになるように配信します。

初期設定：ベストエフォート配信

お知らせ

- 「配信モード」を「フレームレート指定」または「アドバンスド可変ビットレート」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

[フレームレート *]

H.264画像のフレームレートを以下から設定します。
1fps／3fps／5fps *／7.5fps *／10fps *／12fps *／15fps *／20fps *／30fps *
初期設定：30fps *

お知らせ

- 「フレームレート *」は、「配信モード」で「フレームレート指定」または「アドバンスド可変ビットレート」を選択したときのみ設定できます。
- 「フレームレート *」は、「1クライアントあたりのビットレート *」に制限されます。「 *」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

[最大ビットレート(バースト時)]

H.264ビットレートが、「1クライアントあたりのビットレート *」をどれだけ超えることを許容するか、以下から選択します。
高／中／低
初期設定：低

お知らせ

- 「配信モード」で「アドバンスド可変ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。
- H.264ビットレートによって、バースト時のビットレートは、高：最大4倍、中：最大2.5倍、低：最大1.5倍程度まで変化することがあります。

[制御期間(可変ビットレート時)]

H.264ビットレートを制御する期間を以下から選択します。選択した期間での配信量の平均が、「1クライアントあたりのビットレート *」で設定したビットレートになるように配信します。
1h／6h／24h／1week
初期設定：24h

お知らせ

- 「配信モード」で「アドバンスド可変ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

[1クライアントあたりのビットレート *]

1クライアントに対するH.264ビットレートを以下から選択します。
「配信モード」で「ベストエフォート配信」を選択している場合は、最大、最小を設定します。
64kbps／128kbps *／256kbps *／384kbps *／512kbps *／768kbps *／1024kbps *／1536kbps *／2048kbps *／3072kbps *／4096kbps *／8192kbps *／制限なし *
初期設定：1024kbps *
※8192kbps *は1280×960または、1280×720設定時のみ
※128kbps *はQVGA、VGA、 または、320×180、640×360設定時のみ
※64kbpsはQVGA、VGAまたは、320×180、640×360設定時のみ
※制限なし *は「配信モード」で「フレームレート指定」を設定時のみ

お知らせ

- 「8192kbps *」または「制限なし *」に設定すると、H.264画像にアクセスできるユーザー数が1人に制限されます。
- H.264ビットレートは、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御（ビットレート）」に制限されます（→190 ページ）。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。
- 「H.264(1)」と「H.264(2)」の両方を「制限なし *」に設定することはできません。
- SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264(1)」、「H.264(2)」の場合、録画対象の「1クライアントあたりのビットレート*」が「2048kbps*」までに制限されます。
- SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264(1)」、「H.264(2)」の場合、そのストリームの「配信モード」を「ベストエフォート」に設定できません。

[画質]

H.264画像の画質を以下から選択します。
動き優先／標準／画質優先
初期設定：標準

お知らせ

- 「配信モード」で「固定ビットレート」または「ベストエフォート配信」を選択しているときのみ設定できます。

[リフレッシュ間隔]

H.264画像をリフレッシュする間隔（Iフレーム間隔：0.2～5秒）を以下から選択します。

ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新間隔が長くなることがあります。
0.2s／0.25s／0.33s／0.5s／1s／2s／3s／4s／5s
初期設定：1s

[配信方式]

H.264画像の配信方式を以下から選択します。

- **ユニキャスト（ポート番号設定：オート）：**
  1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。本機から画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1（画像）」、「ユニキャストポート番号2（音声）」が自動的に設定されます。ネットワーク内で使用する場合など、H.264画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」に設定することをお勧めします。
- **ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）：**
  1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。カメラから画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1（画像）」、「ユニキャストポート番号2（音声）」を手動で設定する必要があります。インターネット経由でH.264画像を配信する場合、ブロードバンドルーター（以下、ルーター）に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください（→190 ページ）。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
- **マルチキャスト：**
  1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。マルチキャストでH.264画像を送信する場合は、「マルチキャストアドレス」、「マルチキャストポート番号」、「マルチキャストTTL/HOPLimit」を入力します。

※最大同時アクセス数については、9 ページをお読みください。
初期設定：ユニキャスト（ポート番号設定：オート）

[ユニキャストポート番号1（画像）][*1]

ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）
初期設定：

- **H.264(1)：**32004
- **H.264(2)：**32014

[ユニキャストポート番号2（音声）][*1]

ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）
初期設定：

- **H.264(1)：**33004
- **H.264(2)：**33014

[マルチキャストアドレス][*2]

マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。
IPv4設定可能範囲：224.0.0.0～239.255.255.255
IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス
初期設定

- **H.264(1)：**239.192.0.20
- **H.264(2)：**239.192.0.21

お知らせ

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。
- 「インターネットモード（overHTTP)」が「On」に設定されていた場合、配信方式は「ユニキャスト（ポート番号設定：オート)」に制限されます。

[マルチキャストポート番号] *2

マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）
初期設定：37004

お知らせ

- 本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1000」を足したポート番号が使用されます。

[マルチキャストTTL/HOPLimit] *2

マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。
設定可能値：1～254
初期設定：16

重要

- インターネット経由でH.264画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使用しないLANカードを無効にしてください。

[プラグインソフトウェアでのライブ画スムーズ表示（バッファリング)]

表示用プラグインソフトウェアで本機の画像を表示する際の設定を行います。
On：本機の画像を一時的にPCに蓄積し、より滑らかに表示します。
Off：本機の画像をPCに蓄積せず、リアルタイムに表示します。
初期設定：Off

[ライブ画初期表示ストリーム]

ライブ画ページで最初に表示される画像の設定を行います。
MPEG-4対応機種については、「動画配信形式」を「MPEG-4」に設定している場合、選択項目がMPEG-4 とJPEGになります。
H.264：ライブ画ページで最初にH.264画像を表示します。
MPEG-4：ライブ画ページで最初にMPEG-4画像を表示します。
JPEG：ライブ画ページで最初にJPEG画像を表示します。
初期設定：JPEG

お知らせ

- 「H.264」や「MPEG-4」に設定されている場合でも、「H.264配信」や「MPEG-4配信」が「Off」に設定されている場合、JPEG画像しか表示されません。

---

*1 「配信方式」の「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル)」が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。
*2 「配信方式」の「マルチキャスト」が選択されている場合、マルチキャストIPアドレスを設定する必要があります。

2.5.4 MPEG-4画像に関する設定を行う［JPEG/MPEG-4］（SC384のみ）

カメラページの［JPEG/MPEG-4］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：67 ページ、68 ページ）
［JPEG/MPEG-4］タブは「動画配信形式」を「MPEG-4」に設定すると表示されます。（→123 ページ）

ここでは、MPEG-4画像の「1クライアントあたりのビットレート*」、「解像度」、「画質」などを設定します。H.264画像に関する設定については123 ページを、JPEG画像に関する設定については122 ページをお読みください。

[動画配信形式]
動画の配信形式をMPEG-4に設定してください。
H.264：動画の配信形式をH.264に設定します。以降の設定項目がH.264画像の配信設定になります。（→123 ページ）また、タブの名称が［JPEG/H.264］タブになります。
MPEG-4：動画の配信形式をMPEG-4に設定します。以降の設定項目がMPEG-4画像の配信設定になります。また、タブの名称が［JPEG/MPEG-4］タブになります。
初期設定：H.264

MPEG-4（1）・MPEG-4（2）

[MPEG-4配信]
MPEG-4画像を配信するかどうかをOn／Offで設定します。
On：MPEG-4画像を配信します。
Off：MPEG-4画像を配信しません。
初期設定：On

お知らせ
- 「MPEG-4(1)」または、「MPEG-4(2)」の「MPEG-4配信」を「On」に設定した場合は、ライブ画ページでMPEG-4画像とJPEG画像の両方を表示することができます。
- 「MPEG-4(1)」および「MPEG-4(2)」の「MPEG-4配信」をともに「On」に設定した場合は、その他接続機器を用いてそれぞれの設定でMPEG-4画像を閲覧できます。
- 「MPEG-4(1)」または「MPEG-4(2)」の「MPEG-4配信」を「On」に設定した場合は、JPEG画像の画像更新間隔が長くなることがあります。

重要
- 「アスペクト比」の設定が「16:9」の場合、MPEG-4は配信できません。
- SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264」の場合、MPEG-4配信はできません。

[インターネットモード（over HTTP)]
MPEG-4画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでMPEG-4画像を配信することができます。
On：HTTPポートを使用してMPEG-4画像、音声を配信します。HTTPポート番号の設定については193 ページをお読みください。
Off：UDPポートを使用してMPEG-4画像、音声を配信します。
初期設定：On

お知らせ
- 「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト（ポート番号設定：オート)」に制限されます。
- 「On」に設定すると、MPEG-4画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、MPEG-4画像が表示されない場合があります。
- 「On」に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。

[解像度]
MPEG-4画像の解像度をQVGA／VGAのどちらかに設定します。
初期設定：

– **MPEG-4(1)：**VGA

– **MPEG-4(2)**：QVGA

[配信モード]
MPEG-4画像の配信モードを以下から設定します。
固定ビットレート：MPEG-4画像を「1クライアントあたりのビットレート *」で設定したビットレートで配信します。
フレームレート指定：MPEG-4画像を「フレームレート *」で設定したフレームレートで配信します。
ベストエフォート配信：ネットワークの帯域に応じて、MPEG-4画像を「1クライアントあたりのビットレート *」で設定した最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。
初期設定：ベストエフォート配信

お知らせ

- 「配信モード」を「フレームレート指定」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

[フレームレート *]
MPEG-4画像のフレームレートを以下から設定します。
1fps／3fps／5fps *／7.5fps *／10fps *／12fps *／15fps *／20fps *／30fps *
初期設定：30fps *

お知らせ

- 「配信モード」を「フレームレート指定」に設定したときのみ設定できます。
- 「フレームレート *」は、「1クライアントあたりのビットレート *」に制限されます。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

[1クライアントあたりのビットレート *]
1クライアントに対するMPEG-4ビットレートを以下から選択します。
「配信モード」で「ベストエフォート配信」を選択している場合は、最大、最小を設定します。
64kbps／128kbps *／256kbps *／384kbps *／512kbps *／768kbps *／1024kbps *／1536kbps *／2048kbps *／3072kbps *／4096kbps *／制限なし *
初期設定：1024kbps *
※制限なし *　は「配信モード」で「フレームレート指定」を設定時のみ

お知らせ

- MPEG-4ビットレートは、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御（ビットレート）」に制限されます（→190 ページ）。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。
- 「制限なし *」に設定すると、MPEG-4画像にアクセスできるユーザー数が1人に制限されます。
- 「MPEG-4(1)」と「MPEG-4(2)」の両方を「制限なし *」に設定することはできません。

[画質]
MPEG-4画像の画質を以下から選択します。
動き優先／標準／画質優先
初期設定：標準

お知らせ

- 「配信モード」で「固定ビットレート」または「ベストエフォート配信」を選択しているときのみ設定できます。

[リフレッシュ間隔]
MPEG-4画像をリフレッシュする間隔（Iフレーム間隔：0.2秒～5秒）を以下から選択します。
ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新間隔が長くなることがあります。
0.2s／0.25s／0.33s／0.5s／1s／2s／3s／4s／5s
初期設定：1s

[配信方式]
MPEG-4画像の配信方式を以下から選択します。
- **ユニキャスト（ポート番号設定：オート）：**
  1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。本機から画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1（画像）」、「ユニキャストポート番号2（音声）」が自動的に設定されます。ネットワーク内で使用する場合など、MPEG-4画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」に設定することをお勧めします。
- **ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）：**
  1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。カメラから画像・音声を送信する場合、「ユニキャストポート番号1（画像）」、「ユニキャストポート番号2（音声）」を手動で設定する必要があります。インターネット経由でMPEG-4画像を配信する場合、ブロードバンドルーター（以下、ルーター）に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください（→190 ページ）。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
- **マルチキャスト：**
  1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。マルチキャストでMPEG-4画像を送信する場合は、「マルチキャストアドレス」、「マルチキャストポート番号」、「マルチキャストTTL/HOPLimit」を入力します。

※最大同時アクセス数については、9 ページをお読みください。
初期設定：ユニキャスト（ポート番号設定：オート）

[ユニキャストポート番号1（画像）] *1
ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）
初期設定：
- **MPEG-4(1)：**32004
- **MPEG-4(2)：**32014

[ユニキャストポート番号2（音声）] *1
ユニキャストポート番号（本機から音声を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）
初期設定：
- **MPEG-4(1)：**33004
- **MPEG-4(2)：**33014

[マルチキャストアドレス] *2
マルチキャストのIPアドレスを入力します。
指定したIPアドレスに画像と音声を送信します。
Pv4設定可能範囲：224.0.0.0～239.255.255.255
IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス
初期設定：

– **MPEG-4(1)**：239.192.0.20
– **MPEG-4(2)**：239.192.0.21

お知らせ

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

[マルチキャストポート番号] *2

マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。
設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）
初期設定：37004

お知らせ

- 本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1000」を足したポート番号が使用されます。

[マルチキャストTTL/HOPLimit] *2

マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。
設定可能値：1～254
初期設定：16

重要

- インターネット経由でMPEG-4画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使用しないLANカードを無効にしてください。

[プラグインソフトウェアでのライブ画スムーズ表示（バッファリング)]

表示用プラグインソフトウェアで本機の画像を表示する際の設定を行います。
On：本機の画像を一時的にPCに蓄積し、より滑らかに表示します。
Off：本機の画像をPCに蓄積せず、リアルタイムに表示します。
初期設定：Off

[ライブ画初期表示ストリーム]

ライブ画ページで最初に表示される画像の設定を行います。
MPEG-4対応機種については、「動画配信形式」を「MPEG-4」に設定している場合、選択項目がMPEG-4とJPEGになります。
H.264：ライブ画ページで最初にH.264画像を表示します。
MPEG-4：ライブ画ページで最初にMPEG-4画像を表示します。
JPEG：ライブ画ページで最初にJPEG画像を表示します。
初期設定：JPEG

お知らせ

- 「H.264」や「MPEG-4」に設定されている場合でも、「H.264配信」や「MPEG-4配信」が「Off」に設定されている場合、JPEG画像しか表示されません。

---

*1 「配信方式」の「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル)」が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。
*2 「配信方式」の「マルチキャスト」が選択されている場合、マルチキャストIPアドレスを設定する必要があります。

2.5.5 カメラの動作に関する設定を行う［カメラ動作］

カメラページの［カメラ動作］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：67 ページ、68 ページ）
ここでは、カメラの動作に関する設定を行います。

［ホームポジション設定］

あらかじめ設定したプリセットポジション（→147 ページ）を、ホームポジションとして設定することができます。
ホームポジションに設定すると、プリセットポジション番号の横に「H」と表示されます。
初期設定：Off

お知らせ

- 電源投入時にホームポジションに移動させたい場合は、「セルフリターン」に「ホームポジション」を設定してください。

［セルフリターン］

手動での操作終了後に、「セルフリターン時間」で設定した時間が経過すると、カメラの動作を以下のいずれかの動作モードへ自動的に戻すことができます。
Off：セルフリターンを行いません。
ホームポジション：設定した時間が経過すると、ホームポジションに戻ります。
オートパン (SC384)：設定した時間が経過すると、オートパン動作を開始します。
プリセットシーケンス (SC384)：設定した時間が経過すると、シーケンス動作を開始します。
初期設定：Off

お知らせ

- 電源投入時に上記動作をさせたい場合は、セルフリターン機能を使用すると便利です。
- 設定メニューを表示しているときでも、セルフリターン機能は動作します。

［セルフリターン時間］

手動操作終了後に、「セルフリターン」で設定した動作へ戻るまでの時間を以下から選択します。
10s ／ 20s ／ 30s ／ 1min ／ 2min ／3min ／ 5min ／ 10min ／ 20min ／30min ／ 60min
初期設定：1min

[イメージホールド]

カメラの向きがプリセットポジションへの移動を完了するまで、移動前の画像を静止画で表示するかどうかをOn ／ Offで設定します。
On：プリセットポジションへの移動が完了するまで、移動前の画像を静止画で表示します。
Off：プリセットポジションへ移動中の画像を表示します。
初期設定：Off

[EX光学ズーム] ／ [EXズーム]

EX光学ズームまたはEXズームの設定を以下から選択します

- SC384

On(最大36倍)：1倍～18倍までは光学、それ以上（36倍まで）はEX光学ズームを行います。
Off(最大18倍)：EX光学ズームを行いません。
初期設定：On(最大36倍)

- SW175 SW174W SW172 ST165 ST162

On(最大2倍)：1倍～2倍までEXズームを行います。
Off：EXズームを行いません。
初期設定：On(最大2倍)

EX光学ズーム／EXズームとは

MOSセンサーの持つ約130万画素の領域のうち、約31万画素分の中央部を切り取って撮影するので、より望遠効果の高い撮影が可能となります。VGA以下の解像度を使用したとき、光学36倍相当まで SC384／光学2倍相当まで SW175 SW174W SW172 ST165 ST162 ズーム倍率が得られます。

[デジタルズーム]

デジタルズームの設定を以下から選択します。
On(最大16倍) SW175 SW174W SW172 ST165 ST162 ：1倍～2倍まではEXズーム、それ以上（16倍まで）はデジタルズームを行います。
On(最大288倍) SC384 ：1倍～18倍までは光学、36倍まではEX光学、それ以上（288倍まで）はデジタルズームを行います。
Off：デジタルズームを行いません。
初期設定：Off

お知らせ

SW175 SW174W SW172 ST165 ST162：

- デジタルズームを「On(最大16倍)」に設定すると、ズーム操作時に2倍で一度、停止します。
- 2倍よりもズーム倍率が高い場合は、プリセットポジションの設定はできません。

SC384：

- デジタルズームを「On(最大288倍)」に設定すると、ズーム操作時に36倍で一度、停止します。
- 36倍よりもズーム倍率が高い場合は、プリセットポジションの設定はできません。

[パン・チルト角度/倍率表示]

手動での操作時に、画像内にパン・チルト角度／倍率表示を表示するかどうかをOn ／ Offで設定します。
On：パン・チルト角度／倍率表示を表示します。
Off：パン・チルト角度／倍率表示を表示しません。
初期設定：On

お知らせ

- 「On」に設定すると、［基本］タブの「日時&画面内文字表示位置」で設定した場所に、パン・チルト角度／倍率が表示されます。(→96 ページ)

［チルト範囲指定］ SC384

チルト動作の角度制限を以下から選択します。（水平＝0°）
10° ／5° ／3° ／ 0° ／－3° ／－5° ／－10° ／－15° ／－20° ／－25° ／－30°
初期設定：0°

お知らせ

- インナーカバー（別売りの金具に付属）を使用した場合に、カメラを水平方向に向けると、画面の上側が隠れます。隠れる範囲は、「チルト範囲設定」を「－5° 」に設定した場合で約半分になります。また、「ゲイン」をOnに設定（→139 ページ）している場合は、被写体によっては、画像が白くなることがあります。

［最短撮影距離］ SC384

ガラス越しに被写体を映すときや、近距離に別の被写体がある場合、映したい被写体にピントが合いにくいことがあります。ピントが合わない場合は、最短撮影距離を制限できます。
制限なし：最短撮影距離の制限をしません。
制限あり(約1.5m)：約1.5m以内の被写体にはピントが合わないように最短撮影距離を制限します。
初期設定：制限なし

［パン・チルトフリップ］ SC384

パン・チルトフリップの設定を以下から選択します。
On：手動での操作時にパン端点・チルト端点（真下）に到達した場合、自動的に高速パン回転させることで、パン端点・チルト端点で停止することなく、継続して動作させることができます。
Off：パン・チルトフリップ機能は働きません。
初期設定：On

お知らせ

- TELE側ではパン・チルトフリップ機能を動作させても一部見えない部分が発生します。
- ライブ画ページのメインエリア内で画角の中心としたい位置をクリックすると、クリックした位置を中心とする位置にカメラの向きが移動します。この場合も、パン端点・チルト端点で停止することなく、継続して動作します。

2.5.6 画質／ポジションに関する設定を行う ［画質/ポジション］

カメラページの［画質/ポジション］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作のしかた：67 ページ、68 ページ）
各項目の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が別ウインドウで表示され、［画質/ポジション］タブに表示されている画像を見ながら設定を行うことができます。
ここでは、画質調整、プリセットポジション、オートパン、プライバシーゾーン、パン/チルト範囲指定を設定できます。

SC384

SW175 SW174W SW172 ST165 ST162

- **[画質調整]**
  [詳細設定へ>>] ボタンをクリックすると、画質に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→139 ページ)
- **[プリセットポジション]**
  [詳細設定へ>>] ボタンをクリックすると、プリセットポジションに関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→147 ページ)
- **[オートパン]** SC384
  [詳細設定へ>>] ボタンをクリックすると、オートパンに関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→150 ページ)
- **[プライバシーゾーン]**
  [詳細設定へ>>] ボタンをクリックすると、プライバシーゾーンに関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→152 ページ)
- **[パン/チルト範囲指定]** SW175 SW174W SW172 ST165 ST162
  [詳細設定へ>>] ボタンをクリックすると、パン/チルト範囲指定に関する設定画面が別ウインドウで表示されます。(→154 ページ)

2.5.6.1 画質の調整を行う（画質調整画面）

カメラページの [画質/ポジション] タブで、「画質調整」の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックします。(→138 ページ)

画質の設定は別ウインドウで表示された設定画面で行います。値を変更すると、[画質/ポジション]タブに表示されている画像にも、変更した内容が反映されます。

- **[ワイドダイナミックレンジ]**
  ワイドダイナミックレンジ機能を有効にするかどうかをOn ／ Offで設定します。
  ワイドダイナミックレンジ機能は、照度差がある被写体でも明るさを補正し、自然な画像で確認できます。
  On：ワイドダイナミックレンジ機能を働かせます。
  Off：ワイドダイナミックレンジ機能を停止します。
  初期設定：Off

  お知らせ

  - ワイドダイナミックレンジ機能を使用すると、被写体の暗い部分のノイズが増えることがあります。

- 「光量制御モード」を「屋外撮影」SC384、「ELC(1/30s)」SW175 SW174W SW172 ST165 ST162、または「フリッカレス（60 Hz)」、「フリッカレス（50 Hz)」に設定しているときのみ設定できます。

- **[顔連動制御]**
顔連動制御設定では、人物の顔が暗くて見えにくい場合などに、顔検出機能とワイドダイナミックレンジを連動させて、画像の顔部分を明るく見やすく補正することができます。
ワイドダイナミックレンジ機能を働かせる際、顔検出機能と連動するかどうかをOn ／ Offで設定します。
On：顔連動制御を働かせます。顔周辺に合わせてダイナミックレンジ制御を行います。
Off：顔連動制御を停止します。
初期設定：Off

お知らせ

- 「ワイドダイナミックレンジ」が「Off」に設定されている場合は、顔連動制御は働きません。
- 強い逆光により人物の顔が非常に暗くなってしまう環境などでは、効果がわかりにくい場合があります。

- **[暗部補正]**
暗部補正機能を有効にするかどうかをOn／Offで設定します。暗部補正機能を使用すると、画像の暗い部分をデジタル画像処理によってより明るくすることができます。
On：暗部補正機能を有効にします。
Off：暗部補正機能を停止します。
初期設定：Off

重要

- 「暗部補正」を「On」に設定すると暗い部分のノイズが増えることがあり、また暗い部分と明るい部分の境界付近が、他の暗い部分・明るい部分よりも暗く、または明るく表示されることがあります。

お知らせ

- 「ワイドダイナミックレンジ」を「On」に設定していると、「暗部補正」は設定できません。

- **[逆光補正(BLC)]**
逆光補正（BLC）機能を有効にするかどうかをOn／Offで設定します。「ワイドダイナミックレンジ」を「On」に設定した場合は設定できません。
逆光補正機能は、画像のより明るい部分をマスクエリアとして設定することで逆光を補正します。
On：マスクエリアが自動で設定されます。
Off：マスクエリアは自動で設定されません。マスクエリアを手動で設定する必要があります。
初期設定：Off
- **[マスクエリア]**
「ワイドダイナミックレンジ」と「逆光補正(BLC)」を「Off」に設定すると、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正できます。
マスクエリアの設定方法については、144 ページをお読みください。
- **[光量制御モード]** SC384
光量制御を行うモードを以下から選択します。
屋外撮影：
明るさ（照度）によって、電子シャッターと自動絞りを併用して光量を制御します。屋外など明るい被写体を撮影する場合は、この設定にします。蛍光灯下などではフリッカー（ちらつき）が発生することがありますので、注意してください。

フリッカレス（50 Hz）／フリッカレス（60 Hz）：蛍光灯によるフリッカー（ちらつき）を自動補正します。地域によって50 Hz／60 Hzを使い分けます。
固定シャッター：設定した値にシャッター速度を固定します。
1/30固定／3/100固定／3/120固定／2/100固定／2/120固定／1/100固定／1/120固定／1/250固定／1/500固定／1/1000固定／1/2000固定／1/4000固定／1/10000固定
初期設定：屋外撮影

お知らせ

- シャッター速度を速くする（～1/10000）と、動きの速い被写体でもぼけにくくなります。
- シャッター速度を速くすると、感度が落ちます。また、明るい光源などではスミアなどが出やすくなります。
- 「ワイドダイナミック」を「On」に設定している場合、「固定シャッター」は設定できません。「固定シャッター」を設定する場合は、「ワイドダイナミック」を「Off」に設定してください。

- **[光量制御モード]** SW175 SW174W SW172 ST165 ST162
光量制御を行うモードを以下から選択します。
フリッカレス（50 Hz）／フリッカレス（60 Hz）：蛍光灯によるフリッカー（ちらつき）を自動補正します。地域によって50 Hz／60 Hzを使い分けます。
ELC(最長露光時間)：シャッター速度を最長露光時間までの範囲で可変させ、自動的に明るさ制御を行います。
ELC(1/30s)／ELC(3/100s)／ELC(3/120s)／ELC(2/100s)／ELC(2/120s)／ELC(1/100s)／ELC(1/120s)／ELC(1/250s)／ELC(1/500s)／ELC(1/1000s)／ELC(1/2000s)／ELC(1/4000s)／ELC(1/10000s)
初期設定：ELC(1/30s)

お知らせ

- 最長露光時間を短くすると、動きの速い被写体でもぼけにくくなります。
- 最長露光時間を短くすると、感度が落ちます。
- 最長露光時間の設定によっては、フリッカーが発生する場合があります。
フリッカーが発生した場合、
電源周波数が50 Hzのときは、ELC(3/100s)、ELC(2/100s)、ELC(1/100s)、
電源周波数が60 Hzのときは、ELC(3/120s)、ELC(2/120s)、ELC(1/120s)、
に設定すると改善されます。さらにフリッカーが残る場合はフリッカレス設定にしてください。
- フリッカレス設定においても、非常に明るい照明下ではフリッカーが発生する場合があります。また、「明るさ」ボタンで画面を暗く設定するとフリッカーが発生しやすくなります。
- フリッカレス設定、ELC（1/2000 s）以下の設定では、「明るさ」ボタンをクリックしても画面の明るさが変化しない場合があります。
- フリッカーが発生した場合は、以下の方法によりフリッカーが軽減される場合があります。
  - カメラの向きを変えて被写体の明るさを抑える
  - 「明るさ」ボタンをより明るく設定する
- 「ワイドダイナミックレンジ」を「On」に設定している場合、「フリッカレス（60 Hz)」、「フリッカレス（50 Hz)」または「ELC(1/30s)」のみ設定できます。

- **[ゲイン]**
ゲインの調節方法を以下から選択します。
On(High)／On(Mid)／On(Low)：被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインが上がり画面を明るくします。()内のHigh／Mid／Lowはゲインのレベルです。

Off：ゲインを常に固定した状態で撮影します。
初期設定：On(High)

- **[オートスローシャッター]**
  オートスローシャッターは、センサーの蓄積時間を調整して電子感度アップを行います。
  設定できる値は以下のとおりです。
  Off(1/30s)／最大2/30s／最大4/30s／最大6/30s／最大10/30s／最大16/30s
  初期設定：Off(1/30s)

  重要
  - 「オートスローシャッター」を設定すると、フレームレートが下がります。また、画像内にノイズおよび白い点（傷）が見える場合があります。

  お知らせ
  - 「最大16/30s」に設定すると、16倍までの間で自動的に電子感度を上げます。[ゲイン］を「Off」に設定した場合は設定できません。
  SW175 SW174W SW172 ST165 ST162：
  - 「ゲイン」を「Off」に設定した場合、「オートスローシャッター」が「Off(1/30s)」に設定されます。

- **[簡易白黒切換]**
  白黒画像とカラー画像の切り換え方法を以下から選択します。
  Off：カラー画像が選択されます。
  Auto：カメラの周囲の明るさ（照度）が約1 lx以下 SC384／約4 lx以下 SW175 SW174W ST165／約2 lx以下 SW172 ST162 で白黒画像に切り換えます。なお、画像が切り換わるまでに、時間がかかります。
  初期設定：Off

- **[ホワイトバランス]**
  ホワイトバランスの調節方法を以下から選択します。
  Rボリューム（赤色の調節）またはBボリューム（青色の調節）で白の色合いを調節します。
  ATW1：自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します。動作範囲は約2700 K～6000 Kです。
  ATW2：ナトリウム灯下での自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下でカメラがホワイトバランスを自動調整します。動作範囲は約2000 K～6000 Kです。
  AWC：自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が固定されるため、光源が変化しない場所での撮影に適しています。動作範囲は約2000 K～10000 Kです。
  初期設定：ATW1

  お知らせ
  - 以下の条件に該当する場合は、忠実に色を再現できないことがあります。この場合は「AWC」に設定してください。
    – 大部分が濃い色の被写体
    – 抜けるような青空および夕暮れ時の太陽
    – 照度が低すぎる被写体
  - 「AWC」を選択した場合は、［設定］ボタンをクリックしてください。

- **[Rボリューム]**
  画像の赤色を調節します。

カーソルを「＋」方向に動かすと、赤色は濃くなります。カーソルを「－」方向に動かすと、赤色は薄くなります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
初期設定：128

- **［Bボリューム］**
  画像の青色を調節します。
  カーソルを「＋」方向に動かすと、青色は濃くなります。カーソルを「－」方向に動かすと、青色は薄くなります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
  初期設定：128
- **［デジタル・ノイズ・リダクション］**
  デジタルノイズリダクション機能を使用すると、低照度時、自動的にノイズを低減します。ここでは、デジタルノイズリダクションの効果のレベルをHigh／Lowで設定します。
  High：効果大ですが、残像が多くなります。
  Low：効果小ですが、残像は少なくなります。
  初期設定：High
- **［クロマレベル］**
  クロマレベル（色の濃さ）を調節します。
  カーソルを「＋」方向に動かすと、色は全体に濃くなります。カーソルを「－」方向に動かすと、色は全体に薄くなります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
  初期設定：128
- **［アパーチャレベル］**
  アパーチャレベル（輪郭補正）を調節します。
  カーソルを「＋」の方向に動かすとシャープな画像になり、「－」の方向に動かすとソフトな画像になります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
  初期設定：16
- **［ペデスタルレベル］**
  カーソルを動かして画像の黒レベルを調節します。
  カーソルを「＋」方向に動かすと、画像は明るくなります。カーソルを「－」方向に動かすと、画像は暗くなります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
  初期設定：128
- **［閉じる］ボタン**
  画質調整画面を閉じます。

2.5.6.2 マスクエリアを設定する

「ワイドダイナミックレンジ」と「逆光補正(BLC)」を「Off」に設定すると、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正できます。

1 画質調整設定画面を表示します。(→138 ページ)

2 「マスクエリア」の［開始］ボタンをクリックします。

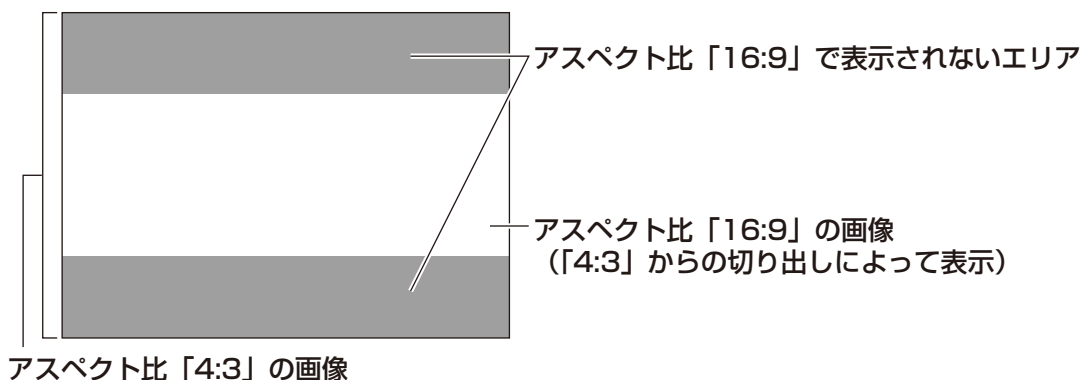
→ 境界線が表示され、［画質/ポジション］タブ上に表示された画像が48（6×8）に分割されます。

3 マスクをかける分割エリアをクリックします。

→ クリックした枠がマスクエリアに設定され、白色になります。マスクを解除するには、マスクエリアを再度クリックします。

4 マスクエリアを設定したら、［終了］ボタンをクリックします。
→［画質/ポジション］タブの画像の上から枠が消えます。

重要

- JPEG／H.264のアスペクト比が「16:9」に設定されている場合、下図のように4:3のアスペクト比の画像から切り出して表示しています。そのため、アスペクト比を「16:9」に設定している場合でも、表示されていないマスクエリアの明るさの影響を受けます。一度、アスペクト比を「4:3」に設定してマスクエリアの設定を行うことをお勧めします。

お知らせ

- 設定したマスクエリアをすべて解除する場合は、［リセット］ボタンをクリックします。

2.5.6.3 プリセットポジションに関する設定を行う（プリセットポジション設定画面）

［画質/ポジション］タブ（→138 ページ）で、「プリセットポジション」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。
ここでは、プリセットポジションの登録、変更、削除ができます。

フォーカスや明るさ、ズームなどを調節すると、［画質/ポジション］タブの画像にも同時に反映されます。

重要

SC384 :

- 36倍よりもズーム倍率が高い場合は、プリセットポジションの設定はできません。
- プリセットポジションは、最大64か所まで設定可能です。

SW175 SW174W SW172 ST165 ST162 :

- 2倍よりもズーム倍率が高い場合は、プリセットポジションの設定はできません。

お知らせ

- 使用環境によっては（+5 ℃以下目安）、プリセット移動の速度が少し遅くなることがあります。

プリセットポジションを登録する

1 ポジション番号を選択します。
→「プリセットポジション設定:ポジション番号」に選択したポジション番号が表示されます。
登録済みの場合は、カメラが選択したプリセットポジションに移動します。

2 カメラの向きを登録したい方向へ移動させます。

3 ポジション名称をライブ画ページに表示させたい場合は、「ポジション名称表示」を「On」に設定し、ポジション名称を入力します。

4 オートフォーカスや停止時間を設定します。

5 [登録] ボタンをクリックします。

6 ポジションごとに画質設定を行う場合は、ワイドダイナミックレンジなど各項目を設定します。「ワイドダイナミックレンジ」、「逆光補正(BLC)」、「マスクエリア設定」については、即座に反映されます。

お知らせ

- プリセットポジションを登録する際、カメラの向きが少し移動する場合があります。

プリセットポジション設定

- **[ポジション名称表示]**
ポジション名称を表示するかどうかをOn / Offで設定します。プリセットポジションごとに設定できます。
On：ポジション名称を表示します。
Off：ポジション名称を表示しません。
初期設定：Off

重要

- 「ポジション名称」と「ポジション名称表示」を設定した場合は、[登録] ボタンを必ずクリックしてください。

お知らせ

- 「On」に設定すると、[基本] タブの「日時&画面内文字表示位置」で設定した場所に、ポジション名称が表示されます。(→96 ページ)

- **[ポジション名称]**
画像上に表示する名称を入力します。プリセットポジションごとに設定できます。
入力可能文字：0 ~ 9 (半角)、A ~ Z (半角)、全角カナ、以下の半角記号「!」「"」「#」「$」「%」「&」「'」「(」「)」「*」「+」「-」「,」「.」「/」「;」「:」「=」「?」
入力可能文字数：0 ~ 20文字
初期設定：空欄

お知らせ

- 入力したポジション名称は、プルダウンのプリセットポジション番号の横に表示されます。
また、「ポジション名称表示」を「On」に設定すると、画像上にも表示できます。
- カナ文字の濁点および半濁点は、単独で1文字として扱われます。

- **[オートフォーカス]** SC384
プリセット移動後にオートフォーカスを行うかどうかをAuto / Offで設定します。プリセットポジションごとに設定できます。

Auto：プリセット移動後にオートフォーカスを行います。
Off：プリセット移動後にオートフォーカスを行いません。
初期設定：Off

お知らせ

- 奥行きが変化しない被写体、またはコントラストが低い被写体、スポットライトなど高輝度が存在する被写体などにプリセット動作を行う場合は、「Off」に設定し、フォーカスを合わせたあとにプリセットポジションを登録してください。

- **［停止時間］** SC384
  プリセットシーケンス動作時に、各プリセットポジションの画像を映し出す時間（カメラの回転が停止している時間）を以下から選択します。
  5s ／ 10s ／ 20s ／ 30s
  初期設定：10s
- **［ワイドダイナミックレンジ］**
  ワイドダイナミックレンジを働かせるかどうかをOn ／Offで設定します。プリセットポジションごとに設定できます。
  On：ワイドダイナミックレンジ機能を働かせます。
  Off：ワイドダイナミックレンジ機能を停止します。
  初期設定：Off
- **［逆光補正(BLC)］**
  逆光補正（BLC）機能を有効にするかどうかをOn ／Offで設定します。「ワイドダイナミックレンジ」を「On」に設定した場合は設定できません。
  逆光補正機能は、画像のより明るい部分をマスクエリアとして設定することで逆光を補正します。
  On：マスクエリアが自動で設定されます。
  Off：マスクエリアは自動で設定されません。マスクエリアを手動で設定する必要があります。
  初期設定：Off
- **［マスクエリア設定］**
  「ワイドダイナミックレンジ」と「逆光補正(BLC)」を「Off」に設定した場合、画像の明るい部分にマスクをかけて逆光補正を行うことができます。操作のしかたは144 ページをお読みください。
- **［ズーム］ボタン、［フォーカス］ボタン** SC384**、コントロールパッド／ボタン、［明るさ］ボタン**
  操作のしかたは、12 ページをお読みください。
- **［登録］ボタン**
  プリセットポジションを登録します。
- **［削除］ボタン**
  ポジション番号で選択したプリセットポジションを削除します。
- **［閉じる］ボタン**
  プリセットポジション設定画面を閉じるときにクリックします。

2.5.6.4 オートパンに関する設定を行う（オートパン設定画面）（SC384のみ）

［画質/ポジション］タブ（→138 ページ）で、「オートパン」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。

ここでは、オートパンに関する設定を行うことができます。

端点設定

- **[スタート位置設定]**
  [ズーム]ボタン、[フォーカス]ボタン、コントロールパッド／ボタンで、オートパンを開始させたい位置にカメラの向きを移動し、[設定]ボタンをクリックします。
  ズームやフォーカスも同時に設定されます。

  お知らせ
  - パン、チルト、ズーム操作は、[画質/ポジション]タブの画像上でも操作できます。
  - オートパン動作を行うズーム、フォーカス位置は、「スタート位置設定」の[設定]ボタンをクリックしたときに記憶されます。

- **[エンド位置設定]**
  コントロールパッド／ボタンでオートパンを停止させたい位置にカメラの向きを移動し、[設定]ボタンをクリックします。

オートパン動作

- **[停止時間]**
  スタート位置およびエンド位置での停止時間を以下から選択します。
  5s ／ 10s ／ 20s ／ 30s
  初期設定：5s
- **[オートパン速度]**

パン動作の旋回速度を以下から選択します。
3°/s、4°/s、5°/s、7°/s、10°/s、13°/s、18°/s、24°/s
初期設定：13°/s

重要

- 「オートパン動作」を設定した場合は、[設定] ボタンを必ずクリックしてください。

お知らせ

- 36倍 よりもズーム倍率が高い位置に設定した場合でも、パン動作の旋回は36倍の位置で行われます。

- **[ズーム] ボタン、[フォーカス] ボタン、コントロールパッド／ボタン、[明るさ] ボタン、プリセット [移動] ボタン**
操作のしかたは、12 ページをお読みください。
- **[閉じる] ボタン**
オートパン設定画面を閉じるときにクリックします。

2.5.6.5 プライバシーゾーンに関する設定を行う（プライバシーゾーン設定画面）

[画質/ポジション] タブ（→138 ページ）で、「プライバシーゾーン」の [詳細設定へ>>] ボタンをクリックします。
ここでは、撮影場所（画像）の中に表示したくない部分がある場合、その部分をプライバシーゾーンとして表示しないように設定します。プライバシーゾーンは2か所まで設定できます。

お知らせ

- 電源投入直後の初期動作時やポジションリフレッシュ中は、プライバシーゾーン機能は働きません。
SC384 :

- カメラの向き（特にチルト角度45°～90°）や倍率によっては隠したい場所が見えてしまうことがあります。必ず設定後に確認してください。

プライバシーゾーン表示設定

- **［表示形式］**
  プライバシーゾーンの表示形式を以下から選択します。
  塗潰し：グレーで表示します。
  Off：表示しません。
  初期設定：Off

ゾーン設定

- **［ゾーン選択］**
  「ゾーンNo」の［▼］をクリックして、設定したいゾーン番号（1、2）を選択します。
  ゾーン番号右側の「*」印は、すでにプライバシーゾーンが設定されていることを表します。
  ［画質/ポジション］タブの画像中央にマスクが表示されます。
  隠したい場所にマスクが合うように、パン・チルト／ズームを設定します。
  位置が決定したら［設定］ボタンをクリックします。登録したゾーンを削除したい場合は、ゾーン番号を指定して、［削除］ボタンをクリックします。
  設定または削除を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックします。

  お知らせ
  - プライバシーゾーンは、隠したい物体に対して広めに設定してください。
    広角側でのゾーン精度を上げるため、ズーム倍率1倍～3倍の間でゾーン設定をすることをお勧めします。

- パン、チルト、ズーム操作は、［画質/ポジション］タブの画像上でも操作できます。
- 「表示形式」の設定を「塗潰し」に設定している場合にゾーンNoを選択すると、画像中央にマスクが「濃いグレー」→「無」→「薄いグレー」の順に点滅表示されます。
このとき、同じ画像内にすでに設定済みのゾーンが存在する場合は、設定済みゾーンは、「濃いグレー」→「薄いグレー」の順に点滅表示されます。

- **［ズーム］ボタン、［フォーカス］ボタン SC384、コントロールパッド／ボタン、［明るさ］ボタン、プリセット［移動］ボタン**
操作のしかたは、12 ページをお読みください。
- **［閉じる］ボタン**
プライバシーゾーン設定画面を閉じるときにクリックします。

2.5.6.6 パン/チルト範囲指定に関する設定を行う（パン/チルト範囲指定設定画面）（SW175／SW174W／SW172／ST165／ST162）

［画質/ポジション］タブ（→138 ページ）で、「パン/チルト範囲指定」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。
ここでは、パン・チルトの範囲を指定します。

パン/チルト範囲指定
パン・チルトの操作を制限する範囲を有効にするかどうかを、On／Offで設定します。
「On」に設定し、コントロールパッド／ボタンで画角を調節して、左端／右端／上端／下端を設定してください。
初期設定：Off

- **［左端］／［右端］／［上端］／［下端］**
画角をコントロールパッド／ボタンで調節し、［設定］ボタンをクリックすると、設定された位置の角度が表示されます。
初期設定：無効

お知らせ

- 「左端」の角度は「右端」の角度より小さく、「下端」の角度は「上端」の角度より小さくなるように設定してください。
- 「明るさ」は保存されません。
- 「パン/チルト範囲指定」の設定は、拡大表示（ズーム）していない画面上で行ってください。
拡大表示（ズーム）している画面上で設定した場合、表示サイズを1.0倍（x1）に戻すと、設定時（拡大表示時）より広い範囲の場所が表示されます。
- 設定を誤ると、意図しないカメラ画像まで見られるおそれがあります。設定したあとは、必ずパン・チルト動作をして画像を確認してください。

- プリセットポジションを設定する前に、「パン/チルト範囲指定」を設定してください。プリセットポジションが「パン/チルト範囲指定」の範囲外に設定されている場合には、プリセットポジションは範囲内の端点で停止します。

2.5.7 音声を設定する［音声］

カメラページの［音声］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは音声に関する設定を行います。

お知らせ

- 画像と音声は同期しません。そのため、画像と音声に若干のずれが生じる場合があります。
- ネットワークの環境によっては、音声が途切れる場合があります。

SC384

SW175　SW174W　SW172　ST165　ST162

- **［音声モード］**
  本機とPC間で音声データの送信／受信を行うときの通信モードを以下から設定します。
  Off：本機とPC間で音声データの送信／受信を行いません。したがって、音声に関する設定や制御がすべて無効となります。
  受話：本機からの音声データをPCが受信します。PCで画像と共に音声を聞くことができます。画像と音声は同期しません。
  送話：PCからの音声データを本機に送信します。本機に接続したスピーカーから音声を流すことができます。
  双方向（半二重）：受話・送話の両方を行うことができます。ただし、音声の送信／受信を同時に行うことはできません。
  双方向（全二重）：受話・送話の両方を同時に行うことができます。
  初期設定：双方向（半二重）

  お知らせ

  - 使用状態によっては、ハウリングが発生する場合があります。その際は、PCから出力される音がPCのマイクに入らないようにしてください。
  - カメラページの［JPEG/H.264］タブ（または、［JPEG/MPEG-4］タブ）の「配信方式」が「マルチキャスト」に設定されていると、H.264画像（またはMPEG-4画像）を監視している間、送話は行えません。送話を行うには、ライブ画ページの［JPEG］ボタンをクリックしてください。

- **［音声圧縮方式］**
  音声の圧縮方式をG.726／G.711 から選択します。

初期設定：G.726

お知らせ

- G.711は「音声モード」が「受話」のときのみ選択できます。

- **[ビットレート]**
  音声を送信／受信するときのビットレートを16kbps ／32kbpsのどちらかに設定します。
  初期設定：32kbps

  お知らせ

  - 「配信量制御（ビットレート）」（→190 ページ）を小さい値で使用する場合に、JPEG画像の更新やH.264画像（またはMPEG-4画像）の配信を優先させたいときは、「ビットレート」を「16kbps」に設定します。
  - ［音声圧縮方式］で「G.711」を選択した場合、［ビットレート］は選択できません。

- **[受話音量(PCで聞く)]**
  本機からの音声をPCで聞くときの音量を設定します。
  マイク 強：音量を強に設定します。カメラに音声をマイク入力した場合に使用します。
  マイク 中：音量を中に設定します。カメラに音声をマイク入力した場合に使用します。
  マイク 弱：音量を弱に設定します。カメラに音声をマイク入力した場合に使用します。
  ライン 強：音量を強に設定します。カメラに音声をライン入力した場合に使用します。
  ライン 中：音量を中に設定します。カメラに音声をライン入力した場合に使用します。
  ライン 弱：音量を弱に設定します。カメラに音声をライン入力した場合に使用します。
  初期設定：マイク 中

- **[受話間隔(PCで聞く)]**
  音声の受話間隔を以下から選択します。
  20ms／40ms／80ms／160ms
  初期設定：160ms

  お知らせ

  - 受話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると、遅延時間は長くなりますが、音声の途切れを抑えることができます。お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。

- **[送話音量(PCから話す)]**
  PCからの音声を本機から流すときの音量を設定します。
  強／中／弱
  初期設定：中

- **[送話間隔(PCから話す)]**
  音声の送話間隔を以下から選択します。
  160ms／320ms／640ms／1280ms
  初期設定：640ms

  お知らせ

  - 送話間隔を小さくすると、遅延時間が短くなります。値を大きくすると、遅延時間は長くなりますが、音声の途切れを抑えることができます。お使いのネットワーク環境によって、設定を変更してください。
  - 本機に複数のユーザーがアクセスしている場合は、一時的に音声が途切れたり、雑音が出力されたりすることがあります。送話間隔の値を大きくすると音声の途切れや雑音を抑えることができます。

- お使いのネットワーク環境および設定によっては、音声が出力されない場合があります。

- **[連続送話時間]**
1回の送話時間の最大時間を設定します。
1min／2min／3min／5min／10min／20min／30min／1h
初期設定：5min

お知らせ

- 送話開始後、設定した時間を過ぎると送話が停止します。再度送話を行う場合は、送話ボタンをクリックしてください。

- **[送話先ポート番号(PCから話す)]**
送話先ポート番号（PCから本機へ音声を送信するときのカメラ側のポート番号）を入力します。
設定可能ポート番号：1024～50000（偶数のみ設定可能）
初期設定：34004

お知らせ

- 「送話先ポート番号(PCから話す)」に入力された送話先ポート番号は、「配信方式」を「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル)」（→123 ページ、130 ページ）に設定している場合のみ使用されます。
「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）の「Off」（→123 ページ、130 ページ）、あるいは「配信方式」の「ユニキャスト（ポート番号設定：オート)」または「マルチキャスト」を選択している場合は、送話先ポート番号を入力する必要はありません。

- **[パン(左右)／チルト(上下)中のミュート]** SW175 SW174W SW172 ST165 ST162
カメラがパン／チルトしているときに、カメラの音声入力を一時停止するかをOn／Offで選択します。
パン／チルト動作時のノイズをミュート（消音）したいときは、「On」を選択してください。
初期設定：Off

お知らせ

- この機能が「Off」になっている場合、パン／チルト動作時にカメラの音声入力は有効になり、パン／チルト動作時のノイズをマイクがひろってしまうことがあります。

2.6 マルチスクリーンを設定する［マルチスクリーン］

マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンで表示させるカメラを設定します。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）

- **［IPアドレス］**
  マルチスクリーンで表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。4台を1グループとして、最大4グループ（16台）まで登録することができます。

表示したいカメラのHTTPポート番号を変更している場合は、以下のように入力してください。
入力例：

– **IPv4アドレスの入力例：`http://192.168.0.10:8080`**

– **IPv6アドレスの入力例：`http://[2001:db8:0:0:0:0:0:1]:8080`**

HTTPSで接続する場合は、以下のように入力します。
入力例：`https://192.168.0.10/`
入力可能文字数：1～128文字
初期設定：（カメラ1）selfcamera、（カメラ2～16）登録なし

重要

- HTTPSで接続する場合は、表示するカメラのセキュリティ証明書をインストールしてください。(→207 ページ)
- IPアドレスまたはホスト名に"selfcamera"と表示されているカメラは、本機が設定されています。
- 複数台のカメラ画像を見るのに適したネットワークカメラ専用録画ビューアソフト「ビューア専用無料版」については、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照ください。
  http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html

お知らせ

- ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するPCのDNS設定が必要です。PCのDNS設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

- **[カメラタイトル]**
  カメラのタイトルを入力します。入力したカメラのタイトルがマルチスクリーン画面に表示されます。
  入力可能文字数：0～20文字
  入力不可文字: 半角記号「"」「&」
  初期設定：

– （カメラ1）品番が表示されます。

– （カメラ2～16）空欄

お知らせ

- 16画のマルチスクリーンを選択した場合、カメラタイトルが途中までしか表示されないことがあります。

- **[初期表示]**
  初期表示する画像更新間隔を切り換えます。
  H.264（1）（またはMPEG-4）：H.264（またはMPEG-4）形式（動画）でカメラ画像を表示します。
  MJPEG：MotionJPEG形式（動画）でカメラ画像を表示します。
  3秒／5秒／10秒／30秒／60秒：選択した間隔で、JPEG形式（静止画）のカメラ画像を表示します。
  初期設定：MJPEG
- **[解像度]**
  初期表示する解像度を選択します。
  初期設定：QVGA
- **[画質]**
  「MJPEG」または「3秒／5秒／10秒／30秒／60秒」（JPEG）を選択した場合に設定できます。
  画質優先：カメラページのJPEGの「画質設定」で設定された「画質1」「画質2」のうち高画質のほうを選択します。
  標準：カメラページのJPEGの「画質選択」で選択された画質になります。

動き優先：カメラページのJPEGの「画質設定」で設定された「画質1」「画質2」のうち低画質のほうを選択します。
初期設定：標準

2.7 アラーム設定を行う［アラーム］

アラームページでは、アラーム動作やアラーム画像、アラームを検出するエリアの設定やアラーム通知に関する設定を行います。
アラームページは、［アラーム］タブ、［動作検知エリア］タブ、［通知］タブで構成されています。

2.7.1 アラーム動作に関する設定を行う［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、アラームを検出したときの動作に関する設定を行います。アラーム画像、アラーム出力端子に関する設定については、164 ページ、168 ページをお読みください。

アラーム

- **［端子1］**
  端子1の動作設定を行います。
  Off：使用しません。
  アラーム入力：端子アラーム入力を受け付けます。
  – **短絡**：端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。
  – **開放**：端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。
  初期設定：Off
- **［端子2］**
  端子2の動作設定を行います。
  Off：使用しません。
  アラーム入力：端子アラーム入力を受け付けます。
  – **短絡**：端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。
  – **開放**：端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。
  アラーム出力：「アラーム出力端子」（→168 ページ）で設定した内容に従ってアラーム出力を行います。
  初期設定：Off
- **［端子3］**
  端子3の動作設定を行います。
  Off：使用しません。
  アラーム入力：端子アラーム入力を受け付けます。

– **短絡**：端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。
– **開放**：端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。

AUX出力：AUX出力を行います。ライブ画ページに［AUX］ボタンを表示します。
初期設定：Off

重要

- 外部I/O端子のアラーム入力の開放→短絡（On）、短絡→開放（Off）の検知には、約100ms以上の時間が必要です。一度検知すると、検知しない時間が約5秒間あるため、検知後約5秒以内のアラーム入力は検知されません。検知しない時間は、「アラーム無検知時間」で設定できます。

お知らせ

- AUXとは、操作者がライブ画ページから任意に操作（Open／Close）できるカメラ端子のことです。例えば、カメラが設置されている場所の照明などを操作したい場合に、照明制御機器と接続することで遠隔地から操作することが可能です。
- 各端子の入力／出力定格については、取扱説明書 基本編をお読みください。

- **［動作検知アラーム］**
  「動作検知設定へ」をクリックすると、アラームページの［動作検知エリア］タブが表示されます。
  (→169 ページ)
- **［コマンドアラーム］**
  コマンドアラームの入力を受け付けるかどうかをOn／Offで設定します。
  コマンドアラームとは、他のカメラからの独自アラーム通知を受信する機能です。「On」に設定すると、複数のカメラで連動してアラーム動作を行うことができます。
  初期設定：Off
- **［受信ポート番号］**
  コマンドアラームを受信するポート番号を設定します。
  設定可能範囲：1～65535
  初期設定：8181
  以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
  20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000
- **［アラーム無検知時間］**
  アラームを検知したあとに、検知動作を行わない時間を設定します。例えば、アラームによって携帯電話にメール通知をする設定の場合、この設定によってメールを送信しすぎないようにすることができます。
  5s／10s／30s／1min／3min／5min／10min
  初期設定：5s

お知らせ

- アラームの種類ごとにアラーム無検知時間が管理されます。例えば、コマンドアラームのアラーム無検知時間中であっても、動作検知アラームは検知されます。

2.7.2 アラーム連動動作に関する設定を行う［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：67、68 ページ)

ここでは、アラームを検出したときの連動動作に関する設定を行います。アラーム動作、アラーム画像、アラーム出力端子に関する設定については、161、164、168 ページをお読みください。

アラーム連動動作

- **[端子アラーム1]**
  端子アラーム1を検出したときに連動する動作を以下から選択します。
  Off：端子アラーム1を検出しても、連動動作を行いません。
  1 ～64：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム1を検出したときに、そのポジションに移動します。
  初期設定：Off
- **[端子アラーム2]**
  端子アラーム2を検出したときに連動する動作を以下から選択します。
  Off：端子アラーム2を検出しても、連動動作を行いません。
  1 ～64：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム2を検出したときに、そのポジションに移動します。
  初期設定：Off
- **[端子アラーム3]**
  端子アラーム3を検出したときに連動する動作を以下から選択します。
  Off：端子アラーム3を検出しても、連動動作を行いません。
  1 ～64：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、端子アラーム3を検出したときに、そのポジションに移動します。
  初期設定：Off
- **[動作検知アラーム]**
  モーションディテクターによるアラームを検出したときに連動する動作を以下から選択します。

Off：モーションディテクターによるアラームを検出しても、連動動作を行いません。
1 ～64：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、モーションディテクターによるアラームを検出したときに、そのポジションに移動します。
初期設定：Off

- **[コマンドアラーム]**
  コマンドアラームによるアラームを検出したときに連動する動作を以下から選択します。
  Off：コマンドアラームによるアラームを検出しても、連動動作をしません。
  1 ～64：あらかじめ登録されているプリセットポジション位置を選択すると、コマンドアラームによるアラームを検出したときに、そのポジションに移動します。
  初期設定：Off

2.7.3 アラーム画像に関する設定を行う［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、FTPサーバーへ送信するアラーム画像に関する設定を行います。アラーム画像は、FTPサーバーへ送信されます。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、FTPサーバーの設定が必要です。（→186 ページ）

重要

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- ［SDメモリーカード］タブで「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合、アラームを検出しても画像をFTPサーバーへ送信することはできません。「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。（→99 ページ）

アラーム画像

- **[FTP設定へ]**
  クリックするとサーバーページの［FTP］タブが表示されます。（→186 ページ）
- **[アラーム画像送信]**
  アラームを検出したとき、FTPサーバーへ画像を送信するかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off
- **[ディレクトリー名]**

画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。
例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。
入力可能文字数：1～256文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「;」

- **[ファイル名]**
  FTPサーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときのファイル名は、以下のようになります。
  ファイル名：入力したファイル名＋日時（年月日時分秒）＋連続番号
  入力可能文字数：1～32文字
  入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「*」「/」「:」「;」「<」「>」「?」「¥」「¦」
- **[FTP送信リトライ]**
  FTP転送が失敗したときに、再送するかどうかをOn／Offで選択します。
  On：転送に失敗した場合、転送に成功するまで再送を行います。
  Off：転送に失敗した場合、その画像は破棄して次の画像を送信します。
  初期設定：Off
- **[プレアラーム(検知前)]**
  - **画像更新速度**
    アラーム発生前の画像の更新間隔を以下から選択します。
    0.1fps ／ 0.2fps ／ 0.33fps ／ 0.5fps ／ 1fps
    初期設定：1fps
  - **画像枚数**
    送信する画像の枚数を以下から選択します。
    0枚／1枚／2枚／3枚／4枚／5枚／6枚*／7枚*／8枚*／9枚*／10枚*／20枚*／30枚*／40枚*／50枚*
    初期設定：0枚
  - **録画時間**
    設定した「画像更新速度」、「画像枚数」より、アラーム発生前の画像の録画時間が表示されます。

お知らせ

- 「画像枚数」で、「*」付きの枚数を設定すると、解像度や画質により指定した枚数を送信できないことがあります。プレアラームで送信可能な最大画像枚数は以下です。

単位：枚

		画質									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
解像度	1280×960*1	5	6	7	8	10	10	10	20	30	40
	1280×720*1	7	8	10	10	10	20	20	30	40	50
	800×600*2	9	10	10	20	20	30	30	50	50	50
	VGA	10	20	20	30	30	40	50	50	50	50
	640×360	20	30	40	50	50	50	50	50	50	50
	QVGA	40	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	320×180	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50

*1 SC384 SW175 SW174W ST165
*2 SW172 ST162

- **[ポストアラーム(検知後)]**
  - **画像更新速度**
    アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。
    0.1fps／0.2fps／0.33fps／0.5fps／1fps
    初期設定：1fps
  - **画像枚数**
    送信する画像の枚数を以下から選択します。
    1枚／2枚／3枚／4枚／5枚／6枚／7枚／8枚／9枚／10枚／20枚／30枚／50枚／100枚／200枚／300枚／500枚／1000枚／1500枚／2000枚／3000枚
    初期設定：100枚
  - **録画時間**
    設定した「画像更新速度」で、設定した「画像枚数」を保存するときにかかる時間が表示されます。

お知らせ

- 「アラーム時の画質制御」を「On」に設定したときは、ポストアラームの録画のみ、「アラーム時の画質」で設定した画質になります。プレアラームの録画には適用されません。

- **[解像度]**
  FTPサーバーへ送信するときの画像やアラームメールに添付する画像の解像度を以下から選択します。
  - **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
    SC384 SW175 SW174W ST165：
    QVGA ／ VGA ／ 1280×960
    SW172 ST162：
    QVGA ／ VGA ／ 800×600
  - **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
    SC384 SW175 SW174W ST165：
    320×180／640×360／1280×720
    SW172 ST162：
    320×180／640×360

初期設定：VGA

- **[アラーム時の画質制御]**
  アラーム発生時に画質1（→122 ページ）の画質を変更するかどうかをOn／Offで設定します。
  On：アラーム発生時に「アラーム時の画質」で設定した内容で配信します。
  Off：アラーム発生時に画質を変更しません。
  初期設定：Off
- **[アラーム時の画質]**
  アラーム発生時の画質を設定します。画質は、以下から選択します。
  0 最高画質／1 高画質／2／3／4／5 標準／6／7／8／9 低画質
  初期設定：5 標準

2.7.4 動画録画に関する設定を行う［アラーム］ （SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、アラームを検出したときにSDメモリーカードへ動画録画（H.264データ）をする場合の動画の保存容量を設定します。動画録画するには、SDメモリーカードの設定、動画データに関する設定が必要です。（→99 ページ）

H.264 動画録画(SDメモリーカード)

- **[プレアラーム]**
  アラーム発生前の録画を行うかどうかを選択します。「使用する」に設定した場合、1 MB分のデータが保存されます。
  使用する／使用しない
  初期設定：使用しない
- **[ポストアラーム時間]**
  アラーム発生後に、SDメモリーカードに保存する時間を設定します。
  10s／20s／30s／40s／50s／60s／120s／180s／240s／300s
  初期設定：30s
  ※ポストアラーム時間で設定した時間より、実際の録画時間は長くなる場合があります。
- **[1回のアラームで使用する容量(目安)]**
  1アラーム分の動画録画で使用するSDメモリーカード容量を表示します（本表示はあくまで目安となります。実際の使用容量とは異なる場合があります）。

重要

- 動画録画するためには、［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカード」を「使用する」に設定する必要があります。また、「録画圧縮方式」を「H.264」に設定する必要があります。（→99 ページ）

2.7.5 アラーム出力端子に関する設定を行う［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、アラーム出力端子に関する設定を行います。

アラーム出力端子

- **［アラーム連動出力］**
  アラームを検出したときに、アラーム出力端子にアラーム信号を出力するかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off
- **［アラーム出力形式］**
  アラームを検出したときのアラーム出力端子の動作を、ラッチ／パルスのどちらかに設定します。
  ラッチ(出力保持)：アラームを検出したとき、アラーム発生通知ボタンをクリックするまで、アラーム出力時の端子が「アラーム時の出力」で設定した状態になります。
  パルス(出力時間)：アラームを検出したとき、「アラーム出力時間」で設定した時間、アラーム出力時の端子が「アラーム時の出力」で設定した状態になります。アラーム発生通知ボタンをクリックすると、アラーム出力端子が通常の状態に戻ります。
  初期設定：ラッチ(出力保持)
- **［アラーム時の出力］**
  アラーム出力端子からアラームを出力するときの出力状態をOpen／Closeで設定します。
  Open(開放)：アラーム出力時の端子をOpen状態にします（通常はClose)。
  Close(短絡)：アラーム出力時の端子をClose状態にします（通常はOpen)。
  初期設定：Close(短絡)

  お知らせ
  - 「Open(開放)」に設定すると、本機の電源を入れたとき、約20秒間アラームが出力されます。
- **［アラーム出力時間］**
  「アラーム出力端子」で「パルス(出力時間)」を選択した場合に、アラーム出力端子からアラームを出力する時間を設定します。
  設定可能範囲：1～120s
  初期設定：1s

2.7.6 AUX名称を変更する［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）

ライブ画ページの「AUX」、「Open」、「Close」の名称を変更できます。

AUX名称

- **[AUX(10文字まで)]**
  ライブ画ページの「AUX」の名称を入力します。
  入力不可文字：半角記号「"」「&」
  初期設定：AUX
- **[Open(5文字まで)]**
  ライブ画ページの［AUX］ボタンの「Open」の名称を入力します。
  入力不可文字：半角記号「"」「&」
  初期設定：Open
- **[Close(5文字まで)]**
  ライブ画ページの［AUX］ボタンの「Close」の名称を入力します。
  入力不可文字：半角記号「"」「&」
  初期設定：Close

お知らせ

- AUXとは、操作者がライブ画ページから任意に操作（Open ／ Close）できるカメラ端子のことです。例えば、カメラが設置されている場所の照明などを操作したい場合に、照明制御機器と接続することで遠隔地から操作することが可能です。

2.7.7 動作検知の設定を行う［動作検知エリア］

アラームページの［動作検知エリア］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検知させるときのエリアを設定します。
エリアはプリセットポジション（最大64か所）ごとに4か所まで設定できます。設定したエリア内で物体の動きをとらえると、アラーム動作を行います。カメラの向きがプリセットポジション以外の位置の場合も、アラーム動作を行うように設定できます。

重要

- モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検出したときに、確認用としてアラーム発生通知ボタンを表示（→12 ページ）します。
- 端子アラームでアラーム入力を受け付けた場合やコマンドアラームを受け付けた場合にも、アラーム発生通知ボタンが表示されます。
- 基本ページの［基本］タブで「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定（→94 ページ）している場合でも、ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。

- モーションディテクター機能は、盗難、火災などを防止するための機能ではありません。万一発生した事故または損害に対する責任は一切、負いかねます。

動作検知エリア設定

- **[ポジション選択]**
  動作検知エリアを設定したいプリセットポジション番号を選択し、[開始]ボタンをクリックして、動作検知エリアを設定します。
  プリセットポジション以外の動作検知エリアを設定する場合は、「プリセットポジション以外」を選択します。

動作検知情報付加

- **[情報付加]**
  画像に動作検知情報を付加して、重畳した画像データを送信するかどうかをOn／Offで設定します。
  動作検知情報は、一部の弊社製ネットワークディスクレコーダーの検索機能で活用することができます。機能・設定の詳細については、接続する機器の取扱説明書をお読みください。
  初期設定：Off

動作検知エリアの設定手順

動作検知エリアを設定します。

重要

- 設定画面で設定を変更中は、動作検知アラームを検出しないことがあります。

- **［エリア］**
  設定したい範囲をマウスでドラッグすると、エリア1から順に設定されます。
- **［全領域］ボタン**
  クリックすると、全領域が動作検知エリアとして選択され、「エリア」の「1（白）」に設定されます。
- **［状態］**
  各エリアで動作検知検出を行うかどうかを有効／無効で設定します。
  有効：動作検知検出を行います。
  無効：動作検知検出を行いません。
  初期設定：無効
- **［検出面積］**
  動作検知エリア内で被写体の動きを検知する面積を、スライダーバーで設定します。設定値が小さいほど、小さな被写体の動きでも検知します。現在の設定値（1～10）はスライダーバーの右に表示されます。
  初期設定：1
- **［検出感度］**

エリア内の動きを検出するときの感度を、スライダーバーで設定します。エリアごとに個別に設定できます。設定値が大きいほど、動きを感知しやすくなります。
現在の設定値（1（低い）～15（高い））はスライダーバーの下に表示されます。
初期設定：8

- **［削除］ボタン**
  削除したいエリアのボタンをクリックすると、エリア枠を削除します。
- **［照明検出抑止］**
  照明の明るさなどの変化による動作検知検出を行わないように設定するかどうかをOn ／ Offで設定します。
  初期設定：Off

  重要
  - 照明の明るさなどの変化が小さい場合、抑止できない場合があります。
  - 照明検出抑止を「On」に設定し、画面全体に動きがある被写体を検知した場合、動作検知検出を行わないことがあります。
- **［エリアNo通知］**
  「独自アラーム通知設定へ」をクリックすると、アラームページの［通知］タブが表示されます。
  （→174 ページ）

1 画像上でマウスをドラッグし、エリアを指定します。
［全領域］ボタンをクリックすると、全領域が動作検知エリアとして選択され、［エリア］の「1（白)」に設定されます。
→ 指定した場所がエリア「1（白)」に設定され、枠が表示されます。エリアはエリア番号の1番から順に設定されます。エリア番号の横の色は、対応する枠の色を表しています。また、エリアに設定する枠色の「状態」が「有効」になります。

2 「検出面積」「検出感度」をスライダーバーで設定します。「検出面積」は、左端から中央までを使用します。「検出感度」は、左端から右端までを使用します。
表示されているエリアにおける動き検出状況が、「検出面積」に表示されます。動き検出状況の表示が、スライダーバーを超えた場合にアラーム動作します。

お知らせ
- 「検出面積」のスライダーバーをうまく設定できない場合は、動き検出状況を確認しながら「検出感度」を調整してください。

3 設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。

重要
- ［設定］ボタンをクリックしないと設定内容が確定されません。

4 動作検知エリアを無効にする場合は、該当するエリアの「状態」を「無効」に変更し、［設定］ボタンをクリックします。
→ 無効になった枠色が点線になります。無効に設定すると、エリア内に変化があってもアラームは発生しません。

5 動作検知エリアを削除する場合は、削除するエリアの［削除］ボタンをクリックします。
→ 削除したエリアの枠が消去されます。

6 ［設定］ボタンをクリックします。

→ 設定内容が本機に反映されます。

7 ［戻る］ボタンをクリックすると、ポジション選択画面に戻ります。

2.7.8 メール通知に関する設定を行う［通知］

アラームページの［通知］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、アラームメールに関する設定を行います。メール通知を行うには、メールサーバーの設定が必要です。（→185 ページ）

メール通知

- **［メール設定へ］**
  クリックすると、サーバーページの［メール］タブが表示されます。（→185 ページ）
- **［メール通知］**
  以下の場合にメール通知を行うかどうかをOn／Offで設定します。
  - アラーム発生時（メール通知先「アラーム」欄）
  SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 :
  - SDメモリーカード残容量通知時（メール通知先「診断」欄）
  - SDメモリーカードの空き容量不足時（メール通知先「診断」欄）
  - SDメモリーカードの認識エラー時（メール通知先「診断」欄）

  初期設定：Off
- **［画像添付］**
  アラーム検出によるメール送信時に画像を添付するかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off

お知らせ

- ［アラーム］タブの「解像度」（→164 ページ）で設定した解像度の画像を添付して送信します。

メール通知先

- **［通知先 1］～［通知先 4］**
  通知先のメールアドレスを設定します。通知先は4件まで設定できます。
  「アラーム」欄：チェックを入れると、アラーム発生時、メール通知します。
  「通知先メールアドレス」欄：通知先のメールアドレスを入力します。
  入力可能文字数：3～128文字
  入力可能文字：半角英数字、半角記号「@」「.」「_」「-」
  設定したメールアドレスを削除したいときは、削除したいメールアドレスの［削除］ボタンをクリックします。
  「診断」欄 SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 **：**
  チェックを入れると、SDメモリーカード残容量通知時、SDメモリーカードの空き容量不足時、SDメモリーカードの認識エラー時にメール通知します。
- **［メール件名］**
  アラームメールの件名を入力します。
  入力可能文字数：0～50文字
- **［メール本文］**
  アラームメールの本文を入力します。
  入力可能文字数：0～200文字

お知らせ

- ［基本］タブの「言語選択」を「日本語」に設定している場合、「診断」によるメール通知の本文は日本語になります。「日本語」以外に設定している場合は英語になります。

SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 :

- SDメモリーカードの空き容量がなくなったときは「SDメモリーカードがFULLです。」、SDメモリーカードの認識エラーが発生したときは、「SDメモリーカードが認識できません。」というメール本文で送信されます。

2.7.9 独自アラーム通知に関する設定を行う［通知］

アラームページの［通知］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）

ここでは、独自アラーム通知に関する設定を行います。

独自アラーム通知		
独自アラーム通知	On	Off
アラームエリア情報付加（動作検知）	On	Off
通知先ポート番号	1818 (1−65535)	
リトライ回数	2	

設 定

独自アラーム通知先	アラーム	診断	通知先アドレス	
通知先 1				削 除
通知先 2				削 除
通知先 3				削 除
通知先 4				削 除
通知先 5				削 除
通知先 6				削 除
通知先 7				削 除
通知先 8				削 除

設 定

独自アラーム通知

- **[独自アラーム通知]**
  以下の場合に独自アラーム通知を行うかどうかをOn／Offで設定します。
  - アラーム発生時（独自アラーム通知先「アラーム」欄）
  SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 :
  - SDメモリーカード残容量通知時（独自アラーム通知先「診断」欄）
  - SDメモリーカードの空き容量不足時（独自アラーム通知先「診断」欄）
  - SDメモリーカードの認識エラー時（独自アラーム通知先「診断」欄）

  初期設定：Off

  お知らせ
  - 独自アラームの通知は、「通知先 1」から順に通知されます（「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ）。
- **[アラームエリア情報付加（動作検知）]**
  動作検知アラームのアラームエリア番号を独自アラームで通知するかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off
- **[通知先ポート番号]**
  独自アラーム通知先の受信ポート番号を設定します。
  設定可能範囲：1～65535
  初期設定：1818
  以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
  20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670
- **[リトライ回数]**

独自アラーム通知ができなかった場合の再試行回数を設定します。
設定可能範囲：0～30
初期設定：2

独自アラーム通知先

- **［通知先 1］～［通知先 8］**
  独自アラーム通知先をIPアドレスまたはホスト名で設定します。通知先は8件まで設定できます。
  「アラーム」欄：チェックを入れると、アラーム発生時、通知します。
  「通知先アドレス」欄：通知先のIPアドレスまたはホスト名を入力します。
  入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」
  設定した通知先を削除したいときは、削除したい通知先の［削除］ボタンをクリックします。
  「診断」欄 SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 **：**チェックを入れると、SDメモリーカードの残容量通知、SDメモリーカードの空き容量不足、SDメモリーカード認識エラーを通知します。

重要

- 「通知先アドレス」のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。(→190 ページ)
- 通知先が正しく設定されていることを確認してください。通知先が存在しない場合、独自アラーム通知の遅延や送信抜けが発生することがあります。

お知らせ

- 製造してからの経過年数は、メンテナンスページの［バージョンアップ］タブで確認できます。

2.7.10 HTTPアラーム通知に関する設定を行う［通知］

アラームページの［通知］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ)
ここでは、HTTPアラーム通知に関する設定を行います。

HTTPアラーム通知

- **［通知先 1］～［通知先 5］**
  HTTPアラーム通知するHTTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名で設定します。通知先は5件まで設定できます。
  入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」
  初期設定：http://
  入力例：http://IPアドレス:ポート番号、または、http://ホスト名:ポート番号
- **「アラーム」欄**
  チェックを入れると、アラーム発生時、HTTPアラーム通知を行います。
- **［削除］ボタン**
  設定されている通知先、ユーザー名、パスワード、通知データが初期設定に戻ります。
- **［ユーザー名］**
  HTTPサーバーにアクセスするユーザー名を入力します。
  入力可能文字数：0～63文字
  入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」
- **［パスワード］**
  HTTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。
  入力可能文字数：0～63文字
  入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」
- **［通知データ］**
  ［通知先 1］ ～ ［通知先 5］に設定したHTTPサーバーの後ろに付加する通知内容を設定します。
  入力可能文字：半角英数字、半角記号
  初期設定：/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01

お知らせ

- 通知先（「http://」を含む）と「通知データ」を合わせた文字数は、256文字までに制限されます。
- 「通知データ」は、必ずスラッシュ（/）から入力してください。
- HTTPアラーム通知に失敗した場合は、システムログに記載されます。
- 「通知データ」を空白にして［設定］ボタンを押しても、「/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01」が設定されます。
- HTTPSでのアラーム通知はできません。

例：
通知先に「http://192.168.0.100」、「通知データ」に「/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01」と設定した場合、「http://192.168.0.100/cgi-bin/comalarm.cgi?CMD=01」 というHTTPアラーム通知が実行されます。

2.8 認証を設定する［ユーザー管理］

ユーザー管理ページでは、PCや携帯電話・携帯端末から本機にアクセスできるユーザーやPC（IPアドレス）を制限する認証登録を行います。
ユーザー管理ページは、［ユーザー認証］タブ、［ホスト認証］タブ、［システム］タブで構成されています。

2.8.1 ユーザー認証を設定する［ユーザー認証］

ユーザー管理ページの［ユーザー認証］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、PCや携帯電話・携帯端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。
最大18ユーザーまで登録できます。

お知らせ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

- **[ユーザー認証]**
  ユーザー認証をするかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：On
- **[未登録ユーザー]**
  未登録ユーザーを設定するかどうかを選択します。
  「使用する」を選択すると、ユーザー認証されていない未登録のユーザーに対し、使用できる機能と使用できない機能を設定できます。
  初期設定：使用しない
- **[認証方式]**

ユーザー認証で使用する認証方式を設定します。
Digest or Basic：ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。
Digest：ダイジェスト認証を使用します。
Basic：ベーシック認証を使用します。
初期設定：Digest or Basic

お知らせ

- ［認証方式］の設定を変更した場合は、ウェブブラウザーを閉じて、アクセスし直してください。
- 弊社のネットワークディスクレコーダーなどでは、特に明記されていない限り、ダイジェスト認証には対応していません（2013年12月現在）。

- **［ユーザー名］**
ユーザー名を入力します。
入力可能文字数：1～32文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」
初期設定：空欄
- **［パスワード］／［パスワード確認］**
パスワードを入力します。
入力可能文字数：4～32文字
入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」
初期設定：空欄

お知らせ

- 登録済みのユーザー名を入力し、［登録］ボタンをクリックすると、ユーザー情報が上書きされます。

- **［アクセスレベル］**
ユーザーのアクセスレベルを以下から設定します。
1.管理者：本機のすべての操作を行うことができます。
2.カメラ制御：アクセスレベルをカメラ制御に設定します。「機能許可設定」で選択した機能を操作できます。
3.ライブ画表示：アクセスレベルをライブ画表示に設定します。「機能許可設定」で選択した機能を操作できます。
初期設定：3.ライブ画表示
- **［ユーザー確認］**
「ユーザー確認」の［▼］をクリックすると、登録されているユーザーを確認できます。
登録ユーザーは「登録したユーザー名［アクセスレベル］」で表示されます。（例：admin [1]）
右の［削除］ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。
- **［機能許可設定］**
ユーザーのアクセスレベル（カメラ制御、ライブ画表示、未登録ユーザー）によって使用できる機能を選択します。
初期設定：

– **カメラ制御：**すべてにチェックあり
– **ライブ画表示：**すべてにチェックなし
– **未登録ユーザー：**すべてにチェックなし

お知らせ

- **「ユーザー認証」を「Off」に設定し、「未登録ユーザー」を「使用しない」に設定した場合：**

「機能許可設定」の項目は設定できません。また、ライブ画での操作ボタンはすべて表示されますが、[設定] ボタンに関しては認証が必要になります。

- **「ユーザー認証」を「Off」に設定し、「未登録ユーザー」を「使用する」に設定した場合：**
  「未登録ユーザー」の項目が設定できます。
- **「ユーザー認証」を「On」に設定した場合：**
  「未登録ユーザー」の項目は設定できません。

以下の機能を設定できます。

動画表示	ライブ画での動画（H.264、MPEG-4、MJPEG）表示の設定権限（→19 ページ） 動画表示のチェックをつけると、「聞く」、「話す」がアクティブになります。 動画表示のチェックを外すと、「聞く」、「話す」のチェックも外れます。
聞く	受話音声（PCで聞く）の設定権限（→18 ページ）
話す	送話音声（PCから話す）の設定権限（→18 ページ）
画像更新間隔	JPEG形式の画像を更新する間隔の設定権限（→14 ページ）
解像度	JPEG画像の解像度の設定権限（→13 ページ）
スナップショット	スナップショットの操作権限（→18 ページ）
マルチスクリーン	マルチスクリーンの設定権限（→15 ページ）
SD参照（ログ表示） SC384 SW175 SW172 ST165 ST162	ログ表示の操作権限（→15 ページ）
SD保存 SC384 SW175 SW172 ST165 ST162	SDメモリーカード保存の設定権限（→15 ページ）
プリセット	プリセットポジションの設定権限（→17 ページ）
パン／チルト操作	パン／チルトの操作権限（→17 ページ）
ズーム操作	ズームの操作権限（→15 ページ）
フォーカス操作 SC384	フォーカスの操作権限（→15 ページ）
自動モード	自動モードの設定権限（→16 ページ）
明るさ	明るさの設定権限（→17 ページ）
AUX	AUXの設定権限（→15 ページ）

2.8.2 ホスト認証を設定する［ホスト認証］

ユーザー管理ページの［ホスト認証］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）

ここでは、本機にアクセスできるPC（IPアドレス）を制限するホスト認証設定を行います。

- **［ホスト認証］**
  ホスト認証をするかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off
- **［IPアドレス］**
  本機へのアクセスを許可するPCのIPアドレスを入力します。ホスト名をIPアドレスとして入力することはできません。

  お知らせ
  - 「IPアドレス／サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるPCを制限できます。
    例えば、「192.168.0.1/24」と入力し、アクセスレベルで「2.カメラ制御」を選択した場合は、「192.168.0.1」～「192.168.0.254」のPCが「2.カメラ制御」のアクセスレベルで本機へアクセスできます。
  - 登録済みのIPアドレスを入力し、［登録］ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。
- **［アクセスレベル］**
  ホストのアクセスレベルを以下から選択します。
  1.管理者／2.カメラ制御／3.ライブ画表示
  アクセスレベルについては178 ページをお読みください。
  初期設定：3.ライブ画表示

  お知らせ
  - ホストのアクセスレベルを「3.ライブ画表示」に設定した場合は、ユーザーレベル「2.カメラ制御」でアクセスすると、ホスト認証完了後、ユーザーレベル「2.カメラ制御」でカメラを使用できます。
- **［ホスト確認］**
  「ホスト確認」の［▼］をクリックすると、登録されているホストのIPアドレスを確認できます。
  ホストは「登録したIPアドレス［アクセスレベル］」で表示されます。（例：192.168.0.21 [1]）
  右の［削除］ボタンをクリックすると、選択したホスト（IPアドレス）を削除できます。

2.8.3 優先ストリームを設定する［システム］

お知らせ
- SW175／SW174W／SW172／ST165／ST162は、MPEG-4に対応していません。

ユーザー管理ページの［システム］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、複数のユーザーが同時にアクセスした場合でも、画質を下げたり、画像更新間隔を長くしたりすることなく、画像を配信できる優先ストリームの設定を行います。

優先ストリーム

- **[優先ストリーム]**
  優先ストリーム配信を使用するかどうかをOn／Offで設定します。
  初期設定：Off

  お知らせ

  - 「優先ストリーム」を「On」に設定した場合、アクセス可能なユーザー数が制限される場合があります。

- **[送信先IPアドレス（1）]**
  1つ目の送信先のIPアドレスを入力します。
- **[送信先IPアドレス（2）]**
  2つ目の送信先のIPアドレスを入力します。
- **[ストリーム種別]**
  JPEG／H.264・MPEG-4(1)／H.264・MPEG-4(2)のいずれかを選択します。
  JPEG：JPEG画像が配信されます。
  H.264・MPEG-4(1)：H.264(1)（またはMPEG-4(1)）画像が配信されます。
  H.264・MPEG-4(2)：H.264(2)（またはMPEG-4(2)）画像が配信されます。
  初期設定：JPEG

  お知らせ

  - 「H.264(MPEG-4)」の「配信モード」で「ベストエフォート配信」を選択している場合、他のユーザーの接続状態により最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。

- **[画像更新速度*]**
  画像の更新間隔を以下から選択します。
  「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。
  0.1fps ／ 0.2fps ／ 0.33fps ／ 0.5fps ／1fps ／ 2fps ／ 3fps ／ 5fps ／ 6fps * ／10fps * ／ 12fps * ／15fps * ／ 30fps *
  初期設定：1fps

お知らせ

- 「H.264（MPEG-4）配信」を「On」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が遅くなることがあります。

- **[解像度]**
  画像の解像度を以下から選択します。
  「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。
  - **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
    SC384 SW175 SW174W ST165：
    QVGA ／ VGA ／ 1280×960
    SW172 ST162：
    QVGA ／ VGA ／ 800×600
  - **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
    SC384 SW175 SW174W ST165：
    320×180 ／ 640×360 ／ 1280×720
    SW172 ST162：
    320×180 ／ 640×360

  初期設定：1280×960 SC384 SW175 SW174W ST165／VGA SW172 ST162

2.9 サーバーの設定をする［サーバー］

サーバーページでは、メールサーバーとFTPサーバー、NTPサーバーの設定を行います。
サーバーページは、［メール］タブ、［FTP］タブ、［NTP］タブで構成されています。

2.9.1 メールサーバーを設定する［メール］

サーバーページの［メール］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、アラームメールを送信するためのメールサーバーの設定を行います。

重要

- 電子メールを受信する端末が文字コードUTF-8に対応していない場合、正常に受信することができません。

- **［SMTPサーバーアドレス］**
  電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
  入力可能文字数：1〜128文字
  入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」
- **［SMTPポート番号］**
  メールを送信するポート番号を入力します。
  設定可能ポート番号：1〜65535
  初期設定：25
  以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
  20、21、23、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670
- **［POPサーバーアドレス］**
  「認証方法」で「POP before SMTP」を選択した場合は、POPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
  入力可能文字数：1〜128文字
  入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

  重要

  - 「SMTPサーバーアドレス」「POPサーバーアドレス」のホスト名を入力するには、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（→190 ページ）

- **［認証　認証方法］**
  メールを送信するときの認証方法を以下から選択します。
  なし：認証しません
  POP before SMTP：電子メールを送信する前に、メールを受信するPOPサーバーの認証を行います。
  SMTP：SMTPサーバーの認証を行います。
  初期設定：なし

  お知らせ
  - 電子メールを送信するための認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- **［認証　ユーザー名］**
  サーバーにアクセスするユーザー名を入力します。
  入力可能文字数：0～32文字
  入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」
- **［認証　パスワード］**
  サーバーにアクセスするパスワードを入力します。
  入力可能文字数：0～32文字
  入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」
- **［送信者メールアドレス］**
  送信元のメールアドレスを入力します。
  入力したメールアドレスは、受信メールの「From（差出人）」欄に表示されます。
  入力可能文字数：3～128文字
  入力可能文字：半角英数字、半角記号「@」「.」「_」「-」
- **［SSL］**
  「アラーム通知」や「自己診断通知（SD）」のメール通知をSSL暗号化して送信する場合には、「On」に設定してください。「On」に設定すると、認証方式は「SMTP」に設定されます。認証用の「ユーザー名」、「パスワード」を設定してください。
  初期設定：Off

  お知らせ
  - SMTPサーバーによってはSSLに対応していない場合があります。
  - SMTP over SSL方式に対応しています。STARTTLSには対応していません。
  - 「On」に設定した場合、SMTPのポート番号を465に設定する必要がある場合があります。詳細は使用しているプロバイダーに確認してください。

2.9.2 FTPサーバーを設定する［FTP］

サーバーページの［FTP］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）

ここでは、アラーム画像を送信するFTPサーバーの設定を行います。

- **[FTPサーバーアドレス]**
  画像を送信するFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
  入力可能文字数：1～128文字
  入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」

  重要
  - 「FTPサーバーアドレス」のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。(→190 ページ)

- **[ユーザー名]**
  FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。
  入力可能文字数：1～32文字
  入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「:」「;」「¥」
- **[パスワード]**
  FTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。
  入力可能文字数：0～32文字
  入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」
- **[コントロールポート番号]**
  FTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。
  設定可能ポート番号：1～65535
  初期設定：21
  以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
  20、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、443、995、10669、10670
- **[モード]**
  FTPの通信モードをパッシブモード／アクティブモードから選択します。
  通常は「パッシブモード」を選択します。「パッシブモード」で接続できない場合は、「アクティブモード」に切り換えてください。
  初期設定：パッシブモード

2.9.3 NTPサーバーを設定する［NTP］

サーバーページの［NTP］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ)
ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。

重要

- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合は、NTPサーバーを使用してください。

- **[時刻調整]**
  時刻調整の方法を以下から選択します。選択された方法で調整された時刻は、本機の標準時間として使用されます。
  マニュアルセッティング：基本ページの［基本］タブで設定された時刻が、本機の標準時間として使用されます。
  NTP サーバーに同期：NTPサーバーとの同期で自動調整された時刻が、本機の標準時間として使用されます。
  初期設定：マニュアルセッティング
- **[NTPサーバーアドレス取得方法]**
  「時刻調整」で「NTPサーバーに同期」を選択した場合は、NTPサーバーアドレスの取得方法を選択します。
  Auto：DHCPサーバーからNTPサーバーアドレスを取得します。
  Manual：NTPサーバーアドレスを「NTPサーバーアドレス」に入力して設定します。
  初期設定：Manual

  重要

  - 「NTPサーバーアドレス」をDHCPサーバーから取得する場合は、ネットワークページの［ネットワーク］タブで「接続モード」を「DHCP」、「自動設定（AutoIP)」、「自動設定(おまかせ)」のいずれかに設定する必要があります。(→190 ページ)

- **[NTPサーバーアドレス]**
  「NTPサーバーアドレス取得方法」で「Manual」を選択した場合は、NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
  入力可能文字数：1～128文字
  入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」
  初期設定：なし（空白）

  重要

  - 「NTPサーバーアドレス」のホスト名を入力するには、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。(→190 ページ)

- **[ポート番号]**
  NTPサーバーのポート番号を入力します。
  設定可能ポート番号：1～65535
  初期設定：123
  以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。

20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、161、162、443、995、10669、10670

- **[時刻更新間隔]**
  NTPサーバーから時刻を取得する間隔（1～24時間で1時間単位）を選択します。
  初期設定： 1h

2.10 ネットワークの設定［ネットワーク］

ネットワークページでは、ネットワーク設定およびDDNS（Dynamic DNS）、SNMP（Simple Network Management Protocol）に関する設定を行います。
ネットワークページは、［ネットワーク］、［DDNS］、［SNMP］、［FTP定期］の4つのタブで構成されています。

2.10.1 ネットワークを設定する［ネットワーク］

お知らせ

- SW175／SW174W／SW172／ST165／ST162は、MPEG-4に対応していません。

ネットワークページの［ネットワーク］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
以下の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。
ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IPアドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- HTTPポート
- DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス（DNSを使用する場合）

IPv4ネットワーク

［接続モード］

IPアドレスの設定方法を選択します。

固定IP：IPアドレスを「IPアドレス（IPv4）」に入力して設定します。

DHCP：DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。

自動設定（AutoIP）：DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、自動でIPアドレスを設定します。

自動設定(おまかせ)：DHCP機能を利用してネットワークアドレス情報を参照し、使用していないIPアドレスを固定IPアドレスとしてカメラへ設定します。設定されるIPアドレスはサブネットマスクの範囲内でカメラが自動で決定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、IPアドレスを192.168.0.10に設定します。
初期設定：自動設定（おまかせ）

お知らせ

- 自動設定（AutoIP）で、DHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合は、169.254.1.0～169.254.254.255の間で同一ネットワーク内で使用されていないIPアドレスを検索してIPアドレスを設定します。

[IPアドレス（IPv4)]

DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。PCや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。
初期設定：192.168.0.10

お知らせ

- DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

[サブネットマスク]

DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。
初期設定：255.255.255.0

[デフォルトゲートウェイ]

DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。
初期設定：192.168.0.1

お知らせ

- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

[DNS]

DNSサーバーのアドレスを自動（「Auto」）で取得するか、手動で入力する（「Manual」）かを設定します。「Manual」に設定した場合、DNSの設定を行う必要があります。
DHCP機能を使用する場合は、「Auto」に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。
初期設定：Auto

[プライマリーサーバーアドレス]、[セカンダリーサーバーアドレス]

「DNS」を「Manual」で使用する場合、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。
DNSサーバーのIPアドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

IPv6ネットワーク

[手動設定]

IPv6アドレスを手動で設定するかどうかをOn／Offで設定します。
On：手動でIPv6アドレスを入力します。
Off：IPv6アドレスの手動入力ができません。
初期設定：Off

[IPアドレス（IPv6）]

「手動設定」を「On」に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。
他の機器と重複しないよう入力してください。

お知らせ

- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるプレフィックス情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

[デフォルトゲートウェイ]

IPv6ネットワークの「手動設定」が「On」のとき、本機のIPv6ネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。
初期設定：空欄

[DHCPv6]

IPv6のDHCP機能を使用するかどうかをOn／Offで設定します。
DHCP機能を使用しないPCと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
初期設定：Off

[DNSプライマリーサーバーアドレス]、[DNSセカンダリーサーバーアドレス]

DNSサーバーのIPv6アドレスを入力します。DNSサーバーのIPv6アドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

IPv6/v4共通

[HTTPポート番号]

ポート番号を個別に割り当てます。
設定可能ポート番号：1～65535
初期設定：80
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、443、554、995、10669、10670、59000～61000

[通信速度]

データの通信速度を以下から選択します。通常は、初期設定の「Auto」のまま使用することをお勧めします。
Auto：通信速度が自動設定されます。
100 M-Full：100 Mbps 全二重
100 M-Half：100 Mbps 半二重
10 M-Full：10 Mbps 全二重
10 M-Half：10 Mbps 半二重
初期設定：Auto

[RTPパケット 最大送信サイズ]

RTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信するRTPパケットサイズを制限するかどうかを設定します。通常は、初期設定のまま使用することをお勧めします。
使用する通信回線のパケットサイズが制限されている場合は、「制限あり（1280byte）」を選択してください。通信回線の最大パケットサイズについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

初期設定：制限あり（1280byte）

[HTTPの最大セグメントサイズ]

HTTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する最大セグメントサイズ（MSS）を制限するかどうかを設定します。通常は、初期設定のまま使用することをお勧めします。
使用する通信回線の最大セグメントサイズ（MSS）が制限されている場合は、「制限あり（1024byte)」／「制限あり（1280byte)」を選択してください。通信回線の最大セグメントサイズ（MSS）については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
初期設定：制限あり（1280byte）

UPnP

本機は、UPnP（Universal Plug and Play）に対応しています。UPnP機能を使用すると、以下の設定を自動で行うことができます。

– ルーターのポートフォワーディング機能を設定すること。（ただし、UPnP対応のルーターが必要です。）この設定はインターネットや携帯電話・携帯端末からカメラにアクセスする場合に便利です。
– カメラへのショートカットをPCの［ネットワーク］フォルダーに作り、カメラのIPアドレスが変わってもそのショートカットが自動で更新されること。

[自動ポートフォワーディング]

ルーターのポートフォワーディング機能を使用するかどうかをOn／Offで設定します。
自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっていなければなりません。
初期設定：Off

お知らせ

- 自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、PCやレコーダーなどに登録されているカメラのポート番号を変更する必要があります。
- UPnPの機能は、カメラをIPv4ネットワークに接続する場合に使用できます。IPv6には対応していません。
- 自動ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認するには、メンテナンスページの［ステータス］タブをクリックし、［UPnP］のステータスが［有効］になっていることを確認します。(→243 ページ)
  ［有効］が表示されていない場合は、故障かな!?の「インターネットからカメラにアクセスできない」をお読みください。(→256 ページ)

[カメラへのショートカット]

カメラへのショートカットをPCの［ネットワーク］フォルダーに作るかどうかをOn／Offで設定します。
カメラのショートカットを作る場合に、［On］を選択してください。
カメラへのショートカット機能を使用するには、あらかじめPCでUPnP機能を有効に設定してください。
初期設定：Off

お知らせ

- Windowsの［ネットワーク］フォルダーにカメラへのショートカットを表示させるには、Windowsコンポーネントを追加する必要があります。以下を参照して、UPnPを有効にしてください。
  Windows XPの場合
  ［スタート］→（［設定］）→［コントロールパネル］→［プログラムの追加と削除］→［Windowsコンポーネントの追加と削除］→［ネットワークサービス］を選択する→［詳細］→［インターネッ

トゲートウェイデバイスの検出とクライアントの制御］と［UPnPユーザーインターフェース］にチェックを付ける→［OK］→［次へ］→完了

Windows Vistaの場合

［スタート］→［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット］→［ネットワークと共有センター］→［共有と探索］の［ネットワーク探索］の項目を広げる→［ネットワーク探索を有効にする］を選択する→［適用］をクリックする→完了

Windows 7の場合

［スタート］→［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット］→［ネットワークと共有センター］→［共有の詳細設定の変更］の［ネットワーク探索］の［ネットワーク探索を有効にする］を選択する→［変更の保存］をクリックする→完了

Windows 8の場合

［スタート］→［すべてのアプリ］を選択する→［コントロールパネル］→［ネットワークとインターネット］→［ネットワークと共有センター］→［共有の詳細設定の変更］の［ネットワーク探索］の［ネットワーク探索を有効にする］を選択する→［変更の保存］をクリックする→完了

Windows 8.1の場合

［スタート］を右クリックし、［コントロールパネル］を選択する→［ネットワークとインターネット］→［ネットワークと共有センター］→［共有の詳細設定の変更］の［ネットワーク探索］の［ネットワーク探索を有効にする］を選択する→［変更の保存］をクリックする→完了

HTTPS

HTTPS機能を使用することで、カメラへのアクセスを暗号化することができ、通信の安全性を高めることができます。
HTTPSの設定方法については、198 ページをお読みください。

［CRT鍵生成］

HTTPSで使用するCRT鍵（SSL暗号化キー）を生成します。
CRT鍵の生成は、［実行］ボタンをクリックすると表示される「CRT鍵生成ダイアログ」で行います。

［自己証明書－生成］

HTTPSで使用するセキュリティ証明書を本機自身で生成します。（自己証明書）
自己証明書（セキュリティ証明書）の生成は、［実行］ボタンをクリックすると表示される、「自己証明書生成ダイアログ」で行います。

［自己証明書－情報］

自己証明書（セキュリティ証明書）の情報が表示されます。
［確認］ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）の登録内容が、「自己証明書確認ダイアログ」に表示されます。
［削除］ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）を削除します。

［CA証明書－署名リクエスト（CSR）生成］

HTTPSで使用するセキュリティ証明書として、認証機関（CA：Certificate Authority）によって発行されたセキュリティ証明書を使用する場合に、認証機関に申請するための署名リクエスト（CSR：Certificate Signing Request）を生成します。
署名リクエスト（CSR）の生成は、［実行］ボタンをクリックすると表示される、「署名リクエスト（CSR）生成ダイアログ」で行います。

［CA証明書－サーバー証明書インストール］

証明機関から発行されたサーバー証明書（セキュリティ証明書）のインストールおよびインストールされたサーバー証明書（セキュリティ証明書）の情報表示を行います。

［参照］ボタンをクリックすると表示される「ファイルを開くダイアログ」で、認証機関から発行されたサーバー証明書（セキュリティ証明書）のファイルを選択し、［実行］ボタンをクリックするとサーバー証明書（セキュリティ証明書）のインストールが実行されます。
サーバー証明書（セキュリティ証明書）がインストールされている場合は、インストールしたサーバー証明書のファイル名を表示します。

[CA証明書ー情報]

サーバー証明書（セキュリティ証明書）の情報が表示されます。
［確認］ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）の登録内容が、「サーバー証明書確認ダイアログ」に表示されます。サーバー証明書（セキュリティ証明書）をインストールしていない場合は、生成した署名リクエスト（CSR）の内容が表示されます。
［削除］ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除します。

重要

- 有効なサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除する場合は、PC、記録メディアなどにサーバー証明書（セキュリティ証明書）のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書（セキュリティ証明書）が必要になります。

[接続方法]

本機への接続方法を設定します。
HTTP：HTTP接続のみ可能になります。
HTTPS：HTTPS接続のみ可能になります。
初期設定：HTTP

[HTTPSポート番号]

HTTPSで使用するポート番号を設定します。
設定可能ポート番号：1～65535
初期設定：443
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、554、995、10669、10670、59000～61000

お知らせ

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- 自己証明書を使用する場合の注意
  HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書（セキュリティ証明書）をPCにインストールしてください。（→207 ページ）
- サーバー証明書を使用する場合の注意
  あらかじめご使用のブラウザーに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

[カメラへのFTPアクセス]

カメラへのFTPアクセスを許可するかどうかを許可／禁止で選択します。
初期設定：禁止

[配信量制御（ビットレート）]

データの配信量を以下から選択します。
制限なし／64kbps／128kbps／256kbps／384kbps／512kbps／768kbps／1024kbps／2048kbps／4096kbps／8192kbps
初期設定：制限なし

お知らせ

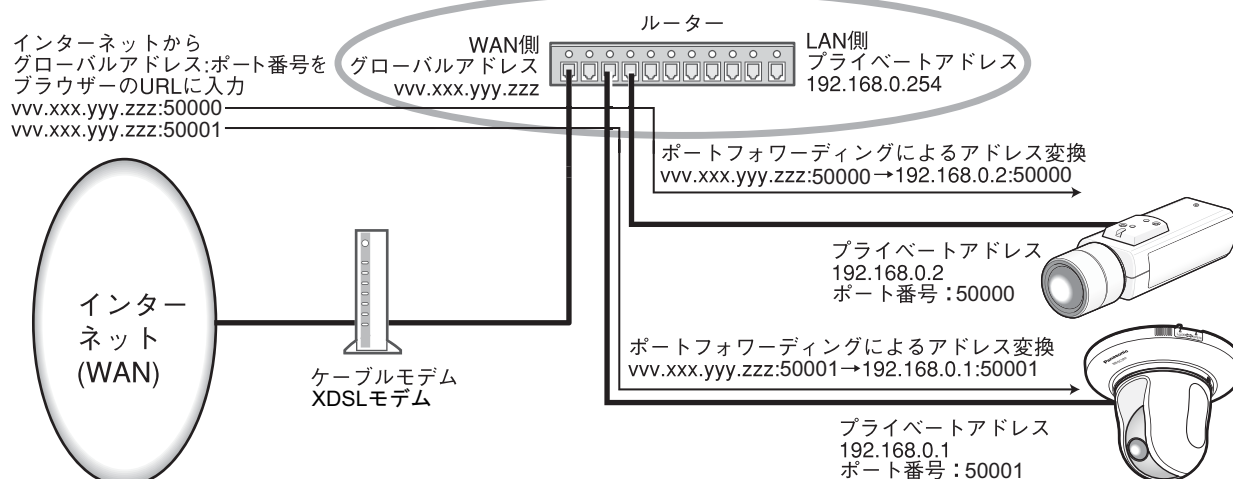
- 「64kbps」を選択した場合は、［音声］タブの「音声モード」を「Off」に設定してください。（→155 ページ）
- JPEG画像のライブ画像配信とFTP定期送信を同時に動作させるには、「128kbps」以上のビットレートを選択してください。
- 「配信量制御（ビットレート）」を低く設定した場合、使用環境によっては、スナップショットボタンが動作しない場合があります。
  その場合は、カメラページの［JPEG／H.264］タブ（または［JPEG／MPEG-4］タブ）でJPEGの「解像度」を「QVGA」にするか、またはJPEGの「画質設定」で画質を低く設定してください。

[IP簡単設定有効期間]

IP簡単設定ソフトウェアからネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから20分間／無制限のどちらかに設定します。
20分間：IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を、本機起動後20分間のみ有効にします。
無制限：IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を常時有効にします。
初期設定：20分間

お知らせ

- IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ表示は常時有効で、カメラ画面を開くことができます。
- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、「静的IPマスカレード」や「ネットワークアドレス変換（NAT）」などがあります。この機能はルーターに設定します。

- ルーターにカメラを接続してインターネット経由でカメラとアクセスするには、ネットワークカメラごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

2.10.2 HTTPSの設定を行う

ネットワークページの［ネットワーク］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、カメラへのアクセスを暗号化し、通信の安全性を高めるためのHTTPSを設定します。
HTTPSの設定は次の手順で行います。

① CRT鍵（SSL暗号化キー）の生成（→199 ページ）

② 自己証明書の生成（→201 ページ）

③ 署名リクエスト（CSR）の生成（→202 ページ）

④ サーバー証明書のインストール（→204 ページ）

⑤ 接続方法の設定（→205 ページ）

お知らせ

- サーバー証明書を使用する場合、認証機関への申請～サーバー証明書の発行は、お客様と認証機関の間で行っていただく必要があります。
- 自己証明書あるいはサーバー証明書はいずれか一方を使用します。本機では、自己証明書の生成とサーバー証明書のインストールがともに行われた場合は、サーバー証明書を優先して使用します。

2.10.2.1 CRT鍵（SSL暗号化キー）の生成のしかた

重要

- 自己証明書、サーバー証明書が有効な場合は、CRT鍵の生成を行うことはできません。
- サーバー証明書を使用する場合は、認証機関によって使用できる鍵長が異なります。あらかじめ使用できる鍵長を確認してください。
- CRT鍵の生成は、1024 bitの場合で1分程度、2048 bitの場合は2分程度かかります。CRT鍵の生成が完了するまで、ブラウザーを操作しないでください。CRT鍵生成中は、画面の表示速度や通信速度が低下することがあります。

1 ［CRT鍵生成］の［実行］ボタンをクリックします。

→「CRT鍵生成ダイアログ」が表示されます。

2 ［CRT鍵生成－RSA鍵長］で、生成するCRT鍵の長さを1024bit／2048bitから選択します。

お知らせ

- サーバー証明書を使用する場合、RSA鍵長は申請する認証機関から要求される内容に従ってください。

3 ［実行］ボタンをクリックします。

→ CRT鍵の生成が始まります。
CRT鍵の生成が終了すると、［現在のCRT鍵］に生成したCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時が表示されます。

お知らせ

- 生成したCRT鍵を変更（更新）したい場合は、STEP1～3の操作を行います。CRT鍵と自己証明書、サーバー証明書は一組で有効になるため、CRT鍵を変更した場合は、あらためて自己証明書の生成あるいはサーバー証明書の申請を行う必要があります。
- CRT鍵を更新した場合、それまでのCRT鍵を1つ分履歴管理しています。「CRT鍵生成ダイアログ」の［現在のCRT鍵］で［履歴］ボタンをクリックすると、「過去のCRT鍵」ダイアログが表示され、鍵長と生成が完了した日時を確認することができます。
「過去のCRT鍵」ダイアログで、［適用］ボタンをクリックすると、過去のCRT鍵を現在のCRT鍵と入れ替えることができます。

2.10.2.2 自己証明書（セキュリティ証明書）の生成のしかた

重要

- CRT鍵が生成されていない場合、自己証明書の生成を行うことはできません。

1 ［自己証明書－生成］の［実行］ボタンをクリックします。
→「自己証明書－生成ダイアログ」が表示されます。

2 生成する証明書の情報を入力します。

項目	説明	入力可能文字数
［ホスト名］	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
［国名］	国別記号を入力します。（省略可能）	2文字：国名コード （日本の場合：JP）
［都道府県名］	都道府県名を入力します。（省略可能）	128文字
［市区町村名］	市区町村名を入力します。（省略可能）	128文字
［組織名］	組織名を入力します。（省略可能）	64文字
［部署名］	部署名を入力します。（省略可能）	64文字
［CRT鍵］	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

お知らせ

- ［ホスト名］、［都道府県名］、［市区町村名］、［組織名］、［部署名］で入力可能な文字は、0～9（半角）、A～Z（半角）、a～z（半角）、半角記号「-」「.」「_」「,」「+」「/」「(」「)」です。
- カメラをインターネットに公開している場合、［ホスト名］にはインターネットからアクセスするアドレスまたはホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスすると、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスするごとにセキュリティ警告画面が表示されます。
- ［ホスト名］にIPv6アドレスを入力する場合は、アドレスを［ ］で囲んでください。

例：**[2001:db8::10]**

3 入力が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
→ 自己証明書が生成されます。

お知らせ

- 生成した自己証明書の情報は、[自己証明書－情報] に表示されます。
自己証明書（セキュリティ証明書）の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
未生成	自己証明書が生成されていない場合
無効：CA証明書インストール済み	自己証明書が生成済みで、サーバー証明書もインストール済みの場合 • この場合、サーバー証明書が有効になります。
[自己証明書のホスト名]	自己証明書が生成済みで、有効な場合

- [確認] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）の登録内容が、「自己証明書－確認」ダイアログに表示されます。

- [削除] ボタンをクリックすると、生成した自己証明書（セキュリティ証明書）を削除します。
- 「接続方法」で「HTTPS」が選択されている場合は、自己証明書（セキュリティ証明書）の削除を行うことはできません。

2.10.2.3 署名リクエスト（CSR）の生成のしかた

重要

- CRT鍵が生成されていない場合、署名リクエスト（CSR）の生成を行うことはできません。
- 署名リクエスト（CSR）を生成する場合、ウェブブラウザーのインターネットオプションであらかじめ以下の設定を行ってください。メニューバーの「ツール」－「インターネットオプション」－「セキュリティ」タブで、
    - カメラを「信頼済みサイト」に登録する。
    - 「レベルのカスタマイズ」で「ダウンロード」－「ファイルのダウンロード」を「有効にする」に設定する。

- 「レベルのカスタマイズ」で「ダウンロード」－「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を「有効にする」に設定する。

お知らせ

- Internet Explorerのバージョンによっては、手順が異なる場合があります。

1 ［CA証明書－署名リクエスト（CSR）生成］の［実行］ボタンをクリックします。

→「CA証明書－署名リクエスト（CSR）生成」ダイアログが表示されます。

2 生成する証明書の情報を入力します。

項目	説明	入力可能文字数
［ホスト名］	カメラのアドレスあるいはホスト名を入力します。	64文字
［国名］	国別記号を入力します。	2文字：国名コード
［都道府県名］	都道府県名を入力します。	128文字
［市区町村名］	市区町村名を入力します。	128文字
［組織名］	組織名を入力します。	64文字
［部署名］	部署名を入力します。	64文字
［CRT鍵］	現在のCRT鍵の鍵長と生成が完了した日時を表示します。	

お知らせ

- サーバー証明書を使用する場合、入力する情報は、申請する認証機関から要求される内容に従ってください。
- ［ホスト名］、［都道府県名］、［市区町村名］、［組織名］、［部署名］で入力可能な文字は、0～9（半角）、A～Z（半角）、a～z（半角）、半角記号「-」「.」「_」「,」「+」「/」「(」「)」です。

3 入力が終了したら、［OK］ボタンをクリックします。

→「名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

4 「名前を付けて保存」ダイアログで、署名リクエスト（CSR）にファイル名を付け、PCに保存します。
→ 保存した署名リクエスト（CSR）を使用して認証機関に申請します。

重要

- 生成した署名リクエスト（CSR）とCRT鍵の組に対して、サーバー証明書が発行されます。認証機関に申請後、CRT鍵を生成／更新すると、発行されるサーバー証明書が使用できなくなります。

お知らせ

- 本機で生成する署名リクエスト（CSR）は、PEM形式です。

2.10.2.4 サーバー証明書のインストールのしかた

重要

- 署名リクエスト（CSR）が生成されていない場合、サーバー証明書（セキュリティ証明書）のインストールを行うことはできません。
- サーバー証明書のインストールには認証機関から発行されたサーバー証明書が必要です。

1 ［CA証明書－サーバー証明書インストール］の［参照］ボタンをクリックします。
→「ファイルを開くダイアログ」が表示されます。

2 サーバー証明書ファイルを選択し、［開く］ボタンをクリックし、［実行］ボタンをクリックします。
→ サーバー証明書がインストールされます。

お知らせ

- インストールしたサーバー証明書に登録されているホスト名が、［CA証明書－情報］に表示されます。また、サーバー証明書の状態によって、次のように表示されます。

表示内容	説明
無効	サーバー証明書がインストールされていない場合
［サーバー証明書のホスト名］	サーバー証明書がインストール済みで、有効な場合
有効期限切れ	サーバー証明書の有効期限が切れた場合

- ［確認］ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）の内容が、「CA証明書－確認」ダイアログに表示されます。（部署名欄のみアスタリスクが表示されます。）

- ［削除］ボタンをクリックすると、インストールしたサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除します。
- 「接続方法」で「HTTPS」が選択されている場合は、サーバー証明書（セキュリティ証明書）の削除を行うことはできません。
- サーバー証明書を更新する場合は、STEP1～STEP2の操作を行います。

重要

- 有効なサーバー証明書（セキュリティ証明書）を削除する場合は、PC、記録メディアなどにサーバー証明書（セキュリティ証明書）のバックアップがあることを確認してください。再度インストールする場合に、サーバー証明書（セキュリティ証明書）が必要になります。
- サーバー証明書の有効期限が切れると、HTTPS機能を使用することができなくなります。この場合、再起動すると、接続方法がHTTPに変更されます。サーバー証明書の有効期限が切れる前に、サーバー証明書の更新を行ってください。
- サーバー証明書の有効期限は、認証機関から発行されたサーバー証明書ファイルをダブルクリックすると確認することができます。

2.10.2.5 接続方法の設定

1 ［接続方法］で、カメラへのアクセス方法を設定します。
HTTP：HTTP接続のみ可能になります。
HTTPS：HTTPS接続のみ可能になります。

2 ［HTTPSポート］に、HTTPSで使用するポート番号を設定します。
設定可能ポート番号：1～65535
初期設定：443
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20、21、23、25、42、53、67、68、69、80、110、123、161、162、554、995、10669、10670、59000～61000

3 ［設定］ボタンをクリックします。
→ カメラが再起動し、HTTPSでのカメラへのアクセスが有効になります。

(→PCから画像を見る：9 ページ、携帯電話から画像を見る：23 ページ、携帯端末から画像を見る：26 ページ)

お知らせ

- 接続方法の設定が変更された場合、本機は再起動します。
- 自己証明書を使用する場合の注意
  HTTPSでカメラにアクセスした場合、初回は警告画面が表示されます。画面に従って、自己証明書（セキュリティ証明書）をPCにインストールしてください。(→207 ページ)
- サーバー証明書を使用する場合の注意
  あらかじめご使用のブラウザーに認証機関のルート証明書、中間証明書をインストールしてください。ルート証明書、中間証明書の取得方法、インストール方法は、認証機関の手順に従ってください。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、画面の表示速度と動画のフレームレートが低下することがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合、画像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスしたときに、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。
- HTTPSでカメラにアクセスする場合は、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。
  カメラに同時に接続できる最大数は最大画像サイズと配信フォーマットにより異なります。

2.10.3 HTTPSでカメラにアクセスする

1 PCでウェブブラウザーを起動します。

2 カメラのIPアドレスを、ウェブブラウザーの［アドレス］ボックスに入力します。
入力例：`https://192.168.0.10/`

重要

- HTTPSポートが番号が「443」から変更されている場合は、「https://カメラのIPアドレス：ポート番号」を［アドレス］ボックスに入力してください。
  例：**`https://192.168.0.11:61443`**
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、ウェブブラウザー（メニューバーの「ツール」－「インターネットオプション」）からプロキシサーバーの設定を行ってください。

3 ［Enter］キーを押します。

→ ライブ画ページが表示されます。
セキュリティ警告画面が表示されたら、セキュリティ証明書をインストールします。(→207 ページ)
「ユーザー認証」を「On」に設定した場合、ライブ画ページが表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

重要

- HTTPSを使用すると、画面表示や画像表示が遅くなり、画像更新間隔（フレームレート）も長くなることがあります。

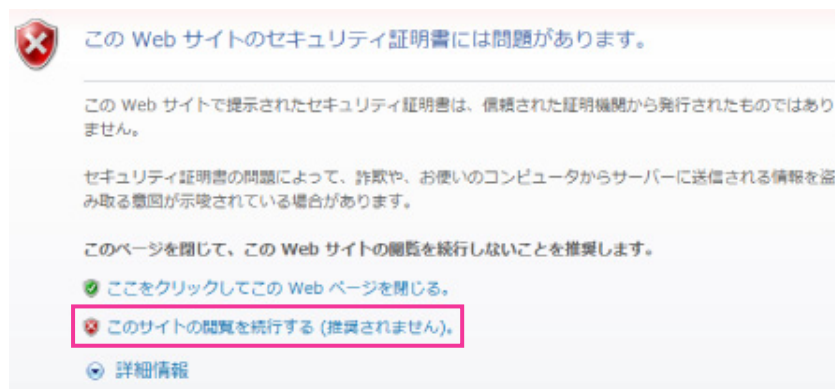
2.10.3.1 セキュリティ証明書をインストールする

HTTPSを使用してカメラにアクセスするときに、アクセスするカメラのセキュリティ証明書がPCにインストールされていない場合に、セキュリティの警告画面が表示されます。この警告画面を表示しないようにするには、以下の手順に従ってセキュリティ証明書をインストールする必要があります。インストールしない場合は、アクセスするごとにセキュリティの警告画面が表示されます。

お知らせ

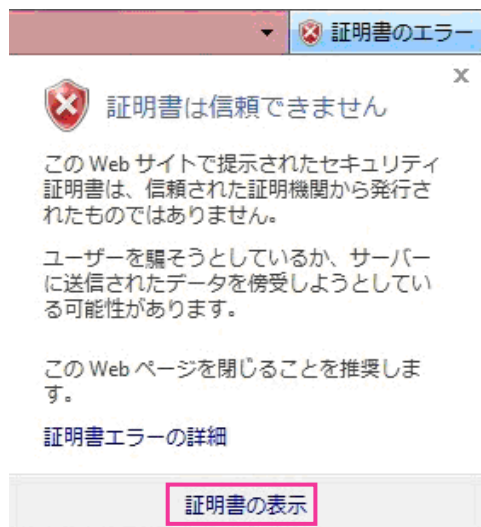
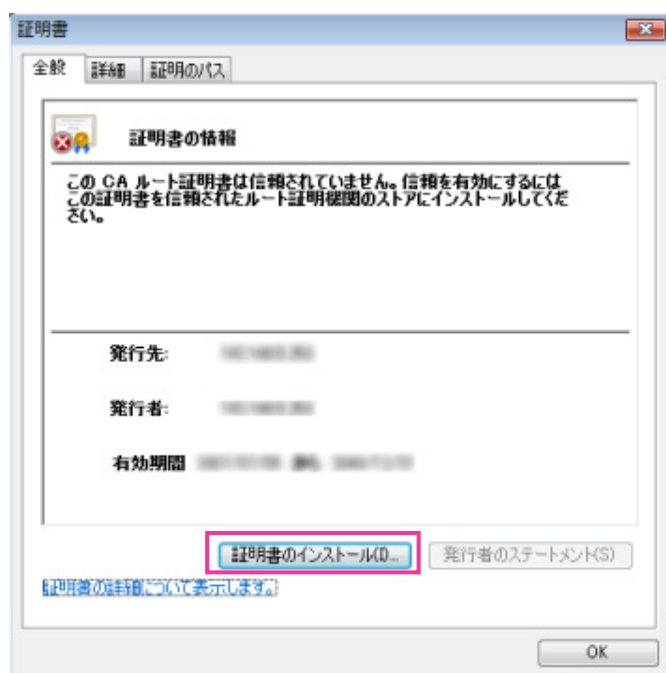
- ［ホスト名］に設定している内容でセキュリティ証明書がPCにインストールされます。そのため、［ホスト名］に設定している内容をカメラにアクセスするためのアドレス／ホスト名に合わせる必要があります。異なる場合は、アクセスするごとにセキュリティの警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書をインストールしても、カメラのアドレス／ホスト名を変更した場合は、セキュリティの警告画面が表示されます。再度、セキュリティ証明書をインストールしてください。
- インターネットに公開している場合、［ホスト名］には、インターネットからアクセスするアドレス／ホスト名を設定してください。この場合、ローカルからアクセスした場合、セキュリティ証明書をインストールしてもアクセスするごとにセキュリティ警告画面が表示されます。
- セキュリティ証明書が正しくインストールされると、カメラにアクセスしたブラウザーの［アドレス］ボックスに鍵のアイコンが表示されます。
- Windows XP Internet Explorer 7、Windows XP Internet Explorer 8 の場合、少し画面が異なりますので、ご注意ください。
- Internet Explorer 10、Internet Explorer 11の場合、少し画面が異なりますので、ご注意ください。

1 HTTPSでカメラにアクセスします。

2 セキュリティ警告画面が表示されたら、「このサイトの閲覧を続行する（推奨されません)。」をクリックします。

→ ライブ画ページが表示されます。
なお、認証画面が表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。

お知らせ

- カメラ以外の機器／サイトにアクセスし、上記の画面が表示された場合は、セキュリティ上の問題がある可能性がありますので、よくご確認ください。

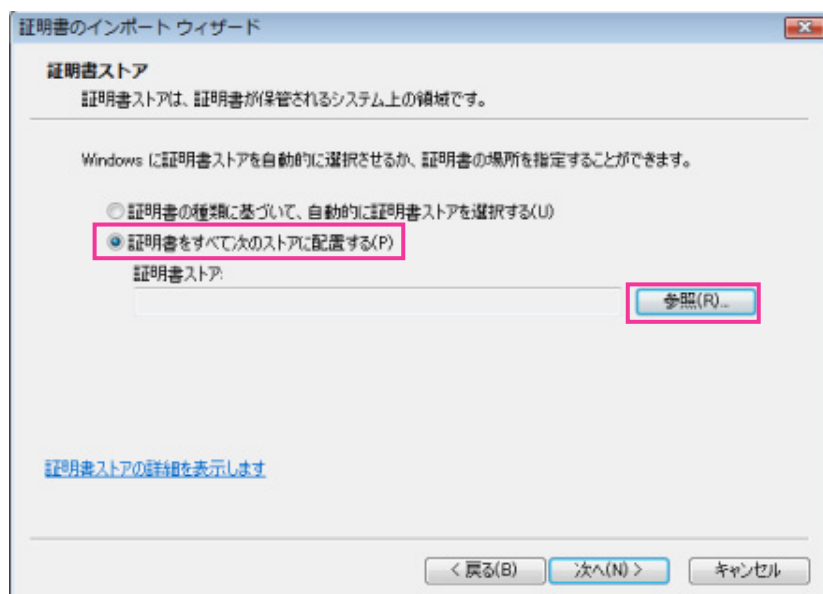
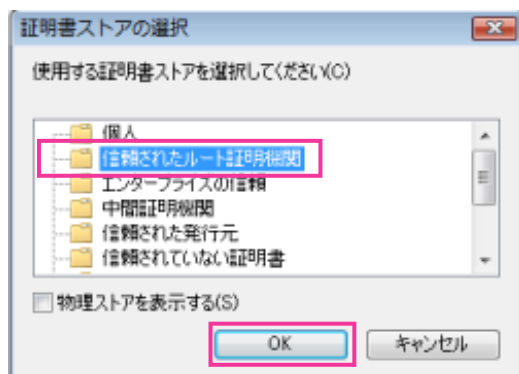
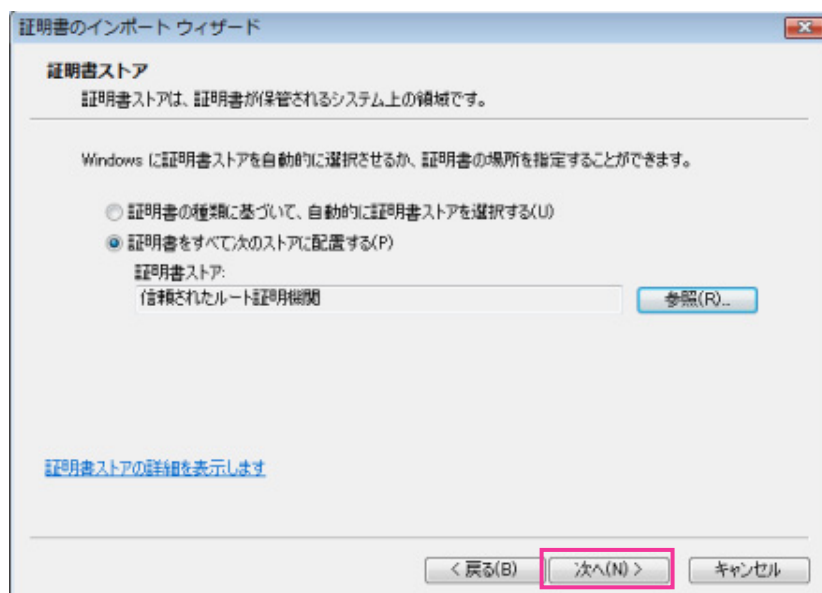
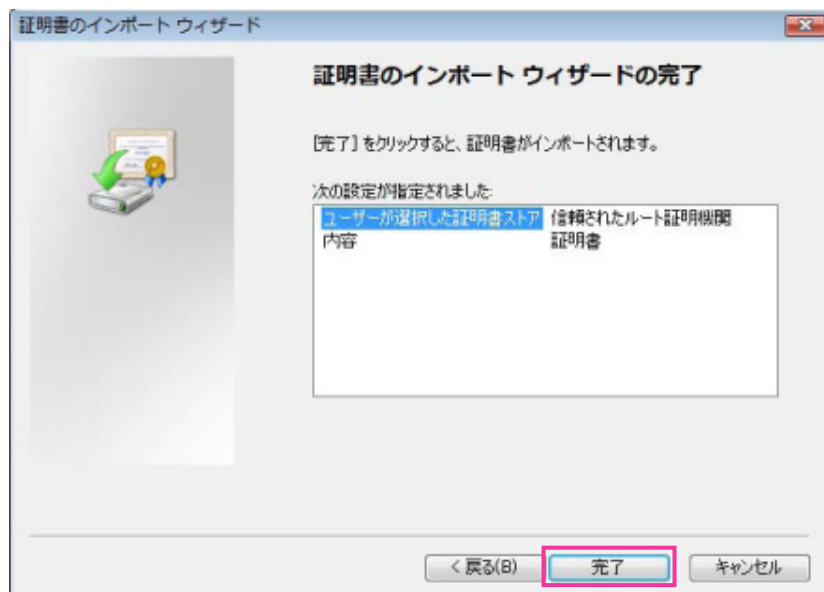
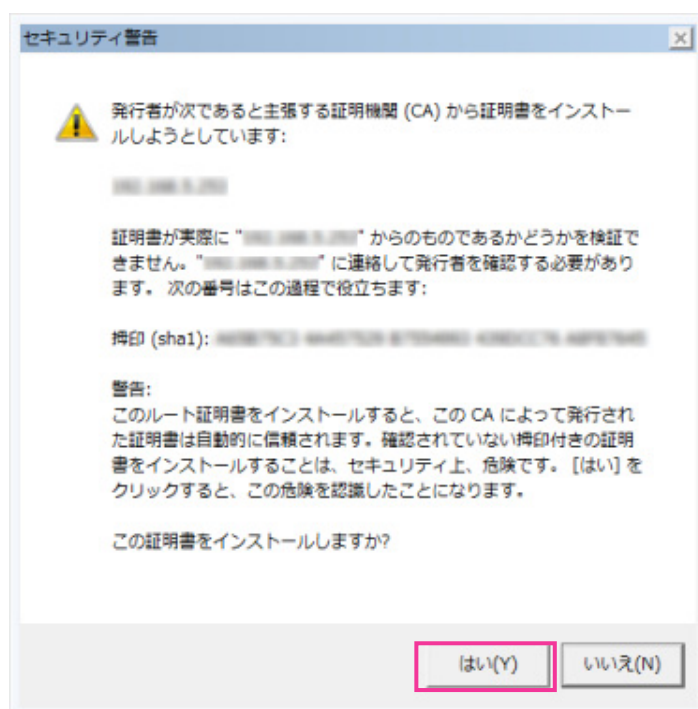
3 URL上の「証明書のエラー」をクリックし、「証明書の表示」をクリックします。

4 「証明書のインストール(I)...」をクリックします。

お知らせ

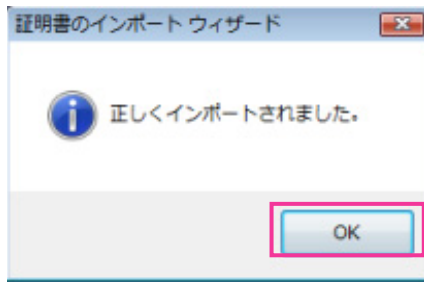
- 「証明書のインストール(I)...」が表示されない場合は、一度Internet Explorerを閉じて、「管理者として実行(A)...」を選択し起動してください。
  [スタート] → [プログラム] → [Internet Explorer] を右クリック→「管理者として実行(A)...」をクリックします。
- Windows 8、Windows8.1の場合、C:¥Program Files¥Internet Explorer以下にある、「iexplore」を右クリック→「管理者として実行(A)...」をクリックします。

5 証明書のインポートウィザードに表示される「次へ」をクリックします。

お知らせ

- Internet Explorer 10、Internet Explorer 11の場合は、「保存場所」を選択して、「次へ」をクリックしてください。

6 「証明書をすべて次のストアに配置する(P)」を選択し、「参照(R)...」をクリックします。

7 「信頼されたルートの証明機関」を選択し、「OK」をクリックします。

8 「次へ」をクリックします。

9 「完了」をクリックします。

10「はい」をクリックします。

→ インポートが終了すると、「正しくインポートされました。」の画面が表示されます。

11「OK」をクリックします。

→ 証明書をインポートしたあとブラウザーを閉じて、再接続すると、「証明書エラー」は表示されなくなります。

2.10.4 DDNSを設定する［DDNS］

ネットワークページの［DDNS］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ)
インターネット経由で本機にアクセスするには、DDNS機能を設定する必要があります。
本機でDDNS機能を使用する場合、以下のいずれかのDDNSサービスが利用できます。

- 「みえますねっとPRO」サービス
- 「みえますねっと」サービス
- ユーザー指定ダイナミックDNS
- ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）

重要

- DDNSサービスを利用する前に、ルーターにポートフォワーディング設定をする必要があります。
- 弊社では、「みえますねっとPRO」、「みえますねっと」サービス以外のDDNSサービスに関する動作保証は一切行っていません。したがって、「みえますねっとPRO」、「みえますねっと」サービス以外のDDNSサービスの利用により、カメラをお使いの環境に何らかの障害や損害が発生したとしても、責任を負いかねます。
「みえますねっとPRO」、「みえますねっと」サービス以外のDDNSサービスの選定・設定に関しては、当該サービスの提供事業者にお問い合わせください。
- 「みえますねっとPRO」サービスがサポートしているブラウザーなどを「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト（http://panasonic.biz/miemasu/pro/）で確認してください。

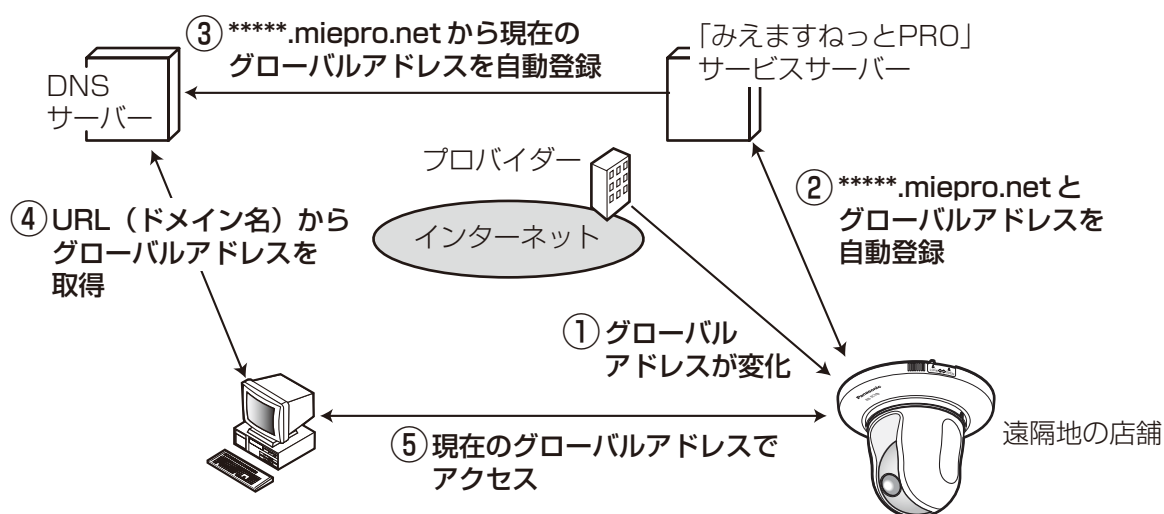
お知らせ

- 「みえますねっとPRO」サービス（有料）は、弊社がお勧めするDDNSサービスです。「みえますねっとPRO」サービスの詳細については、「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト（http://panasonic.biz/miemasu/pro/）を参照してください。
「みえますねっとPRO」サービスは、DDNSサービス以外に、通信状態確認サービス、簡易センサーお知らせ録画オプションサービスを利用できます。
- 「みえますねっと」サービス（有料）の詳細については、「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://panasonic.jp/com/miemasu/mnet/）を参照してください。

DDNSサービスについて（IPv4／IPv6）

DDNSサービスを利用することによって、インターネット経由でカメラ画像を見ることができます。
DDNSサービスは、動的（ダイナミック）に変化するグローバルアドレスとドメイン名を対応づけるサービスです。DDNSサービスの「みえますねっとPRO」サービス（有料。IPv4のみ対応しています。）や「みえますねっと」サービス（有料。IPv6に対応していますが、IPv4／IPv6両方の接続環境が必要です。）、または「ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）」を設定できます。
多くのプロバイダーが提供するサービスはグローバルアドレスが固定ではなく変化するため、時間が経過すると以前のグローバルアドレスでカメラにアクセスできなくなる場合があります。グローバルアドレスが固定されない環境のカメラに、インターネットからアクセスするには、以下のいずれかのサービスが必要です。

- DDNSサービス（「みえますねっとPRO」サービスや「みえますねっと」サービスなど）
  グローバルアドレスが変化しても、登録した固定のドメイン名（例：*******.miepro.net**）でアクセスできるサービスです。IPv6接続を利用する場合もドメイン名サービスに加入する必要があります。
  「みえますねっとPRO」サービスの詳細情報については、「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト（http://panasonic.biz/miemasu/pro/）を参照してください。
  「みえますねっと」サービスの詳細情報については、　「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://panasonic.jp/com/miemasu/mnet/）を参照してください。
- 固定IPアドレスサービス（ご契約プロバイダーのサービスなど）
  グローバルアドレスが変化しない（固定）サービスです。

DDNSサービスの仕組み（「みえますねっとPRO」サービスの場合）

① 契約しているプロバイダーがグローバルアドレスをルーター（またはカメラ）に割り当てます。このときに割り当てられるグローバルアドレスは、固定ではなく変化するアドレスになります。

② 「みえますねっとPRO」サービスに加入した場合は、カメラには固有の「ドメイン名」（例：*******.miepro.net**）が割り当てられます。カメラが、自動的に「みえますねっとPRO」サービスサーバーにルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスを通知することで（「みえますねっとPRO」サービスサーバーが）、カメラのドメイン名とルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスを管理します。

③ 「みえますねっとPRO」サービスサーバーは、ルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスとドメイン名をDNSサーバーに登録します。

④ インターネット経由でカメラにアクセスする際、ウェブブラウザーにドメイン名を含むURLを入力することで、DNSサーバーが、登録されているルーター（またはカメラ）のグローバルアドレスを割り出します。

⑤ 割り出したグローバルアドレスでルーター（またはカメラ）へアクセスし、画像をモニタリングできます。

お知らせ

- 使用しているIPアドレスが固定かどうかについては、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- プロバイダーによっては、ローカルアドレスが割り振られる場合があります。その場合は、DDNSサービスは利用できませんので、契約しているプロバイダーにご確認ください。
- 「みえますねっとPRO」サービスについて
  「みえますねっとPRO」サービス（有料）を使用することで、DDNSサービス以外に、以下のサービスを利用できます。
  - 通信状態確認サービス
    カメラからの信号が20分以上途絶えたとき、サーバーと機器との間で通信障害などの異常が発生していることを管理者にメールで通知します。
  - 簡易センサーお知らせ 録画オプションサービス
    最短10分ごとのカメラセンサーの動作に連動して簡易的な録画ができます。詳細は「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト（http://panasonic.biz/miemasu/pro/）を参照してください。

- **[サービス]**
  DDNSを使用するかどうか、使用するDDNSサービスを選択します。
  Off：DDNSを使用しません。
  みえますねっとPRO：「みえますねっとPRO」サービスを使用します。
  みえますねっと：「みえますねっと」サービスを使用します。
  ユーザー指定DDNS：ダイナミックDNSサービス提供事業者のダイナミックDNSサービスを使用する場合に選択します。
  ダイナミックDNS Update（DHCP連携なし）：ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）をDHCP連携なしで使用します。
  ダイナミックDNS Update（DHCP連携）：ダイナミックDNS Update（RFC2136準拠）をDHCP連携で使用します。
  初期設定：Off

  お知らせ

  - 「ダイナミックDNS Update」（RFC2136準拠）を使用する場合、DHCP連携なし／DHCP連携の選択は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
  - 「ユーザー指定DDNS」を使用する場合、ダイナミックDNSサービスの提供事業者から、設定に必要な情報を取得して、設定してください。

2.10.4.1 みえますねっとPROを使用する場合

- **[カメラURL]**
  「みえますねっとPRO」サービスに登録された、カメラのURLが表示されます。
  初回設定時、[設定] ボタンをクリックすると、仮URLが表示されます。
- **[みえますねっとPRO登録へのリンク]**
  表示されているURLをクリックすると「みえますねっとPRO」サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。
  「みえますねっとPRO」サービスの登録画面で、サービスの登録を行います。

「みえますねっとPRO」サービスの登録手順

1 「DDNS」で「みえますねっとPRO」を選択し、[設定] ボタンをクリックします。

→「みえますねっとPRO登録へのリンク」にURLが表示されます。
「みえますねっとPRO登録へのリンク」にURLが表示されない場合は、カメラのネットワークの設定が正しいかを確認してください。また、カメラがインターネットに接続されているか確認し、再度、[設定]ボタンをクリックしてください。

2 「みえますねっとPRO登録へのリンク」に表示されているURLをクリックします。

→「みえますねっとPRO」サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。

3 画面に従って「みえますねっとPRO」サービスの登録を行います。

→「みえますねっとPRO」サービスの登録画面が表示されない場合は、PCがインターネットに接続しているか確認し、ブラウザーの更新ボタンをクリックしてください。

4 カメラの画面を再度表示し、「カメラURL」にみえますねっとPROに登録したドメイン（xxxx.miepro.net:xxx）が表示されていることを確認します。

お知らせ

- 「みえますねっとPRO」にログインIDを登録済みの場合：
  トップページでログインID（登録時のEメールアドレス）およびパスワードを入力してください。
- レコーダーや録画ビューアソフトなどと組み合わせて使用するときは、簡単設定ツールを使用せず、「みえますねっとPRO登録へのリンク」をクリックしてカメラの登録を行ってください。（簡単設定ツールを使用すると、カメラのプライベートIPアドレスやポート番号が変更されます。）
- 「みえますねっとPRO」にログインIDを登録していない場合：
  トップページで「新規会員登録はこちら」をクリックして、ログインIDを作成する必要があります。
- 「みえますねっとPRO」サービスへの登録が完了している場合は、登録したカメラのURLが「カメラURL」に表示されています。このアドレスがインターネット経由でカメラにアクセスするときに使うアドレスです。このURLを忘れないようにブラウザー機能のお気に入りに登録することをお勧めします。
  また、カメラのメンテナンスページの［ステータス］タブのカメラアドレスでカメラのURLを確認することができます。
- カメラURLは、「みえますねっとPRO」サービスに登録したあとに使用できるようになります。（登録されたカメラのURLが有効になるまで、最大で30分くらいかかる場合があります。）
  ただし、ルーターによっては、カメラと同じネットワーク（LAN）に接続されているPCからは、このURLでアクセスできません。
- 「みえますねっとPRO登録へのリンク」が表示されない場合は、「みえますねっとPRO」サービスへの登録が完了していてPCがインターネットに接続されていることを確認して、ブラウザーの更新ボタンをクリックしてください。
- メンテナンスページの［ステータス］タブにあるみえますねっとPROの［ステータス］に「ユーザ登録済」と表示されたときは、「みえますねっとPRO」サービス登録後にカメラを再起動してください。
  再起動後、メンテナンスページの［ステータス］タブにあるみえますねっとPRO の「カメラURL」に登録したURLが表示されていることを確認してください。
- 「みえますねっとPRO」サービスには、ダイナミックDNSサービス以外のサービスがあります。詳細は「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイトを参照してください。
- 「みえますねっとPRO」サービスについてのトラブルなどの対処法については、3.3 故障かな!?または、「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト（http://panasonic.biz/miemasu/pro/）を参照してください。

「みえますねっとPRO」サービスの登録を確認する

1 メンテナンスページの［ステータス］タブをクリックします。

2 メンテナンスページの［ステータス］タブにあるみえますねっとPROの「ステータス」に「サービス契約登録済」が表示されていることを確認します。

お知らせ

- メンテナンスページの［ステータス］タブにあるみえますねっとPROの「ステータス」に「サービス契約登録済」以外が表示されている場合は、「みえますねっとPRO」ポータル画面にて基本サービスの登録の完了を確認するか、カメラを再起動してこの画面に再度アクセスしてください。

UPnPを使わないポートフォワーディングを設定する

UPnPに対応していないルーターを使用する場合、ポートフォワーディング機能を手動でルーターに設定する必要があります。

1 ネットワークページの［ネットワーク］タブをクリックします。

2 「接続モード」で、「固定IP」を選択します。

3 ここで表示されるIPアドレスとポート番号などを確認し、修正する必要があれば修正します。（ルーターのポートフォワーディングを設定するときに必要になります。）

4 ［設定］ボタンをクリックします。

5 ルーターの取扱説明書を参照しながらポートフォワーディングの設定をします。

- 設定するときは、手順3で確認をしたIPアドレスとポート番号を使ってください。
- ポートフォワーディング機能を、ルーターによってはアドレス変換、静的IPマスカレード、バーチャルサーバー、仮想サーバーまたはポートマッピングと説明している場合があります。

お知らせ

- ポートフォワーディングを手動でルーターに設定する場合は、「自動ポートフォワーディング」を必ず「Off」に設定してください。

「みえますねっとPRO」サービス使用時の制限事項

「みえますねっとPRO」のオプションサービスにカメラを登録すると、以下の設定項目は設定ができなくなります。

– ［アラーム時の画質制御］

– ［アラーム時の画質］

「みえますねっとPRO」サービスの詳細は、ウェブサイト（http://panasonic.biz/miemasu/pro/）を参照してください。

2.10.4.2 みえますねっとを使用する場合

- **[カメラURL]**
  「みえますねっと」サービスに登録された、カメラのURLが表示されます。
  初回設定時、［設定］ボタンをクリックすると、仮URLが表示されます。
- **[「みえますねっと」サービスへのリンク]**
  表示されているURLをクリックすると「みえますねっと」サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。
  「みえますねっと」サービスの登録画面で、サービスの登録を行います。
- **[アクセス間隔]**
  「みえますねっと」サービスサーバーに対してIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。
  10 min／20 min／30 min／40 min／50 min／1 h
  初期設定：1 h

「みえますねっと」サービスの登録手順

1 「DDNS」で「みえますねっと」を選択し、[設定]ボタンをクリックします。
→「「みえますねっと」サービスへのリンク」にURLが表示されます。
「「みえますねっと」サービスへのリンク」にURLが表示されない場合は、カメラのネットワークの設定が正しいかを確認してください。また、カメラがインターネットに接続されているか確認し、再度、[設定]ボタンをクリックしてください。

2 「「みえますねっと」サービスへのリンク」に表示されているURLをクリックします。

→「みえますねっと」サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。
「みえますねっと」サービスの登録画面が表示されない場合は、PCがインターネットに接続されているか確認し、ブラウザーの更新ボタンをクリックしてください。

3 「みえますねっと」サービスの登録画面に従って、「みえますねっと」サービスの登録を行います。

→「みえますねっと」サービスの登録画面に［サービスの開始］画面が表示されたら、登録画面を閉じてください。
登録時に設定したカメラURLを使ってカメラにアクセスできます。ただし、カメラと同じネットワーク（LAN）に接続されているPCからは、このURLではアクセスできません。

お知らせ

- 「みえますねっと」サービスへの登録が完了すると、［カメラURL］に登録されたURLが表示されます。（登録されたカメラのURLが有効になるまで、最大で30分くらいかかる場合があります。）
- 「みえますねっと」サービスをあとで解除する場合は、「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://www.miemasu.net/）にアクセスして解約してください。
- みえますねっと設定画面またはステータス画面の「みえますねっと」のカメラURLに、「期限切れです」と表示されたときは、「みえますねっと」サービス登録後にカメラを再起動してください。再起動後、メンテナンス画面の［ステータス］－［みえますねっと］のカメラURLに、登録したURLが表示されていることを確認してください。
- 「「みえますねっと」サービスへのリンク」の横に表示されているURLにアクセスして、「みえますねっと」サービスへの登録情報を確認できます。URLが表示されない場合は、PCがインターネットに接続されていることを確認して、［設定］ボタンをクリックしてください。
- ルーターのグローバルアドレスが変わり、アクセスできないことが多く発生する場合は、「アクセス間隔」を小さい値に設定してください。
- 「みえますねっと」サービスについてのトラブルなどの対処法については、3.3 故障かな!?または、「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://panasonic.jp/com/miemasu/mnet/support/）を参照してください。

「みえますねっと」サービスの登録を確認する

カメラが「みえますねっと」サービスに登録されたか確認することができます。（→243 ページ）

2.10.4.3 ユーザー指定ダイナミックDNSを使用する場合

ダイナミックDNSサービス提供事業者のダイナミックDNSサービスを使用する場合、「ユーザー指定DDNS」を選択します。ダイナミックDNSサービスの提供事業者から、ダイナミックDNSサービスを使うために必要な情報を取得してから、設定してください。

- **[ホスト名]**
  ユーザー指定ダイナミックDNSで使用するホスト名をhttp://から入力します。
  入力可能文字数：0～255文字　http://の形式で入力
  入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」
  初期設定：http://（空欄）

  お知らせ
  - ダイナミックDNSサービスの提供事業者から指定されたURLを設定してください。
- **[ユーザー名]**
  ユーザー指定ダイナミックDNSに登録されているユーザー名を入力します。
  入力可能文字数：0～63文字
  入力不可文字：全角、半角記号「"」「:」
  初期設定：空欄
- **[パスワード]**
  ユーザー指定ダイナミックDNSに登録されているパスワードを入力します。
  入力可能文字数：0～63文字
  入力不可文字：全角、半角記号「"」「:」
  初期設定：空欄
- **[アクセス間隔]**
  ユーザー指定ダイナミックDNSに対して、IPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。
  10min／30min／1h／6h／24h
  初期設定：10min

お知らせ
- 画像が正しく表示されない場合には、かんたん設定ページの［インターネット］タブで、「インターネット推奨設定」の［設定］ボタンをクリックし、推奨設定を実行してください。
- ユーザー指定ダイナミックDNSサービスに登録されたカメラのURLが有効になるまで、最大で30分くらいかかる場合があります。
- ルーターによっては、カメラと同じネットワーク（LAN）に接続されているPCからは、このURLでアクセスできません。

2.10.4.4 ダイナミックDNS Update（DHCP連携なし）を使用する場合

- **[ホスト名]**
  ダイナミックDNS Updateサービスで使用するホスト名を入力します。
  入力可能文字数：3～250文字（ホスト名）.（ドメイン名）形式で入力
  入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」
  初期設定：空欄

  <u>お知らせ</u>
  - 使用できるホスト名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- **[アクセス間隔]**
  ダイナミックDNS UpdateサービスサーバーにたいしてIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。
  10min／20min／30min／40min／50min／1h／6h／24h
  初期設定：24h

2.10.4.5 ダイナミックDNS Update（DHCP連携）を使用する場合

- **[ホスト名]**
  ダイナミックDNS Updateサービスで使用するホスト名を入力します。
  入力可能文字数：3～250文字（ホスト名）.（ドメイン名）形式で入力
  入力可能文字：半角英数字、半角記号「:」「.」「_」「-」
  初期設定：空欄

  <u>お知らせ</u>
  - 使用できるホスト名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2.10.5 SNMPを設定する［SNMP］

ネットワークページの［SNMP］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）

ここでは、SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。SNMP機能を使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

- **[コミュニティー名]**
  監視の対象となるコミュニティー名を入力します。
  入力可能文字数：0～32文字
  入力不可文字：全角
  初期設定：空欄

  重要

  - SNMP機能を使用する場合は、必ずコミュニティー名を入力してください。コミュニティー名が空欄の場合は、SNMP機能を使用できません。

- **[機器名]**
  SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。
  入力可能文字数：0～32文字
  入力不可文字：全角
  初期設定：空欄
- **[機器の物理的位置]**
  本機を設置した場所を入力します。
  入力可能文字数：0～32文字
  初期設定：空欄
- **[連絡先]**
  管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。
  入力可能文字数：0～255文字
  入力不可文字：全角
  初期設定：空欄

2.10.6 FTP定期送信を設定する［FTP定期］

ネットワークページの［FTP定期］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合の設定を行います。FTPサーバーへ定期的に画像を送信するには、FTPサーバーの設定が必要です（→186 ページ）。画像を送信する場合のスケジュールの設定については、224 ページをお読みください。

重要

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。

- FTP定期送信とアラーム画像送信を同時に使用すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、FTP定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 :

- FTP定期送信機能を使用する場合は、「SDメモリーカード」タブで「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。

お知らせ

SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 :

- ［SDメモリーカード］タブで「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合、FTP定期送信に失敗したときに、SDメモリーカードへ自動的に画像を保存することもできます。(→43 ページ)

FTP定期送信

- **［FTP設定へ］**
  クリックするとサーバーページの［FTP］タブが表示されます。(→186 ページ)
- **［定期送信］**
  FTP定期送信を行うかどうかをOn／Offで設定します。
  「On」に設定した場合は、FTPサーバーの設定を行ってください。(→186 ページ)
  初期設定：Off
- **［ディレクトリー名］**
  送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。
  例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のimgディレクトリーを指定する場合は、「/img」と入力します。
  入力可能文字数：1～256文字
  入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「;」
  初期設定：空欄
- **［ファイル名］**
  送信する画像ファイル名を入力し、ファイル名形式を以下から選択します。
  ファイル名＋日時：「入力したファイル名＋送信日時（年月日時分秒）＋00」をファイル名として使用します。
  ファイル名を固定：入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」に設定すると、常に送信したファイルに上書きされます。
  入力可能文字数：1～32文字
  入力不可文字：全角、半角記号「"」「&」「;」「:」「/」「*」「<」「>」「?」「¥」「¦」
  初期設定：空欄

お知らせ

- 「ファイル名+日時」を選択した場合、サマータイム中は「入力したファイル名+送信日時（年月日時分秒）+00」のあとに“s”が付加されたファイル名になります。

- **[送信間隔]**
  送信間隔を以下から選択します。
  1s／2s／3s／4s／5s／6s／10s／15s／20s／30s／1min／2min／3min／4min／5min／6min／10min／15min／20min／30min／1h／1.5h／2h／3h／4h／6h／12h／24h
  初期設定： 1s
- **[解像度]**
  送信する画像ファイルの解像度を以下から選択します。
  - **「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合**
    SC384 SW175 SW174W ST165：
    QVGA ／ VGA ／ 1280×960
    SW172 ST162：
    QVGA ／ VGA ／ 800×600
  - **「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合**
    SC384 SW175 SW174W ST165：
    320×180 ／ 640×360 ／ 1280×720
    SW172 ST162：
    320×180 ／ 640×360

  初期設定： VGA

2.10.7 FTP定期送信スケジュールの設定を行う［FTP定期］

ネットワークページの［FTP定期］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合のスケジュールを設定します。定期送信に関する設定については、222 ページをお読みください。

2.10.7.1 スケジュールの設定のしかた

1 「スケジュール」で、スケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。
→ 曜日が有効になります。

2 時間を指定するときは、［▼］をクリックして時間を指定します。
時間帯を指定しないときは「24h」にチェックを入れます。

3 設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。
→ 画面下に設定した内容が表示されます。

2.10.7.2 スケジュールの削除のしかた

1 スケジュールを削除する曜日ボックスのチェックを外します。

2 設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。

→ 選択した曜日のスケジュールが削除されます。

2.11 カメラを無線LANで使用する［無線］(SW174Wのみ)

無線ページでは、ご使用の無線ルーターなどに本機を無線接続して使用する場合に、無線ネットワークの設定を行います。
無線ページは、［基本］タブと［ステータス］タブで構成されています。

あらかじめ、Ethernetケーブルによる有線接続でネットワーク設定を完了してから無線の設定をしてください。(→190 ページ)
無線ルーターが自動設定機能（WPS）に対応している場合は、自動で設定をしてください。(→231 ページ)
無線ルーターが自動設定機能（WPS）に対応していない場合は、手動で設定をしてください。(→227 ページ)
カメラの無線QoS機能を使用できます。(→235 ページ)
カメラの無線設定後の無線接続の状態や無線情報を確認できます。(→235 ページ)

2.11.1 カメラを無線LANに手動で接続する（手動設定）［基本］

無線ページの［基本］タブをクリックします。(→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ)

ここでは、本機に手動で無線設定を行い、無線接続します。

1 無線ルーターの設定情報を確認します。

- お使いの無線ルーターに設定されているSSID、無線セキュリティ設定、MACアドレスフィルタリングの有効／無効を確認してください。
- 無線ルーターでMACアドレスフィルタリングが有効の場合は、カメラのMACアドレスを無線ルーターに登録してください。MACアドレスはカメラ本体に貼られているシール、または、「無線モジュールのMACアドレス」（→235 ページ）で確認できます。

2 ［無線 基本設定］の各項目を設定します。

- **[SSID]**
  SSID（ネットワーク）を入力します。SSIDは、必ず入力してください。（SSIDはESSIDと呼ばれることもあります。）
  入力可能文字数：1～32文字
  入力可能文字：半角英数字、半角スペース、半角記号
  なお、大文字・小文字は区別されます。
  初期設定：wifi
- **[通信モード]**
  カメラを接続する無線ルーターと同じモードを選択します。
  802.11b/g：802.11bまたはgの無線ルーターどちらにでも接続できます。
  802.11n/b/g［ShortGI 無効］：802.11n、b、gの無線ルーターに接続できます。
  802.11n/b/g［ShortGI 有効］：802.11n、b、gの無線ルーターに接続できます。
  ShortGIを有効にすると、802.11n通信時に通信パケット間隔が短くなり通信速度が向上します。ただし、時間差で届く反射電波に弱くなるため、カメラと無線ルーターの間は近距離で使用してください。
  初期設定：802.11n/b/g［ShortGI 有効］

3 暗号化方式に応じて、[無線 暗号化設定]の各項目を設定します。
WEP方式の場合

無線 暗号化設定	
暗号化方式	WEP方式　64bit/128bit
WEPキー1	英数13文字 128bit

WPA-PSK(TKIP)、WPA-PSK(AES)、WPA-PSK(TKIP/AES)、WPA2-PSK(TKIP)、WPA2-PSK(AES)、WPA2-PSK(TKIP/AES)またはWPA/WPA2-mixed mode PSK方式の場合

無線 暗号化設定	
暗号化方式	WPA/WPA2-mixedmode PSK
ネットワークキー	英数8～63文字

- **[暗号化方式]**
  通信するデータの暗号化方式を選択します。暗号化を行うと、第三者による通信データの解読が困難になります。
  WEP方式　64bit/128bit:WEP方式で64 bitまたは128 bitで暗号化を行います。
  WPA-PSK(TKIP)方式:TKIPを使用して暗号化します。TKIPは、一定時間ごとに暗号鍵を更新するため、WEP方式よりも強固な暗号化通信ができます。
  WPA-PSK(AES)方式:AESを使用して暗号化します。AESは、一定時間ごとに暗号鍵を更新するため、WEP方式よりも強固な暗号化通信ができます。 暗号化処理をハードウェアで行うため、WPA-PSK(TKIP)方式に比べ処理スピードの低下を抑えられますが、対応していない機器との接続ができません。
  WPA-PSK(TKIP/AES)方式:無線ルーターの暗号化方式に応じて、WPA-PSK(TKIP)方式とWPA-PSK(AES)方式を自動で選択します。
  WPA2-PSK(TKIP)方式:WEP、WPA方式よりも強固な暗号化通信ができます。
  WPA2-PSK(AES)方式:WEP、WPA方式よりも強固な暗号化通信ができます。暗号化処理をハードウェアで行うため、WPA2-PSK(TKIP)方式に比べ処理スピードの低下を抑えられますが、対応していない機器との接続ができません。
  WPA2-PSK(TKIP/AES)方式:無線ルーターの暗号化方式に応じて、WPA2-PSK(TKIP)方式とWPA2-PSK(AES)方式を自動で選択します。
  WPA/WPA2-mixed mode PSK方式:無線ルーターの暗号化方式に応じて、WPA-PSK(TKIP)方式とWPA-PSK(AES)方式、およびWPA2-PSK(TKIP)方式とWPA2-PSK(AES)方式を自動で選択します。
  暗号化なし:無線ルーターとカメラとのデータ通信は暗号化されません。
  初期設定:暗号化なし
- **[WEPキー1]**
  暗号化方式でWEP方式 64bit/128bitを選択した場合にWEPキー1は入力可能になります。接続している無線ルーターでキーの選択があるものは、キー番号1を選択してください。暗号化キーは、64 bitと128 bitの2種類あります。一般的にWEPキーが長くなると暗号解読が難しくなるため、長いほうが安全性が高まると言われています。
  プルダウンメニューで暗号の長さを選んでください。
  16進10文字64bit
  例)0123456abcd
  16進26文字128bit

例）0123456789abcdef012345abcd
英数5文字64bit
例）012yz
英数13文字128bit
例）0123456uvwxyz
入力可能文字数：10文字または26文字（16進の場合）／5文字または13文字（英数の場合）
入力可能文字：0〜9、A〜Fもしくはa〜f（16進の場合）／半角英数字（英数の場合）
大文字・小文字は区別されます。スペースは入力できません。
初期設定：空欄、英数13文字 128bit

- **［ネットワークキー］**
  暗号化方式で「WPA-PSK（TKIP）方式」、「WPA-PSK（AES）方式」、「WPA-PSK（TKIP/AES）方式」、「WPA2-PSK（TKIP）方式」、「WPA2-PSK（AES）方式」、「WPA2-PSK（TKIP/AES）方式」または「WPA/WPA2-mixed mode PSK方式」を選択した場合は、ネットワークキーが入力可能になります。接続している無線ルーターに設定しているものと同じネットワークキーを設定してください。
  入力可能文字数：64文字（16進の場合）／8〜63文字（英数の場合）
  入力可能文字：0〜9、A〜Fもしくはa〜f（16進の場合）／半角英数字（英数の場合）
  なお、大文字・小文字は区別されます。スペースは入力できません。
  初期設定：空欄、英数8〜63文字

お知らせ

- 接続先の無線ルーターによっては、WPA-PSK（TKIP）、WPA-PSK（AES）、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（TKIP）、WPS2-PSK（AES）、WPA2-PSK（TKIP/AES）またはWPA/WPA2-mixed mode PSK方式に対応していない場合があります。特にmixed modeに関して接続できない場合は、単独の暗号化方式を選択してください。
- Open System認証にのみ対応しています。無線ルーターの設定がShared Key認証になっている場合には、AutoまたはOpen System認証に変更してください。
- 無線ルーターの暗号化設定は、暗号化強度が高いWPA2-PSK（AES）かWPA-PSK（AES）を設定することをお勧めします。

4 「Wi-Fi Protected Setup(WPS)」の「外部登録」を「許可しない」を選択します。

- 「許可する」のまま使用すると、無線LAN設定が上書きされる場合があります。必ず「許可しない」に設定してください。

5 ［設定］ボタンをクリックします。

→ 再起動のメッセージが表示されます。［OK］をクリックしてください。再起動するまで約２分間お待ちください。

6 電源を切ります。（ACアダプターをコンセントから抜く）

7 Ethernetケーブルを抜いて、電源を入れます。（ACアダプターをコンセントに差し込む）

→ カメラが起動し、無線接続を開始します。

お知らせ

- 無線接続と有線接続の切り換えは、次のように行います。
  無線接続：Ethernetケーブルでネットワークに接続せずに、カメラの電源を入れると無線接続になります。
  有線接続：Ethernetケーブルでネットワークに接続して、カメラの電源を入れると有線接続になります。

- 無線接続と有線接続を切り換えたときには、無線ルーターによっては無線ルーターの再起動が必要な場合があります。
- 有線と無線の両方で同時にカメラへ接続することはできません。
- ネットワーク環境やお使いの無線機器（2.4 GHz帯の電話や無線機器など）により、通信速度が遅くなる場合があります。

2.11.2 カメラを無線LANにWPSで接続する（自動設定）［基本］

はじめに、「Wi-Fi Protected Setup(WPS)」の「外部登録」が「許可する」（初期設定）になっていることを確認してください。
無線ページの［基本］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、自動設定機能（Wi-Fi Protected Setup（WPS））を使用して、無線設定を簡単に行い、無線ルーターと無線接続をします。

本機を無線LANで使用する場合は、無線LAN環境に応じて次の接続手順を参照して設定してください。

Wi-Fi Protected Setup（WPS）について
無線LAN機器の接続やセキュリティに関する設定を容易に行うことができる機能です。
WPSでは、無線LANアクセスポイントや無線ルーターが親機となり、接続したい無線カメラが子機となり、SSIDやWEP／WPA／WPA2の暗号化設定などの情報を送ることができます。
具体的な設定方法はいくつか用意されており、それぞれの機器にある専用のボタンを押すプッシュボタン方式、親機の無線ルーターと子機の無線カメラに同一のPINコード8桁の数字を入力するPINコード方式があります。

WIRELESSボタン（WPSランプ）による自動設定

本機のWIRELESSボタンを使って、無線の自動設定を行います。

1 本機の無線機能を有効にするために、Ethernetケーブルを本機に接続せずに電源を入れます。
→ カメラがパン／チルトの初期動作を行ったあと、状態表示ランプが橙点灯→消灯→橙点灯になり、本機が無線LANモードで起動します。

2 無線ルーターの取扱説明書を参照し、WPS機能（ボタン方式）をONにします。

3 本機のWIRELESSボタンを橙点滅するまで約1秒以上押します。
→ 本機と無線ルーターが無線の自動設定を開始し、最大約2分間動作します。
→ 無線の自動設定が成功するとWIRELESSボタンの橙点滅が緑点灯し、約5秒後に再起動します。WIRELESSボタンは消灯し、約90秒後に無線接続が完了すると再度、緑点灯します。

4 WIRELESSボタンが緑点灯後に、PCのIP簡単設定ソフトウェアを起動し、本機にアクセスします。
- IP簡単設定ソフトウェアによるアクセス方法は、246 ページを参照してください。
- 無線の接続状態を無線ページの［ステータス］タブで確認してください。(→235 ページ)

お知らせ
- WIRELESSボタンの点滅から約2分間経過しても無線ルーターとの接続が完了しなかった場合は、WIRELESSボタンが約10秒間赤点滅したあと消灯します。この場合、無線設定は失敗しています。無線ルーターの設定や接続手順を確認し、再度実施してください。
- WIRELESSボタンと状態表示ランプの緑点灯を消灯したい場合は、基本ページの［基本］タブで「ランプ表示」の設定を変更してください。(→96 ページ)
- WPSの自動設定が成功した場合は、「外部登録」設定が「許可する」から「許可しない」に変更されます。

PIN code設定による自動設定

PIN code設定による自動設定には、無線ルーターに設定されたPIN code使う方法と、本機で設定したPIN codeを使う方法の2種類があります。

無線ルーターに設定されたPIN codeを使う方法

1 PCで無線ルーターにあらかじめ設定された8桁のPIN codeを確認します。
- 無線ルーターに設定されたPIN codeを確認する方法は、お使いの無線ルーターの取扱説明書を参照してください。
- 無線ルーターによっては、PIN code（初期設定）が本体にシール貼付されている場合があります。

2 PCで本機に有線LANで接続し、無線ページの［基本］タブをクリックします。

3 ［Wi-Fi Protected Setup(WPS)］を設定します。

- 「外部登録」を「許可する」にしてください。(初期設定：許可する)
- 「WPS準拠(PIN方式)」を「使用する」にしてください。(初期設定：使用しない)
- 「PIN code」に無線ルーターの8桁のPIN codeを入力してください。

入力可能文字数：8文字
入力可能文字：半角数字
初期設定：空白

お知らせ

- 「WPS準拠(PIN方式)」を「使用する」に設定した場合、PIN方式起動中はWIRELESSボタンによる自動設定はできなくなります。

4 ［設定］ボタンをクリックします。

→ 再起動のメッセージが表示されます。［OK］をクリックしてください。再起動するまで約2分間お待ちください。

5 本機に接続されたEthernetケーブルを抜き、電源を入れ直します。

→ 本機が約90秒後に起動します。

- 起動後、WPSの自動設定は約2分間のみ動作します。手順6の無線ルーターの設定をできるだけ早く行ってください。

6 無線ルーターの取扱説明書を参照し、WPS機能（PIN code方式）をONにします。

→ 本機と無線ルーターの自動設定が開始されます。

→ 本機のWIRELESSボタンの橙点滅が緑点灯し、状態表示ランプが緑点灯すると、無線設定が正常に完了しています。

7 WIRELESSボタンが緑点灯後に、PCのIP簡単設定ソフトウェアを起動して、本機にアクセスします。

- IP簡単設定ソフトウェアによるアクセス方法は、246 ページを参照してください。
- 無線の接続状態を無線ページの［ステータス］タブで確認してください。（→235 ページ）

お知らせ

- WIRELESSボタンの点滅から約2分間経過しても無線ルーターとの接続が完了しなかった場合は、WIRELESSボタンが約10秒間赤点滅したあと消灯します。この場合、無線設定は失敗しています。無線ルーターの設定や接続手順を確認し、再度実施してください。
- WPSの自動設定に失敗する場合は、無線ルーターと本機の設定を確認してください。
- WIRELESSボタンと状態表示ランプの緑点灯を消灯したい場合は、基本ページの［基本］タブで「ランプ表示」の設定を変更してください。（→96 ページ）
- WPSの自動設定が成功した場合は、「外部登録」設定が「許可する」から「許可しない」に変更されます。

本機に設定したPIN codeを使う方法

1 PCで本機に有線LANで接続し、無線ページの［基本］タブをクリックします。

2 ［Wi-Fi Protected Setup(WPS)］を設定します。

- 「外部登録」を「許可する」にしてください。（初期設定：許可する）

- 「WPS準拠(PIN方式)」を「使用する」にしてください。(初期設定：使用しない)
- 「PIN code」の［生成］ボタン、または、［初期値］ボタンをクリックして、PIN codeを設定してください。
  入力可能文字数：8文字
  入力可能文字：半角数字
  初期設定：空白

お知らせ

- 「PIN code」の［生成］ボタンは、ランダムな8桁のPIN codeを生成します。
- 「PIN code」の［初期値］ボタンは、あらかじめ本機に設定されていた8桁のPIN codeを設定します。
- 「WPS準拠(PIN方式)」を「使用する」に設定した場合、PIN方式起動中はWIRELESSボタンによる自動設定はできなくなります。

3 ［設定］ボタンをクリックします。

→ 再起動のメッセージが表示されます。［OK］をクリックしてください。再起動するまで約２分間お待ちください。

4 本機に接続されたEthernetケーブルを抜き、電源を入れ直します。

→ 本機が約90秒後に起動します。

→ 起動後、WPSの自動設定は約2分間のみ動作します。手順5の無線ルーターの設定と再起動をできるだけ早く行ってください。

5 無線ルーターのPIN codeに本機の8桁のPIN codeを入力し、WPSのPIN code方式で再起動します。

- 詳細は無線ルーターの取扱説明書を参照してください。

→ 本機と無線ルーターの自動設定が開始されます。

→ 本機のWIRELESSボタンの橙点滅が緑点灯し、状態表示ランプが緑点灯すると、無線設定が正常に完了しています。

6 WIRELESSボタンが緑点灯後に、PCのIP簡単設定ソフトウェアを起動して、本機にアクセスします。

- IP簡単設定ソフトウェアによるアクセス方法は、246 ページを参照してください。
- 無線の接続状態を無線ページの［ステータス］タブで確認してください。(→235 ページ)

お知らせ

- WIRELESSボタンの点滅から約2分間経過しても無線ルーターとの接続が完了しなかった場合は、WIRELESSボタンが約10秒間赤点滅したあと消灯します。この場合、無線設定は失敗しています。無線ルーターの設定や接続手順を確認し、再度実施してください。
- WPSの自動設定に失敗する場合は、無線ルーターと本機の設定を確認してください。
- WIRELESSボタンと状態表示ランプの緑点灯を消灯したい場合は、基本ページの［基本］タブで「ランプ表示」の設定を変更してください。(→96 ページ)
- WPSの自動設定が成功した場合は、「外部登録」設定が「許可する」から「許可しない」に変更されます。

重要

WPSによる自動設定が失敗する場合は、次のように無線ルーターと本機の無線設定を確認してください。

無線ルーターの無線設定の確認

- 無線ルーターの無線設定が、本機の無線機能にない設定になっている場合は、無線ルーターの無線設定を変更してください。
- 無線ルーターのWPS機能が有効になっているか確認してください。なお、WPS設定時以外は、無線ルーターのWPS機能を無効にしておくことをお勧めします。
- 無線ルーターのESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）が有効になっている場合は、一時的に無効に設定してください。
- 無線ルーターでMACアドレスフィルタリングが有効になっている場合は、一時的に無効に設定してください。

本機の無線設定の確認

- 「外部登録」が「許可する」（初期設定）になっていることを確認してください。
- 無線ルーターの暗号化設定は、暗号化強度が高いWPA2-PSK（AES）かWPA-PSK（AES）を設定することをお勧めします。

2.11.3 カメラの無線QoSを使用する［基本］

無線ページの［基本］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、無線QoSについて説明します。

- **［無線QoS］**
  H.264 RTP配信時のみ有効です。外部要因によって一時的に無線帯域が減少した場合に発生する表示不可能なデータを、表示可能なデータに置き換えて送信することにより画像のコマ落ちや遅延を減らします。
  初期設定：使用する

お知らせ

- JPEG／音声の配信およびHTTPにおける配信は対象外です。
- 無線通信が不通となるような強い干渉波に対しては効力がありません。
- H.264 RTP配信にするには、123 ページで「H.264(1)」または「H.264(2)」の「インターネットモード（over HTTP)」をOffにしてください。ローカルLAN内でH.264配信する場合に使用してください。

2.11.4 カメラの無線情報を確認する［ステータス］

無線ページの［ステータス］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、カメラの無線接続に関する情報を表示します。

お知らせ

- 電波状態をモニターするため、10秒間隔で定期的に画面が更新されます。そのため、画面がちらつくことがあります。

- **[無線モジュールの状態]**
  現在の無線モジュールの動作状態を表示します。
- **[ファームウェア バージョン(無線)]**
  カメラの無線ファームウェアのバージョンを表示します。
- **[動作モード]**
  カメラの動作モード（有線または無線）を表示します。
- **[自動設定(WPS)]**
  カメラが無線ルーターとのWi-Fi Protected Setup（WPS）に成功している場合、「設定済」が表示されます。
  「設定済」表示後に無線設定を手動で書き換えると「未設定」に戻ります。
  「設定済」の表示は、カメラ本体WIRELESSボタン（緑点灯）と連動しています。
- **[無線モジュールのMACアドレス]**
  カメラの無線モジュールのMACアドレスが表示されます。無線ルーターがMACアドレスフィルタリングによるアクセス制限をしている場合は、ここで表示される無線モジュールのMACアドレス（カメラ本体のMACアドレス）を無線ルーターに登録してください。
- **[通信モード]**
  現在の通信モード（802.11b/g、802.11n/b/g［ShortGI 無効］、802.11n/b/g［ShortGI 有効］）が表示されます。
- **[SSID]**
  接続している無線ルーターのSSID（ネットワーク）が表示されます。
- **[チャンネル]**
  接続している無線ルーターとの無線チャンネルが表示されます。
- **[BSSID]**
  接続している無線ルーターのMACアドレスが表示されます。未接続の場合は［00-00-00-00-00-00］と表示されます。

- **[認証方式]**
  現在設定している暗号化方式に応じた、認証方式（Open System、WPA-PSK／WPA2-PSK）が表示されます。
- **[暗号化方式]**
  現在設定している暗号化方式（WEP、TKIP、AES）が表示されます。
- **[電波状態]**
  電波強度と接続状態（未接続状態、悪い、普通、良好）が表示されます。ただし、これらは目安値であるため実際の無線通信状態と必ず一致するものではありません。
  電波信号の強度と接続状態の関係は次のとおりです。
  良好：60 %～100 %のとき
  普通：15 %～60 %未満のとき
  悪い：0 %～15 %未満のとき

2.12 スケジュールの設定を行う［スケジュール］

スケジュールページでは、以下の項目についてスケジュールを設定します。

- アラーム入力許可
- 動作検知許可
- 画像公開許可
- SD録画 SC384 SW175 SW172 ST165 ST162
- ポジションリフレッシュ SC384
- 強制白黒切換
- 強制ワイドダイナミックレンジ
- 全アラーム検知許可（みえますねっとPRO設定時のみ）

スケジュールページは、［スケジュール］タブのみで構成されています。
スケジュールは、最大5個まで設定することができます。

1 「動作モード」からスケジュールの動作を選択します。
初期設定時は「Off」に設定されています。
Off：スケジュール動作を行いません。
アラーム入力許可：スケジュール設定されている間、端子のアラーム入力を許可します。
動作検知許可：スケジュール設定されている間、動作検知を許可します。
画像公開許可：スケジュール設定されている間以外は、［ユーザー認証］タブ（→178 ページ）で設定したアクセスレベルが「2.カメラ制御」、「3.ライブ画表示」のユーザーからの画像閲覧を禁止します。

SD録画 SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 **：**スケジュール設定された時間になると、SD録画を行います。（H.264のときのみ有効）
ポジションリフレッシュ SC384 **：**スケジュール設定された時間になると、ポジションリフレッシュを行います。
１～64：スケジュール設定された時間になると、あらかじめ登録されているプリセットポジションから選択したポジションに移動します。
全アラーム検知許可：「DDNS」で「みえますねっとPRO」に設定している場合、スケジュール5でのみ選択できます。スケジュール設定がされている間は、すべてのアラーム入力を許可します。ただし、スケジュールの変更はできません。
強制白黒切換：スケジュール設定されている間、「簡易白黒切換」が強制的に「On」で動作します。
強制ワイドダイナミックレンジ：スケジュール設定されている間、「ワイドダイナミックレンジ」が「On」で動作します。また、「画質調整」の「光量制御モード」が「屋外撮影」または「ELC(1/30s)」に変更されます。

お知らせ

- 「画像公開許可」で使用する場合は、［ユーザー認証］タブの「ユーザー認証」（→178 ページ)を「On」に、［ホスト認証］タブの「ホスト認証」（→181 ページ）を「Off」に設定してください。
- 「強制白黒切換」で使用する場合、［アラーム］タブの「端子1」または「端子」を「白黒切換入力」以外に設定してください。
- スケジュールに「強制ワイドダイナミックレンジ」を設定すると、プリセットポジションの「ワイドダイナミックレンジ」の設定は、スケジュールの設定で上書きされます。
- 「ワイドダイナミックレンジ」が「Off」から「On」または、「On」から「Off」に切り換わるときに、画像が一時的に乱れることがあります。

SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 :

- 「SD録画」で使用する場合は、［SDメモリーカード］タブの［録画圧縮方式］を「H.264」にし、［保存モード］を「スケジュール保存」に設定してください。（→99 ページ）

2 「スケジュール」でスケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。

3 時間を指定するときは［▼］をクリックして時間を設定します。
時間帯を設定しないときは「24h」にチェックを入れます。

4 設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。
→ 画面下に設定した内容が表示されます。

お知らせ

- スケジュール1～スケジュール5に表示されている色は、画面下のスケジュール欄に表示される線の色を表しています。

2.13 本機のメンテナンスを行う［メンテナンス］

メンテナンスページでは、システムログの確認やソフトウェアのバージョンアップ、ステータスの確認、本機の初期化などを行います。
メンテナンスページは、［システムログ］タブ、［バージョンアップ］タブ、［ステータス］タブ、［初期化］タブで構成されています。

2.13.1 システムログを確認する［システムログ］

メンテナンスページの［システムログ］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 ：
［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカード」を「使用する」に設定（→99 ページ）し、SDメモリーカードが本機に取り付けられている場合は、SDメモリーカード内に最大4000件のシステムログを保存できます。
システムログは100件ずつ表示されます。
SDメモリーカードを使用した場合、カメラの電源を切ってもログは保存されます。SDメモリーカードを使用しない場合、カメラの電源を切るとログは消去されます。
「SDメモリーカード」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに最大100件までシステムログを保存できます。内部メモリーで保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。
SW174W ：
システムログは、本機の内部メモリーに最大100件まで保存できます。
保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。カメラの電源を切るとログは消去されます。

- **［次の100件>>］** SC384 SW175 SW172 ST165 ST162
  クリックすると、表示しているシステムログ一覧の次の100件を表示されます。
- **［<<前の100件］** SC384 SW175 SW172 ST165 ST162
  クリックすると、表示しているシステムログ一覧の前の100件を表示されます。
- **［No］**
  システムログの通し番号が表示されます。
- **［発生日時］**
  ログの発生日時が表示されます。

  お知らせ
  - 「時刻表示形式」（→94 ページ）を「Off」に設定している場合、ログの発生日時は24時間形式で表示されます。
- **［内容］**
  システムログの内容が表示されます。
  各システムログの内容について詳しくは、252 ページをお読みください。

2.13.2 ソフトウェアのバージョンアップを行う［バージョンアップ］

メンテナンスページの［バージョンアップ］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、本機のソフトウェアのバージョンを確認し、ソフトウェアを最新のバージョンに更新できます。
バージョンアップ用ソフトウェアについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

［代表品番］、［MACアドレス］、［シリアル番号］、［ソフトウェアバージョン］、［IPLバージョン］、［HTMLバージョン］、［IPアドレス(IPv6)］、［プラグインソフトウェアのインストール回数］、［製造からの経過年数］
本機の各情報が表示されます。

1 お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアをPCのハードディスクにダウンロードします。

重要

- 保存ディレクトリーには、スペース、全角文字は使用できません。

2 ［参照］ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定します。

お知らせ

- 最新のバージョンアップ用ソフトウェアは、パナソニックのサポートウェブサイトに掲載されています。http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/

3 ラジオボタンをクリックして、バージョンアップ完了後にデータの初期化を行うかどうかを選択します。
初期設定：バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行わない。

お知らせ

- 初期化を行うと、設定データの復元ができませんのでご注意ください。

4 ［実行］ボタンをクリックします。
→ バージョンアップ実行の確認画面が表示されます。

重要

- バージョンアップを行ったあとは必ずインターネット一時ファイルを削除してください。（→256 ページ）
- バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるPCで行ってください。
- バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認のうえ、その指示に従ってください。
- アプリケーションソフトのバージョンアップ
バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、弊社指定の拡張子imgファイルを使用してください。
バージョンアップ時に使用するソフトウェアのファイル名は、必ず「機種名**_xxxxx.img**」（機種名は小文字で、「BB-」は不要）にしてください。
※「**xxxxx**」にはソフトウェアのバージョンが入ります。
- ドライバーソフトのバージョンアップ SC384
バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、弊社指定の拡張子binファイルを使用してください。
バージョンアップ時に使用するソフトウェアのファイル名は、必ず「機種名**_xxxxx.bin**」（機種名は小文字で、「BB-」は不要）にしてください。
※「**xxxxx**」にはソフトウェアのバージョンが入ります。
- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。
- バージョンアップ中は、バージョンアップが終了するまで一切の操作を行わないでください。
- 以下のネットワーク関連のデータは「バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行う」を選択した場合でも初期化されません。
IPv4 DNSのプライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス、IPv6のDNSプライマリーサーバーアドレス、DNSセカンダリーサーバーアドレス、DHCPのOn／Off、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、HTTPSポート、HTTP/HTTPS接続方法、CRT鍵、サーバー証明書、UPnP設定、通信速度、配信量制御（ビットレート）、SSID、通信モード、暗号化方式、WEPキー1、外部登録、WPS準拠（PIN方式）、PIN code、無線QoS、時刻設定
- プリセットポジションの内容は、「バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行う」を選択した場合でも、初期化されません。

- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

2.13.3 ステータスを確認する［ステータス］

メンテナンスページの［ステータス］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、本機のステータスを確認することができます。

- **[みえますねっとPRO]**
  サーバー：「みえますねっとPRO」サービスサーバーのURLが表示されます。
  ステータス：「みえますねっとPRO」サービスへの登録状態が表示されます。
  カメラURL：「みえますねっとPRO」サービスに登録されたカメラのURLが表示されます。
- **[みえますねっと]**
  サーバー：「みえますねっと」サービスサーバーのURLが表示されます。
  ステータス：「みえますねっと」サービスへの登録状態が表示されます。
  カメラURL：「みえますねっと」サービスに登録されたカメラのURLが表示されます。
- **[UPnP]**
  ポート番号（HTTP）、ポート番号（HTTPS）：UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。
  ステータス：ポートフォワーディングの状態が表示されます。

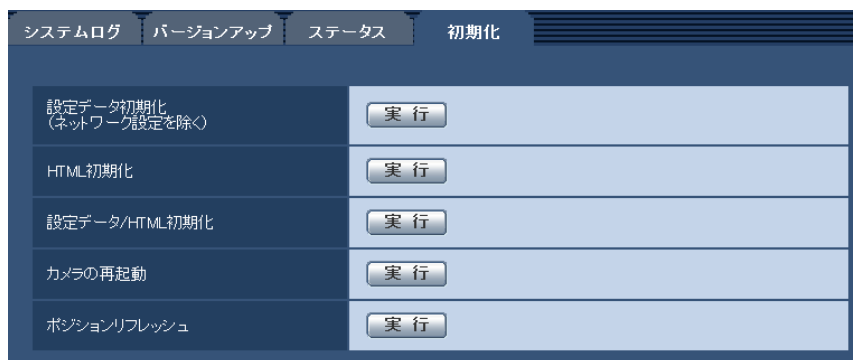
ルーターのグローバルアドレス：ルーターのグローバルアドレスが表示されます。

- **[自己診断]**
  ハードウェアの自己診断結果が表示されます。
- **[動作情報]** SC384
  パン、チルト動作の回数などの情報が表示されます。

お知らせ

- ステータスの表示内容（みえますねっとPRO、みえますねっと、UPnPの各ステータス、自己診断）については、パナソニックのサポートウェブサイトを参照ください。
  http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/support/info.html

2.13.4 本機を初期化・再起動する［初期化］

メンテナンスページの［初期化］タブをクリックします。（→設定メニューの表示・操作：67 ページ、68 ページ）
ここでは、本機の設定データやHTMLの初期化、本機の再起動を行います。

- **[設定データ初期化（ネットワーク設定を除く）]**
  ［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容、無線関連の設定内容、プリセットポジションの内容は初期化されません。
  初期化動作を行うと、約3分間操作できません。
- **[HTML初期化]**
  ［実行］ボタンをクリックすると、HTMLファイルを初期設定に戻します。
  初期化動作を行うと、約3分間操作できません。
- **[設定データ／HTML初期化]**
  ［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容とHTMLファイルを初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容、無線関連の設定内容、プリセットポジションの内容は初期化されません。
  初期化動作を行うと、約3分間操作できません。
- **[カメラの再起動]**
  ［実行］ボタンをクリックすると、本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約2分間操作できません。
- **[ポジションリフレッシュ]** SC384
  本機のポジションをリフレッシュします。本機を使用中にホームポジション、プリセットポジションに設定された位置からカメラの向きがずれた場合、誤ってカメラ電源投入中にカメラの向きを変えてしまった場合に、位置を補正できます。
  ポジションリフレッシュを行うと、約２分間操作できません。

重要

- カメラ設置時に誤ってカメラの向きを変えてしまう場合があります。設置工事後にプリセット登録を行う場合は、ポジションリフレッシュを実行することをお勧めします。

お知らせ

- ネットワークの設定内容（→190 ページ）を初期化する場合は、本機の電源を切り、本機の初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れて、そのまま初期化ボタンを約5秒間押し続けてください。約3分後に本機が起動して、ネットワーク設定データ、無線関連の設定を含む設定が初期化されます。電源を入れてから約3分間は本機の電源を切らないでください。
- IPv4 DNSの「プライマリーサーバーアドレス」、「セカンダリーサーバーアドレス」とIPv6の「DNSプライマリーサーバーアドレス」、「DNSセカンダリーサーバーアドレス」の内容は、「設定データ初期化（ネットワーク設定を除く）」または、「設定データ／HTML初期化」を実行した場合でも初期化されません。

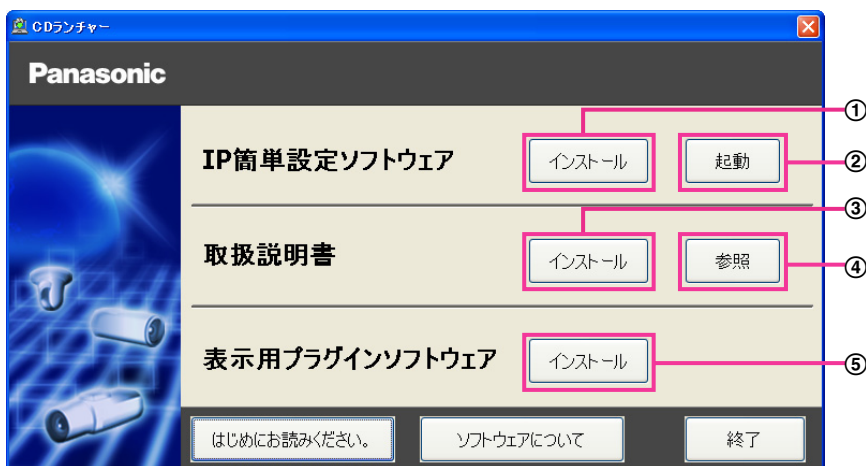
SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 :

- 通知機能を使用すると、再起動後にSDメモリーカードが取り付けられていない、SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっている、などのエラーが起こると、設定した通知先メールアドレスや独自アラーム通知先に通知することができます。（→173 ページ、174 ページ）

3 その他

3.1 CD-ROMを使用する

3.1.1 CDランチャーについて

付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブに入れると、自動的にCDランチャーが起動し、使用許諾契約が表示されます。
使用許諾契約をお読みのうえ、「使用許諾契約書の条項に同意します。」を選択し、[OK] をクリックしてください。
CDランチャーの画面が表示されます。
CDランチャーが起動しない場合は、付属CD-ROM内の「CDLauncher.exe」ファイルをダブルクリックしてください。

付属のCD-ROMを使って、次のようなことができます。

① IP簡単設定ソフトウェアをPCにインストールすることができます。(→247 ページ)

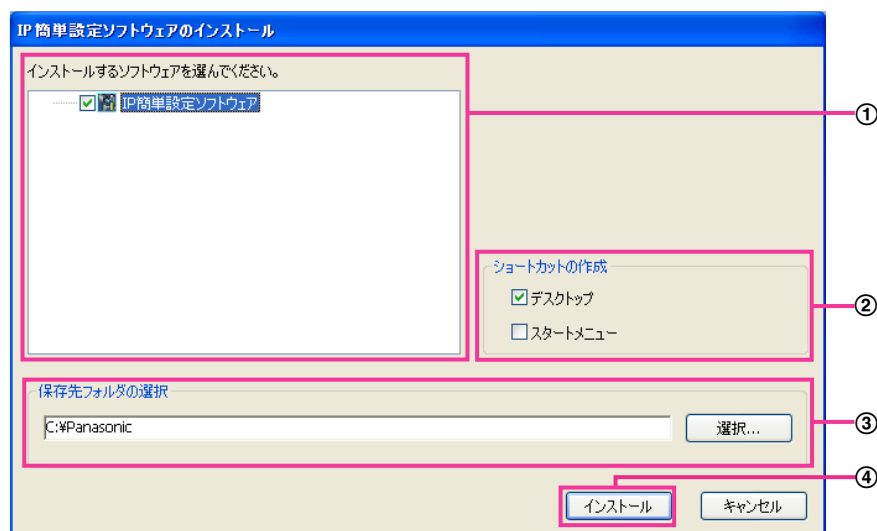
② IP簡単設定ソフトウェアを起動し、本機のネットワークに関する設定をすることができます。(→249 ページ)

③ 取扱説明書をPCにインストールすることができます。(→248 ページ)

④ 取扱説明書を参照することができます。[参照] ボタンをクリックしてください。

⑤ 本機の画像の表示用プラグインソフトウェアをPCにインストールすることができます。(→248 ページ)

3.1.2 IP簡単設定ソフトウェアをインストールする

CDランチャーの画面で「IP簡単設定ソフトウェア」の［インストール］ボタンをクリックするとIP簡単設定ソフトウェアのインストール画面が表示されます。下記の各設定項目を確認し、インストールしてください。

① インストールするIP簡単設定ソフトウェアを選択してください。

② IP簡単設定ソフトウェアをインストールしたときに、ショートカットアイコンを作成する場所を選択します。

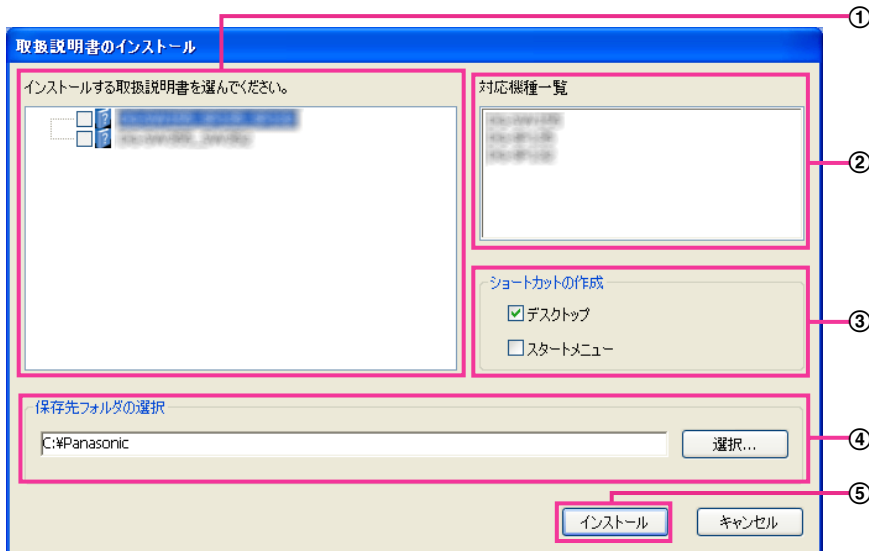
③ IP簡単設定ソフトウェアをインストールするPCのフォルダーを指定します。

④ ［インストール］ボタンをクリックすると、インストールを開始します。

お知らせ

- IP簡単設定ソフトウェアをアンインストールするには、インストールしたときに指定したショートカットアイコンの場所（初期設定：デスクトップ）にあるショートカットアイコンと、IP簡単設定ソフトウェアをインストールしたときに指定したフォルダー（初期設定：C:￥Panasonic）内にある［EasyIPConfig］フォルダーを削除してください。

3.1.3 取扱説明書をインストールする

CDランチャーの画面で「取扱説明書」の［インストール］ボタンをクリックすると取扱説明書のインストール画面が表示されます。下記の各設定項目を確認し、インストールしてください。

① インストールする取扱説明書の機種を選択してください。
なお、取扱説明書の対応機種は②の対応機種一覧に表示されます。

② ①で選択した取扱説明書がどの機種に対応しているかを一覧表示します。

③ 取扱説明書をインストールしたときに、取扱説明書のショートカットアイコンを作成する場所を選択します。

④ 取扱説明書をインストールするPCのフォルダーを指定します。

⑤［インストール］ボタンをクリックすると、インストールを開始します。

お知らせ

- 取扱説明書をアンインストールするには、インストールしたときに指定したショートカットアイコンの場所（初期設定：デスクトップ）にあるショートカットアイコンと、取扱説明書をインストールしたときに指定したフォルダー（初期設定：C:¥Panasonic）内にある［Manual］フォルダーを削除してください。

3.1.4 表示用プラグインソフトウェアをインストールする

本機の画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がPCにインストールされている必要があります。CDランチャーの画面で「表示用プラグインソフトウェア」の［インストール］ボタンをクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。
なお、PCで本機にアクセスし、メッセージが表示された場合は、画面に従ってインストールしてください。詳しくは3 ページを参照してください。

お知らせ

- 表示用プラグインソフトウェアをアンインストールするには、以下の手順で削除してください。
Windows XPの場合
［コントロールパネル］の［プログラムの追加と削除］より［Network Camera View 4S］を削除

Windows Vista／Windows 7／Windows 8／Windows 8.1の場合
［コントロールパネル］の［プログラム］の［プログラムのアンインストール］より［Network Camera View 4S］をアンインストール

3.1.5 IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う

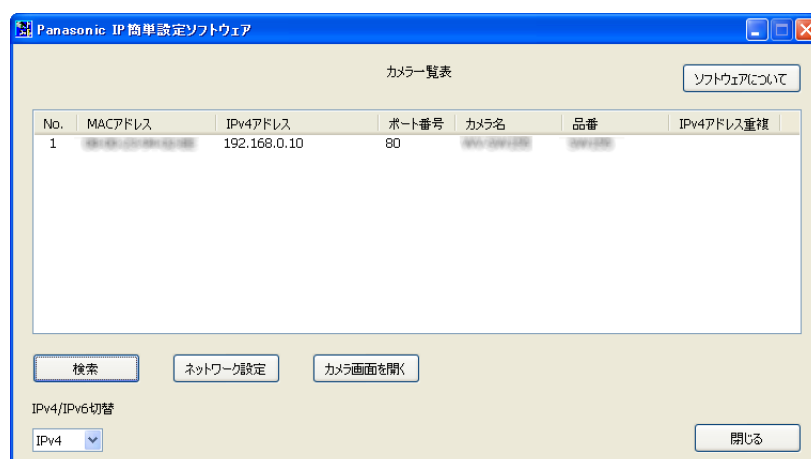
本機のネットワークに関する設定は、付属のCD-ROMのIP簡単設定ソフトウェアを使って行うことができます。本機を複数台設定する場合は、カメラごとに行う必要があります。
IP簡単設定ソフトウェアを使って設定できない場合は、ブラウザーで本機の設定メニューのネットワークページにアクセスし、個別に設定を行います。(→190 ページ)

重要

- IP簡単設定ソフトウェアを起動すると、管理者アカウントのパスワードを要求されることがあります。この場合は、コントロールパネルから「ユーザーアカウント制御」を無効にしてください。
- IP簡単設定ソフトウェアは、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。
- 旧バージョンのIP簡単設定ソフトウェア（Ver.2.xx）では、本機を表示したり設定したりすることはできません。
- IP簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象カメラの「ネットワーク設定」を変更することができなくなります（IP簡単設定の有効期間の設定が「20分間」の場合）。ただし、初期状態のカメラは約20分経過後も変更することができます。

1 CDランチャーのメニュー画面の「IP簡単設定ソフトウェア」の［起動］ボタンをクリックして起動してください。または、PCにインストールしたあとに、作成されたショートカットアイコンをダブルクリックして起動してください。

- ［IP簡単設定ソフトウェア］画面が表示され、カメラが見つかるとカメラのMACアドレスやIPアドレスなどの情報を表示します。

2 設定する本機のMACアドレス／IPアドレスをクリックし、［カメラ画面を開く］ボタンをクリックします。

お知らせ

- DHCPサーバーを使用している場合、本機に割り振られたIPアドレスは、IP簡単設定ソフトウェアの［検索］ボタンをクリックすると確認できます。
- IPアドレスが重複している場合、該当するカメラのIPアドレス重複欄に、重複するカメラNo.が表示されます。

- ［IPv4／IPv6切替］の選択に従い、カメラ一覧表に表示するIPアドレスをIPv4とIPv6で切り換えることができます。
- 各表示項目のタイトルをクリックすると、ソートして表示することができます。
- ［ネットワーク設定］ボタンをクリックすると、ネットワーク設定画面が表示され、ネットワーク設定を変更することができます。詳細は、250 ページを参照してください。

3 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」のインストール画面が表示されたら、画面の指示に従って、インストールしてください。（カメラから表示用プラグインソフトウェアがインストールされます。）

- カメラのライブ画面が表示されます。
- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」をインストールできない場合や画像が表示されない場合は、CDランチャーの「表示用プラグインソフトウェア」の「インストール」ボタンをクリックして、インストールしてください。

ネットワーク設定を変更する場合

ネットワーク設定の接続モードやIPアドレスやサブネットマスクなどを変更する場合には、「IP簡単設定ソフトウェア」の［ネットワーク設定］ボタンをクリックします。
ネットワーク設定画面が表示されます。各項目を入力し、［保存］ボタンをクリックします。

お知らせ

- 「カメラが再起動するまで待つ」のチェックを外すことによって、複数のカメラを連続して設定することができます。
- ［ネットワーク設定］画面の各設定項目の詳細については、190 ページを参照してください。

重要

- ［保存］ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約2分かかります。設定が完了する前にEthernetケーブルを抜いて電源を切ると、設定内容が無効になります。再度設定してください。
- ファイアウォール（ソフト含む）を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。

3.2 システムログ表示について

SMTPに関するエラー表示

<table>
<tr><th>分類</th><th>表示内容</th><th>エラー内容詳細</th></tr>
<tr><td rowspan="2">POP3サーバーエラー</td><td>認証エラー</td><td>• ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。</td></tr>
<tr><td>POP3サーバー見つからず</td><td>• サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。
• POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">SMTPサーバーエラー</td><td>SMTP認証エラー</td><td>• ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。</td></tr>
<tr><td>DNSからMailサーバーアドレス解決できず</td><td>• DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。
• DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>SMTPサーバー見つからず</td><td>• サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。
• SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。</td></tr>
<tr><td>内部エラー</td><td>その他のエラー</td><td>• メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。</td></tr>
</table>

FTPに関するエラー表示

<table>
<tr><th>分類</th><th>表示内容</th><th>エラー内容詳細</th></tr>
<tr><td rowspan="2">FTPサーバーエラー</td><td>DNSからFTPサーバーアドレス解決できず</td><td rowspan="2">• FTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
• サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。</td></tr>
<tr><td>FTPサーバー見つからず</td></tr>
<tr><td rowspan="5">接続エラー</td><td>転送エラー</td><td rowspan="5">• FTPサーバーの設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。
• 各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。</td></tr>
<tr><td>Passiveモードでのエラー</td></tr>
<tr><td>ログアウト失敗</td></tr>
<tr><td>ディレクトリー変更に失敗</td></tr>
<tr><td>ユーザー名パスワードエラー</td></tr>
<tr><td>内部エラー</td><td>その他のエラー</td><td>• FTP機能で問題が発生しています。FTP設定を再確認してください。</td></tr>
</table>

みえますねっとPROに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
アクセステストエラー	アクセステスト失敗	• ルーターにポートフォワーディングが設定されていない可能性があります。お使いのルーターの取扱説明書を参照して、UPnP設定を有効にしてください。
みえますねっとPROサーバーエラー	DNSからみえますねっとPROサーバーアドレス解決できず	• DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 • DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	サーバー応答なし	• みえますねっとPROサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にお問い合わせください。
	転送エラー	
内部エラー	その他のエラー	• みえますねっとPRO機能で問題が発生しています。みえますねっとPROの設定を再確認してください。

みえますねっとに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
みえますねっとサーバーエラー	DNSからみえますねっとサーバーアドレス解決できず	• DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 • DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	サーバー応答なし	• みえますねっとサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にお問い合わせください。
	転送エラー	
内部エラー	その他のエラー	• みえますねっと機能で問題が発生しています。みえますねっとの設定を再確認してください。

ダイナミックDNS Updateに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
DDNSサーバーエラー	DNSからDDNSサーバーアドレス解決できず	• DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 • DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	サーバー応答なし	• DDNSサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にお問い合わせください。
	同名ホスト登録	• DDNSサーバーに同名のホストが登録されています。DDNS Updateの設定を再確認してください。
内部エラー	その他のエラー	• DDNS Update機能で問題が発生しています。DDNS Updateの設定を再確認してください。

NTPに関する表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	• サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 • NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
内部エラー	その他のエラー	• NTP機能で問題が発生しています。NTP設定を再確認してください。
NTPによる時刻同期成功	時刻自動補正しました	• 時刻修正が成功しました。

HTTPSに関するログ表示

分類	表示内容	内容詳細
HTTPS	自己証明書を生成しました	• 自己証明書の生成が完了しました。
	自己証明書を削除しました	• 自己証明書を削除が完了しました。
	署名リクエストを生成しました	• 署名リクエストの生成が完了しました。
	サーバー証明書をインストールしました	• サーバー証明書のインストールが完了しました。
	サーバー証明書を削除しました	• サーバー証明書の削除が完了しました。
	過去のCRT鍵を適用しました	• CRT鍵として過去のCRT鍵を適用しました。
	CRT鍵を生成しました	• CRT鍵の生成が完了しました。

ログインに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	ユーザー名またはIPアドレス	• ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのユーザー名を表示します。 • ホスト認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのIPアドレスを表示します。

独自アラーム通知に関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
独自アラーム通知先エラー	通知先見つからず	• 通知先のIPアドレスが間違っている可能性があります。通知先のIPアドレスの設定を再確認してください。 • 通知先がダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	DNSから通知先アドレス解決できず	• DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 • DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

HTTPアラーム通知に関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
HTTPアラーム通知先エラー	通知先見つからず	• 通知先のIPアドレスが間違っている可能性があります。通知先のIPアドレスの設定を再確認してください。 • 通知先がダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	DNSから通知先アドレス解決できず	• DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 • DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。

3.3 故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現象	原因・対策	参照
ウェブブラウザーからアクセスできない	• ネットワークコネクターにカテゴリー5以上のケーブルは接続されていますか？	−
	• リンクランプは点灯していますか？ 点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	−
	• 本機の電源は入っていますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。	−
	• 本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？	190 ページ
	• 間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 Windowsのコマンドプロンプトで **> ping**「本機に設定したIPアドレス」 で、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。 Replyが返ってこない場合は、カメラと同じネットワークに接続したPCで、次の方法で接続を確認してください。なお、PCのファイアウォール設定が有効になっているときは、一時的に解除してからカメラ設定を行ってください。 • IP簡単設定ソフトウェアを起動し、カメラのIPアドレスを確認し、そのIPアドレスにアクセスしてください。 • ネットワーク設定（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が間違っている場合には、カメラを再起動して、20分以内にIP簡単設定ソフトウェアでネットワーク設定を変更してください。 • DHCPサーバーのない環境にて、初期化ボタンにより本機を再起動して初期化を行うと、IPアドレスを「**192.168.0.10**」に設定します。その後、本機にアクセスしてIPアドレスを再設定してください（このとき、本機の設定データはすべて初期化されます）。	249 ページ
	• HTTPポート番号に554を設定していませんか？ HTTPポート番号は、本機で使用する20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 443, 554, 995, 10669, 10670, 59000〜61000以外のポート番号を使用してください。	193 ページ

現象	原因・対策	参照
ウェブブラウザーからアクセスできない	• 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ 設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか？ [同一サブネット内に本機とPCが接続されている場合] 本機とPCのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか。また、ウェブブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 [本機とPCが異なるサブネットに接続されている場合] 本機に設定したデフォルトゲートウェイの値は間違っていませんか？	−
	• 「みえますねっとPRO」または「みえますねっと」で登録している名前（ニックネーム）と異なる名前で本機にアクセスしていませんか？ 登録されている名前でアクセスしてください。	215 ページ, 218 ページ
	• HTTPS機能を使用中に「**http://**」でアクセスしていませんか？ HTTPSをご使用の場合は、「**https://**」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。	206 ページ

現象	原因・対策	参照
インターネットからカメラにアクセスできない	• 本機のネットワーク設定が間違っていませんか？ デフォルトゲートウェイまたはDNSサーバーアドレスを正しく設定してください。DDNSサービスを使う場合は、正しく設定されているか確認してください。 • ネットワークの設定で、[デフォルトゲートウェイ] を設定していますか？ または、正しい設定をしていますか？ IPv4の場合 [設定] － [ネットワーク] － [IPv4ネットワーク] で [デフォルトゲートウェイ] を正しく設定してください。	190 ページ
	• ルーターにポートフォワーディングが設定されていますか？ お使いのルーターにUPnP機能がない場合に、インターネットから本機にアクセスできるようにするには、ポートフォワーディング設定が必要です。設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。 • ルーターのUPnP機能が無効になっていませんか？ お使いのルーターの取扱説明書を参照して、UPnP機能を有効にしてください。 • ルーターに、インターネットからのアクセスを禁止するパケットフィルタリングなどを設定していませんか？ お使いのルーターを、インターネットからアクセスできるように設定してください。設定方法については、お使いのルーターの取扱説明書をお読みください。	194 ページ
	• ローカルネットワークで使用するときのIPアドレス（ローカルアドレス）でアクセスしていませんか？ インターネットで使用するときの本機のIPアドレスとしてグローバルアドレス（またはDDNSサービスで登録したURL）と、本機のポート番号でアクセスしてください。	191 ページ, 192 ページ, 212 ページ

現象	原因・対策	参照
「みえますねっとPRO」サービスのURLでアクセスできない	• 本機（またはルーター）のグローバルアドレスが「みえますねっとPRO」サービスサーバーに通知されていますか？ 「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト（http://www.miepro.net/）にて、登録されたカメラの情報を確認してください。通知されていない場合は、本機にアクセスして、[設定] － [ネットワーク] － [DDNS] で「みえますねっとPRO」サービスの登録を完了してください。また、本機の [設定] － [メンテナンス] － [ステータス] の、[みえますねっとPRO] のステータスとシステムログを確認してください。	215 ページ, 243 ページ
「みえますねっと」サービスのURLでアクセスできない	• 本機（またはルーター）のグローバルアドレスが「みえますねっと」サービスサーバーに通知されていますか？ 「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://www.miemasu.net/）から「登録者専用ページ」にログインして、登録されたカメラの情報を確認してください。IPアドレス欄にグローバルアドレスが表示されていない場合は、本機にアクセスして、[設定] － [ネットワーク] － [DDNS] で「みえますねっと」サービスの登録を完了してください。また、本機の [設定] － [メンテナンス] － [ステータス] の、[みえますねっと] のステータスとシステムログを確認してください。	218 ページ, 243 ページ
認証画面が連続して表示される	• ユーザー名やパスワードが変更されていませんか？ 本機にアクセス中に、別のウェブブラウザーでログイン中のユーザーのユーザー名やパスワードを変更すると、画面を切り換えたりするたびに、認証画面が表示されます。ウェブブラウザーを閉じて、本機にアクセスし直してください。 • [認証方式] の設定を変更していませんか？ [認証方式] の設定を変更した場合は、ウェブブラウザーを閉じて、アクセスし直してください。	－

現象	原因・対策	参照
画面表示に時間がかかる	• HTTPSモードでアクセスしていませんか？ HTTPSでは、復号処理のため、表示が遅くなります。	－
	• 同じローカルネットワークの本機をプロキシ経由でアクセスしていませんか？ プロキシを経由しないようにブラウザーの設定を行ってください。	－
	• 複数のユーザーが同時にカメラ画像を参照していませんか？ 複数のユーザーが同時にカメラ画像を参照すると、画面表示に時間がかかったり、カメラ画像の更新間隔が長くなったりする場合があります。	－
携帯電話からカメラにアクセスできない	• URLが間違っている。または、URLの最後に「**/mobile**」が未入力になっていませんか？ URLが正しく入力されているか確認してください。携帯電話から本機にアクセスする場合は、PCからアクセスするときに使用するURLの最後に「**/mobile**」と入力する必要があります。	23 ページ
	• 携帯電話のHTTPSのSSL暗号化方式が本機と異なっていませんか？ 本機のHTTPSの「接続方法」を「HTTP」に設定して、再度アクセスしてください。	195 ページ
	• HTTPS機能を使用中に「**http://**」でアクセスしていませんか？ HTTPSをご使用の場合は、「**https://**」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。	206 ページ
	• ソフトバンクモバイルの携帯電話について ソフトバンクモバイルの携帯電話では、ポート番号80以外からのアクセスは禁止していますので、ポート番号80に設定したカメラに対してのみご利用になれます。	－

現象	原因・対策	参照
携帯端末からカメラにアクセスできない	• URLが間違っている。または、URLの最後に「**/cam**」が未入力になっていませんか？ URLが正しく入力されているか確認してください。携帯端末から本機にアクセスする場合は、PCからアクセスするときに使用するURLの最後に「**/cam**」と入力する必要があります。	26 ページ
	• 携帯端末のHTTPSのSSL暗号化方式が本機と異なっていませんか？ 本機のHTTPSの「接続方法」を「HTTP」に設定して、再度アクセスしてください。	195 ページ
	• HTTPS機能を使用中に「**http://**」でアクセスしていませんか？ HTTPSをご使用の場合は、「**https://**」でアクセスしてください。また、ポート番号の入力も必要です。	206 ページ
	• ソフトバンクモバイルの携帯端末について ソフトバンクモバイルの携帯端末では、ポート番号80以外からのアクセスは禁止していますので、ポート番号80に設定したカメラに対してのみご利用になれます。	－
「みえますねっとPRO」サービスまたは「みえますねっと」サービスに利用者登録する際、エラーが表示される（エラー例：「エラーが発生しました。cookieが利用できないか、あるいは有効期限が切れました。cookieの利用できるブラウザー、設定で再度接続してください。」）	• ウェブブラウザーのセキュリティ設定が、cookieを受け付けない設定になっていませんか？ お使いのウェブブラウザー（Internet Explorer）の設定を確認してください。Internet Explorerの［ツール］－［インターネットオプション...］－［プライバシー］タブでcookieの設定ができます。	－
「みえますねっとPRO」サービスの登録で失敗する	• 登録したEメールアドレスが間違っている可能性がありませんか？ 「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイトのリンクを記載したEメールが送られてこないときは、登録したEメールアドレスが間違っている可能性があります。「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト（http://www.miepro.net/）を参照して、Eメールアドレスを正しく登録し直してください。	－

現象	原因・対策	参照
「みえますねっと」サービスの登録で失敗する	• 登録したEメールアドレスが間違っている可能性がありませんか？ 「みえますねっと」サービスのウェブサイトのリンクを記載したEメールが送られてこないときは、登録したEメールアドレスが間違っている可能性があります。「みえますねっと」サービスのウェブサイト（http://www.miemasu.net/）を参照して、Eメールアドレスを正しく登録し直してください。	–
SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 SDメモリーカードの画像取得ができない	• ネットワーク設定ページの「カメラへのFTPアクセス」が「許可」に設定されていますか？ 「カメラへのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。	197 ページ
	• パスワードを間違って入力していませんか？ ウェブブラウザーを再起動してからパスワードを入力し直してください。	107 ページ
	• SDメモリーカードに接続できなくなることがあります。ウェブブラウザーを再起動してから、再度画像取得を実行してください。	–

<table>
<tr><th>現象</th><th>原因・対策</th><th>参照</th></tr>
<tr><td rowspan="4">画像が表示されない</td><td>• 表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？
表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。</td><td>3 ページ</td></tr>
<tr><td>• ウェブブラウザーを互換表示に設定しましたか？
ウェブブラウザーを互換表示に設定してください。設定方法については、以下のパナソニックサポートウェブサイトを参照してください。
http://panasonic.biz/netsys/netwkcam/sup - port/info.html</td><td>–</td></tr>
<tr><td>• DirectX® のバージョンは9.0c以上ですか？
以下の手順でDirectXのバージョンを確認してください。
1. Windows Vista、Windows 7の場合:
PCのスタートメニューから［アクセサリ］→［ファイル名を指定して実行］を選択する。
Windows 8、Windows 8.1の場合:
PCの［アプリ］→［Windows システム ツール］→［ファイル名を指定して実行］を選択する。
2. 「dxdiag」と入力し、［OK］ボタンをクリックする。
バージョンが9.0cよりも低い場合は、Microsoft社のホームページから最新のDirectXを入手してください。</td><td>–</td></tr>
<tr><td>• お使いの携帯電話が320×240ドットの解像度に対応していない。または、携帯電話が表示できる画像データのサイズを超えていませんか？
携帯電話で表示できる画像データサイズの制限については、お使いの携帯電話の取扱説明書をお読みください。</td><td>–</td></tr>
</table>

現象	原因・対策	参照
画像が表示されない、または、古い画像や古いログが表示される	• インターネット一時ファイルの設定において、「保存している新しいバージョンの確認」が「ページを表示するごとに確認する」に設定されていない場合、ライブ画ページの画像が表示されないことがあります。 以下の手順を行ってください。 **1.** Internet Explorerで［ツール］－［インターネットオプション］を選択する。 **2. Internet Explorer 8、Internet Explorer 9、Internet Explorer 10、Internet Explorer 11の場合:** 「閲覧の履歴」の［設定］ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認」で「Webサイトを表示するたびに確認する」を選択する。 **Internet Explorer 7の場合:** 「閲覧の履歴」の［設定］ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「Webサイトを表示するたびに確認する」を選択する。	－
別ウインドウで開くはずの操作・調整画面などが開かない。	• 調整画面などが別タブで開いていませんか？ ブラウザーの設定で、別ウインドウで開く設定を行ってください。	－
画像がぼやける	• カメラのドーム部にごみやほこりが付着していませんか？ カメラのドーム部にごみやほこりが付着していないか確認してください。 • 本機使用中にフォーカスがずれた場合は、ポジションリフレッシュを行うと位置が補正されます。	－
インナーカバーを使用した場合に、カメラを水平方向に向けると画面の上側が隠れる	• 異常ではありません。 インナーカバー（別売りの金具を付属）が映りこんでいるためです。また、「ゲイン」をOnに設定している場合は、被写体によっては、画像が白くなることがあります。	－
画像の焦点が合わない	• ドーム部が汚れていませんか？ ドーム部の汚れを落としてください。	－
	• オートフォーカスでピントが合いにくい被写体を写していませんか？ 手動操作でピントを合わせてください。	15 ページ

現象	原因・対策	参照
画像が更新されない	• ウェブブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。	取扱説明書 基本編
	• ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。PCのキーボードの［F5］キーを押すなどして、画像の取得要求を行ってください。	–
カメラ画像が出ない（暗い）	• 「明るさ」が暗くなるように設定されていませんか？明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。	12 ページ
画像が白っぽい	• 「明るさ」が明るくなるように設定されていませんか？明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。	12 ページ
画像がちらつく	• ちらつきが気になる場合は、「光量制御モード」を「フリッカレス」に設定してください。	141 ページ
ポジション設定した場所にカメラが向かない	• 本機使用中に設定したポジション位置からカメラの向きがずれた場合、ポジションリフレッシュを実行すると位置が補正されます。スケジュール機能でポジションリフレッシュを設定すると、定期的にカメラの向きのずれを補正することができます。	239 ページ, 244 ページ
	• 部品が消耗していませんか？駆動部品の消耗が考えられます。お買い上げの販売店にご連絡ください。	–
電源投入時、元のポジションに戻らない	• 本機のポジションを電源投入前の状態に戻したい場合は、そのポジションをホームポジションに登録し、セルフリターンで戻るように設定してください。	136 ページ
カメラの動作が自動で変化する	• セルフリターン機能を確認してください。	136 ページ

現象	原因・対策	参照
SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 SDメモリーカードに画像が保存されない SDメモリーカードへの書き込み／読み込みなどに失敗する 状態表示ランプが赤点灯している	• SDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？ 正しく取り付けられているか、確認してください。	―
	• SDメモリーカードはフォーマットされていますか？ SDメモリーカードをフォーマットしてください。	106 ページ
	• SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか？ 「LOCK」になっている場合は、[SDメモリーカード] タブの「容量表示」に「**********KB/**********KB」と表示されます	―
	• [SDメモリーカード] タブの「容量表示」に「--------KB/--------KB」と表示されていませんか？ SDメモリーカードをフォーマットしてください。	106 ページ
	• メール通知や独自アラームの「診断」機能を使用している場合、認識エラーを受信していませんか？ SDメモリーカードをフォーマットしてください。	106 ページ, 173 ページ, 174 ページ
	• SDメモリーカードが故障していませんか？ SDメモリーカードは書き換え回数に限度がある部品です。書き換え頻度が多い場合は、寿命が考えられますので、SDメモリーカードを交換してください。	―
音声の送話ができない	• マイクとスピーカーが正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか確認してください。	―
	• 表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされているか確認してください。	3 ページ
弊社のネットワークディスクレコーダーやPCソフトウェアパッケージから音声が出ない	• 弊社のネットワークディスクレコーダーやPCソフトウェアパッケージには、「G.711」に対応していないものがあります。 音声圧縮方式を「G.726 (32 kbps)」に設定してください。	155 ページ
ライブ画ページでアラーム発生通知ボタン、[AUX] ボタン、SD保存状態表示がリアルタイムに表示されない	• 表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされているか確認してください。	3 ページ
	• 状態通知間隔が「リアルタイム」になっていますか？	94 ページ
ライブ画ページの画像が表示されない	• PCのキーボードの [F5] キーを押すか、[ライブ画] ボタンをクリックしてください。	12 ページ

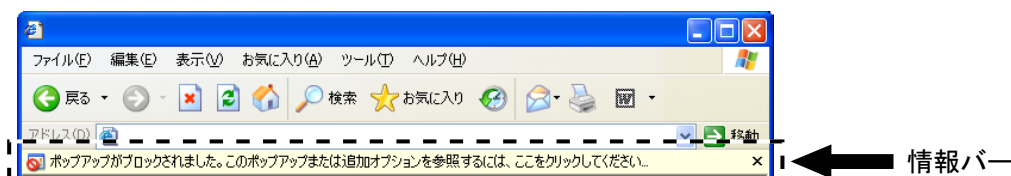
現象	原因・対策	参照
PCの［ネットワーク］にカメラのショートカットアイコンが表示されない	• UPnPのWindowsコンポーネントが追加されていますか？ お使いのPCに、UPnPのWindowsコンポーネントを追加してください。	194 ページ
SC384 SW175 SW172 ST165 ST162 ログリストのダウンロードができない	• ファイルのダウンロードが無効になっていませんか？ Internet Explorerの「セキュリティの設定」画面（［インターネットオプション］－［セキュリティ］）にて「ファイルのダウンロード」と「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」（Internet Explorer 9、Internet Explorer 10、Internet Explorer 11を除く）を有効にしてください。設定を変更後にはウェブブラウザーを閉じて、アクセスし直してください。	－
画像がうまく更新されない、表示されない	• 以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。 **1.** Internet Explorerで［ツール］－［インターネットオプション］を選択する。 **2. Internet Explorer 10、Internet Explorer 11の場合：** 「閲覧の履歴」の［削除］ボタンをクリックし、「インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル」にチェックを入れ［削除］ボタンをクリックする。 **Internet Explorer 8、Internet Explorer 9の場合：** 「閲覧の履歴」の［削除］ボタンをクリックし、「インターネット一時ファイル」にチェックを入れ［削除］ボタンをクリックする。 **Internet Explorer 7の場合：** 「閲覧の履歴」の［削除］ボタンをクリックし、「インターネット一時ファイル」の［ファイルの削除］ボタンをクリックする。	－
	• ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	－
各種ランプが点灯しない	• 設定メニュー［基本］でランプ表示設定が「消灯」に設定されていませんか？ ランプ表示設定を「点灯」に設定してください。	94 ページ

現象	原因・対策	参照
H.264（またはMPEG-4*）画像が表示されない * SW175／SW174W／SW172／ST165／ST162は、MPEG-4に対応していません。	• 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 3」がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」を削除した場合、H.264（またはMPEG-4）画像の表示が行われなくなります。 その場合、「Network Camera View 3」を削除後、「Network Camera View 4S」のインストールを行ってください。	3 ページ
複数のウェブブラウザーを起動してH.264（またはMPEG-4*）画像を表示したとき、1つのウェブブラウザーに複数のカメラ画像が切り換わり表示される * SW175／SW174W／SW172／ST165／ST162は、MPEG-4に対応していません。	• PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。 本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。 ここでは、Windows 7を例に説明します。ご使用の環境によっては、設定を変更できない場合もあります。 **1.** デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「画面の解像度」を選択します。 **2.** 「詳細設定」をクリックします。 **3.** ［トラブルシューティング］タブを選択し、「設定の変更」をクリックします。 **4.** ［ユーザーアカウント制御］ダイアログボックスが表示された場合は、「はい」をクリックします。管理者アカウント以外でログオンしている場合は、パスワードを入力し、「はい」をクリックします。必要に応じてユーザー名も入力します。 **5.** 「ハードウェアアクセラレータ」の項目を一番左の「なし」に変更し、［OK］ボタンをクリックします。	―
SC384 自動モードの動作中に、突然動作が停止する。	• ［セルフリターン］の設定を、ホームポジション／オートパン／プリセットシーケンスに設定している可能性があります。 ［セルフリターン］の設定をOffにしてご利用ください。	136 ページ

現象	原因・対策	参照
SW174W 無線ルーターに接続できない	• カメラが電波の届かない場所にある、またはコンクリートの壁など通信の妨げになる物がありませんか？ [設定] － [無線] － [ステータス] の [電波状態] を確認して、カメラを無線ルーターの近くに設置したり、通信の妨げとなる物を取り除いたりして、電波を届きやすくしてください。	235 ページ
	• 無線ルーターでMACアドレスフィルタリングが有効の場合に、カメラ本体のMACアドレスを登録していますか？ カメラのMACアドレスを無線ルーターに登録してください。MACアドレスはカメラ本体に貼られているシール、または、[設定] － [無線] － [ステータス] の [無線モジュールのMACアドレス] で確認できます。	－
SW174W 無線LAN通信が不安定	• 他の無線LANと通信チャンネルが重なっていませんか？ お使いの無線ルーターの通信チャンネルを変更すると改善されることがあります。通信チャンネルの変更方法は、お使いの無線ルーターの取扱説明書を参照してください。	－
	• 電波の通信の妨げとなる電子機器や物がありませんか？ 通信の妨げとなる電子機器や物を移動すると改善されることがあります。[設定] － [無線] － [ステータス] の [電波状態] に示されている内容を参考にして、カメラを無線ルーターの近くに設置したり、通信の妨げとなる物を取り除いたりして、電波を届きやすくしてください。	235 ページ

情報バーにメッセージが表示される

Internet Explorer 9、Internet Explorer 10、Internet Explorer 11の場合：
「情報バー」とは、Internet Explorerの下方に表示されるメッセージバーのことです。

Internet Explorer 7、Internet Explorer 8の場合：
「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。

お使いのPCのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作に影響を与えたりすることはありません。

現象	原因・対策	参照
下記メッセージの情報バーが表示される。「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」(Internet Explorer 7、Internet Explorer 8)	• 情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、[はい(Y)] ボタンをクリックしてください。	–
下記メッセージの情報バーが表示される。「***.***.***.***(IPアドレス) からのポップアップがブロックされました」(Internet Explorer 9、Internet Explorer 10、Internet Explorer 11)	• 「このサイトのオプション(O)」→「常に許可(A)」を選択してください。	–

現象	原因・対策	参照
下記メッセージの情報バーが表示される。「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.'からの'WebVideo Mod - ule'アドオンを実行しようとしています。」(Internet Explorer 9、Internet Explorer 10、Internet Explorer 11)	• 「許可(A)」を選択してください。	─
下記メッセージの情報バーが表示される。「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.'からの'nwcv4Sset - up.cab'アドオンをインストールしようとしています。」(Internet Explorer 7、Internet Explorer 8)	• **Internet Explorer 7の場合：** 情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。 セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする(I)］ボタンをクリックしてください。 **Internet Explorer 8の場合：** 情報バーをクリックし、「このコンピューター上のすべてのユーザーにこのアドオンをインストールする(A)...」を選択してください。 セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする(I)］ボタンをクリックしてください。	─
下記メッセージの情報バーが表示される。「このWebサイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.'からのアドオン'nwcv4Sset - up.cab'をインストールしようとしています。」(Internet Explorer 9、Internet Explorer 10、Internet Explorer 11)	• 「インストール(I)」を選択してください。セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストールする(I)］ボタンをクリックしてください。	─

現象	原因・対策	参照
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	• Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、［インターネット］を選択します。［レベルのカスタマイズ］ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウインドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	－
画像が表示用の枠と一致していない	• 画像のDPI設定が120 DPI以上に設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 **Windows 8.1の場合：** PC画面上で右クリックし、「画面の解像度」→「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックし、「すべての項目のサイズを変更する」のスライドバーを「小さくする」に合わせ、推奨サイズになるように設定してください。 **Windows 8、Windows 7の場合：** PC画面上で右クリックし、「画面の解像度」→「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックし、「小-100%（規定)」に設定してください。 **Windows Vistaの場合：** PC画面上で右クリックし、「個人設定」→「フォントサイズ（DPI）の調整」をクリックし、「規定のスケール（96 DPI)」に設定してください。 **Windows XPの場合：** PC画面上で右クリックし、「プロパティ」→［設定］タブ→［詳細設定］ボタンをクリックして、画面のDPI設定を「通常のサイズ（96 DPI)」に設定してください。	－

3.4 Bドライブのディレクトリー構造について（SC384／SW175／SW172／ST165／ST162）